

科目名 (英)	ミュージックセオリー I	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	森山 陽介
	Music Theory I	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	半期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	水曜日 1 限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家							
【到達目標】 プロミュージシャンや声優、俳優には移調や楽曲制作、演奏に必要な基礎知識、裏方には照明や台本に照らし合わせてタイミングや間の取り方を、そして音楽の基礎知識をあまり必要としない学科の学生にも、学び方や、考え方の多面性を育てることが目標。							

授業計画・内容	
1回目	<楽譜の歴史> ファンデーションカリキュラムの説明、楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への移り変わりを知る
2回目	<音名> 鍵盤と音名の一致 楽器ごとの音域を知る
3回目	<音符、休符> 音符、休符の表し方
4回目	<拍子記号> 小節線について、単純拍子、複合拍子は紹介のみ、タイ、シンコペーション
5回目	<反復記号> 反復記号を学び、音源を使用して楽譜を終えるようにする
6回目	<スコアリーディング> 楽譜と音源を使用し、前半の総復習
7回目	<確認テスト> 確認テスト
8回目	<メジャースケール> メジャースケールの仕組み、#系のメジャースケールの仕組み
9回目	<メジャースケール> 5度圏、b系のメジャースケールの仕組み
10回目	<記譜法、臨時記号> 調号を臨時記号の違い、臨時記号の効力、正しい楽譜の書き方
11回目	<テンポ、強弱記号> 速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12回目	<スコアリーディング> 楽譜と音源を使用し、後半の総復習
13回目	<期末テスト> 期末テスト
14回目	前期復習
15回目	後期内容の確認と予習
準備学習 時間外学 習	宿題はほぼありませんが、毎回プリントを提出して頂きます。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック	

科目名 (英)	イヤートレーニング I	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	森山 陽介
	Ear Training I	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	半期
学科・コース	音楽プロデュース科			曜日・時限	水曜日 2 限		
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家							
【到達目標】 音程 1 ～ 8 度、音程のまとめ、メジャーとマイナーの聞き分け。四分音符から 1 6 分音符まで。							

授業計画・内容	
1回目	<音名> リズムは四分音符と四分休符、2 線紙を使って音の高低を判定。
2回目	<音符、休符> 5 線紙を使っての書きとり、八分音符が入ったリズム打ち、3 線紙を使って音の高低判定。
3回目	<拍子記号> リズム八分休符の書きとり、5 線紙を使ってC～Eの書きとり、全音、半音と度数のみ
4回目	<反復記号> リズム復習、休符の多い書きとり問題、音程は1,2,3,8のみ
5回目	<スコアリーディング> リズム復習、1 6 分音符の導入、メロディー暗記問題、音程 1, 2, 3, 8 度のみ、変化記号がついた場合。
6回目	<中間テスト>
7回目	<メジャースケール#系> リズム復習、1 6 分音符、書きとり、メロディーは跳躍進行、八分音符の導入、新曲視唱、音程は 1 ～ 5, 8 トライトーン
8回目	<メジャースケールb系> リズム八分休符、八分音符の導入、メロディーはC～Fまでの順次進行、音程は 1 ～ 5, 8 トライトーン②
9回目	<記譜法、臨時記号> リズム 8 分と 1 6 分の組み合わせの導入、メロディーC～Gまでの順次進行、音程 1 ～ 6 と 8 度
10回目	<テンポ、強弱記号> リズム 1 6 分と 8 分の組み合わせの導入、メロディーC～Gまでの跳躍進行、音程 1 ～ 8 度
11回目	<スコアリーディング> リズム総復習、メロディー総復習、音程 1 ～ 8 度
12回目	<スコアリーディング> リズム総復習、メロディー総復習、音程 1 ～ 8 度
13回目	<予備テスト>
14回目	<期末テスト>
15回目	後期復習
準備学習 時間外学 習	宿題はありませんが、進行に差し支える学生には復習プリントを用意しています。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	歌う事によって、体で音を感じていきましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	デジタルファンデーション I Digital Foundation I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	渡邊 綾香
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜5限
【授業の学習内容】							
<p>社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得し、講義では、デザイン技術を、演習を中心に、使用頻度の高いアプリケーションを用いてスキル習得していく。</p> <p>実務者経験：電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとなった。17LIVE準認証ライター。</p>							
【到達目標】							
<p>Macを自由に扱えるようになる。履修者全員がデジタルポートフォリオを所持できるようになる。</p> <p>Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。(レタッチ中心)</p> <p>Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。(ベジエ曲線操作、デザイン中心)</p> <p>STUDIOを利用した自身のデジタルポートフォリオ (web) の運営ができるようになる。</p>							
授業計画・内容							
1回目	Keynote基本操作理解。文字入力、サイズ、アニメーション Keynote (自己紹介PPT) を使用して資料を作成しプレゼンする						
2回目	ワードエクセル基本操作理解。ワード (ビジネス文章) /エクセル(タイムテーブル)提出 優秀資料のプレゼン発表する						
3回目	PhotoshopとIllustratorの違いを文字入力で理解、基本操作 (ワークスペース、ツールバー、パレット、画面拡大縮小、新規作成、保存) 【Ai】図形						
4回目	【Ai】基本操作 選択、図形、バウンディングボックス、カラー、変形、重ね順、図形応用、ダイレクト選択ツール、スタイライズ、パスファインダ、整列、テキスト入力、グループ化、ベジエ曲線、スウォッチ、模様、グラデーション						
5回目	【Ps】レタッチと保存方法。画像変形、写真補正、カラーモード、解像度、フォーマット						
6回目	【Ai】配置画像を用いたフライヤーデザイン、クリッピングマスク、目を引くデザインとは何か。(コンセプト～ラフ作成・色理解～提案～レイアウトデザイン～ブラッシュアップ)						
7回目	【Ps】【Ai】写真を複数用いたフライヤー作成。イベントのロゴマーク						
8回目	【Ps】【Ai】写真を複数用いたフライヤー作成 (レイアウトデザイン～ブラッシュアップ) よいデザイン、正確なデータ作成とは何かを考えて仕上げる						
9回目	【Ps】【Ai】オリジナルのLINEスタンプ作成、Psでの描画表現、Aiのブラシツール、アートボード、保存形式を指定して書き出し						
10回目	【STUDIO】自身のポートフォリオサイト作成の基礎。SNSアイコン等に使用できるデータ作成。リサイズ、フォーマット、商用利用可能素材。						
11回目	【STUDIO】自身のポートフォリオサイトを作成、STUDIO基本操作習得。TOP画像と初回授業で作成した自己紹介Keynoteの更新、素材を集める。						
12回目	【STUDIO】サイトの構成を考え、用意した素材を利用して作成し、完成させる。						
13回目	ポートフォリオサイトの提出 到達度テスト						
14回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
15回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
準備学習 時間外学習	定期的にメディアやサイト、店舗で雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みをよく考える						
評価方法	筆記又は、実技テストによる採点						
受講生への メッセージ	映像・写真を用いた魅力的な作品 (ポートフォリオ) を制作できるようになってください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
Mac,Microsoft office,Adobeアプリケーション							

科目名 (英)	デジタルファンデーションⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	渡邊 綾香
	Digital Foundation II	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜5限
【授業の学習内容】 写真やビデオ等の映像機器及び映像編集ソフトを用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。 実務者経験：電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとなった。17LIVE準認証ライター。							
【到達目標】 履修者全員が動画制作ができるようになる。 Adobe AfterEffectsの基本操作ができるようになる。(アニメーション作成・エフェクト適用・実写合成中心) Adobe Premiereの基本操作ができるようになる。(カット編集中心) Youtubeに動画投稿し、自身が制作した動画を他社に共有できるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	【Ae】AfterEffectsの基本操作理解。 新規プロジェクト作成、コンポジション作成、平面作成、テキスト入力、図形作成、素材読み込み。最終課題説明。						
2回目	【Ae】キーフレームアニメーションの理解。 基本的なパラメータを使用したキーフレームアニメーションの作成、動画書き出し方法を学ぶ。						
3回目	【Ae】トランジションの作成。 キーフレームアニメーションを用いてトランジション映像を作成し、発表をする。						
4回目	【Ae】テキストアニメーションを理解し、リリックビデオ制作に役立つ機能を取得する。						
5回目	【Ae】テキストアニメーションを理解し、リリックビデオ制作に役立つ機能を取得する。 エフェクトやテキストアニメーションプリセットを利用し、短いリリックビデオを作成、発表する。						
6回目	【Ae】エフェクトを理解し、ダンスビデオ制作に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材にエフェクトを適用し、エフェクトの機能を学ぶ。						
7回目	【Ae】エフェクトを理解し、ダンスビデオ制作に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材にエフェクトを適用し、動画を作成、発表する。						
8回目	【Ae】自動トラッキング機能について理解し、実写合成に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材と入力したテキストを合成する。						
9回目	【Pr】Premiereの基本操作理解。 新規プロジェクト作成、シーケンス作成、素材の読み込み、カット編集、字幕入力、色調補正、動画書き出し。Youtubeに動画を投稿しURLを共有する。						
10回目	最終課題選定。リリックビデオ・ダンスビデオ、実写合成から最終課題のジャンルを選択し、映像の構成を考える。 アイデア出し～絵コンテ制作について理解し、完成させる。						
11回目	個人制作						
12回目	個人制作						
13回目	個人制作と最終課題の提出(Youtubeに投稿しリンクを提出する) 到達度テスト						
14回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
15回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
準備学習 時間外学 習	定期的にメディアやサイト、店舗で雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みをよく考える						
評価方法	筆記又は、実技テストによる採点						
受講生への メッセージ	映像・写真を用いた魅力的な作品（ポートフォリオ）を制作できるようになってください。						
【使用教科書・教材・参考書】 Mac,Microsoft office,Adobeアプリケーション							

科目名 (英)	グローバルコミュニケーション Global Communication	必修 選択	選択	年次	1.2.3	担当教員	ILC
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分	受講者のレベルにより異なる
						曜日・時限	受講者のレベルにより異なる
【授業の学習内容】 日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。 ※講師1 実務者経験：2001年より日本にて英会話講師の経験あり ※講師2 実務者経験：2000年より日本にて教授をしている。小学、中学、高等学校等で英会話の教授経験あり。							
【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	EVOLVE UNIT 01 ※使用テキスト (EVOLVE1.2.3) は受講者レベルにより異なる						
2回目	EVOLVE UNIT 02						
3回目	EVOLVE UNIT 03						
4回目	EVOLVE UNIT 04						
5回目	EVOLVE UNIT 05 授業内小テスト						
6回目	EVOLVE UNIT 06						
7回目	中間試験						
8回目	EVOLVE UNIT 07						
9回目	EVOLVE UNIT 08						
10回目	EVOLVE UNIT 09						
11回目	EVOLVE UNIT 10 授業内小テスト						
12回目	EVOLVE UNIT 11						
13回目	EVOLVE UNIT 12						
14回目	試験前対策						
15回目	期末試験						
準備学習 時間外学 習	事前に教科書を読んでおきましょう。						
評価方法	TOEIC中間・期末試験の結果 60% 授業内小テストの結果 10% 授業内課題への取り組み 10% 出席状況 20%						
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！						
【使用教科書・教材・参考書】 EVOLVE1.2.3 ※受講者のレベルにより異なる							

科目名 (英)	韓国語講座 I Korean	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松浦 彩李
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜2限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>文字の読み、書き、発音。挨拶をする/ 自己紹介をする。国籍、趣味、職業、好みを尋ねる。家族紹介をする。場所を尋ねる。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>文字を読める書ける。 簡単な挨拶が出来る。 平易な韓国語が理解でき、初歩的な韓国語でコミュニケーションがとれるようになる</p>							

授業計画・内容	
1回目	ハングルの仕組みと基本母音字
2回目	子音字 (1) 平音
3回目	子音字 (2) 激音、濃音
4回目	合成母音字
5回目	パッチム (一文字パッチム、二文字パッチム)
6回目	日本語のハングル表記、辞書引き方、キーボードの打ち方、発音上手になるコツ、小テスト (単語の正しい表記、発音通りの表記)
7回目	自己紹介：私は日本人です (～は、～です、～と申します、～といいます)
8回目	趣味は何ですか？ (～が、～は、～ですか) 語彙 単語
9回目	韓国人ではありません (～でいらしゃいますか、～ではありません)
10回目	今、日本にいます (あります・います/ありません・いません) 、こそあど言葉
11回目	週末には普段何をしていますか？ (します、しています、～です、～ですか)
12回目	演劇を見ます (です、ますのかしこまった丁寧語、用言の否定語、動詞の反対語、ハッピーバースデーの歌)
13回目	何料理が好きですか (です、ますの打ち解けた丁寧語)
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	テキストを見て学習した内容の復習をしましょう
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 5 0 % ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】小テスト 5 0 %
受講生への メッセージ	前期の授業ですべての韓国語の文字が読めます。文字が読めるとKPOPももっと楽しめます 自分の名前も韓国語で書いて簡単な自己紹介もできます。
【使用教科書・教材・参考書】	
楽しく学べる韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座 II Korean	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松浦 彩李
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜2限
【授業の学習内容】 値段を尋ねる（買い物）。予定について話す。道を尋ねる。食事や映画を誘う。希望を述べる。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。 日本認定心理士の資格を持つ。							
いつ、どこ、誰が、なぜ、どのように、いくらなどを使って簡単な会話できる。韓国旅行で買い物ができる。 電車に乗ったり、道を尋ねる事が出来る。食堂で好きな食べ物を注文することなど簡単な会話ができる。							
授業計画・内容							
1回目	とても素敵でよかったです 用言の過去形（～した、～かった、だった）形容詞の反対語						
2回目	この靴いくらですか？ 漢数詞いち、に、さん,,,,, けれど～ですね						
3回目	夕方6時から10時まであります、固有数詞一つ、二つ、三つ,,,,						
4回目	運転できますか 可能、不可能の表現						
5回目	食事はされましたか 敬語（現在の尊敬語、～なさる、～される/過去の敬語、～なさった）						
6回目	旅行はどこへ行きますか 勧誘形、しましょう/ざんざいな言い方/助詞～で、～の方へ						
7回目	映画を見たいです ～がしたい/～したがる						
8回目	写真を撮ってもいいですか してもいい/してみる/しないでください禁止						
9回目	報告書を作らなければなりません 義務、条件 しなければなりません						
10回目	コンビニがあるのでそこで尋ねてください 原因、理由 ～だから、～ので						
11回目	何をなさいますか ～します意志や推測の表現						
12回目	冬休みの時何をするつもりですか ～と思います、～のために						
13回目	<期末テスト>						
14回目	9月特別授業						
15回目	9月特別授業						
準備学習 時間外学 習	特にありません。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 50% ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】小テスト 50% 						
受講生への メッセージ	文字は読めるようになったので、楽しく、しっかり基礎を勉強することによって、ますます興味を持つようになると思います。 たいことを会話文を作ってどんどん話しましょう。 同じなので単語はたくさん覚えましょう。						これからは自分で言い 日本語の語順とほぼ
【使用教科書・教材・参考書】 楽しく学べる韓国語							

科目名 (英)	韓国語講座Ⅲ Korean	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦 彩李
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜2限
【授業の学習内容】 初対面の人と話す。趣味、家族、職業について話す。手紙やメールを書く。道案内をする。誘ったり、希望を述べる 感想をいう。							
(講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。 日本認定心理士の資格を持つ。							
【到達目標】 自己紹介と他人の紹介ができる。交通手段を尋ねる事ができる。手紙やメールを書ける。誘ったり、希望を述べたり、 感想をいう事ができる。							

授業計画・内容	
1回目	お名前は何とおっしゃいますか (インタビューする) 会話 単語 表現
2回目	打ち解けた敬語 〜でいらっしゃいますか/条件、仮定 〜たら /意図、計画 〜しようと思います①練習問題 日本語を韓国語に訳する
3回目	朝子といいますが、日本から来ました (自己紹介) 会話 単語 表現
4回目	説明、紹介 〜なので/ 以来、期間〜してから/動作の順序〜した後で、〜する前に 1) メールを読む
5回目	魚は焼かないでください (決まりを言う) 会話 単語 表現
6回目	義務〜しなければなりません 2) メールを読む ② 練習問題 日本語を韓国語に訳する
7回目	丁寧な命令、許可、禁止〜ください/〜でもいいですか/〜してはいけません
8回目	ファンの集いに行くことになりました (約束をする) 会話 単語 表現
9回目	形容詞の連体形〜な、〜い/理由〜で、〜なので/決心〜することになりました ③ 練習問題 日本語を韓国語に訳する
10回目	道を渡って左にずっと行ってください (道案内をする) 会話 単語 表現
11回目	位置を表す語 前、後、左、右/ 手段〜で/動作の順序〜してから 3) メールを書く
12回目	ファンの集いに行ってみてください… (感想を言う) 会話 単語 表現
13回目	動作、存在の現在連体形 〜している、〜する~/試行、経験 〜してみました
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	特にありません。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 50% ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】小テスト 50%
受講生への メッセージ	日常会話が少しずつ言えるようになります。 KPOPの歌詞も少しずつ訳することができます。
【使用教科書・教材・参考書】 楽しく学べる韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座 IV Korean	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦 彩李
学科・コース	スーパーエリタレント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜2限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>一日の日課を話す。敬語で丁寧に依頼する。体の具合を言う。人の趣向や性格を言う。間接話法で伝える。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>最近のマイブームや経験したことを話すことが出来る。敬語を使ってより丁寧な依頼をすることができる。体の具合を説明できる。間接話法で伝えることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	「朝子さん的一天」 読解 読んで韓国語で質問したり、答えましょう
2回目	「少し安くしてください」店での買い物 依頼
3回目	～してみてください(勧誘/アドバイス) /～させていただきますか(より丁寧な依頼)
4回目	「私の気持ちですから受け取ってください」(プレゼントする) ～だから(理由)
5回目	～ですね(感嘆) /～そうです、～だろうと思います(推測)
6回目	「咳がひどくて眠れませんでした」(体の具合をいう)
7回目	～出来ない(不可能) /～時、するとき(時間、場合)
8回目	「字幕を見ながら勉強しています」(勉強の仕方話す)
9回目	～する方です(傾向) /～しながら(同時、並行動作) /～するのが(事柄)
10回目	「今日は来られないそうです」(話を伝える、間接話法)
11回目	～だそうです、～だったそうです(間接話法過去)
12回目	久しぶりに来てみて、どうですか(思い出を話す)
13回目	<期末テスト>
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	特にありません。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 50% ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】小テスト 50%
受講生への メッセージ	日常会話が出来て、一人で韓国に行った場合でも基本的な事柄に対応が出来るようになります。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>ちよこつとチャレンジ！韓国語</p>	

科目名 (英語表記)	キャリア教育 I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。

【到達目標】

1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる
2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. 自己の働く意義（勤労観・職業観）を説明できる
4. 目指す音楽業界を理解し、その特徴を説明できる
5. 自己実現（夢をかなえる）のための目標設定をし実践できる

授 業 計 画 ・ 内 容

1 回目	集団（クラス）づくりの理解と実践（集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う）
2 回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
3 回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか？「集団での役割」の理解と実践
4 回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5 回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>
6 回目	グループワーク：音楽業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7 回目	グループワーク：音楽業界研究と自己の進路を考える ①
8 回目	グループワーク：人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9 回目	グループワーク：希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返る
10 回目	グループワーク：夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11 回目	グループワーク：音楽業界研究と自己の進路を考える ②
12 回目	グループワーク：セルフマネジメント（自己理解）とチームマネジメント（協働作業）の振り返り
13 回目	グループワーク：振り返りとこれからの目標を設定する
14 回目	CSU検定試験対策
15 回目	CSU検定試験
準備学習 時間外学 習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。</p>							
【到達目標】							
<ol style="list-style-type: none"> 1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる 							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	自己理解 ① 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
2 回目	自己理解 ② 自己PR/履歴書作成 <自己PR・趣味特技>
3 回目	自己理解 ③ 自己PR/履歴書作成 <専門分野・関心事>
4 回目	自己理解 ④ 自己PR/履歴書作成 <志望動機・立志作文>
5 回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6 回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7 回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8 回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + a」を学ぶ
9 回目	社会人準備 ② マネー教育（収入と支出のバランスを学ぶ）
10 回目	社会人準備 ③ 社会保険や税の仕組みなどを学ぶ
11 回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareFSM準備活動> ・ 自己理解とインターンシップ準備 ①
12 回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareFSM準備活動> ・ 自己理解とインターンシップ準備 ②
13 回目	卒業進級制作展 We are FSM
14 回目	卒業進級制作展 We are FSM
15 回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。</p>							
【到達目標】							
<ol style="list-style-type: none"> 1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. ホスピタリティを実践し、視野を拡大する。 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる 4. インターンシップ、オーディションなど現場で行動できるコミュニケーション力をつける 							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ① 個人スピーチの実施（自己肯定感を高める。）
2回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ② 個人スピーチの実施（自己肯定感を高める。）
3回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ③ 個人スピーチの実施（自己肯定感を高める。）
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8回目	グループワーク ① チームワーク力
9回目	グループワーク ② プレゼンテーション力
10回目	グループワーク ③ イノベーション力
11回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ①
12回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ②
13回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ③
14回目	就職・デビュー対策講座① ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
15回目	就職・デビュー対策講座② ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。

【到達目標】

1. スピーチ能力を高める
2. 自分自身をしっかりと表現できる
3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる
4. インターンシップ、オーディションなど現場で行動できるコミュニケーション力をつける

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ① 個人面談 (面接練習)
2回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ② 個人面談 (面接練習)
3回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ③ 個人面談 (面接練習)
4回目	SNSについて学ぶ
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8回目	スピーチ練習 スピーカーとは
9回目	スピーチ練習 表現力を高める
10回目	スピーチ練習 相手に伝えるには
11回目	自己プロフィールを書く 将来の夢
12回目	自己プロフィールを書く 一番得意な事
13回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
14回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
15回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅴ	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	各担任により開講
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。</p>							
【到達目標】							
1. 就職活動、デビュー活動を円滑に行うことが出来る							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	個人面談① 卒業後の目標を設定する
2回目	個人面談② 卒業後の目標を設定する
3回目	個人面談③ 卒業後の目標を設定する
4回目	プロフィールシート、履歴書の書き方① 書式の説明
5回目	プロフィールシート、履歴書の書き方② 記入
6回目	プロフィールシート、履歴書の書き方③ チェック～フィードバック
7回目	プロフィールシート、履歴書の書き方④ 修正～完成
8回目	面接練習①
9回目	面接練習②
10回目	面接練習③
11回目	面接練習 フィードバックと今後の対策
12回目	前期のまとめ
13回目	就職・デビュー対策講座③ ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
14回目	就職・デビュー対策講座④ ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
15回目	就職・デビュー対策講座⑤ ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	
新社会人の基礎力のテキスト（株式会社 教育企画センター）	

科目名 (英語表記)	キャリア教育VI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	各担任により開講
		授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeインターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。</p>							
【到達目標】							
1. 就職活動、デビュー活動を円滑に行うことが出来る							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	新社会人の基礎力テキスト第1章「会社に入ること」① 第1章01-10
2 回目	新社会人の基礎力テキスト第1章「会社に入ること」② 第1章11-20
3 回目	新社会人の基礎力テキスト第2章「組織の中で働くということ」①第2章21-29
4 回目	新社会人の基礎力テキスト第2章「組織の中で働くということ」②第2章30-39
5 回目	新社会人の基礎力テキスト第3章「自分を成長させるキャリアパス」①第3章40-47
6 回目	新社会人の基礎力テキスト第3章「自分を成長させるキャリアパス」②第3章48-58
7 回目	新社会人の基礎力テキスト第4章「社会人の基礎力を高める」①第4章59-67
8 回目	新社会人の基礎力テキスト第4章「社会人の基礎力を高める」②第4章68-74
9 回目	新社会人の基礎力テキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」①第5章75-86
1 0 回目	新社会人の基礎力テキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」②第5章87-95
1 1 回目	新社会人の基礎力テキスト第6章「社会人として自分を守り高める」①第6章96-102
1 2 回目	新社会人の基礎力テキスト第6章「社会人として自分を守り高める」②第6章103-109
1 3 回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
1 4 回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
1 5 回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	
新社会人の基礎力のテキスト（株式会社 教育企画センター）	

科目名 (英)	楽器演奏基礎 I Basic Instrumental Technique	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	田中 華愛
学科・コース	スーパー・エンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜3限
【授業の学習内容】							
<p>ヒット曲にも多い基本のコード進行を使い、アレンジやリズムパターンのレパートリーも増やしていきます。 Logicを使いながら、作曲やアレンジに必要なコードの基礎やピアノの役割をしっかりと学びます。 この1年間で作曲、アレンジに必要な引き出しを増やします。 (講師プロフィール) アーティストの楽曲アレンジやバンドサポート、又CMロゴサウンドや校歌のアレンジ作成、ピアノのBGM演奏など様々なシーンで活躍している講師が、作曲やアレンジに必要なコードやフレーズなどを基礎から教えます。</p>							
【到達目標】							
<p>曲やメロディーをより引き立てるヴォイスिंगを使うことができる 基本のコード進行の中でも更にオリジナリティーのコードアレンジをすることが出来る。 効果的にピアノの音色やフレーズを取り入れることができる。 サンプリングフレーズを作ることが出来る。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ダイアトニックスケールと3和音のダイアトニックコードを習得できる。メジャーコードとマイナーコードを理解できる。
2回目	key=Cの3コードを転回形で演奏できる。音符の長さや拍子を理解しリズム伴奏できる。
3回目	3コードを使って楽曲に伴奏スタイルを打ち込むことができる。また楽譜を読み書きすることができる。
4回目	【3コード+1】の進行で流行りの曲を演奏できる。4156進行key=C
5回目	【3コード+1】4156進行を使い、key=Fとkey=Gで伴奏を作ることができる。
6回目	【3コード+1】1564進行と162(4)5進行をkey=B♭とkey=Dで転回形を取り入れて8ビートで伴奏できる。
7回目	【3コード+1】※課題→6451進行を使い決められたサイズの楽曲を作ることができる。及び提出。
8回目	【6254進行】あらゆるヒット曲に多用される6254進行を理解し、key=E♭の第一転回形スタートで8ビートの両手伴奏ができる。
9回目	【6254進行】6254進行をkey=Aの第二転回形スタートで16ビートのバックギンができる。
10回目	【6254進行】6254進行をkey=Eの3連符のハネのリズムで伴奏し、課題曲に合ったヴォイスिंगを作ることができる。
11回目	4和音のダイアトニックコードで7thコードを習得することができる。
12回目	【4321進行】4和音のヴォイスिंगの作り方と両手でのハーモニーを習得することができる
13回目	テスト→筆記&実技
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学 習	ヒットランキング上位に入った楽曲のコードを使いながら学んでいきます。 また、好きなジャンルだけでなく、ジャンルは問わず幅広く音楽を聴いてください。 学んだことは自分で使うこと！
評価方法	筆記と実技とアレンジ音源提出
受講生への メッセージ	ピアノの授業は1年間しかありません。作曲をする上で鍵盤は必須となりますので、頑張って1年間続けましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Logicが入ったPCと五線譜は毎回持ってきてください。	

科目名 (英)	楽器演奏基礎Ⅱ Basic Instrumental Technique	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	田中 華愛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 後期は引き続きヒット曲の参考曲を使用し、ピアノ以外の音色も取り入れながら、さらに自分らしいアレンジができるような伴奏スタイルとハーモニーアレンジを身につけます。 (講師プロフィール) アーティストの楽曲アレンジやバンドサポート、又CMロゴサウンドや校歌のアレンジ作成、ピアノのBGM演奏など様々なシーンで活躍している講師が、作曲やアレンジに必要なコードやフレーズなどを基礎から教えます。							
【到達目標】 曲やメロディーをより引き立てる伴奏パターンやアレンジをすることが出来る。 効果的にピアノの音色やフレーズを取り入れることができる。 ピアノ以外の鍵盤の音色やその楽器に合ったフレーズを作ることが出来る。 テンションノートも取り入れることができる。							

授業計画・内容	
1回目	【456進行】add、sus、dimなどを理解できる。また指定曲にaddやsusを使いシンコペーションで演奏することができる
2回目	【456進行】オルガンの音色で音を繋ぐ奏法や、グリスなどの様々な奏法を習得できる
3回目	【カノンコード】key-Cでカノンコードを習得することができる
4回目	【カノンコード】分数コードを理解できる。トニックペダルやクリシェを理解し演奏することができる
5回目	【カノンコード課題】stringsで伸ばした音やピッチカートのフレーズを作ることができる→課題提出
6回目	ペンタトニックやマイナーペンタトニックスケールを使いシンセでリフを作ることができる
7回目	【Just the two of us進行】key=Cで基本的な進行とヴォイシングを身に付けることができる
8回目	【Just the two of us進行】key=E♭で課題曲に合ったヴォイシングとバックアップができる
9回目	【Just the two of us進行】同じ曲サイズで違うアレンジを作ることができる
10回目	独立した旋律でカルテットのハーモニーを作ることができる
11回目	テストと楽曲提出
12回目	授業振り返り
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	音楽の聴き方が変わって来たと思います。 後期はピアノ以外の音色も取り入れて、その楽器に合う伴奏パターンやハーモニーのアレンジなども扱っていきますので、普段から音楽を聴く際に耳を鍛えておいて下さい。
評価方法	アレンジ音源提出
受講生への メッセージ	いよいよ後期になりました。他人と比べる前にしっかり【自分】を活かして、自分にしかできない楽曲を世界に届けていけるよう、後期も学ぶことの楽しさを忘れずに！！ 曲を作るのは0から物を作ること。いつでも多様な材料を出せるように引き出しを沢山準備しておきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 PCと五線譜は毎回持ってきてください。	

科目名 (英)	楽器演奏基礎Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	Jammy
	Basic Instrumental TechniqueⅢ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	火曜日3限
【授業の学習内容】 現場での即戦力となる知識と技術を身につけ、【アーティスト】としての活動に力を入れていく。							
<講師プロフィール> 国内外でのDJ・オリジナル曲リリースはもちろん、NBA/バスケットボールでのスポーツDJやCROSSFMでのレギュラーなど活動は多岐にわたる。また、オーガナイザーとしても活動しており、科学館やお寺などでイベントを行い必ず成功させるトータルプロデュースも行っている。DJ配信サポートやDJ派遣も担当中。							
【到達目標】 機材に触れ、Djとしての基礎技術を身につける。また、音楽のジャンルについての知識を手に入れる。							

授業計画・内容	
1回目	DJで使う楽曲について・楽曲ダウンロード
2回目	機材に慣れる（機材名称の説明・CUEポイントやBPMのお話・簡単な操作）
3回目	機材に慣れる（ヘッドホンを使ってキック合わせの練習・フェードインやフェードアウトで曲を繋いでみる練習）
4回目	機材に慣れる（ヘッドホンを使ってキック合わせの練習・フェードインやフェードアウトで曲を繋いでみる練習）
5回目	機材に慣れる（楽曲ダウンロード・カットインやカットアウトの練習）
6回目	MIX講座（基本的なMIXの技術を学ぶ・音楽のジャンルのお話）
7回目	MIX講座（基本的なMIXの技術を学ぶ・曲の構成について知る）
8回目	MIX講座（基本的なMIXの技術を学ぶ・曲の構成について知る）
9回目	MIX講座（基本的なMIXの技術・課題曲からランダムに選んでMIX練習）
10回目	MIX講座（基本的なMIXの技術を学ぶ・FXを使ったMIX）
11回目	MIX講座（基本的なMIXの技術を学ぶ・FX・イコライザーを両方使ったMIX）
12回目	シチュエーションを決めて30分MIXを作る
13回目	シチュエーションを決めて30分MIXを作る
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学習	とにかく毎日音楽に触れてみてください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生への メッセージ	憧れのステージに立っているDJもしっかりと地道な努力をしています。一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 Rekordbox（フリーダウンロードソフト）	

科目名 (英)	楽器演奏基礎Ⅳ Basic Instrumental TechniqueⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	Jammy
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日3限
【授業の学習内容】 現場での即戦力となる知識と技術を身につけ、【アーティスト】としての活動に力を入れていく。							
<講師プロフィール> 国内外でのDJ・オリジナル曲リリースはもちろん、NBA/バスケットボールでのスポーツDJやCROSSFMでのレギュラーなど活動は多岐にわたる。また、オーガナイザーとしても活動しており、科学館やお寺などでイベントを行い必ず成功させるトータルプロデュースも行っている。DJ配信サポートやDJ派遣も担当中。							
【到達目標】 自身のスタイルを確立させ、フォーカスして自己プロモーション力と配信能力・DJとしての知識を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	前期の復習と課題MIXの添削及び見直し・クラブDJのお話
2回目	シチュエーションを決めたMIX作成・Mixcloudでのアカウント作成
3回目	シチュエーションを決めたMIX作成・録音・ジャケット作成
4回目	シチュエーションを決めたMIX作成・録音・アップロード
5回目	R&B・HIPHOPのMIXトレーニング (クラブDJデビュー前トレーニング)
6回目	Latin・LowbeatのMIXトレーニング (クラブDJデビュー前トレーニング)
7回目	POP・KPOPのMIXトレーニング (クラブDJデビュー前トレーニング)
8回目	HOUSE・EDMのMIXトレーニング (クラブDJデビュー前トレーニング)
9回目	Transitionを使ったMIXテクニック (クラブDJデビュー前トレーニング)
10回目	各ジャンルから3つスタイルを選びスリースタイルDJmixをつくる (クラブDJデビュー前トレーニング)
11回目	各ジャンルから3つスタイルを選びスリースタイルDJmixをつくる (クラブDJデビュー前トレーニング)
12回目	各ジャンルから3つスタイルを選びスリースタイルDJmixをつくる (クラブDJデビュー前トレーニング)
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外 学習	いつでも現場に出れるように、日々音楽のジャンルについてや雰囲気での選曲ができるようにイメージトレーニングが必要になります。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	後半は頑張り次第でどんどん現場活動が多くなります。しっかり出席しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Rekordbox	

科目名 (英)	楽器演奏基礎V	選択 必修	選択必修	年次	3	担当教員	北山幸恵
	Basic Instrumental Technique V	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ソロピアニストにとって必要なテクニック、表現力の向上、対応力を身につける。 指の故障のない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続。 (講師プロフィール) 式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。							
【到達目標】 テクニックや表現も含め、人の前で心打つ演奏、独奏を目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	指の故障がない様、全部のキーでストレッチエクササイズを行う。
2回目	ダイナミックレンジを意識し、強・中・弱音を身につける。
3回目	ダイナミックマークの付いた楽譜を用いて指定されたとおりに実践する。
4回目	曲を完成する。
5回目	スタッカートとテヌートの違いを理解し弾き分ける。
6回目	音を採譜し、五線紙上に完成させる。
7回目	コードの特性を理解し、いろいろなパターンでリハーモナイズを行う。
8回目	ソロピアノ曲を指導する。
9回目	指導した曲を発表する。
10回目	初見力を充実させ初心者の指導できる様、指導する。
11回目	今までの総合復習
12回目	実技テスト
13回目	期末テスト
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学 習	人の前で、心打つ演奏する事をこの1年間で意識する。
評価方法	12週目に行う実技テスト (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	心打つ演奏とは何なのかを自らよく、この1年間考えてください。
【使用教科書・教材・参考書】 スタンダード曲集、ハノン、クラシック集、スタンダードジャズ集、プリント等	

科目名 (英)	楽器演奏基礎VI	選択 必修	選択必修	年次	3	担当教員	北山幸恵
	Basic Instrumental TechniqueVI	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ソロピアニストにとって必要なテクニック、表現力の向上、対応力を身につける。 指の故障のない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続。 (講師プロフィール) 式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。							
【到達目標】 テクニックや表現も含め、人の前で心打つ演奏、独奏がたくさんできる事を目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	夏休み期間の課題を発表。
2回目	今までの復習テスト、理解できなかった箇所を確認する。
3回目	ロングトーンアルペジオのエクササイズを指導。
4回目	ジャンルによるバックングを理解する。
5回目	ジャンルによるバックングを実践する。
6回目	ボーカルとのデュオの実践を希望する。
7回目	ソロピアノ曲を指導。
8回目	指導した曲を発表。
9回目	初心者指導の実習を希望する。
10回目	今までの総合復習①
11回目	今までの総合復習②
12回目	実技テスト
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	授業以外、プライベートでいろいろな曲の研究を希望します。
評価方法	12週目に行う実技テスト (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	できれば人の前で発表できる曲をたくさん集めて暗譜する事を希望します。
【使用教科書・教材・参考書】 スタンダード曲集、ハノン、クラシック曲集、プリント等	

科目名 (英)	DTM I	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	向野 友規
学科・コース	DTM I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
	スーパーエディター・音楽プロデューサー・パフォーマンスツール					曜日・時限	月1限・2限・火2限

【授業の学習内容】

楽曲制作を行う為に必要なLogic Proの操作方法を学びます。

<実務者経験>

「もち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。

【到達目標】

- 上半期を通して簡単なオリジナル曲を作ることが目標です。最後の授業ではオリジナル曲をみんなの前で発表してもらいます。
- 編集ウィンドウを理解出来るようになる
- コピー & ペーストなどのLogicの基本操作を理解できるようになる
- オーディオインターフェイスを使用、レコーディングできるようになる
- MIDIでのレコーディングができるようになる

授業計画・内容

1回目	■ プロジェクトの立ち上げ、保存 ■ バウンス
2回目	■ MIDIとオーディオについて ■ オーディオインターフェイス、MIDIキーボードでのレコーディング
3回目	■ 基本的な操作方法を学びながら、ソフトウェア音源とオーディオを組み合わせた短い曲を作る (1/2)
4回目	■ 基本的な操作方法を学びながら、ソフトウェア音源とオーディオを組み合わせた短い曲を作る (2/2)
5回目	■ データの送受信(AirDrop、ギガファイル便) ■ パラアウト
6回目	■ Logicの詳細なウィンドウなど ■ コントロールバーとディスプレイのカスタマイズ ■ トラックスタック
7回目	■ キーコマンドの変更方法 ■ ソロツール、ミュートツールなど
8回目	■ Logic付属のインストゥルメンツについて ■ 即戦力になる音源の紹介 ■ テンプレートの作り方
9回目	■ エフェクト初級① イコライザー
10回目	■ エフェクト初級② リバブ、ディレイ
11回目	■ エフェクト初級③ コンプレッサー
12回目	■ シンセサイザーの基本について理解できる (1/2) ■ 基本の波形の種類、音色の違いについて
13回目	■ サンプリング (Sampler & Quick Sampler) や逆再生など、オーディオに関するテクニックを用いてトラック制作
14回目	■ 音色変化が効果的なエフェクトやエフェクトのオートメーションを使用しトラック制作
15回目	■ サイドチェーン (サイドチェーンコンプ、ポコーダー) を使用しトラック制作
準備学習 時間外学習	DAWは音楽を皆さんのやりたい音楽を形にするためのツールです。そのために音楽の3大要素である「メロディ」「リズム」「ハーモニー」を他の授業でしっかりと学んでください。また、DAW = 楽器です。毎日触らないと腕が落ちてしまうので、自宅でも毎日触る時間を作ってください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎週の課題内容の理解と実践度 ■ 定期的に制作する作品の完成度 ■ 受講態度 (主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	スポーツでいうと基礎体力を作るための「筋トレ」や「走り込み」に当たるフェーズです。ここで勉強したことは、これから先自分がやりたい音楽の制作に必ず応えてくれるので、一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

Macbook.Logic Pro X

科目名 (英)	DTM II	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	向野 友規
	DTM II	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月1限・2限・火2限

【授業の学習内容】

楽曲制作を行う為に必要なLogic Proの操作方法を学びます。

<実務者経験>

「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。

【到達目標】

- 上半期を通して簡単なオリジナル曲を作ることが目標です。最後の授業ではオリジナル曲をみんなの前で発表してもらいます。
- 編集ウィンドウを理解出来るようになる
- コピー & ペーストなどのLogicの基本操作を理解できるようになる
- オーディオインターフェイスを使用、レコーディングできるようになる
- MIDIでのレコーディングができるようになる

授業計画・内容

1回目	■ プロジェクトの立ち上げ、保存 ■ バウンス
2回目	■ MIDIとオーディオについて ■ オーディオインターフェイス、MIDIキーボードでのレコーディング
3回目	■ 基本的な操作方法を学びながら、ソフトウェア音源とオーディオを組み合わせた短い曲を作る (1/2)
4回目	■ 基本的な操作方法を学びながら、ソフトウェア音源とオーディオを組み合わせた短い曲を作る (2/2)
5回目	■ データの送受信(AirDrop、ギガファイル便) ■ パラアウト
6回目	■ Logicの詳細なウィンドウなど ■ コントロールバーとディスプレイのカスタマイズ ■ トラックスタック
7回目	■ キーコマンドの変更方法 ■ ソロツール、ミュートツールなど
8回目	■ Logic付属のインストゥルメンツについて ■ 即戦力になる音源の紹介 ■ テンプレートの作り方
9回目	■ エフェクト初級① イコライザー
10回目	■ エフェクト初級② リバブ、ディレイ
11回目	■ エフェクト初級③ コンプレッサー
12回目	■ シンセサイザーの基本について理解できる (1/2) ■ 基本の波形の種類、音色の違いについて
13回目	■ サンプリング (Sampler & Quick Sampler) や逆再生など、オーディオに関するテクニックを用いてトラック制作
14回目	■ 音色変化が効果的なエフェクトやエフェクトのオートメーションを使用しトラック制作
15回目	■ サイドチェーン (サイドチェーンコンプ、ポコーダー) を使用しトラック制作
準備学習 時間外学習	DAWは音楽を皆さんのやりたい音楽を形にするためのツールです。そのために音楽の3大要素である「メロディ」「リズム」「ハーモニー」を他の授業でしっかりと学んできて下さい。また、DAW = 楽器です。毎日触らないと腕が落ちてしまうので、自宅でも毎日触る時間を作ってください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎週の課題内容の理解と実践度 ■ 定期的に制作する作品の完成度 ■ 受講態度 (主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	スポーツでいうと基礎体力を作るための「筋トレ」や「走り込み」に当たるフェーズです。ここで勉強したことは、これから先自分がやりたい音楽の制作に必ず応えてくれるので、一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

Macbook.Logic Pro X

科目名 (英)	DTMⅢ	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	向野 友規
	DTMⅢ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeインターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	金2限
【授業の学習内容】							
Apple Logicを使用し、トレンド感のある音色作りの手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。							
＜実務者経験＞							
「もち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ■ リリースカットピアノの音色を作れるようになる ■ ボーカルチョップを作れるようになる ■ トレンド感のある音色作りの手法の習得 							

授業計画・内容	
1回目	■ シラバス及び到達目標の確認
2回目	■ ボリュームフェーダー、パンのみを使用したミキシング①
3回目	■ ボリュームフェーダー、パンのみを使用したミキシング②
4回目	■ リリースカットピアノを使用したトラック制作①
5回目	■ リリースカットピアノを使用したトラック制作②
6回目	■ ボーカルチョップの作り方①
7回目	■ ボーカルチョップの作り方②
8回目	■ レイヤー、音の高さ①
9回目	■ レイヤー、音の高さ②
10回目	■ サンプルを使ったフィルインや展開の制作①
11回目	■ サンプルを使ったフィルインや展開の制作②
12回目	■ 作曲スピードを高めるための効率の上げ方
13回目	■ MIDIエフェクトを用いたトラック制作
14回目	■ 独自性のある音色の制作（グラニュラーシンセシス）
15回目	■ 総括
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 40% ■ 受講態度 30% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	シンセサイザーは現代の音楽で必ずと言っていいほど使われる楽器になります。正解がない音色をどのように作り出すのか学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Logic Pro X、Noise Maker、Vital、Serum	

科目名 (英)	DTMIV	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	向野 友規
	DTMIV	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科					曜日・時限	金2限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>Apple Logicを使用しダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。</p> <p><実務者経験></p> <p>「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>■近年よく使われているダンスミュージックのジャンルを理解し、作れるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	■シラバス及び到達目標の確認
2回目	■Houseのトラックを制作
3回目	■Houseのトラックを制作
4回目	■Hiphop / Trapのトラックを制作
5回目	■Hiphop / Trapのトラックを制作
6回目	■Future Bassのトラックを制作
7回目	■Future Bassのトラックを制作
8回目	■Drum'n'Bassのトラックを制作
9回目	■Drum'n'Bassのトラックを制作
10回目	■Garageのトラックを制作
11回目	■Garageのトラックを制作
12回目	■Lo-Fi Hip Hopのトラックを制作
13回目	■Lo-Fi Hip Hopのトラックを制作
14回目	■Ambientのトラックを制作
15回目	■総括
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	2年生は初めての後輩を引っ張る立場として各々のスキルを磨いていきましょう。またダンスミュージックの知識を身につけたらいいなと思っています。

科目名 (英)	メロディーメイキング I	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	小山 哲平
	Melody Making I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	水曜日 3限
【授業の学習内容】							
メロディの役割や作曲におけるメロディラインの作り方を学びます。各ジャンルでの違いや、コードやスケールとの兼ね合いも合わせて学習します。							
<実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。							
【到達目標】							
コードやスケールとの兼ね合いを理解し、ディスコードなくメロディが作れる。又、そのジャンルにおけるメロディの特徴を作品に組み込むことができる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認、音楽の三大要素を理解し、作ったメロディをボイスメモを使って残すことができる。
2回目	調とメロディの役割を理解し、調とあったメロディを作れるようになる
3回目	コードとメロディの関係を理解し、メロディに適切なコードを選択できるようになる(メジャーダイアトニックコード) ※コードプレイヤーを使用
4回目	コードとメロディの関係を理解し、メロディに適切なコードを選択できるようになる(マイナーダイアトニックコード) ※コードプレイヤーを使用
5回目	コードとメロディの関係を理解し、コードに沿ったメロディが作れるようになる(メジャー・マイナー) ※コードプレイヤーを使用
6回目	一曲を通しての構成を理解し、聴き取ることができるようになる。
7回目	一曲を通しての構成を理解し、メロディが作れるようになる ※シンセサイザーVを使用
8回目	歌物とinst物の違いを理解し、音域通りのメロディが作れるようになる(歌物)
9回目	チャート上位の楽曲を聴き、メロディの動きを分析する①
10回目	チャート上位の楽曲を聴き、メロディの動きを分析する②
11回目	分析をふまえ、耳に残るメロディの動きと構成を考える
12回目	作詞について 実技テスト
13回目	テストを終えて、後期への課題の明確化と実践
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	楽曲制作をしながら講義の復習を積極的におこなってください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎週の課題内容の理解と実践度 ■ 定期的に行う作品の完成度 ■ 受講態度(主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	メロディは作曲をするにあたって最も大切な要素と言っても過言ではありません。耳に残るメロディを目指し、作れるように学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングⅡ	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	小山 哲平
	Melody Making Ⅱ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	水曜日 3限
【授業の学習内容】							
メロディの役割や作曲におけるメロディラインの作り方を学びます。後期では各楽器についての知識を得て、より高度で演奏する楽器や声に沿ったメロディを作れるように学習します。							
<実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。							
【到達目標】							
各楽器や声の音域や可能な動きに沿ったメロディを作れるようになる。又、裏メロディを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認、楽器知識①(その他) 移調楽器、奏法など
2回目	楽器知識②(弦楽器)
3回目	楽器知識③(木管)
4回目	楽器知識④(打楽器)
5回目	楽器知識⑤(金管)
6回目	楽器知識⑥(スコア読解) ※打ち込み
7回目	楽器知識⑦(まとめテスト)
8回目	裏メロディの作り方①(あかとんぼ)
9回目	裏メロディの作り方②(ふるさと)
10回目	メロディ・コードの聴き取り、調の性格について 実技テスト
11回目	BGM制作について①(ゲーム音楽の試聴会)
12回目	BGM制作について②(楽器の特性を生かしたメロディ作り) プレスタイミング アーティキレーションについて
13回目	卒業進級制作 準備
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	楽曲制作をしながら講義の復習を積極的におこなってください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出欠席・遅刻など)
受講生への メッセージ	様々な楽器について知り、触れることはかけがえのない経験と知識となります。積極的に取り組んでください。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングⅢ	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	小山 哲平
	Melody MakingⅢ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	水曜日2限
【授業の学習内容】							
<p>自身が作るメロディを客観的に見れるスキルを養います。各ジャンルの楽曲のメロディ譜やスコアを読む・書くという視点から情報を読み解き、さらに自身の楽曲に対しても譜面とDAW上の打ち込みの音の両方で同じ情報になるように学習します。又、仕事に必要なクライアントとのやりとりなども実習の中で習得を目指します。</p> <p><実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートの依頼を受け作曲し演奏を行っている。</p>							
【到達目標】							
<p>自身が作曲した楽曲のメロディやコード、各パートの動きを譜面に書くことができ、その譜面の情報とDAW上で打ち込んだ音が同じになるようにプログラミングできる。又、クライアントとのやりとりを円滑にするためのスキル(文章・連絡・相談)を実際に使用できる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認。譜面についての基本的な知識の確認。
2回目	POP'sの楽曲の進行を聴き取り、曲の尺通りに進行譜を書けるようになる。
3回目	POP'sの楽曲のコードを聴き取り、コード譜を書けるようになる。
4回目	コード譜にリズムの指示を書き込めるようになる。※提出課題
5回目	POP'sの楽曲を音符や休符を使ったメロディ譜で写譜できるようになる。
6回目	自分で制作したメロディを譜面に書くことができる。
7回目	奏法記号や曲想記号の意味を理解し、譜面に書けるようになる。又、前講義で自身が制作したメロディをDAW上で同じように表現できるようになる。
8回目	ドラム譜の基礎を理解し、写譜できるようになる。
9回目	8ビート・16ビートのリズムを聴き取り、ドラム譜を書けるようになる。
10回目	自分で制作したメロディに8ビートもしくは16ビートのドラムを入れてDAW上で表現できるようになる。
11回目	前講義で制作した曲をメロディ譜、コード譜(進行譜)、ドラム譜を書けるようになる。
12回目	まとめ試験。当日指定するメロディ譜を制限時間内に写譜する。又、クライアントとのやりとりを想定したやり方で納品(提出)できるようになる。※実習課題
13回目	前期の実習を終えて、後期への課題の明確化と実践
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	講義内で学習した内容の復習と反復をお願いします。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	DAW上での表現と同時に譜面での表現ができると自身の楽曲を客観的に見ることができ、更にコミュニケーションが円滑にできるようになります。譜面が苦手な方もいると思いますが、ゆっくりと進めていきますので頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備と五線譜の持参をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングⅣ	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	小山 哲平
	Melody MakingⅣ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	水曜日2限
【授業の学習内容】							
<p>自身が作るメロディを客観的に見れるスキルを養います。各ジャンルの楽曲のメロディ譜やスコアを読む・書くという視点から情報を読み解き、さらに自身の楽曲に対しても譜面とDAW上の打ち込みの音の両方で同じ情報になるように学習します。又、仕事で必要なクライアントとのやりとりなども実習の中で習得を目指します。</p> <p><実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。</p>							
【到達目標】							
<p>自身が作曲した楽曲のメロディやコード、各パートの動きを譜面に書くことができ、その譜面の情報とDAW上で打ち込んだ音が同じになるようにプログラミングできる。又、クライアントとのやりとりを円滑にするためのスキル(文章・連絡・相談)を実際に使用できる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認。弦楽器の譜面についての基礎知識を理解し、譜面通りにDAWに打ち込むことができる。※提出課題
2回目	自分で弦楽器パートを制作し、DAWに打ち込むことができる。
3回目	前講義でDAW上で作った弦楽器のパートを譜面におこすことができるようになる。
4回目	ピアノの譜面についての基礎知識を理解し、譜面通りにDAWに打ち込むことができる。※提出課題
5回目	自分でピアノパートを制作し、DAWに打ち込むことができる。
6回目	前講義でDAW上で作ったピアノのパートを譜面におこすことができるようになる。
7回目	金管楽器の譜面についての基礎知識を理解し、譜面通りにDAWに打ち込むことができる。※提出課題
8回目	自分でブラスパートを制作し、DAWに打ち込むことができる。
9回目	前講義でDAW上で作ったブラスのパートを譜面におこすことができるようになる。
10回目	木管楽器の譜面についての基礎知識を理解し、譜面通りにDAWに打ち込むことができる。※提出課題
11回目	自分でウインドブラスパートを制作し、DAWに打ち込むことができる。
12回目	前講義でDAW上で作ったウインドブラスのパートを譜面におこすことができるようになる。
13回目	卒業進級制作 準備
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	講義内で学習した内容の復習と反復をお願いします。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度（主に出欠席・遅刻など）
受講生への メッセージ	DAW上での表現と同時に譜面での表現ができると自身の楽曲を客観的に見ることができ、更にコミュニケーションが円滑にできるようになります。譜面が苦手な方もいると思いますが、ゆっくりと進めていきますので頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備と五線譜の持参をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングV	必修 選択	必修 選択	年次	3年	担当教員	小山 哲平
	Melody Making V	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	水曜日4限
【授業の学習内容】							
<p>作曲・編曲をする上で必要な、「その曲のその箇所」に適したメロディや各楽器の動きを学びます。又、楽器の重ね方で起こりうるサウンドの違いや、各パート間で邪魔をしないフレーズを実習を通して身につけていきます。</p> <p><実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。</p>							
【到達目標】							
<p>制作した一つのメロディで「①メロディとピアノ」「②弦楽器4本」「③管楽器5本」「④メロディ・ピアノ・弦楽器4本・管楽器・打楽器(ドラムを含む)・ギター・ベース・シンセサイザー」での各アレンジを実施することができるようになることで、作りたいサウンドに合わせた楽器の選択ができ、メロディを邪魔することなくそれを動かすことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認。通年通して当講義で扱っていくメロディを制作する。
2回目	①-1 アレンジの方向性(BPM含む)を決め、そこに適切なコードを選択できるようになる。又、コード(進行)譜を制作する。
3回目	①-2 右手と左手の役割を理解し、ピアノパートを制作できるようになる。(DAW打ち込み)
4回目	①-3 メロディとピアノを合わせ、その動きや音域の偏りによってメロディを邪魔していないかを判断できるようになる。
5回目	①-4 前回までの講義内容を用いてアレンジを完成させることができる。
6回目	②-1 パートをまたいでのメロディの移り変わりや、弦楽器4本での音の重ね方を理解し、適切なコードの選択とアレンジの方向性を決めることができる。
7回目	②-2 コード(進行)譜を制作する。又、パート間をまたいでのメロディの移り変わりを行えるようになる。(DAW打ち込み)
8回目	②-3 パート間をまたいでのベースラインの移動を行うことができるようになる。弦楽アンサンブルにおける転回形を理解できるようになる。(全伸ばしの音)
9回目	②-4 前講義までで制作したメロディとベースラインをもとに内声の音を選択できるようになる。(全伸ばしの音)
10回目	②-5 弦楽器4本のみで成立するアレンジになるようにメロディ以外のパートを動かせるようになる。又、奏法の選択も行う。
11回目	②-6 パート間の動きや音域の偏りによってメロディを邪魔していないかを判断し、アレンジを進めることができるようになる。
12回目	②-7 前回までの講義内容を用いてアレンジを完成させることができる。又、オートメーションの処理も行う。
13回目	前期の実習を終えて、後期への課題の明確化と実践
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	講義内で学習した内容の復習と、できる限りの自主的な制作の進行をお願いします。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に欠席・遅刻など)
受講生への メッセージ	1つのメロディを元に様々なアレンジができることは自分の制作の幅を広げることにつながります。又、アレンジの上で行う各パートの動きも広い視野で見ればメロディ(フレーズ)を作ることと変わりません。細かく単元を分けて進めていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備と五線譜の持参をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングVI	必修 選択	必修 選択	年次	3年	担当教員	小山 哲平
	Melody MakingVI	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	水曜日4限
【授業の学習内容】							
<p>作曲・編曲をする上で必要な、「その曲のその箇所」に適したメロディや各楽器の動きを学びます。又、楽器の重ね方で起こりうるサウンドの違いや、各パート間で邪魔をしないフレーズを実習を通して身につけていきます。</p> <p><実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。</p>							
【到達目標】							
<p>制作した一つのメロディで「①メロディとピアノ」「②弦楽器4本」「③管楽器5本」「④メロディ・ピアノ・弦楽器4本・管楽器・打楽器(ドラムを含む)・ギター・ベース・シンセサイザー」での各アレンジを実施することができるようになることで、作りたいサウンドに合わせた楽器の選択ができ、メロディを邪魔することなくそれを動かすことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認。③-1 アレンジの方向性を決め、そこに適切なコードを選択できるようになる。又、コード(進行)譜を制作する。
2回目	③-2 管楽器4本での音の重ね方を理解し、パート間をまたいでのメロディの移り変わりを行えるようになる。(DAW打ち込み)
3回目	③-3 パート間をまたいでのベースラインの移動を行うことができるようになる。ブラスアンサンブルにおける転回形を理解できるようになる。
4回目	③-4 前講義までで制作したメロディとベースラインをもとに内声の音を選択できるようになる。又、奏法を選択でき、オートメーションの処理も行う。
5回目	③-5 パート間の動きや音域の偏りによってメロディを邪魔していないかを判断し、アレンジを完成させることができる。
6回目	④-1 アレンジの方向性を決め、そこに適切なコードを選択できるようになる。又、コード(進行)譜を制作する。
7回目	④-2 決定したアレンジの方向性に沿ったリズムパターンを選択できるようになる。メロディ・コード・ドラムを打ち込む。
8回目	④-3 ピアノ又はギター、ベースを動きや音域の偏りによってメロディを邪魔していないかを判断できるようになる。又パートを打ち込むもしくは録音する。
9回目	④-4 前講義までのアレンジに加えて弦楽器4本を打ち込めるようになる。
10回目	④-5 前講義までのアレンジに加えて必要となる管楽器を選択し、打ち込めるようになる。
11回目	④-6 前講義までのアレンジに加えて必要となるシンセサイザーやパーカッションを選択し、打ち込めるようになる。
12回目	④-7 前回までの講義内容を用いてアレンジを完成させることができる。
13回目	卒業進級制作 準備
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	講義内で学習した内容の復習と、できる限りの自主的な制作の進行をお願いします。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出欠席・遅刻など)
受講生への メッセージ	1つのメロディを元に様々なアレンジができることは自分の制作の幅を広げることにつながります。又、アレンジの上で行う各パートの動きも広い視野で見ればメロディ(フレーズ)を作ることと変わりません。細かく単元を分けて進めていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備と五線譜の持参をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	ヴォイストレーニング I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	THE SOULMATICS
	VoiceTraining I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科・パフォーマンス科					曜日・時限	月曜日 1 限目
【授業の学習内容】 ①Chestレジスター内もしくは少しMiddleレジスターに入るぐらいのエリアで歌い、安心と安定を作る。 ②それぞれの声の特性を知り、それに則したトレーニングをする。 ③Headレジスターをじっくり作っていく。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ①自分の声と向き合う習慣を持つ。 ②このトレーニングで行う3つのスケールを覚えて、歌うことができる。(5ノート、オクターブ、オクターブ&ハーフ) ③楽曲練習にボーカライゼーションを取り入れる習慣を持つ。 ④ステージ経験をする。							

授業計画・内容	
1回目	【どんな授業?】 言葉を構成する要素には子音と母音があり、歌う際はこれのコンビネーションを使う。このクラスではそれらを分解し、スケール練習に入れることで、歌う下地を作る。自己紹介好きなアーティストを教えてください。なぜ好きなのか、どこかをお手本にしたいのかまで聞く。こちらの到達目標も話し共有する。→トレーニング方法の講義、実演。(Liproll, Mum) 次回1コーラス歌ってみよう。
2回目	自分の好きな曲を歌ってみよう!!これを通してそれぞれの声の特徴を知っていきます。3つのトレーニング用スケールのレクチャー。ピアノで弾けるように。
3回目	始めはオの母音を中心にトレーニングをし、口を縦に開ける基礎を作る。課題曲①を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。ボーカライゼーションも。
4回目	オの母音をまず復習し、アの母音にも応用するように口を開ける。課題曲①をセクションを跨いで歌唱。
5回目	ウの母音をレクチャー & 実演。オとアのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲①を1コーラス歌唱してみよう。
6回目	イの母音をレクチャー & 実演。オとアとウのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲②を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。
7回目	エの母音をレクチャー & 実演。オとアとウとイのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲②をセクションを跨いで歌唱。
8回目	全ての基本的な母音の口の開け方と共鳴をリラックスした状態でどこからどこまで歌えるのかを知る。課題曲②を1コーラス歌唱してみよう。
9回目	全ての基本的な母音の口の開け方と共鳴をリラックスした状態でどこからどこまで歌えるのかを知る②。課題曲③を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。
10回目	3つのスケールをピアノで弾けるかをチェック。エクササイズ。課題曲③をセクションを跨いで歌唱。
11回目	質疑&応答。エクササイズ。課題曲③を1コーラス歌唱してみよう。
12回目	課題曲①～③の中から1曲を選曲し、ステージで歌唱する。
13回目	振り返りとトレーニング。
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学習	スケールの理解の為の反復。エクササイズを体現するための反復。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	常に今のMyBestを録音しよう!!完璧じゃなくていい。後で聞いたときにきつと過去も今も誇れると思いますよ!!練習をする事で自分の事を知ろう!!経験を重ねることで成長しますので、その経験を重ねる努力をしていこう。
【使用教科書・教材・参考書】 ipad	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅡ VoiceTrainingⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	THE SOULMATIC S
学科・コース	スーパーエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日 1 限目
【授業の学習内容】							
<p>①Chestレジスター～Middleレジスターに入り、そのエリアで歌い、安心と安定を作る。</p> <p>②それぞれの声の特性を知り、それに則したトレーニングをする。</p> <p>③Headレジスターへの行き来をエクササイズに取り入れる。 (講師プロフィール)</p> <p>200曲以上をレパートリーを持つゴスベルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシスター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>①自分の声と向き合う習慣を持つ。</p> <p>②このトレーニングで行う3つのスケールをゆっくりでも弾きながら、歌うことができる。(5ノット、オクターブ、オクターブ&ハーフ)</p> <p>③楽曲練習にボーカライゼーションを取り入れる習慣を持つ。</p> <p>④ステージ経験を積み重ねる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	前期を通して自分の声と向き合ってきた気づいたことをシェアあってみよう!! 3タイプに分ける。課題曲④を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
2回目	LightChest、PullChest、Flipの3タイプのどれに属するかを診て、エクササイズを処方する。(個人をみるアプローチ) 課題曲④をセクションを跨いで歌唱。
3回目	それぞれのエクササイズへのアプローチを聴きながらアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲④を1コーラス歌唱してみよう。
4回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
5回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤をセクションを跨いで歌唱。
6回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤を1コーラス歌唱してみよう。
7回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
8回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥をセクションを跨いで歌唱。
9回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥を1コーラス歌唱してみよう。
10回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。教室内リハ(曲を選んで歌唱)
11回目	後期の課題曲の中から1曲を選曲し、ステージで歌唱する。
12回目	振り返りとトレーニング。
13回目	振り返りとトレーニング。
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	自分に処方されたトレーニングを練習し、向き合う時間と歌の練習。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	今までのMyBestの積み重ね、聞いてみましたか? 時に過去の自分の歌から今の自分へのヒントが見つかることがありますよ。沢山の歌の思い出を作ってください。
【使用教科書・教材・参考書】	
ipad	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅢ Voice training Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	THE SOULMATIC S
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日 2 限目
【授業の学習内容】							
①シンガーとして必要なヴォイストレーニングの基礎知識やノウハウを、実践を交えながら教えていく。また練習経過を丁寧に観察し、細やかなフィードバックや更なる練習法の提示、その後再度経過観察、を繰り返しながら声の基礎作りのサポートをする。②発声トレーニング(①)で学んだことを活かし歌唱の中で実践出来るようにレクチャーする。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリストスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】							
声の基礎が固まり、様々な課題曲を自信を持って歌いこなすことが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	【発声】1年生の復習・呼吸・低音・表情筋の強化【歌唱】共通 Bridge over troubled water (Simon&Garfunkel/LeannRimes) 発音・ソツ・1番を歌ってみよう
2回目	【発声】呼吸・低音・表情筋の徹底トレーニング【歌唱】共通 Bridge over troubled water (Simon&Garfunkel/LeannRimes) 復習・1曲通して歌ってみよう
3回目	【発声】ソルフェージュ・イーストレッチ・裏声【歌唱】Bridge over troubled water (Simon&Garfunkel/LeannRimes) ミニ発表会・1人ずつ前で歌ってみよう
4回目	【発声】呼吸・低音・表情筋・イーストレッチの徹底トレーニング【歌唱】男Fly me to the moon (FrankSinatra) 女Top of the world (Carpenters) ※以下進行は1曲目同様
5回目	【発声】ソルフェージュ・スタッカート・メミマム【歌唱】男Fly me to the moon (FrankSinatra) 女Top of the world (Carpenters)
6回目	【発声】クラシック発声・ロングトーン【歌唱】男Fly me to the moon (FrankSinatra) 女Top of the world (Carpenters)
7回目	【発声】まとめの小テスト【歌唱】男Your song (EltonJohn) 女The climb (MileyCyrus)
8回目	【発声】11対1での細かいチェックとフィードバック【歌唱】男Your song (EltonJohn) 女The climb (MileyCyrus)
9回目	【発声】前回からの経過チェック【歌唱】男Your song (EltonJohn) 女The climb (MileyCyrus)
10回目	【発声】呼吸・低音・表情筋の徹底トレーニング【歌唱】男Love me tender (ElvisPresley) 女So far away (CaroleKing) ※今回のみ仕上げ2週間です
11回目	【発声】スタッカート・メミマム・ソルフェージュ・ロングトーン・クラシック発声の徹底トレーニング【歌唱】男Love me tender (ElvisPresley) 女So far away (CaroleKing)
12回目	曲決定・勘所のチェック・衣装の打ち合わせ・発表会のリハーサル
13回目	全体発表会(1人1曲・課題曲の中から選曲しステージで歌ってみよう)
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	人前で楽しく自信を持って歌えるように全力でサポートします！いっぱい練習して来て下さい！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅣ Voice training Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	THE SOULMATICS
学科・コース	スーパーエエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日 2 限目
【授業の学習内容】							
①シンガーとして必要なヴォイストレーニングの基礎知識やノウハウを、実践を交えながら教えていく。また練習経過を丁寧に観察し、細やかなフィードバックや更なる練習法の提示、その後再度経過観察を繰り返しながら声の基礎作りのサポートをする。②発声トレーニング(①)で学んだことを活かし歌唱の中で実践出来るようにレクチャーする。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】							
声の基礎が固まり、様々な課題曲を自信を持って歌いこなすことが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	【発声】前期の復習・個々の経過チェック 【歌唱】男She (ElvisCostello) 女Rainydays and mondays (Carpenters) 発音・コツ・1番を歌ってみよう
2回目	【発声】呼吸・低音・イーストレッチ強化 【歌唱】男She (ElvisCostello) 女Rainydays and mondays (Carpenters) 復習・1曲通して歌ってみよう
3回目	【発声】ソルフェージュ・クラシックボイス・裏声強化 【歌唱】男She (ElvisCostello) 女Rainydays and mondays (Carpenters) ミニ発表会・1人ずつ前で歌ってみよう
4回目	【発声】表情筋・ソルフェージュ・イーストレッチ強化 【歌唱】男Can you feel the love tonight (EltonJohn) 女Milion reasons (LadyGaga) ※以下進行は1曲目同様
5回目	【発声】1対1での細かいチェックとフィードバック 【歌唱】男Can you feel the love tonight (EltonJohn) 女Milion reasons (LadyGaga)
6回目	【発声】前回からの経過チェック 【歌唱】男Can you feel the love tonight (EltonJohn) 女Milion reasons (LadyGaga)
7回目	【発声】呼吸・低音・表情筋・ソルフェージュテスト 【歌唱】男Home (MichealBuble) 女Killing me softly (RobertaFlack)
8回目	【発声】スタカート・メソッド・クラシックボイステスト 【歌唱】男Home (MichealBuble) 女Killing me softly (RobertaFlack)
9回目	【発声】イーストレッチ・裏声テスト 【歌唱】男Home (MichealBuble) 女Killing me softly (RobertaFlack)
10回目	【発声】1年間のまとめ・質疑応答 【歌唱】男Home (MichealBuble) 女Killing me softly (RobertaFlack) 後期発表会の曲決め
11回目	勘所のチェック・衣装の打ち合わせ・発表会のリハーサル
12回目	全体発表会 (1人1曲・課題曲の中から選曲しステージで歌ってみよう)
13回目	振り取りとトレーニング。
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	人前で楽しく自信を持って歌えるように全力でサポートします！いっぱい練習して来て下さい！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングV Voice Training V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	THE SOULMATICS
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜3限
【授業の学習内容】							
①各生徒の目標や問題点にフォーカスしてカウンセリングしていきます。②ウォーミングアップ、発声練習の具体的なやり方のレクチャーを全体で行い、その後個別に指導していきます。③発声練習で学んだ姿勢、呼吸、声の出し方を実際に歌で練習していきます。							
【講師プロフィール】							
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。							
【到達目標】							
①歌う前の適切なウォーミングアップと発声練習を習得、習慣化し、いつもベストなコンディションで歌えるようになる ②学んだ発声の技術を歌に応用できるようになる ③他者との比較ではなく自分の成長に集中し学習できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック
2回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
3回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
4回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
5回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
6回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
7回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
8回目	【発表会】各学生の改善点、課題に沿った課題曲を歌唱
9回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
10回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
11回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
12回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
13回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
14回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
15回目	【発表会】各学生の改善点、課題に沿った課題曲を歌唱
準備学習 時間外学習	発声練習 課題曲練習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■発声の知識、理解度 ■課題曲
受講生への メッセージ	基礎力を身につけて弱点を克服するのはもちろんですが、しっかりと得意なところを伸ばしていきましょう。体調、コンディションの管理なども徹底的にやっていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングVI Voice TrainingVI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	THE SOULMATICS
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜3限
【授業の学習内容】							
①各生徒の目標や問題点にフォーカスしてカウンセリングしていきます。②ウォーミングアップ、発声練習の具体的なやり方のレクチャーを全体で行い、その後個別に指導していきます。③発声練習で学んだ姿勢、呼吸、声の出し方を実際に歌で練習していきます。							
【講師プロフィール】							
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。							
【到達目標】							
①歌う前の適切なウォーミングアップと発声練習を習得、習慣化し、いつもベストなコンディションで歌えるようになる							
②学んだ発声の技術を歌に応用できるようになる							
③他者との比較ではなく自分の成長に集中し学習できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック
2回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
3回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
4回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
5回目	外化、発声チェック、歌唱チェック、発表会リハーサル
6回目	【発表会】各学生の改善点、課題に沿った課題曲を歌唱
7回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
8回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
9回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
10回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
11回目	発表会リハーサル
12回目	【発表会】各学生の改善点、課題に沿った課題曲を歌唱
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	発声練習 課題曲練習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 ■受講態度 ■発声の知識、理解度 ■課題曲
受講生への メッセージ	<p>レッスンごとに皆さんの目標をより明確にしていきます。</p> <p>られる声とマインドを一緒に作っていきましょう。</p> <p style="text-align: right;">歌い続け</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	メロディックコンセプト I Melodic Concepts I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のカンタートコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	6弦ルートのメジャーペンタトニックスケール
3回目	6弦ルートのマイナーペンタトニックスケール
4回目	5弦ルートのメジャーペンタトニックスケール
5回目	5弦ルートのマイナーペンタトニックスケール
6回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
7回目	5,6弦ルートのペンタトニックスケールの復習、両サイドへの派生①
8回目	5,6弦ルートのペンタトニックスケールの復習、両サイドへの派生②
9回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート①
10回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート②
11回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート
12回目	ペンタトニック、ブルーススケールを使用したリックの実演
13回目	前期の振り返り。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプト II Melodic Concepts II	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	メジャースケール(5,6弦 人差し指、中指スタート)①
3回目	メジャースケール(5,6弦 人差し指、中指スタート)②
4回目	メジャースケール(5,6弦 小指スタート)①
5回目	メジャースケール(5,6弦 小指スタート)②
6回目	メジャースケール(3 Note Per String、複合パターン)①
7回目	メジャースケール(3 Note Per String、複合パターン)②
8回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
9回目	ナチュラルマイナースケール 1 (5,6弦 人差し指、中指スタート)
10回目	ナチュラルマイナースケール 2 (5,6弦 小指スタート)
11回目	ナチュラルマイナースケール 3 (3 Note Per String、複合パターン)
12回目	後期の振り返り。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトⅢ Melodic ConceptsⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のカンタビラコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	メジャートライアド
3回目	マイナートライアド
4回目	オーギュメント、デミニッシュトトライアド
5回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
6回目	4音のコードアルペジオ導入
7回目	課題曲での実践。
8回目	発表とフィードバック。
9回目	M7アルペジオ
10回目	7アルペジオ
11回目	課題曲での実践。
12回目	発表とフィードバック。
13回目	前期の振り返り。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山口涼也
	Melodic ConceptsⅣ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科					曜日・時限	木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	m7アルペジオ
3回目	実践とフィードバック。
4回目	m7b5アルペジオ
5回目	実践とフィードバック。
6回目	dim7アルペジオ
7回目	実践とフィードバック。
8回目	代理のアルペジオ
9回目	実践とフィードバック。
10回目	3,4和音のコードトーンアルペジオを使用したフレージング。
11回目	実践とフィードバック。
12回目	後期の振り返り。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトV Harmonic Concept V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパー・エンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 4限
【授業の学習内容】 メジャースケールから派生する各種スケールを学ぶ。 メロディラインの作り方、ギターソロの作り方。 (講師プロフィール) 20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれ+A11:L16れのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	Major Mode Scaleの導入と使用方法、Ionian Scale(IM7)
3回目	Aeolian Scale(VIm7)
4回目	実践練習とフィードバック。
5回目	Dorian Scale(IIIm7)
6回目	実践練習とフィードバック。
7回目	Mixolydian Scale(V7)
8回目	実践練習とフィードバック。
9回目	Lydian Scale(IVM7)
10回目	実践練習とフィードバック。
11回目	Phrygian Scale(IIIIm7)
12回目	実践練習とフィードバック。
13回目	Locrian Scale(VIIIm7b5)
14回目	実践練習とフィードバック。
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	スケールの理解やメロディワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトVI Harmonic ConceptVI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	山口涼也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜 4限
【授業の学習内容】 メジャースケールから派生する各種スケールを学ぶ。 メロディラインの作り方、ギターソロの作り方。 (講師プロフィール) 20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれ+A11:L16れのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	ソロ構築についての解説
3回目	IIm7-V7進行を用いたソロ構築 (Dorian,Mixolydian)
4回目	課題曲のレクチャー。
5回目	実践と各自フィードバック。
6回目	中間チェック。
7回目	Jazz Blues進行でのソロ構築(Mixolydian,Dorian)
8回目	課題曲のレクチャー。
9回目	実践と各自フィードバック。
10回目	IM7-bIIIM7進行でのソロ構築(Ionian,Lydian)
11回目	課題曲のレクチャー。
12回目	実践と各自フィードバック。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	スケールの理解やメロディワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山野修作
	Harmonic Concept I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜 2限
学科・コース	スーパーエエンターテイメント科・音楽プロデュース科						
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイディアも加え応用する。 (講師プロフィール) これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	指板上の音名・ポジション
3回目	オクターブの位置関係
4回目	ルートだけコード進行を追う
5回目	中間チェック。理解度・到達度のチェック。
6回目	パワーコードの仕組み
7回目	ルートの位置と5thの位置関係
8回目	パワーコードで楽曲を演奏①
9回目	パワーコードで楽曲を演奏②
10回目	中間チェック。理解度・到達度のチェック。
11回目	インターバル、メジャーとマイナーの違い
12回目	トライアドの仕組み1
13回目	トライアドの仕組み2
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握 時間外学習
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト II	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山野修作
	Harmonic Concept II	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜 2限
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科						
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックイング・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイディアも加え応用する。 (講師プロフィール) これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	3コードの理解①
3回目	3コードの理解②
4回目	3コードで楽曲演奏の解説。□
5回目	3コードで楽曲演奏の指導①
6回目	3コードで楽曲演奏の指導②
7回目	実践と発表、フィードバック。
8回目	中間チェック。
9回目	コードの機能(ファンクション)、代理コード①
10回目	コードの機能(ファンクション)、代理コード②
11回目	3和音のダイアトニックコード①
12回目	3和音のダイアトニックコード②
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握 時間外学習
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト III Harmonic Concept III	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山野修作
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜 2限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイ デアも加え応用する。 (講師プロフィール) これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	3和音のダイアトニックコードの復習。
3回目	4和音・7thコードの理解①
4回目	4和音・7thコードの理解②
5回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
6回目	4和音のダイアトニックコード①
7回目	4和音のダイアトニックコード②
8回目	楽曲演奏・課題曲①
9回目	楽曲演奏・課題曲①の発表。
10回目	前回のフィードバックと次回に向けて。
11回目	楽曲演奏・課題曲②
12回目	楽曲演奏・課題曲②の発表。
13回目	その他のコード(sus・6th・add9など)
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト IV Harmonic Concept IV	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山野修作
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜 2限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイ デアも加え応用する。 (講師プロフィール) これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレイヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	楽曲演奏・課題曲③
3回目	楽曲演奏・課題曲③の発表。
4回目	前回のフィードバックと次回に向けて。
5回目	楽曲演奏・課題曲④
6回目	楽曲演奏・課題曲④の発表。
7回目	前回のフィードバックと中間テストについて。
8回目	中間チェック。
9回目	ナチュラルマイナーのダイアトニックコード①
10回目	ナチュラルマイナーのダイアトニックコード②
11回目	その他（平行調など）
12回目	その他（平行調など）
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト V Harmonic Concept V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	山野修作
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜 1限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイ デアも加え応用する。 (講師プロフィール) これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレイヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	4和音・7thコードの理解①
3回目	4和音・7thコードの理解②
4回目	4和音のダイアトニックコード①
5回目	4和音のダイアトニックコード②
6回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
7回目	4和音のマイナーダイアトニックコード①
8回目	4和音のマイナーダイアトニックコード②
9回目	カッティングパターン①
10回目	カッティングパターン②
11回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
12回目	アルペジオ奏法①
13回目	アルペジオ奏法②
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト VI Harmonic Concept VI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	山野修作
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜 1限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイ デアも加え応用する。 (講師プロフィール) これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	コード進行に沿ったバックিং①
3回目	課題曲の指導
4回目	課題曲での実践①
5回目	中間チェック。
6回目	コード進行に沿ったバックিং②
7回目	課題曲の指導
8回目	課題曲での実践②
9回目	ナチュラルテンションコード①
10回目	ナチュラルテンションコード②
11回目	オルタードテンションコード①
12回目	オルタードテンションコード②
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ベースラインコンセプト I Bassline Concepts I	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	丹羽肇
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeインターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 音楽の3要素であるメロディ・リズム・ハーモニーに対する感性、知識、技能を深めるため五線上の音符やリズム譜に親しみ、ベースを専門分野とするために楽器の各部の知識、音が出る仕組み、メンテナンスの基礎を学習する。ベースラインを構築するために必要なリズムトレーニング(8ビート系)を学習しリズム譜読み、書き取りを学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため読み取った教材のリズムをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。ベースラインを構築するために必要なコード(3和音、属7)のコードトーンを学習する。ベースラインを構築するために必要なメジャースケール、ナチュラルマイナースケールを学習する。ベースラインを構築しアンサンブル中で演奏するために必要な音楽性を身につけるために楽曲を用いてA×D・B×D・サビ等の構成を書きとる方法を学習する。ベースラインに彩りを加えるために必要な経過音の知識・センスを学習する。 【講師プロフィール】2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国Chilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 自分の楽器をきちんとした状態で維持できるようになる。カウント、小節数を数えながら楽曲を聴けるようになる。A×D・B×D・サビ等の楽曲の構成について理解できるようになる。4小節単位・8小節単位の感覚が身に付く。コード譜を見てルート音を弾きながら要所に経過音を挿入できるようになる。主に8ビートについて楽曲毎のベースラインの違い、ドラムとのコンビネーションを聞き取れるようになる。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため教材にそったベースラインをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	エレキリックベース各部の名称、音が出る仕組みを説明できる。楽器の簡単な健康チェックができる。1 2個の音の場所が説明できる。
2回目	Cメジャースケールが複数の場所で弾ける。コード譜の8分音符のルート弾きができる① 8ビートのリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
3回目	Fナチュラルマイナースケールが複数の場所で弾ける。コード譜の8分音符のルート弾きができる② 8ビートのリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
4回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習① コード譜の8分音符のルート+5度弾きができる① 8ビートのリズムが読める③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
5回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習② コード譜の8分音符のルート+5度弾きができる② 8ビートのリズムが読める④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
6回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習③ コード譜の8分音符の1+5+7度弾きができる① 8ビートのリズムが読める⑤読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
7回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習④ コード譜の8分音符の1+5+7度弾きができる② 8ビートのリズムが読める⑥読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
8回目	Aナチュラルマイナースケールを用いたスケール練習① コード譜の8分音符の1+3+5度弾きができる① 8ビートのリズムが読める⑦読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
9回目	Aナチュラルマイナースケールを用いたスケール練習② コード譜の8分音符の1+3+5度弾きができる② 8ビートのリズムが読める⑧読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
10回目	Aマイナーペンタトニクススケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習① コード譜の1+3+5+7弾きができる。8ビートのリズム譜が書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
11回目	Aマイナーペンタトニクススケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習② コード譜の1+3+5+7弾きができる。8ビートのリズム譜が書き取れる②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
12回目	Aマイナーペンタトニクススケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習③ コード譜のルート弾きをしながら経過音を挿入できる。8ビートのリズム譜が書き取れる③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。到達度確認
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢(60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度(20%) 自己実現力と演奏力(歌唱力)の向上度(20%)"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。楽しみましょう!
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅡ	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	丹羽肇
	Bassline ConceptsⅡ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜3限

【授業の学習内容】

音楽の3要素であるメロディ・リズム・ハーモニーに対する感性、知識、技能を深めるため五線上の音符やリズム譜に親しむ。ベースラインを構築するために必要なリズムトレーニング(16ビート系、3連系)を学習しリズム譜読み、書き取りを学習する。ベースラインを構築するために必要なコード(4和音、属7のコードトーン)を学習する。ベースライン、ファイル等を構築するために必要なアイコン・ドリアン・フリジアン・フリジアンメジャー・リディアック・ミクソリディアン・エオリアン・ロリアンの各スケールを学習する。ベースラインを構築しアンサンブル中で演奏するために必要な音楽性を身につけるために楽曲を用いてAメロ・Bメロ・サビ等の構成及びルート音を書きとる方法を学習する。ベースラインに彩りを加えるために必要な経過音の知識、用いる場合の条件等を学習する。重要なコード進行の1つであるツー・ファイブ・ワンについて学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため学習した内容をクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。

【講師プロフィール】
2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年NHK-FM「Session 2016」に出演。2017年NHK-FM「Session 2017」に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほくとと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年NHK-FM「Session 2016」に出演。2017年NHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほくとと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。

【到達目標】

カウント、小節数を教えながら楽曲を聴けるようになる。Aメロ・Bメロ・サビ等の楽曲の構成について理解できるようになる。ルート音が聞き取れるようになる。4小節単位・8小節単位の感覚が身につく。リピート、ダル・セーニョ、ダ・カーポ等の譜面の進行も読める。コード譜を見てルート音、3度、5度、7度の音を組み合わせる弾きながら要所に経過音を挿入できるようになる。8ビートに加えて16ビート、3連系について楽曲毎のベースラインの違い、ドラムとのコンビネーションを聞き取れるようになる。メジャー及びマイナーキーのツー・ファイブ・ワンのコード進行のスケール及びアルペジオが弾けるようになる。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースラインを作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。

授業計画・内容

1回目	ドリアンスケールの練習① ルート音聞き取り練習① 16ビートのリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
2回目	ドリアンスケールの練習② ルート音聞き取り練習② 16ビートのリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
3回目	フリジアンスケールの練習 ルート音、構成の聞き取り練習① 16ビートのリズムが読める③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
4回目	フリジアンメジャースケールの練習 ルート音、構成の聞き取り練習② 16ビートのリズムが読める④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
5回目	リディアンスケールの練習 ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習① 3連系のリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
6回目	ミクソリディアンスケールの練習① ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習② 3連系のリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
7回目	ミクソリディアンスケールの練習② ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習③ 16ビートのリズムが書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
8回目	エオリアンスケールの練習 ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習④ 16ビートのリズムが書き取れる②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
9回目	ロリアンスケールの練習 メジャーキーのツー・ファイブ・ワンのスケールの練習 16ビートのリズムが書き取れる③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
10回目	各種スケール総合練習① メジャーキーのツー・ファイブ・ワンのアルペジオ練習 16ビートのリズムが書き取れる④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
11回目	各種スケール総合練習② マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのスケール練習 3連系のリズムが書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
12回目	ダイアトニックスケール及びアルペジオの総合練習 メジャーキー・マイナーキーのツー・ファイブ・ワンの総合練習 到達度確認
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作

準備学習
時間外学習
基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。
授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。

評価方法
"授業へ取り組み姿勢 (60%)
各課題曲での目標の達成度、実戦度 (20%)
自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (20%) "□

受講生への
メッセージ
国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。
世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。
それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。
楽しみましょう!

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。
テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。
その他、資料配布。

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅢ Bassline ConceptsⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	丹羽肇
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜4限
【授業の学習内容】							
<p>1年次同名授業で習得したダイアトニックスケール及びメジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンにおけるスケール及びアルペジオを用いて様々な曲に対応したベースラインを構築・アレンジする方法を実際の曲などから簡易的なベース譜の作成練習を通して学習する。コード進行の基礎となるダイアトニックコードおよび付帯するセカンド・トリニッド・リレイテッドⅡ m7を暗記して簡易的なベース譜の作成効率を上げる。ディミッシュコードのコード・トーンとスケールと使用方法を学習する。オルタードスケールと使用方法を学習する。オリジナル曲に対してベースラインを構築する方法を学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため構築したベースラインをクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。</p> <p>【講師プロフィール】2010年リリースアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほとんど、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010年リリースアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほとんど、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。</p>							
【到達目標】							
<p>メジャーキーのダイアトニックコード及び付帯するセカンド・トリニッド・リレイテッドⅡ m7をベースの指板を用いて表にまとめて書けるようになる。ダイアトニックコードのアルペジオ及びメジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのアルペジオが弾ける。曲のコード進行においてルート音、3度、5度、7度等を使用してベースラインを構築できる。構築したベースラインを演奏しながら効果的に経過音を挿入できる。曲のキーに対応したブルーススケールを用いてフィルイン及びベースソロがとれる。曲のコード進行に沿ったスケールを弾ける。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースライン・フィルイン等を作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。</p>							

授業計画・内容	
1回目	メジャーキーのダイアトニックコード及びセカンド・トリニッド・リレイテッドⅡ m7をまとめて表が書ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
2回目	アイオニアン、ドリアン、フリジアン、フリジアンメジャー、リディアン、ミカソリディアン、エオリアン、ロリアンの各スケールが弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
3回目	メジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのスケール及びアルペジオが弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
4回目	既存の曲の譜面を見てルート音が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
5回目	既存の曲の譜面を見てルート音 + 5度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
6回目	既存の曲の譜面を見てルート音 + 3度 + 5度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
7回目	既存の曲の譜面を見てルート音 + 3度 + 5度 + 7度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
8回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
9回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける②与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
10回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける③与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
11回目	既存の曲の譜面を見てマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いてソロが取れる①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
12回目	既存の曲の譜面を見てマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いてソロが取れる②与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。到達度確認
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢 (60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (20%) 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (20%) "□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	丹羽肇
	Bassline ConceptsⅣ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜4限
【授業の学習内容】 既存の曲、オリジナル曲を聴いてキーを特定する方法を学習する。そのキーでのコード進行をまとめた表を書く方法を学習する。またベース、ドラムの基本的なパターンを聞き取る練習をする。ルート音を聞き取る練習をする。聞き取りのルート音をコード進行をまとめた表に照らしてコードネームを類推し、確認する練習をする。それらを基にベースラインを構築する方法を学習する。ディミニッシュやオルタドスケールについて学習する。リハーモナイズの基本を学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため学習した内容をクリックに合わせて録音する。 【講師プロフィール】2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズブロンズで出演。2015年大阪高級ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM Session 2016に出演。2017年にNHK-FM Session 2017に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズブロンズで出演。2015年大阪高級ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM Session 2016に出演。2017年にNHK-FM Session 2017に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 ベース音からその曲のキーを確定できる。そのキーでのコード進行をまとめた表を書ける。曲の構成要素を聞き取ることができる。構成要素ごとのベースとドラムのパターンを聞き取れる。ルート音とコード進行をまとめた表からコードを確定できる。コード進行からベースラインを構築する事ができる。簡単なリハーモナイズができる。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースライン・フィルイン等を作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	曲のキーを使ってあるベースの音から類推し、確認して確定できる。そのキーにおけるダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を書ける。曲のキーを使ってあるベースの音から類推し、確認して確定できる。そのキーにおけるダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を書ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
2回目	曲を聴きイントロ、A×B×B×M×C×D×E等の曲の構成要素を書き取れる。ベースとドラムを聴き基本的なパターンを聞き取れる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
3回目	曲のルート音を聞き取ることができる。そのルート音から曲のキーにおけるダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を用いてコードを類推し確認できる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
4回目	確定したコード進行と聞き取った基本的なパターンから音使いの規則性を探し、曲の構成毎にまとめることができる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
5回目	作成した簡易的なベース譜を見ながらベースを演奏する事ができる。オリジナルのフィルイン等を聞き取り譜面にすることができる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
6回目	ディミニッシュコードのアルペジオとスケールを弾くことができる。パッシングディミニッシュの用法について説明できる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
7回目	オルタドスケールを弾くことができる。オルタドスケールの用法について説明できる。フリジアンメジャースケールとの違いを説明できる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
8回目	課題曲(唱歌等)のコード進行をアレンジし、メロディを阻害しないような別のコード進行を考えられる①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
9回目	課題曲(唱歌等)のコード進行をアレンジし、メロディを阻害しないような別のコード進行を考えられる②与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
10回目	オリジナル曲に対してダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を基に与えられたリズムパターンの上でベースラインを構築する①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
11回目	オリジナル曲に対してダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を基に与えられたリズムパターンの上でベースラインを構築する②与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。期末テスト
12回目	オリジナル曲に対してダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を基に与えられたリズムパターンの上でベースライン、フィルインを構成する。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。到達度確認
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組む姿勢 (60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (20%) 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (20%) "□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。世界に認められたテクニクや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトV Bassline Concepts V	選択必修	選択必修	年次	3	担当教員	丹羽肇
		授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeインターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜1限
【授業の学習内容】 ポピュラー音楽のリズムの題材として用いられる世界各国の民族音楽を基にしたリズムパターンを実際の曲を通して学び、ベースラインの動きの特徴を学ぶ。I～IVまでで学習したコード進行の理論及びベースラインの構築方法を基にオリジナル曲のコード進行においてそれらの特徴的なベースラインを作成し演奏することができるようになる。また、各国の民族音楽に特徴的なコード進行、リズムパターン等を学習して既存の曲等のアレンジメントに活かすことができるようになる。オリジナルのコード進行を作成し演奏する。 【講師プロフィール】2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほごもつと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズフェスティバルに出演。2015年大阪高槻ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほごもつと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 各国の民族音楽のリズムの特徴とベースラインの音使いの特徴を譜面できるようになる。基本的なコード進行を想定し各国の民族音楽風にベースラインを作成できる。作成した音源に合わせてベースラインを録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。既存の曲を各国の民族音楽風にアレンジしてベースラインを作成し音源に合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	ボサノバの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
2回目	サンバの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
3回目	ショーロの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
4回目	ルンバの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
5回目	マンボの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
6回目	チャチャの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
7回目	レゲエの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
8回目	タンゴの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
9回目	スウィングの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
10回目	ロックの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
11回目	ロックバラードの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
12回目	ヒップホップの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢 (60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (20%) 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (20%) "□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトVI Bassline ConceptsVI	選択必修	選択必修	年次	3	担当教員	丹羽肇
		授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeインターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜1限
【授業の学習内容】							
<p>既存の曲(60～00)を聴いて曲の構成、コード進行及びベースラインを書き留めコード進行の分析及びベースラインの分析を行う。分析を基に各年代の曲の特徴を捉えたコード進行を作成し演奏・録音する。</p> <p>【講師プロフィール】2010年リリーターアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリリーターユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほごもご、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010年リリーターアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリリーターユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほごもご、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。</p>							
【到達目標】							
<p>各年代の既存の曲の構成、コード進行、ベースラインを書き留めることができる。コード進行及びベースラインについてこれまで学習した理論等を用いて分析ができる。これらに基づいて各年代の既存の曲の特徴を捉えたコード進行を作成できる。作成したコード進行にベースラインを作成し録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。</p>							

授業計画・内容	
1回目	60年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
2回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
3回目	70年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
4回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
5回目	80年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
6回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
7回目	90年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
8回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
9回目	00年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
10回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
11回目	10年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
12回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢 (60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (20%) 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (20%) "□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	グループアナライズ I Groove Analyze I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜2限
【授業の学習内容】 タイアトニックコード、ドミナントコード、Key内、key外でのコードに対して使用可能なアルペジオとスケールを学習し、アレンジ能力やアドリブ時のフレーズに幅を広げることを目的とした授業になります。 (講師プロフィール) 福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・J-Pop・ラテン・ジャズ・ゴスペル R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや 楽曲に合わせて、コントラバスとエレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 前期の期間で指板上の音の位置を覚え、譜面上のRoot音(+5th)を即座に演奏可能になること。							

授業計画・内容	
1回目	楽器(ベース)についての基礎知識とフォームについて
2回目	8ビート(8beat)のルート弾き①
3回目	8ビート(8beat)のルート弾き②
4回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン①(上の5thのみ)
5回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン②(上の5thのみ)
6回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン③(上の5thのみ)
7回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン①②③(上の5th+下の5th)
8回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン①②③(上の5th+下の5th)
9回目	8ビート(8beat)のRoot+3rd+5thによるベースライン①
10回目	8ビート(8beat)のRoot+3rd+6thによるベースライン②
11回目	8ビート(8beat)のRoot+3rd+7thによるベースライン③
12回目	8ビート(8beat)のRoot+3rd+5thによるベースライン①②③(ワンプозиション)
13回目	振り返り
14回目	テスト
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	テキストの「グループアナライズ・ドリル」を基に予習と復習（授業内での説明も多くあるので復習をしっかりとしてもらいたい）。
評価方法	期末テスト（60%） 出席、態度(40%)
受講生への メッセージ	ベースをしっかり弾く為の基礎を作る授業になります。 一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、もしくはPCでテキストを開くので必ずどちらかを持参してください。	

科目名 (英)	グループアナライズ I Groove Analyze I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜2限
【授業の学習内容】 タイアトニックコード、ドミナントコード、Key内、key外でのコードに対して使用可能なアルペジオとスケールを学習し、アレンジ能力やアドリブ時のフレーズに幅を広げることを目的とした授業になります。 (講師プロフィール) 福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・J-Pop・ラテン・ジャズ・ゴスペル R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや 楽曲に合わせて、コントラバスとエレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 前期に続き後期ではコードの3rd、7thをプラスした演奏を可能になること。 また16beatにも触れ、より細かいリズムの中での安定した演奏、グループを生み出す。							

授業計画・内容	
1回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン①
2回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン②
3回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン③
4回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン①②③ (ワンポジション)
5回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン①②③ (ワンポジション)
6回目	Sample song1-① Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
7回目	Sample song1-② Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
8回目	Sample song2-① Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
9回目	Sample song2-② Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
10回目	Sample song3-① Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
11回目	Sample song3-② Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
12回目	まとめ
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	テキストの「グループアナライズ・ドリル」を基に予習と復習 (授業内での説明も多くあるので復習をしっかりとしてもらいたい)。
評価方法	期末テスト (60%) 出席、態度 (40%)
受講生への メッセージ	ベースを弾く上での基礎的な運指や姿勢、体作りを行い安定したリズムやグループと一緒に生み出していきたいです。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、もしくはPCでテキストを開くので必ずどちらかを持参してください。	

科目名 (英)	グループアナライズⅢ Groove AnalyzeⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】 ダイアトニックコード、ドミナントコード、Key内、Key外のコードに対しての使用可能なアルペジオとスケールを学習し、アレンジ能力やアドリブ時のフレーズに幅を持たせること、様々なリズムパターンを用いたのグループ鍛錬を目的とした授業になります。 (講師プロフィール) 福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・J-Pop・ラテン・ジャズ・ゴスペル R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや 楽曲に合わせ、コントラバスとエレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 前期でアルペジオの理解やジャンルごとのリズムパターンに沿ったフレーズの構築ができる。							

授業計画・内容	
1回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ①と符割感覚トレーニング
2回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ②とゴーストノート
3回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ③と16裏トレーニング
4回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ④と16裏トレーニング
5回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ⑤とポリリズム
6回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ⑥と変拍子フレーズ
7回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ⑦とハーモニクス
8回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ⑧と速い弦跳び
9回目	アルペジオ復習
10回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール①とBluesフレーズ
11回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール①[ワンポジション]とR&Rフレーズ
12回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール①[ワンポジション]とR&Rフレーズ
13回目	振り返り
14回目	テスト
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	テキストの「グループアナライズ・ドリル」を基に予習と復習（授業内での説明も多くあるので復習をしっかりとしてもらいたい）。
評価方法	期末テスト(60%) 出席、態度(40%)
受講生への メッセージ	ベースをしっかり弾く為の基礎を作る授業になります。 一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、もしくはPCでテキストを開くので必ずどちらかを持参してください。	

科目名 (英)	グループアナライズⅣ Groove AnalyzeⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】 ダイアトニックコード、ドミナントコード、Key内、Key外のコードに対しての使用可能なアルペジオとスケールを学習し、アレンジ能力やアドリブ時のフレーズに幅を持たせることと、様々なリズムパターンを用いたのグループ鍛錬を目的とした授業になります。 (講師プロフィール) 福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・J-Pop・ラテン・ジャズ・ゴスペル R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや 楽曲に合わせ、コントラバスとエレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 曲中に使えるリックの作り方、ウォーキングベース等のベースラインの構成を即座に作る知識と演奏できる技術、アドリブ演奏時の対応力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b5]を含む参考曲でのスケール②[ワンポジション]とFUNKSlapフレーズ
2回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b5]を含む参考曲でのスケール③と高速Slapフレーズ[サムダウン、ロータリー奏法]
3回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b5]を含む参考曲でのスケール③[ワンポジション]とMetalリフ
4回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b5]を含む参考曲でのスケール④と高速Metalリフ
5回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b5]を含む参考曲でのスケール④[ワンポジション]とコード弾き
6回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b5]を含む参考曲でのスケール⑤とコード弾き
7回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b5]を含む参考曲でのスケール⑤[ワンポジション]とコード弾き
8回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b5]を含む参考曲でのスケール⑥とソロベースについて
9回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b5]を含む参考曲でのスケール⑥[ワンポジション]とソロベースについて
10回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b5]を含む参考曲でのスケール⑦とベースアンサンブル
11回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b5]を含む参考曲でのスケール⑦[ワンポジション]とベースアンサンブル
12回目	まとめ
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外学習	テキストの「グループアナライズ・ドリル」を基に予習と復習（授業内での説明も多くあるので復習をしっかりしてもらいたい）。
評価方法	期末テスト（60%） 出席、態度（40%）
受講生への メッセージ	ベースを弾く上での基礎的な運指や姿勢、体作りを行い安定したリズムやグループを一緒に生み出していきたいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、もしくはPCでテキストを開くので必ずどちらかを持参してください。	

科目名 (英)	グループアナライズV Groove Analyze V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜2限

【授業の学習内容】

世の中に多種ある音楽ジャンルやスタイルのグルーブ(リ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。
 教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーブ・テクニクが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーブ)と、音楽知識と技術を習得する授業です。
 【講師プロフィール】福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・ラテン・ジャズ・ゴスペル・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌などを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせてコントラバスとエレキベースを使い分けている。

【到達目標】

- ①コードネームから構成される音が理解できるようになる。
- ②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock, Jazz, Funkといったジャンルと8beat, 16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。
- ③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。
- ④その特徴となる奏法技術やグルーブを経験・習得する。
- ⑤演奏する楽器の種類(プレジジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。

授業計画・内容

1回目	Donald "Duck" Dunn Cコード1発・6thへ繋ぐスライドテクニク・ブルーススタイルグループ。
2回目	Donald "Duck" Dunn C7コード1発・テンポ速めの8beat。
3回目	Adam Clayton Rock 8beatスタイル。コードチェンジのとき、少し下の音からスライドさせるグループ。
4回目	Adam Clayton Rock 8beatスタイル。左手で休符。休符でリを作る。ピック弾き。
5回目	指板ポジション把握テキスト・エレキベースの指板にあるすべての音の位置を理解把握する① メジャースケール
6回目	指板ポジション把握テキスト・エレキベースの指板にあるすべての音の位置を理解把握する② ストレッチポジション
7回目	指板ポジション把握テキスト・エレキベースの指板にあるすべての音の位置を理解把握する③ 音使いとグループの関係
8回目	Tom Hamilton (Aero Smith) 8beatロックンロール。開放弦を混じえたライン。左手と右手のコンビネーション。
9回目	Tom Hamilton (Aero Smith) シャッフルビート。ブルースロックのウォーキングベース。メトロノームと合わせられる技術。
10回目	Robert "Kool" Bell ディスコグループ。16分音符を混じえた定番リズム。音の止め方。ミュート。音価コントロール。
11回目	Robert "Kool" Bell ディスコ風ライン。マンネリ化したベースラインにアイデアを。マイナーペンタトニックスケール。
12回目	Bernard Edwards ディスコ系ベースライン。
13回目	Bernard Edwards ディスコ系ベースライン。オクターブライン。弦跳び。オクターブ上の音のスタッカート他。
14回目	Francis Rocco Prestia 2フィンガー16beatファンク①。左手ミュート。2フィンガーの強化。
15回目	Francis Rocco Prestia 2フィンガー16beatファンク②。左手ミュート。2フィンガーの強化。

準備学習
時間外学習

基本的に準備不要で授業に参加します。ただし、次週にわたって同内容の復習が必要となる場合は準備して参加します。
 教材資料のフレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。習得のために練習が必要です。
 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。

評価方法

授業へ取り組み姿勢(60%)
 各課題曲での目標の達成度、実践度(20%)
 自己実現力と演奏力の向上度(20%)

受講生への
メッセージ

国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。
 世界に認められたテクニクや表現、人を感動させる音楽のリ(グルーブ)について学び、習得していきます。
 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。
 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンでYoutubeを検索。
 テキスト(4-8小節の程度のエクササイズを2種類)。
 その他、資料配布

科目名 (英)	グループアナライズVI Groove AnalyzeVI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	松下一弘
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜2限

【授業の学習内容】

世の中に多種ある音楽ジャンルやスタイルのグルーブ(リリ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。
 教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーブ・テクニクが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーブ)と、音楽知識と技術を習得する授業です。
 【講師プロフィール】福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・ラテン・ジャズ・ゴスペル・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌などを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせてコントラバスとエレキベースを使い分けている。

【到達目標】

- ①コードネームから構成される音が理解できるようになる。
- ②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock, Jazz, Funkといったジャンルと8beat, 16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。
- ③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。
- ④その特徴となる奏法技術やグルーブを経験・習得する。
- ⑤演奏する楽器の種類(プレジジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。

授業計画・内容

1回目	Roscoe Beck ファンキーなR&Bグループ。ドラムとのコンビネーション。休符・16分音符の引っ掛け。
2回目	Roscoe Beck 4beat風ブルース。
3回目	Darryl Jones Cm1発コードリフ。ミディアムテンポの16th。
4回目	Darryl Jones ブルース系シャッフルパターン。ブルース12小節コード進行の確認。
5回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ①
6回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ②
7回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ③
8回目	Paul McCartney ロックンロールリフ。Day Tripper。
9回目	Paul McCartney ロックブルースリフ。I Saw Her Standing There
10回目	グループとサウンドメイク(音色)、技術の関係。②
11回目	Tommy Shannon 7th系シャッフルビート。
12回目	Tommy Shannon 8beatファンクブルース。
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番

準備学習
時間外学習

基本的に準備不要で授業に参加します。ただし、次週にわたって同内容の復習が必要となる場合は準備して参加します。
 教材資料のフレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。習得のために練習が必要です。
 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。

評価方法

授業へ取り組み姿勢(60%)
 各課題曲での目標の達成度、実践度(20%)
 自己実現力と演奏力の向上度(20%)

受講生への
メッセージ

国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。
 世界に認められたテクニクや表現、人を感動させる音楽のリリ(グルーブ)について学び、習得していきます。
 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。
 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンでYoutubeを検索。
 テキスト(4-8小節の程度のエクササイズを2種類)。
 その他、資料配布

科目名 (英)	コントロールセオリー I Control Theory I	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】							
<p>①ルーティメンツをドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。</p> <p>②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。</p> <p>③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。</p>							
【到達目標】							
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	グリップ&フォーム、フィンガーコントロール
3回目	フットワーク
4回目	中間チェック。
5回目	アクセレーションコントロール16分音符 3種類
6回目	各自実践、フィードバック。
7回目	アクセレーションコントロール3連符 2種類
8回目	各自実践、フィードバック。
9回目	中間チェック。
10回目	ダブルストロークロール
11回目	5.7.9.11.13ストロークロール
12回目	バズ、バズ5、バズ7
13回目	前期の振り返り
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリー II Control Theory II	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】							
<p>①ルーティメンツをドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。</p> <p>②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。</p> <p>③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。</p>							
【到達目標】							
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	シングルバラデイドル
3回目	実践練習とフィードバック。
4回目	ダブルバラデイドル
5回目	実践練習とフィードバック。
6回目	トリプルバラデイドル
7回目	実践練習とフィードバック。
8回目	中間チェック。
9回目	フラム、フラムアクセント16分&3連符
10回目	フラムバラデイドル
11回目	フラムタップ、ラタマキュー
12回目	後期の振り返り
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーⅢ Control TheoryⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	星山哲也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】							
<p>①ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。</p> <p>②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。</p> <p>③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中での自由度を広げて欲しい。 (講師プロフィール)</p> <p>メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。</p>							
【到達目標】							
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールと連符感を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	ラフ、4.5ストロークラフ
3回目	ドラッグ
4回目	シングルドラッグ
5回目	ダブルドラッグ
6回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
7回目	ドラッグパラデイドルNo.1.2
8回目	ラタマキュー
9回目	シングルラタマキュー
10回目	ダブルラタマキュー
11回目	トリプルラタマキュー
12回目	ルーディメンツ小テスト
13回目	チェンジアップ
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーⅣ Control TheoryⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	星山哲也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】							
<p>①ルーティメントを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。</p> <p>②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニクの上達。</p> <p>③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中での自由度を広げて欲しい。 (講師プロフィール)</p> <p>メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。</p>							
【到達目標】							
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールと連符感を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	2拍3連、カウント、コンビネーション
3回目	課題の提示・実践練習。
4回目	実践発表とフィードバック。
5回目	4拍3連、カウント、コンビネーション
6回目	課題の提示・実践練習。
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	3拍4連、カウント、コンビネーション
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	3拍4連on4/4
11回目	実践発表とフィードバック。
12回目	5拍4連、カウント、コンビネーション・7拍フレーズの紹介
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリー V Control Theory VI	選択 必修	選択必修	年次	3	担当教員	星山哲也
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 ①ルーティメントのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。各ルーティメントのマーチングとしての応用。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。 楽曲の中で自由度を更に広げて欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	シングルストロークコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.1
3回目	実践発表とフィードバック。
4回目	ダブルストロークコンビネーション・オールアメリカンドラマーNo.2
5回目	実践発表とフィードバック。
6回目	シングルパラディドルコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.3
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	ダブルストロークコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.4
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	トリプルパラディドルコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.5
11回目	実践発表とフィードバック。
12回目	ダブルパラディドルバリエーション・オールアメリカンドラマーNo.6
13回目	実践発表とフィードバック。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト・All American Drummerテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーVI Control TheoryVI	選択 必修	選択必修	年次	3	担当教員	星山哲也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 ①ルーティンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。各ルーティンツのマーチングとしての応用。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。 楽曲の中で自由度を更に広げて欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	トリプルパラディドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.7
3回目	実践発表とフィードバック。
4回目	フラムダブルパラディドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.8
5回目	実践発表とフィードバック。
6回目	フラムトリプルパラディドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.9
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	2拍3連応用、オールアメリカンドラマーNo.10
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	2拍3連メトリックモジュレーション、オールアメリカンドラマー復習
11回目	4拍3連応用、オールアメリカンドラマーNo.11
12回目	実践発表とフィードバック。
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方 法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト・All American Drummerテキスト	

科目名 (英)	グループメイク I Groove Making I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	伊藤公了
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 3限
【授業の学習内容】 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。 (講師プロフィール) スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックにおいて必要なグルーブの中で代表的な「8beat」、「16Beat」、「Shuffle Beat」においてそれぞれのBPM120を目標とする。 基本的なドラム譜面の読み書き							

授業計画・内容	
1回目	基本となるリズム（4分音符、8分音符等）の考え方 譜面の読み方
2回目	8BeatのBasicパターン BPM=60~90 (High 120)
3回目	8BeatのAdvanceパターン BPM=90~120 (High 140)
4回目	8分音符のシンコペーションを使ったパターン、リズムキープ方法 左足でのテンポキープ
5回目	3連符の説明、リズム感の習得
6回目	Shuffle Beatの説明、右手のダウンアップ奏法の習得
7回目	Shuffle BeatのBasicパターン BPM=90 (High 120)
8回目	Shuffle BeatのAdvanceパターン BPM=120 (High 140) ブルースシャッフルの習得
9回目	3連符系のFill In、及び2拍3連の説明
10回目	2拍3連の習得、2拍3連を使ったパターンやFill In
11回目	16分音符の説明、16BeatのBasicパターン BPM=60~90 (High 120)
12回目	16BeatのAdvanceパターンとFill In BPM=90~120 (High 140)
13回目	期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の理解とスティックコントロール 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習
評価方法	12週目に行う実技テスト（50%） 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)
受講生への メッセージ	ドラムの演奏において必要不可欠なパターンなど みなさんが聴いている楽曲はもちろん、様々な音楽が演奏できるようになるためのクラスです。 ドラムキッドでの演奏ですのでリアルなサウンドメイクや表現方法を習得してください。
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：Drum Groove Making 1：滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	伊藤公了
	Groove Making Ⅱ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科					曜日・時限	木曜 3限
【授業の学習内容】 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。 (講師プロフィール) スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックにおいて必要なグルーブの中で代表的な「8beat」、「16Beat」、「Shuffle Beat」をさらに発展させたグルーブの習得 「Halftime Shuffle」BPM=70、「6/8拍子」BPM=60、「12/8拍子」BPM=75 パーカッションの基本的な演奏方法							

授業計画・内容	
1回目	16Beatにおけるゴーストノートについて (4つのストローク (Tap,Down,Up,Full) の確認と習得)
2回目	ゴーストノートを使ったパターン、Fill In BPM=75 (High 90)
3回目	Halftime ShuffleのBasicパターン BPM=60 (High 75)
4回目	Halftime ShuffleのAdvanceパターンとFill In BPM=70 (Hgh 85)
5回目	Halftime Shuffleと4拍3連
6回目	6/8拍子について カウンティング、基本的なリーディング
7回目	6/8拍子のパターン、Fill In BPM=60 (High 75)
8回目	12/8拍子について カウンティング、リーディング
9回目	12/8拍子のパターン、Fill in BPM=75 (High 90)
10回目	Percussion Cajon
11回目	Percussion Conga,Bongo
12回目	Percussion Shaker,Tambalineなど
13回目	卒業進級展準備
14回目	卒業進級展準備
15回目	卒業進級展準備
準備学習 時間外 学習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の理解とスティックコントロール、裏クリックでのリズムトレーニング 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習
評価方法	12週目に行う実技テスト (50%) 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)
受講生への メッセージ	"前期に引き続きドラムの演奏において必要不可欠なパターンなど みなさんが聴いている楽曲はもちろん、様々な音楽が演奏できるように なるためのクラスです。 後半ではパーカッションなども演奏できるようにしましょう。"
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	伊藤公了
	Groove Making Ⅲ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデューサー科					曜日・時限	木曜 4限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ポピュラーミュージックだけではなく、JAZZやLATINなど幅広いグルーブの習得 Bossa Nova BPM=120、Samba BPM=105、4Beat Swin BPM=120、Reggae BPM=90 基本的なドラム譜面の読み書き ラテンパーカッションの奏法の習得</p>							

授業計画・内容	
1回目	Bossa Novaについての説明
2回目	Bossa Nova Basicパターン BPM=110 (High 140)
3回目	Bossa Nova Advanceパターン BPM=120 (High 140)
4回目	Sambaについて説明 Samba Kickの練習法
5回目	Samba Basicパターン BPM=90 (High 105)
6回目	Samba Advanceパターン BPM=105 (High 120)
7回目	4Beat Swing についての説明
8回目	4beat Swing Basicパターン BPM=90 (High 120)
9回目	4Beat Swing Advanceパターン BPM=120
10回目	4Beat Swingでの4way インディペンデンス
11回目	Reggae についての説明
12回目	Reggae Basicパターン BPM=70 (High 85)
13回目	期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の理解とスティックコントロール 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習
評価方法	12週目に行う実技テスト(50%) 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)"
受講生への メッセージ	"今までに習得したグルーブ以外の様々な演奏スタイルを習得して さらに幅広い技術、知識を身につけるクラスです。 まずは色々な音楽に触れてください。"
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクIV Groove Making IV	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	伊藤公了
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜 4 限
【授業の学習内容】 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。 (講師プロフィール) スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックにおける代表的なグルーブに加え JAZZやLATINなどさらにジャンル、スタイルを広げたグルーブの習得 また、Odd Meter (変拍子) やポリリズム、リニアパターンでのグルーブの構築。 SPDなどサンプリングパッドの使い方、アナログとデジタルの混合パターンの習得							

授業計画・内容	
1回目	Aflo Cubanについて説明
2回目	Afro Cuban Basicパターン BPM=60 (High 85)
3回目	Afro Cuban Advance 6/8パターン BPM=60 (High 75)
4回目	ポリリズムを使ったBasicパターン BPM=90 (High 120)
5回目	ポリリズム Advanceパターン BPM=120 (High 135)
6回目	メトリック モジュレーション Basicパターン
7回目	メトリック モジュレーション Advanceパターン
8回目	サンプリングパッドの使い方
9回目	サンプリングパッドとアコースティックドラムとの混合パターン
10回目	リニアパターン Basic
11回目	Odd Meterの説明とカウンティング
12回目	5/8拍子、7/8拍子のBasicパターンとFill In BPM=120 (High 135)
13回目	卒業進級展準備
14回目	卒業進級展準備
15回目	卒業進級展準備
準備学習 時間外 学習	"BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の理解とスティックコントロール 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習"
評価方法	12週目に行う実技テスト (50%) 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)
受講生への メッセージ	前期に引き続きドラムの演奏において必要不可欠なパターンなど みなさんが聴いている楽曲はもちろん、様々な音楽が演奏できるようになるためのクラスです。 後半では リズムの変形パターンや変拍子も演奏できるようにしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版 Drum Groove Making 2：滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクV Groove Making V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	伊藤 公了
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜5時限目

【授業の学習内容】

FSM創設時よりドラム講師として20年以上の経験、またスタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。
また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している伊藤公了。

様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、
テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。
その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。

【到達目標】

ポピュラーミュージックだけではなく、JAZZやLATINなど幅広いグルーブの習得
Bossa Nova BPM=120
Samba BPM=105
4Beat Swin BPM=120
Reggae BPM=90
基本的なドラム譜面の読み書き

授業計画・内容

1回目	Bossa Novaについての説明
2回目	Bossa Nova Basicパターン BPM=110 (High 140)
3回目	Bossa Nova Advanceパターン BPM=120 (High 140)
4回目	Bossa Nova Song1
5回目	Sambaについて説明 Samba Kickの練習法
6回目	Samba Basicパターン BPM=90 (High 105)
7回目	Samba Advanceパターン BPM=105 (High 120)
8回目	Samba Song1
9回目	Reggae についての説明
10回目	Reggae Basicパターン BPM=70 (High 85)
11回目	Reggae Advanceパターン BPM=70 (High 85)
12回目	Reggae Song1
13回目	Afro Cubanについて説明
14回目	Afro Cuban Basicパターン BPM=60 (High 85)
15回目	Afro Cuban Advance 6/8パターン BPM=60 (High 75)
準備学習 時間外学習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、16分音符に加え3連符、6連符の理解とスティックコントロール テキスト及び授業内容の復習
評価方法	授業態度 参考楽曲等による習得度の確認
受講生への メッセージ	ポピュラーミュージック以外にもJazzなどよく使われるグルーブです。 ドラムセットだけではなくアコースティックスタイルの演奏方法も身につけて表現の幅を広げていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版

科目名 (英)	グループメイクVI Groove Making VI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	伊藤 公了
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜5時限目

【授業の学習内容】

FSM創設時よりドラム講師として20年以上の経験、またスタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。
また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している伊藤公了。

様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、
テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。
その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。

【到達目標】

ポピュラーミュージックにおける代表的なグルーブに加え
JAZZやLATINなどさらにジャンル、スタイルを広げたグルーブの習得
また、Odd Meter (変拍子) やポリリズム、リニアパターンでのグルーブの構築など

授業計画・内容

1回目	ポリリズムについて
2回目	ポリリズムを使ったBasicパターン BPM=90 (High 120)
3回目	ポリリズム Advanceパターン BPM=120 (High 135)
4回目	ポリリズム Song1
5回目	メトリック モジュレーションについて
6回目	メトリック モジュレーション Basicパターン
7回目	メトリック モジュレーション Advanceパターン
8回目	メトリック モジュレーション Song1
9回目	リニアパターン Basic
10回目	Odd Meterの説明とカウンティング
11回目	5/8拍子、7/8拍子のBasicパターンとFill In BPM=120 (High 135)
12回目	変拍子 Song1
13回目	卒業進級展準備
14回目	卒業進級展準備
15回目	卒業進級展準備

準備学習 BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、16分音符に加え3連符、6連符の理解とスティックコントロール
時間外学習 テキスト及び授業内容の復習

評価方法 授業態度
参考楽曲等による習得度の確認

受講生への
メッセージ Jazz、Fusion、Latinなどポピュラーミュージック以外のスタイルを勉強することによって
幅広い音楽性を身につけていきましょう！！

【使用教科書・教材・参考書】

教科書 : The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2 : 滋慶出版

科目名 (英)	ダンスベーシック I	必修 選択	選択 必修	年次	1年	担当教員	山炭裕輝
	Dance Basic I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜 3限
【授業の学習内容】							
<p>まず、身体を動かす上で大切な「解剖学」身体はどこにどの様になっているのかを必要なポイントだけを選択し理解していただきその中で実際に筋トレやボディケアに繋げていきたいと思います。ただ身体を動かす事と理解して身体を動かす事でコンディショニング、パフォーマンスが大きく左右されます。この授業では上記の内容をしっかりと学びながらダンスなどの動きに繋げてくれるように進めていきます。その他にも外見の面ボディースタイルや食事栄養管理の面も学びます。 (講師) 熊本県小国中学校柔道部指導・スポーツクラブ、ジムにてトレーニング指導。</p>							
【到達目標】							
<p>①セルフストレッチ、コンディショニングをしっかりと理解し日頃から行う知識、技術を習得する。</p> <p>②ダンスなどに必要な筋肉などを理解して自分だけでなく他の学生などに説明できるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション (これからのボディコンディショニング) について
2回目	姿勢のチェック改善について、自分の身体について理解しよう①
3回目	上半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ①基礎編
4回目	上半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ②応用編～まとめ～
5回目	下半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ①基礎編
6回目	下半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ②応用編～まとめ～
7回目	適切なストレッチの種類とその目的を学ぶ スタティックストレッチとバリスティックストレッチ
8回目	トレーニングを行う前になぜ、柔軟性をつける？可動域を先につけることの意味についてメリット&デメリット
9回目	コンディショニング！！身体を動かす前には必ずやるべき動きを習得する
10回目	実は見逃しがち。足の裏（足底）が身体の姿勢の鍵を握っているケアとトレーニング
11回目	体幹は腹筋だけでは不可欠？アウターマッスルとインナーマッスルについて
12回目	自分に適したトレーニングとストレッチでメニュー作成をしよう①
13回目	前期まとめ
14回目	実技試験・評価
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	・授業で学んだトレーニングやストレッチなどはボディコンディショニングの授業以外の日常から実践して頂き常にベストコレクションで学校生活を過ごして頂きたい。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	筋トレ、トレーニングと聞くと「きつい」などが頭に浮かぶと思いますがまずは、今の皆さんの身体がどうなっているのかを理解した上でストレッチなどからスタートして後半にトレーニングなどを取り入れたいと思います。中にはきついトレーニングもありますが今後の自分のために思い頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシックⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	1年	担当教員	山炭裕輝
	Dance Basic II	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜 3限
【授業の学習内容】 後期では前期で習得した（セルフストレッチ・コンディショニング）の他に怪我をしない身体作り（予防医学）に方向を向けて授業を進めます。特に中心になってくるのが食事・栄養の管理の授業が入ってきます。ここはトレーニング、ストレッチはもちろん大切な事ですが皆さんの身体を支えているのは食事になりますので中心的に学んでいきます。それを踏まえてダイエットやスタイル維持などに繋げていきましょう。							
【到達目標】 ①食事・栄養管理など自分には何が必要なか理解し自分自身の健康を管理できる。 ②ダンスなどに必要な（トレーニング・セルフストレッチ）を習得し実践できるスキルを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	習得したトレーニング・ストレッチの見直し復習～考え直し～
2回目	食事・栄養について学び理解しよう①～比率は運動3割食事7割～
3回目	食事・栄養について学び理解しよう②～食事とトレーニングを組み合わせよう～
4回目	姿勢のチェック改善について、自分の身体について理解しよう②～前期との評価～
5回目	セルフストレッチとペアストレッチの違い効果についてとメリット・デメリット
6回目	ペアトレーニングで効果+強度upできる！注意すべき点とメリット・デメリット
7回目	ジャンプや切り返しなど動きの中でのトレーニングについて
8回目	睡眠について学び理解しよう～皆さんの睡眠時間は1日どれくらいですか？～
9回目	運動・食事・睡眠について～この3つはどれも欠けてはいけない～
10回目	自分に適したトレーニングとストレッチでメニュー作成をしよう②～全体を通しての組みなおし～
11回目	トレーニング・ストレッチの復習・食事栄養管理について見直し
12回目	実技試験・評価
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	後期では、トレーニング・セルフストレッチはもちろん学びますが、食事・栄養管理も勉強します。日頃の食事などを見直して少しでも意識をして取り入れてみてください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	後期はミュージカルや発表に向けて怪我などをしないような身体作りを考えて授業を進めていきます。怪我でできない、出られないようにならないようにトレーニング・セルフストレッチはもちろん食事・栄養の授業も行いますのでスタイル維持などにも繋げてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシックⅢ Dance BasicⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2年	担当教員	山炭裕輝
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 1年次に学んだ内容を復習し今後、業界で必要とされるダンサーとしてのスキル（持久力・柔軟性・筋力）を中心に強化しパフォーマンスUPは もちろん怪我をしない身体作りを行い、自主的にできるように繰り返し行いながらスキルを身につけていく。その他にもポディスタイルを整える、維持するための知識なども同時に身につける。							
【到達目標】 ・前期の授業が終了するまでにダンサーとしてのスキル（持久力・柔軟性・筋力）を80%理解し実践できるようになる。 ・ポディスタイルなども自己管理することができオーディションなどで必要とされる身体作りの知識を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	目標設定と今後の授業の進め方について
2回目	スキルチェック①（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
3回目	上半身のストレッチ・トレーニング基礎（個人で行うメニュー）
4回目	下半身のストレッチ・トレーニング基礎（個人で行うメニュー）
5回目	上半身のストレッチ・トレーニング基礎（ペア・グループで行うメニュー）
6回目	下半身のストレッチ・トレーニング基礎（ペア・グループで行うメニュー）
7回目	食事の管理を行う①（現在食べている食事について見直そう）
8回目	スキルチェック②（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
9回目	現在のコンディションスキルに合ったストレッチ・トレーニングを考える①
10回目	現在のコンディションスキルに合ったストレッチ・トレーニングを考える②
11回目	睡眠の管理を行う①（現在の睡眠はどれくらいかそれが今後のコンディションにどう繋がるのか）
12回目	前期最終スキルチェックに向けての応用
13回目	スキルチェック③（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
14回目	後期に向けて前期の振り返り～どう成長したか今後の目標について～
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	・パフォーマンスUPするには見えない所での自分に対して、ケアやリラクゼーションにどれだけの時間を使うかだと思います。 授業で学んだ事はまず一度、自分に合うものが復習する。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	いよいよ2年生の授業がスタートです！この1年でたくさんのスキルを身につけて業界で活躍できるダンサー・アーティストを目指そう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシックⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2年	担当教員	山炭裕輝
	Dance BasicⅣ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 業界で必要とされるためのスキルを完全に取得し、卒業して即戦力で活動できるように仕上げていく！また前期に目標を立てその目標に到達できるよう1年から学んだ内容を復習し自分に必要なストレッチ・栄養・睡眠など100%理解する。							
【到達目標】 ・業界で必要とされるためのスキルを身につけて自信を持って業界で活動できる様になる。 ・1年次を含めストレッチ・栄養管理・睡眠を100%理解できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	スキルチェック④（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
2回目	後期の目標設定と今後の授業の進め方について
3回目	上半身のストレッチ・トレーニング応用（個人で行うメニュー）
4回目	下半身のストレッチ・トレーニング応用（個人で行うメニュー）
5回目	上半身のストレッチ・トレーニング応用（ペア・グループで行うメニュー）
6回目	下半身のストレッチ・トレーニング応用（ペア・グループで行うメニュー）
7回目	スキルチェック⑤（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
8回目	食事の管理を行う②（現在食べている食事について見直そう）
9回目	睡眠の管理を行う②（現在の睡眠はどれくらいかそれが今後のコンディションにどう繋がるのか）
10回目	最終スキルチェックに向けての応用・確認
11回目	最終スキルチェック⑥（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
12回目	年間を通しての振り返り、目標達成できたか
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	スキルテストなどをスポットで入れてますのでそれに対応できるように常に自己管理を行いましょう！
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	さて後期のスタートです！残り少ない学校生活、怪我のなくイベントなどにも率先して取り組み素晴らしいダンサー・アーティストとして卒業しよう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスアドバンス I Dance Advance I	必修 選択	選択必修	年次	3年	担当教員	te2(小川哲由)
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜3限
【授業の学習内容】 ファンデーションをメインにしたルーティンや作品制作。同時にフィジカルやミュージカルティガ身につく筋トレ、リズム遊び、音楽知識を学ぶ。 (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 ダンサーとして行きて行ける知識、技術、モラルなどを習得。ダンスが上手でも行きていけない世界なのを生き抜く術を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	アイソレーションを丁寧に。分解、反復の理論
2回目	リズムの解説。右脳と左脳で理解できるように
3回目	ベーシックステップのいくつかをレクチャー
4回目	ベーシックステップのいくつかをレクチャー
5回目	体重移動の基礎。バランスの取り方
6回目	ヒップホップで使われるステップと90年代の曲
7回目	ウェーブの分解と練習方法
8回目	ストップ、ヒット、エアーのニュアンスと使いどころ
9回目	フリースタイル発表
10回目	ハイテンポの曲にたいするステップの運び方
11回目	ターンを数種類じっくり
12回目	自主制作コンテスト
13回目	コンテスト発表
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	好きという気持ちを忘れないために反復の楽しさを覚えましょう。それをわかりやすく教えるので安心して下さい！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスアドバンスⅡ Dance AdvanceⅡ	必修 選択	選択必修	年次	3年	担当教員	te2(小川哲由)
学科・コース	スーパーeインターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3限
【授業の学習内容】 オールドスクールを中心とした半年間。またダンスの関わり方の可能性を伝えます。 (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 ダンサーとして行きて行ける知識、技術、モラルなどを習得。ダンスが上手でも行きていけない世界なのを生き抜く術を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ブーガリーの基礎
2回目	ヒットとブーガリーをリズムに合わせて踊れるように
3回目	ロックダンスのファンデーション1
4回目	ロックダンスのファンデーション2
5回目	ロックダンスのファンデーション3
6回目	70年代の曲とロックダンスの関係、歴史
7回目	waackの基礎
8回目	waackのバリエーション
9回目	soulダンスのイロハ
10回目	soulダンスと現代音楽との混ぜ方
11回目	邦楽をかつこよく振付する方法
12回目	まとめテスト
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	知らない事は当たり前なので、知ろうとしてください。分からないものを分からないままにしない。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	マルチパフォーマンス I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山崎 結
	Multi Performance I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】							
自分の理想の歌声や目標に向けて、ヴォイストレーニングの基本部分を学んでいく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。							
((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
自分の理想の歌声に向かって、なぜヴォイストレーニングをする必要なのかを理解し、発声の基本項目を習得し、なおかつ習慣化し行う出来る。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール）
2回目	発声①＋課題曲①レクチャー
3回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
4回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
5回目	発声①②（表情筋）＋課題曲②レクチャー
6回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
7回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
8回目	発声①②③（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音）＋課題曲③レクチャー
9回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
10回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
11回目	発声①②③④（声帯周りの筋肉をストレッチする）、課題曲④レクチャー
12回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
13回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
14回目	発声総復習（疑問点確認）
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
準備学習 時間外学 習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山崎 結
	Multi Performance Ⅱ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】							
<p>自分の理想の歌声や目標に向けて、ヴォイストレーニングの基本部分を学んでいく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。 ((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。</p>							
【到達目標】							
発声の基本項目+新しいアプローチ方法を習得し、なおかつ習慣化し行う出来る。							

授業計画・内容	
1回目	発声①②③④⑤(共鳴)、課題曲⑤レクチャー
2回目	発声①②③④⑤復習&チェック+課題曲⑤復習
3回目	発声①②③④⑤復習&チェック+課題曲⑤復習
4回目	発声①②③④⑤⑥(裏声)+課題曲⑥復習
5回目	発声①②③④⑤⑥復習&チェック+課題曲⑥復習
6回目	発声①②③④⑤⑥復習&チェック+課題曲⑥復習
7回目	発声①復習&様々なスケール+課題曲⑦レクチャー
8回目	発声①復習&チェック+課題曲⑦復習
9回目	発声①復習&チェック+課題曲⑦復習
10回目	発声①②③④⑤⑥総復習、発表会に向けて選曲してみよう
11回目	発声レベルチェックテスト+発表会に向けて
12回目	発表会、後期振り返り(自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう)
13回目	卒業進級制作リハーサル
14回目	卒業進級制作リハーサル
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みれば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材(ボイスレコーダーや携帯に録音機能など)、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山崎 結
	Multi Performance Ⅲ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
自分の理想の歌声や目標に向けて、ヴォイストレーニングの基本部分のアプローチ方法を増やし、より細かく学んでいく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。							
((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
基本的な発声 + アプローチ方法を取得し、より深い発声力を身につけて習慣にして取り組む事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋）
2回目	発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋） + 課題曲①レクチャー
3回目	発声①復習 & チェック + 課題曲①復習
4回目	発声①復習 & チェック + 課題曲①復習
5回目	発声①②（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音） + 課題曲②レクチャー
6回目	発声①②復習 & チェック + 課題曲②復習
7回目	発声①②復習 & チェック + 課題曲②復習
8回目	発声①②③（声帯周りの筋肉をストレッチする） + 課題曲③レクチャー
9回目	発声①②③復習 & チェック + 課題曲③復習
10回目	発声①②③復習 & チェック + 課題曲③復習
11回目	発声①②③④（共鳴）、課題曲④レクチャー
12回目	発声①②③④復習 & チェック + 課題曲④復習
13回目	発声①②③④復習 & チェック + 課題曲④復習
14回目	発声総復習（疑問点確認）
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
準備学習 時間外学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 40% ■ 授業へ取り組む姿勢 30% ■ 発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みれば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅣ Multi Performance Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山崎 結
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
自分の理想の歌声や目標に向けて、前期で学んだ基本の発声方法4項目をベースに、様々なスケールやアプローチ方法を使い、より深掘りしていく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。							
((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
基本的な発声＋様々なスケール感の中で実践する事ができ、より深い発声力を身につけて習慣にして取り組む事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	発声①②③④⑤(裏声)、課題曲⑤レクチャー
2回目	発声①②③④⑤復習&チェック、課題曲⑤レクチャー
3回目	発声①②③④⑤復習&チェック、課題曲⑤レクチャー
4回目	発声①復習&様々なスケール＋課題曲⑥レクチャー
5回目	発声①復習&チェック＋課題曲⑥復習
6回目	発声②復習&様々なスケール＋課題曲⑦レクチャー
7回目	発声②復習&チェック＋課題曲⑦レクチャー
8回目	発声③復習&母音を変えてみよう＋課題曲⑧レクチャー
9回目	発声③復習&チェック＋課題曲⑧復習
10回目	発声復習&チェック＋課題曲⑧復習
11回目	発声レベルチェックテスト＋発表会に向けて
12回目	発表会、後期振り返り(自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう)
13回目	卒業進級制作リハーサル
14回目	卒業進級制作リハーサル
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材(ボイスレコーダーや携帯に録音機能など)、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスV	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	山崎 結
	Multi Performance V	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
自分の理想の歌声や目標に向けて、様々なスケールやアプローチ方法を使い、より発声の質をあげていく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。 (講師プロフィール) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
新しいスケールを増やし、基本的な発声とともに質を上げて実践する事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋）
2回目	発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋：マイナースケール）＋課題曲①レクチャー
3回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
4回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
5回目	発声①②（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音：マイナースケール）＋課題曲②レクチャー
6回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
7回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
8回目	発声①②③（声帯周りの筋肉をストレッチする：母音を変えて）＋課題曲③レクチャー
9回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
10回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
11回目	発声①②③④（共鳴：マイナースケール）、課題曲④レクチャー
12回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
13回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
14回目	発声総復習（疑問点確認）
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
準備学習 時間外学 習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みれば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスVI Multi Performance VI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	山崎 結
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
<p>自分の理想の歌声や目標に向けて、前期で学んだ基本の発声方法4項目をベースに、様々なスケールやアプローチ方法を使い、より深掘りしていく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。</p> <p>((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやプライダルなど、幅広く活動している。</p>							
【到達目標】							
新しいスケールを増やし、基本的な発声とともに質を上げて実践する事が出来、シンプルなスケールから発声+ピアノを演奏しながら実践することが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	発声①②③④⑤(裏声:母音を変えて)、課題曲⑤レクチャー
2回目	発声①②③④⑤復習&チェック、課題曲⑤レクチャー
3回目	発声①②③④⑤復習&チェック、課題曲⑤レクチャー
4回目	発声①復習&ピアノを自分で弾いてみよう + 課題曲⑥レクチャー
5回目	発声①復習&チェック+課題曲⑥復習
6回目	発声②復習&ピアノを自分で弾いてみよう + 課題曲⑦レクチャー
7回目	発声②復習&チェック+課題曲⑦レクチャー
8回目	発声③④復習&ピアノを自分で弾いてみよう + 課題曲⑧レクチャー
9回目	発声③④復習&チェック+課題曲⑧復習
10回目	発声⑤復習&チェック+課題曲⑧復習
11回目	発声レベルチェックテスト+発表会に向けて
12回目	発表会、後期振り返り(自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう)
13回目	卒業進級制作リハーサル
14回目	卒業進級制作リハーサル
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます!ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材(ボイスレコーダーや携帯に録音機能など)、筆記用具	

科目名 (英)	ダンススタイル I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	TOSHI
	Dance Style I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	金曜 5限
【授業の学習内容】 ストレッチ、体感トレーニング。フロアトレーニング。 ブレイキンに必要なフットワーク&スキルトレーニング。 振り付け（ブレイキン） （講師）USJ振付担当							
【到達目標】 フロアでのボディーコントロール習得。 ブレイキンに必要なステップ&フットワーク&フリーズ習得 ステップ、フットワーク、フリーズを自由に組み立てて、ソロが踊れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
2回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
3回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
4回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
5回目	フロアトレーニング、ステップ、フットワーク ① 振り付け
6回目	フロアトレーニング、ステップ、フットワーク ② 振り付け□
7回目	フロアトレーニング、ステップ、フットワーク ③ 振り付け□
8回目	フットワーク、フリーズ ① 振り付け
9回目	フットワーク、フリーズ ② 振り付け
10回目	フットワーク、フリーズ ③ 振り付け
11回目	フットワーク組み立て ① 振り付け
12回目	フットワーク組み立て ② 振り付け
13回目	フットワーク組み立て ③ 振り付け
14回目	まとめ
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	フロアでのボディーコントロール能力、フロアスキルをUPさせて、一緒にレベルUPを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい服装。動きやすいスニーカー。	

科目名 (英)	ダンススタイルⅡ Dance StyleⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	TOSHI
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日 5限
【授業の学習内容】 ストレッチ、体感トレーニング。フロアトレーニング。 プレイキンに必要なフットワーク&スキルトレーニング。 振り付け（プレイキン） （講師）USJ振付担当							
フロアでのボディーコントロール習得。 プレイキンに必要なステップ&フットワーク&フリーズ習得 ステップ、フットワーク、フリーズを自由に組み立てて、ソロが踊れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	フロアトレーニング、スキルトレーニング ①
2回目	フロアトレーニング、スキルトレーニング ②
3回目	フロアトレーニング、スキルトレーニング ③
4回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ① 振り付け
5回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ② 振り付け
6回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ③ 振り付け
7回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ④ 振り付け
8回目	即興でソロで踊るトレーニング
9回目	即興でソロで踊るトレーニング
10回目	即興でソロで踊るトレーニング
11回目	即興でソロで踊るトレーニング
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	フロアでのボディーコントロール能力、フロアスキルをUPさせて、一緒にレベルUPを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
動きやすい服装、動きやすいスニーカー	

科目名 (英)	ダンススタイルⅢ Dance StyleⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	大石 愛
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水2限
【授業の学習内容】 ストリートの基礎と応用を身につける。 (講師) クラブ等show出演の他、sunsetliveなどの野外フェス出演、インストラクター、ダンスコンテスト審査員、振付等、福岡を拠点に幅広い分野でダンサーとして活躍中。							
【到達目標】 1人で踊る感覚を身につけ、自己表現力を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け①
2回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け②
3回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け③
4回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け④
5回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑤
6回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑥
7回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑦
8回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑧
9回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑨
10回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑩
11回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑪
12回目	実技試験
13回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	リズム、アイソレーション、振り付けの復習。
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	自己表現がしっかりできるダンサーを目指して下さい。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンススタイルⅣ Dance StyleⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	大石 愛
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水2限
【授業の学習内容】 ストリートの基礎と応用を身につける。 (講師) クラブ等show出演の他、sunsetliveなどの野外フェス出演、インストラクター、ダンスコンテスト審査員、振付等、福岡を拠点に幅広い分野でダンサーとして活躍中。							
【到達目標】 1人で踊る感覚を身につけ、自己表現力を習得する。 振り付けとソロの違いを理解する。 自分で振付を作る。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション①
2回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション②
3回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション③
4回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション④
5回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション⑤
6回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション⑥
7回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション⑦
8回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション①
9回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション②
10回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション③
11回目	まとめ
12回目	実技試験
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	リズム、アイソレーション、振り付けの復習。
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	自己表現がしっかりできるダンサーを目指して下さい。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンススタイルV Dance Style V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	SHOW
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜4限
【授業の学習内容】							
ウォーミングUP、ストレッチ、アイソレーション、クロスフロア（テクニック）を準備運動として実施し、それを使ってJAZZ、JAZZ HOPHOPコンビネーションを2～3週を目的に実施する。							
（講師）アメリカで単身レッスンを受け、ラスベガスで数々の日本人初となるイベント出演を果たす。最新のLAスタイルジャズを主体とした自身のジャズファンクを確立。現在、「福岡から世界へ」をベースに日本はもとよりアメリカラスベガスにもレギュラーイベントを持つダンスパフォーマンスユニット「ソウル・スプラッシュ・クルー」として活躍中。							
【到達目標】							
いろんな種類のダンスを実習していき、それをこなせるようにしていく。1年間でダンスの基礎を学ぶ。							

授業計画・内容	
1回目	ダンサーとは！の講義を前半に行い、後半4～6×8の振付を覚え、踊る。
2回目	JAZZHIPHOPを踊る。上記のウォーミングUPの後に6～8×8の振付を踊る。
3回目	前半ストレッチやアイソレーションの仕方を覚え、後半8～12×8の振付を踊る。
4回目	クロスフロアで使ったテクニックを振付の中に入れ練習をし、習得する。
5回目	クロスフロアで使ったテクニックを振付の中に入れ練習をし、習得する。
6回目	グループ分けをし、課題を与え、自分たちで振付をし、それを発表し、意見交換を行う。
7回目	フォーメーションダンスを踊る。前後左右の動きを取り入れたダンスを踊り、協調性を養う。
8回目	フォーメーションダンスを踊る。前後左右の動きを取り入れたダンスを踊り、協調性を養う。
9回目	JAZZダンスを踊る。身体の使い方や動きの流れ方の練習し、4×8のJAZZを踊る。
10回目	JAZZダンスを踊る。身体の使い方や動きの流れ方の練習し、4×8のJAZZを踊る。
11回目	グループ分けをし、課題を与え自分たちで振付をし、それを発表し、意見交換を行う。
12回目	4～6×8の振付を覚え、3～4人に分け、踊り、評価する。
13回目	まとめ
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外 学習	なし
評価方法	出席率50%、技術向上率20%、授業の取り組み態度30%
受講生への メッセージ	基本的にはJAZZスタイルで進めていきます。JAZZが得意ではない人も多くいますが、それぞれの持っている個性を出し、いろんな自分の可能性を見つけ出して視野を広げてもらえればと思います。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	ダンススタイルVI Dance StyleVI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	SHOW
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜4限
【授業の学習内容】 ウォーミングUP、ストレッチ、体幹トレーニング（タンジェ、バランスなど）、クロスフロア（テクニック）を準備運動として実施し、それを使ってJAZZ、JAZZ HOPHOPコンビネーションを2～3週を目標に実施する。 （講師）アメリカで単身レッスンを受け、ラスベガスで数々の日本人初となるイベント出演を果たす。最新のLAスタイルジャズを主体とした自身のジャズファンクを確立。現在、「福岡から世界へ」をベースに日本はもとよりアメリカラスベガスにもレギュラーイベントを持つダンスパフォーマンスユニット「ソウル・スプラッシュ・クルー」として活躍中。							
【到達目標】 基礎体力を付け、ダンステクニックを習得させ、あらゆるジャンルのダンスに対応できる能力を身に付け、社会に出たときに率先力となる様にする。							

授業計画・内容	
1回目	JAZZダンスを踊る。JAZZの基礎を取り入れたダンスを覚え、それを実習していく。
2回目	JAZZダンスを踊る。JAZZの基礎を取り入れたダンスを覚え、それを実習していく。
3回目	テクニック、スキルUPの強化。ターンやジャンプを取り入れたダンスコンビを踊る。
4回目	テクニック、スキルUPの強化。ターンやジャンプを取り入れたダンスコンビを踊る。
5回目	リズムの取り方を覚える。HIPHOP系のダンスを踊り、ニュアンス等を学ぶ。
6回目	グループ分けをし、課題を与え、自分たちで振付をし、それを発表する。
7回目	リズムの取り方を覚える。HIPHOP系のダンスを踊り、ニュアンス等を学ぶ。
8回目	フロアテクニックを身に付ける。フロアへの導入の仕方や動かし方、体重移動を学ぶ。
9回目	2つのグループに分ける。1つの曲で2つの違う振付を踊る。又、それを交代する。
10回目	小道具（帽子）を使う。帽子を使った振付を踊り、シアターダンスを学ぶ。
11回目	グループ分けをし、課題を与え、自分たちで振付をし、それを発表する。
12回目	前期の評価。4～6×8の振付を覚え、3～4人に分け、踊り、評価する。
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外 学習	なし
評価方法	出席率50%、技術向上率20%、授業の取り組み態度30%
受講生への メッセージ	1年間の中で、自分は何をしたいのか？を模索し、考え、最終的なビジョンを作り、そこに向かって、自分らしさを見つけて欲しいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	ヴォイスサンプル I Voice Sample	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	加勢田進
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 声の演技に必要な感性を磨き、台本の理解力を伸ばし、表現方法の向上、キャラクターの確立を促します。ヴォイスサンプル収録に必要な演技と表現力、感情表現の基礎を中心に学びます。収録に関するテクニカル要素についても学び、声の演技の基礎を徹底的に習得します。 ※実務経験：ダンサー・パフォーマーとして活躍後、吹き替えではアニメ・外画を中心に、テレビ・ラジオCMナレーション、企業VP、舞台や映像分野の仕事にも幅広く出演している。現在は講師の仕事を中心に活動中。							
【到達目標】 ヴォイスサンプル収録におけるキャラクターヴォイスの演技の基礎と表現カトレーニング、収録テクニカルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	キャラクターヴォイス演技基礎（ヴォイスサンプル録音スタジオ環境、マイクの使い方、マイクテクニック）①
3回目	キャラクターヴォイス演技基礎（ヴォイスサンプル録音スタジオ環境、マイクの使い方、マイクテクニック）②
4回目	キャラクターヴォイス演技基礎（ヴォイスサンプル録音スタジオセッション）
5回目	キャラクターヴォイス演技基礎（ヴォイスサンプル演技と言葉のクリアさと聞き取りやすさの向上）①
6回目	キャラクターヴォイス演技基礎（ヴォイスサンプル演技と言葉のクリアさと聞き取りやすさの向上）②
7回目	キャラクターヴォイス演技基礎（ヴォイスサンプル演技と鼻濁音、無声音、変形滑舌練習）
8回目	キャラクターヴォイス演技基礎（ヴォイスサンプル演技と台本解析、キャラクター演技）①
9回目	キャラクターヴォイス演技基礎（ヴォイスサンプル演技と台本解析、キャラクター演技）②
10回目	キャラクターヴォイス演技基礎（ヴォイスサンプル演技とキャラクター声の演技、感情表現）①
11回目	キャラクターヴォイス演技基礎（ヴォイスサンプル演技とキャラクター声の演技、感情表現）②
12回目	キャラクターヴォイス演技基礎（ヴォイスサンプル声の特徴と表現力のトレーニング）①
13回目	キャラクターヴォイス演技基礎（ヴォイスサンプル声の特徴と表現力のトレーニング）②
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題作品の研究（構成・音声テクニック）、発声滑舌、ストレッチと呼吸、舌の運動は必須です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。
【使用教科書・教材・参考書】 アニメ&外画台本	

科目名 (英)	ヴォイスサンプルⅡ Voice Sample	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	加勢田進
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 声の演技に必要な感性を磨き、台本の理解力を伸ばし、表現方法の向上、キャラクターの確立を促します。ヴォイスサンプル収録に必要な演技と表現力、感情表現の基礎を中心に学びます。収録に関するテクニカル要素についても学び、声の演技の基礎を徹底的に習得します。 ※実務経験：ダンサー・パフォーマーとして活躍後、吹き替えではアニメ・外画を中心に、テレビ・ラジオCMナレーション、企業VP、舞台や映像分野の仕事にも幅広く出演している。現在は講師の仕事を中心に活動中。							
【到達目標】 ヴォイスサンプル収録におけるキャラクターヴォイスの演技の基礎と表現カトレーニング、収録テクニカルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	キャラクターボイス演技応用（アニメ：キャラクターやシーンに応じた演技の実践）①
2回目	キャラクターボイス演技応用（アニメ：キャラクターやシーンに応じた演技の実践）②
3回目	キャラクターボイス演技応用（アニメ：キャラクターやシーンに応じた演技の実践）③
4回目	キャラクターボイス演技応用（外画：キャラクターやシーンに応じた演技の実践）①
5回目	キャラクターボイス演技応用（外画：キャラクターやシーンに応じた演技の実践）②
6回目	キャラクターボイス演技応用（外画：キャラクターやシーンに応じた演技の実践）③
7回目	キャラクターボイス演技応用（ゲーム：キャラクターやシーンに応じた演技の実践、アクション・バトルシーン）①
8回目	キャラクターボイス演技応用（ゲーム：キャラクターやシーンに応じた演技の実践、アクション・バトルシーン）②
9回目	キャラクターボイス演技応用（ゲーム：キャラクターやシーンに応じた演技の実践、アクション・バトルシーン）③
10回目	キャラクターボイス演技応用（ラジオドラマ・オーディオブック：キャラクターやシーンに応じた演技の実践）①
11回目	キャラクターボイス演技応用（ラジオドラマ・オーディオブック：キャラクターやシーンに応じた演技の実践）②
12回目	キャラクターボイス演技応用（ラジオドラマ・オーディオブック：キャラクターやシーンに応じた演技の実践）③
13回目	ボイスサンプル収録課題フィードバック（収録課題に対するフィードバック評価）
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題作品の研究（構成・音声テクニック）、発声滑舌、ストレッチと呼吸、舌の運動は必須です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。
【使用教科書・教材・参考書】	
アニメ&外画台本	

科目名 (英)	ヴォイスサンプルⅢ Voice Sample	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加勢田進
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 声の演技に必要な感性を磨き、台本の理解力を伸ばし、表現方法の向上、キャラクターの確立を促します。ヴォイスサンプル収録に必要な演技と表現力、感情表現の基礎を中心に学びます。収録に関するテクニカル要素についても学び、声の演技の基礎を徹底的に習得します。 ※実務経験：ダンサー・パフォーマーとして活躍後、吹き替えではアニメ・外画を中心に、テレビ・ラジオCMナレーション、企業VP、舞台や映像分野の仕事にも幅広く出演している。現在は講師の仕事を中心に活動中。							
【到達目標】 ヴォイスサンプル収録におけるヴォイスアクティングの演技の基礎と表現カトレーニング、収録テクニカルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	ヴォイスアクティング基礎（ヴォイスサンプル収録、音質、テクニカル）
3回目	ヴォイスアクティング基礎（各ジャンルのキャラクターデザインとイメージ構築）①
4回目	ヴォイスアクティング基礎（各ジャンルのキャラクターデザインとイメージ構築）②
5回目	ヴォイスアクティング基礎（各ジャンルのキャラクターデザインとイメージ構築）③
6回目	ヴォイスアクティング基礎（ヴォイスサンプル収録：課題Ⅰ）
7回目	ヴォイスアクティング基礎（ヴォイスサンプル収録：課題Ⅱ）
8回目	ヴォイスアクティング基礎（ヴォイスサンプル収録：課題Ⅲ）
9回目	収録課題フィードバック（収録課題に対するフィードバック評価）
10回目	ヴォイスアクティング基礎（ヴォイスサンプル収録：課題Ⅳ）
11回目	ヴォイスアクティング基礎（ヴォイスサンプル収録：課題Ⅴ）
12回目	ヴォイスアクティング基礎（ヴォイスサンプル収録：課題Ⅵ）
13回目	収録課題フィードバック（収録課題に対するフィードバック評価）
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題作品の研究（構成・音声テクニック）、発声滑舌、ストレッチと呼吸、舌の運動は必須です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。
【使用教科書・教材・参考書】 アニメ&外画台本	

科目名 (英)	ヴォイスサンプルⅣ Voice Sample	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加勢田進
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜3限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>声の演技に必要な感性を磨き、台本の理解力を伸ばし、表現方法の向上、キャラクターの確立を促します。ヴォイスサンプル収録に必要な演技と表現力、感情表現の基礎を中心に学びます。収録に関するテクニカル要素についても学び、声の演技の基礎を徹底的に習得します。 ※実務経験：ダンサー・パフォーマーとして活躍後、吹き替えではアニメ・外画を中心に、テレビ・ラジオCMナレーション、企業VP、舞台や映像分野の仕事にも幅広く出演している。現在は講師の仕事を中心に活動中。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ヴォイスサンプル収録におけるヴォイスアクティングの演技の基礎と表現カトレーニング、収録テクニカルを身につけます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ヴォイスアクティング応用（音響監督実習）①
2回目	ヴォイスアクティング応用（音響監督実習）②
3回目	ヴォイスアクティング応用（音響監督実習）③
4回目	ヴォイスアクティング応用（ヴォイスサンプル収録：各ジャンル課題Ⅰ）
5回目	ヴォイスアクティング応用（ヴォイスサンプル収録：各ジャンル課題Ⅱ）
6回目	ヴォイスアクティング応用（ヴォイスサンプル収録：各ジャンル課題Ⅲ）
7回目	収録課題フィードバック（収録課題に対するフィードバック評価）
8回目	ヴォイスアクティング応用（ヴォイスサンプル収録：各ジャンル課題Ⅳ）
9回目	ヴォイスアクティング応用（ヴォイスサンプル収録：各ジャンル課題Ⅴ）
10回目	ヴォイスアクティング応用（ヴォイスサンプル収録：各ジャンル課題Ⅵ）
11回目	収録課題フィードバック（収録課題に対するフィードバック評価）
12回目	オーディション対策（プロダクション研究、ヴォイスサンプル制作）①
13回目	オーディション対策（プロダクション研究、ヴォイスサンプル制作）②
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題作品の研究（構成・音声テクニック）、発声滑舌、ストレッチと呼吸、舌の運動は必須です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>アニメ&外画台本</p>	

科目名 (英)	ヴォイスサンプルV Voice Sample	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	加勢田進
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜3限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>声の演技に必要な感性を磨き、台本の理解力を伸ばし、表現方法の向上、キャラクターの確立を促します。ヴォイスサンプル収録に必要な演技と表現力、感情表現の基礎を中心に学びます。収録に関するテクニカル要素についても学び、声の演技の基礎を徹底的に習得します。 ※実務経験：ダンサー・パフォーマーとして活躍後、吹き替えではアニメ・外画を中心に、テレビ・ラジオCMナレーション、企業VP、舞台や映像分野の仕事にも幅広く出演している。現在は講師の仕事を中心に活動中。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ヴォイスサンプル収録におけるヴォイスアクティングの演技の基礎と表現カトレーニング、収録テクニカルを身につけます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	ヴォイスサンプル収録基礎（作品キャスティング研究）①
3回目	ヴォイスサンプル収録基礎（作品キャスティング研究）②
4回目	ヴォイスサンプル収録基礎（作品キャスティング、キャラクターボイス研究）③
5回目	ヴォイスサンプル収録基礎（アニメジャンルとキャラクターボイス研究）④
6回目	収録課題フィードバック（収録課題に対するフィードバック評価）
7回目	ヴォイスサンプル収録基礎（各ジャンルとキャラクターボイス）①
8回目	ヴォイスサンプル収録基礎（各ジャンルとキャラクターボイス）②
9回目	ヴォイスサンプル収録基礎（各ジャンルとキャラクターボイス）③
10回目	ヴォイスサンプル収録基礎（各ジャンルとキャラクターボイス）④
11回目	収録課題フィードバック（収録課題に対するフィードバック評価）
12回目	オーディション制作（プロダクション研究、ヴォイスサンプル模擬オーディション）①
13回目	オーディション制作（プロダクション研究、ヴォイスサンプル模擬オーディション）②
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題作品の研究（構成・音声テクニック）、発声滑舌、ストレッチと呼吸、舌の運動は必須です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>アニメ&外画台本</p>	

科目名 (英)	ヴォイスサンプルVI Voice Sample	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	加勢田進
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 声の演技に必要な感性を磨き、台本の理解力を伸ばし、表現方法の向上、キャラクターの確立を促します。ヴォイスサンプル収録に必要な演技と表現力、感情表現の基礎を中心に学びます。収録に関するテクニカル要素についても学び、声の演技の基礎を徹底的に習得します。 ※実務経験：ダンサー・パフォーマーとして活躍後、吹き替えではアニメ・映画を中心に、テレビ・ラジオCMナレーション、企業VP、舞台や映像分野の仕事にも幅広く出演している。現在は講師の仕事を中心に活動中。							
【到達目標】 ヴォイスサンプル収録におけるヴォイスアクティングの演技の基礎と表現カトレーニング、収録テクニカルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	オーディションサンプル制作（ヴォイスワーク研究、模擬審査）①
2回目	オーディションサンプル制作（ヴォイスワーク研究、模擬審査）②
3回目	オーディションサンプル制作（ヴォイスワーク研究、模擬審査）③
4回目	ヴォイスサンプル収録応用（スタジオセッションのプロフェッショナルな進行各ジャンルアニメ作品、企業課題他）①
5回目	ヴォイスサンプル収録応用（スタジオセッションのプロフェッショナルな進行各ジャンルアニメ作品、企業課題他）②
6回目	ヴォイスサンプル収録応用（リモートワーク録音制作、音質、各ジャンルアニメ作品、企業課題他）③
7回目	ヴォイスサンプル収録応用（リモートワーク録音制作、音質、各ジャンルアニメ作品、企業課題他）④
8回目	収録課題フィードバック（収録課題に対するフィードバック評価）
9回目	ヴォイスサンプル収録応用（音響監督スタジオセッション）①
10回目	ヴォイスサンプル収録応用（音響監督スタジオセッション）②
11回目	ヴォイスサンプル収録応用（企業課題収録）①
12回目	ヴォイスサンプル収録応用（企業課題収録）②
13回目	収録課題フィードバック（収録課題に対するフィードバック評価）
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題作品の研究（構成・音声テクニク）、発声滑舌、ストレッチと呼吸、舌の運動は必須です。
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。
【使用教科書・教材・参考書】 アニメ&映画台本	

科目名 (英)	表現基礎 I Basis of Expression	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	坂口 聡
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】 呼吸法、発声、発音、あいうえおの歌、外郎売等、役者の基本は勿論であるが、感情より刺激され生み出される情念的動作を徹底的に行い今後の役者道を貫けるよう指導していく。また、インプロ、セルフプロデュース、トークも授業の中に取り入れ、卒業後に最も大切である実技、トーク、セルフプロデュースの3本柱を徹底的に行う。実技に置いては、エチュードを行い、映画、ドラマ、舞台に必要な役作りを学んで頂き世界に通じる役者育成を目指す。 <講師プロフィール> 15歳より芝居を始め、TV、映画、ドラマに多数出演する中、ライブ活動も積極的におこなう。2003年には福岡で演劇集団フリーダムを結成。全作品の作/演出を手掛け、2007年には、150万部のベストセラー小説「ハッピーバースデー」を全国で初めて舞台化、話題を呼んだ。現在、若手の育成と市民参加型ミュージカルの取り組みに力を入れ、全国に演出家として招かれている。							
【到達目標】 即戦力の育成。映画、ドラマ、舞台で活躍できる事は勿論であるが、人としてのマナー教育も行き、人や業界に愛される役者としての資質を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	演技基礎：感情解放
2回目	基礎とヴォイトレ
3回目	基礎/情念的動作：驚き
4回目	基礎/情念的動作：恐れ
5回目	基礎/情念的動作：恐れのインプロ
6回目	基礎/情念的動作：怒り
7回目	基礎/情念的動作：怒りのインプロ
8回目	基礎/情念的動作：苦しみ
9回目	基礎/情念的動作：苦しみのインプロ
10回目	基礎/情念的動作：悲しみ
11回目	基礎/情念的動作：悲しみのインプロ
12回目	基礎/情念的動作：喜び
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外 学習	
評価方法	外郎売：65点＋全日程授業数＋皆勤＝80点より外郎売20点（暗記テスト）
受講生への メッセージ	演技とは楽しいものである。だが、一流はもがき苦しみの中より生み出される。だから芝居とは、楽しく作り狂って創る。
【使用教科書・教材・参考書】 発声、発音/あいうえおの歌/外郎売	

科目名 (英)	表現基礎Ⅱ Basis of Expression	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	坂口 聡
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】							
より実践に近い、インプロ、セルフプロデュース、トークも授業の中に取り入れ、卒業後に最も大切である実技、トーク、セルフプロデュースの3本柱を徹底的に行う。実技に置いては、エチュードを行い、映画、ドラマ、舞台に必要な役作りを学んで頂き世界に通じる役者育成を目指す。							
＜講師プロフィール＞							
15歳より芝居を始め、TV、映画、ドラマに多数出演する中、ライブ活動も積極的におこなう。2003年には福岡で演劇集団フリーダムを結成。全作品の作/演出を手掛け、2007年には、150万部のベストセラー小説「ハッピーバースデー」を全国で初めて舞台化、話題を呼んだ。現在、若手の育成と市民参加型ミュージカルの取り組みに力を入れ、全国に演出家として招かれている。							
【到達目標】							
即戦力の育成。映画、ドラマ、舞台で活躍できる事は勿論であるが、人としてのマナー教育も行い、人や業界に愛される役者としての資質を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	映画とドラマの違い インプロ
2回目	舞台と映像の違い インプロ
3回目	映画：エチュード
4回目	ドラマエチュード
5回目	舞台現代エチュード
6回目	舞台古典エチュード
7回目	映像古典エチュード
8回目	映像現代エチュード
9回目	映像演技 インプロ
10回目	映像演技 インプロ
11回目	トーク術
12回目	セルフプロデュース術
13回目	即戦力の育成術
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	外郎売：65点＋全日程授業数＋皆勤＝80点より外郎売20点（暗記テスト）
受講生への メッセージ	演技とは楽しいものである。だが、一流はもがき苦しみの中より生み出される。だから芝居とは、楽しく作り狂って創る。
【使用教科書・教材・参考書】	
エチュード資料	

科目名 (英)	表現基礎ⅢⅣ Basis of Expression	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	坂口 聡
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】 より実践に近い、インプロ、セルフプロデュース、トークも授業の中に取り入れ、卒業後に最も大切である実技、トーク、セルフプロデュースの3本柱を徹底的に行う。実技に置いては、エチュードを行い、映画、ドラマ、舞台に必要な役作りを学んで頂き世界に通じる役者育成を目指す。 <講師プロフィール> 15歳より芝居を始め、TV、映画、ドラマに多数出演する中、ライブ活動も積極的におこなう。2003年には福岡で演劇集団フリーダムを結成。全作品の作/演出を手掛け、2007年には、150万部のベストセラー小説「ハッピーバースデー」を全国で初めて舞台化、話題を呼んだ。現在、若手の育成と市民参加型ミュージカルの取り組みに力を入れ、全国に演出家として招かれている。							
【到達目標】 即戦力の育成。映画、ドラマ、舞台で活躍できる事は勿論であるが、人としてのマナー教育も行い、人や業界に愛される役者としての資質を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	映画とドラマの違い インプロ
2回目	舞台と映像の違い インプロ
3回目	映画：エチュード
4回目	ドラマエチュード
5回目	舞台現代エチュード
6回目	舞台古典エチュード
7回目	映像古典エチュード
8回目	映像現代エチュード
9回目	映像演技 インプロ
10回目	映像演技 インプロ
11回目	トーク術
12回目	セルフプロデュース術
13回目	即戦力の育成術
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	
評価方法	外郎売：65点＋全日程授業数＋皆勤＝80点より外郎売20点（暗記テスト）
受講生への メッセージ	演技とは楽しいものである。だが、一流はもがき苦しみの中より生み出される。だから芝居とは、楽しく作り狂って創る。
【使用教科書・教材・参考書】 エチュード資料	

科目名 (英)	表現基礎VVI Basis of Expression	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	坂口 聡
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】							
<p>インプロ、セルフプロデュース、トークも授業の中に取り入れ、卒業後に最も大切である実技、トーク、セルフプロデュースの3本柱を徹底的に行う。実技に置いては、エチュードを行い、映画、ドラマ、舞台上に必要な役作りを学んで頂き世界に通じる役者育成を目指す。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>15歳より芝居を始め、TV、映画、ドラマに多数出演する中、ライブ活動も積極的におこなう。2003年には福岡で演劇集団フリーダムを結成。全作品の作/演出を手掛け、2007年には、150万部のベストセラー小説「ハッピーバースデー」を全国で初めて舞台化、話題を呼んだ。現在、若手の育成と市民参加型ミュージカルの取り組みに力を入れ、全国に演出家として招かれている。</p>							
【到達目標】							
即戦力の育成。映画、ドラマ、舞台上で活躍できる事は勿論であるが、人としてのマナー教育も行き、人や業界に愛される役者としての資質を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	演劇的ゲーム
2回目	セルフプロデュース術
3回目	セルフプロデュース術
4回目	実践トレーニング：感情解放
5回目	実践トレーニング：エチュード1
6回目	実践トレーニング：エチュード2
7回目	実践トレーニング：エチュード3
8回目	実践トレーニング：エチュード4
9回目	実践トレーニング：エチュード5
10回目	実践トレーニング：エチュード6
11回目	実践トレーニング：エチュード7
12回目	応用トレーニング：これまでの授業成果のまとめ
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSN 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSN 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	外郎売：65点＋全日程授業数＋皆勤＝80点より外郎売20点（暗記テスト）
受講生への メッセージ	自分の夢と向き合い、どこまで信じて出来るか・・・自分の可能性を信じてください
【使用教科書・教材・参考書】	
エチュード資料	

科目名 (英)	動画撮影制作 I Video shooting production	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	渡邊綾香
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 動画撮影制作は動画クリエイターとして、Youtuber、SNSで活動を続ける為にセルフマネジメントを身につけるためにも、創造力、アイデア、自由な発想を身につけます。ブレインストーミングから自由な発想を得て具体的に活動展開する力を習得します。SNSマーケティング、セルフマネジメント、セルフマーケティングを中心に学びます。※実務経験：電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとして活動、ライブ活動など多彩に活動中							
【到達目標】 クリエイターとして必要な基本的考え方からアイデアの作り方、クリエイティブなコンテンツ制作の基礎を徹底的に習得します。創造力、アイデア、自由な発想を身につけ、SNSマーケティング、セルフマネジメント、セルフマーケティングを学び、具体的な活動展開できる基礎力を目標とします。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	クリエイティブデザイン基礎(自由な発想と創造的思考、ブレインストーミング) ①
3回目	クリエイティブデザイン基礎(アイデア思考、プランニングの基本)②
4回目	クリエイティブデザイン基礎(デザイン思考、クリティカルシンキングの基本)③
5回目	SNSマーケティング基礎(法的な問題点、SNSメディアの倫理と社会的責任)①
6回目	SNSマーケティング基礎(コンテンツマーケティングの基本原則、データ管理)②
7回目	SNSマーケティング基礎(SNSプラットフォーム、コミュニティマネジメント)③
8回目	セルフマーケティング基礎(キャラクター設定、個性、強みと特徴) ①
9回目	セルフマーケティング基礎(キャラクター設定、個性、強みと特徴) ②
10回目	セルフマーケティング基礎(キャラクター設定、インフルエンサーの強みと特徴)③
11回目	コンテンツデザイン基礎(コンテンツの種類とフォーマット)①
12回目	コンテンツデザイン基礎(クリエイティブなコンテンツの構成と編集)②
13回目	コンテンツデザイン基礎(コンテンツのクオリティ、メディア比較)③
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	差別化された独自のコンテンツを作る為に、自身の個性やアイデアをカタチにするために様々な経験と多くのことに興味を持ち、好奇心を大切に過ごしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Mac	

科目名 (英)	動画撮影制作Ⅱ Video shooting production	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	渡邊綾香
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 撮影機材の扱い方、カメラ、ライティング、画面デザインなど動画撮影に関する基本的な知識を学び、再生数の多いコンテンツの特徴をビジュアル的に研究し、動画編集、コンテンツ制作を行う。※実務経験：電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとして活動、ライター活動など多彩に活動中							
【到達目標】 機材の扱い方を知り、活用できるようになること、効果的な画面デザインで視認性の高い動画を制作できるようになること、セルフマーケティングにより自らの強みと特徴を考え、キャラクター設定ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	動画制作の基礎（動画制作の概要と制作の流れ、スケジュール管理）①
2回目	動画制作の基礎（ロケハン、進行台本、構成）②
3回目	動画制作の基礎（ライティング、音声収録、ナレーション）③
4回目	動画制作の基礎（ライティング、音声収録、ナレーション）④
5回目	撮影方法の基礎（機材・機能の理解、構成とフレーミングの基本）①
6回目	撮影方法の基礎（撮影技術、レンズの選択と効果、カメラアングル）②
7回目	撮影方法の基礎（映像編集、ビジュアルコンテンツ、キャプション）③
8回目	撮影方法の基礎（映像編集、ビジュアルコンテンツ、キャプション）④
9回目	制作課題に対するフィードバック評価
10回目	コンテンツ制作基礎（画面デザイン、サムネイル、編集、調査）①
11回目	コンテンツ制作基礎（画面デザイン、サムネイル、編集、調査）②
12回目	コンテンツ制作基礎（作品制作、課題フィードバック）③
13回目	コンテンツ制作基礎（作品制作、課題フィードバック）④
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	多くのコンテンツを研究し、作品制作に向けて機材の使い方、目を引くサムネイルとタイトルなども研究し、動画をクリックしたくなるような魅力的な要素が何かを学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Mac	

科目名 (英)	動画撮影制作Ⅲ Video shooting production	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	渡邊綾香
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】							
動画クリエイターとしてのクオリティアップを目標にデザインソフトを中心に学びます。デザインセンスを磨き、画面デザイン、サムネイル制作を習得します。※実務経験：電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとして活動、ライター活動など多彩に活動中							
【到達目標】							
動画クリエイターとしてのクオリティアップを目標に魅力的なデザイン、視認性の高いデザインセンスを身につけ、コンテンツ制作に取り組みます。画面デザイン、サムネイル制作能力の向上を目指します。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	コンテンツデザイン基礎（カラー・色が与える影響・色彩感覚Ⅰ）①
3回目	コンテンツデザイン基礎（カラー・色が与える影響・色彩感覚Ⅱ）②
4回目	コンテンツデザイン基礎（画面デザイン、サムネイル編Ⅰ）①
5回目	コンテンツデザイン基礎（PhotoshopⅠ・Ⅱ）①
6回目	コンテンツデザイン基礎（PhotoshopⅢ・Ⅳ）②
7回目	コンテンツデザイン基礎（illustratorⅠ・Ⅱ）③
8回目	コンテンツデザイン基礎（illustratorⅢ・Ⅳ）④
9回目	コンテンツデザイン基礎（画面デザイン、サムネイル編Ⅱ）②
10回目	コンテンツデザイン基礎（AfterEffectsⅠ・Ⅱ）①
11回目	コンテンツデザイン基礎（AfterEffectsⅢ・Ⅳ）②
12回目	コンテンツデザイン基礎（画面デザイン、サムネイル編Ⅲ）③
13回目	制作課題に対するフィードバック評価
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	視認性の高いデザイン、映画、MV、写真など動画・静止画問わず多くのコンテンツに触れることが重要です。様々な目的に合わせたデザインセンスを身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Mac	

科目名 (英)	動画撮影制作Ⅳ Video shooting production	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	渡邊綾香
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 動画制作コンテンツの質を技術面でも高め、コンスタントに制作、反復投稿し、SNSマーケティングとも連動し、クリエイターとしての活動の質を高めます。※ 実務経験：電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとして活動、ライブ活動など多彩に活動中							
【到達目標】 動画制作コンテンツのテクニカル面でのクオリティアップ、投稿のスケジュール管理、SNSマーケティング、セルフマーケティングの連動を積極的に展開できる能力を習得します。							

授業計画・内容	
1回目	映像演出（様々な演出方法、アイデアとビジョン）①
2回目	映像演出（様々な演出方法、アイデアとビジョン）②
3回目	映像演出（様々な演出方法、アイデアとビジョン）③
4回目	セルフマーケティング応用（SNS効果測定、マーケティング）①
5回目	作品制作（テキストとタイトルのデザイン）①
6回目	作品制作（ビジュアルエフェクト効果）②
7回目	制作課題に対するフィードバック評価
8回目	セルフマーケティング応用（SNS効果測定、マーケティング）②
9回目	作品制作（サウンドミキシングとバランスの調整）③
10回目	作品制作（音楽の選択と編集）④
11回目	作品制作（ファイルフォーマットと圧縮、配信）⑤
12回目	制作課題に対するフィードバック評価
13回目	セルフマーケティング応用（SNS効果測定、マーケティング）③
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	各SNSの特徴について知り、SNSマーケティング、セルフマーケティングを学び、習慣的に投稿するスケジュール管理を身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Mac	

科目名 (英)	動画撮影制作V Video shooting production	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	渡邊綾香
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜2限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>グループワーク、企業・外部とのコラボレーション制作課題の取り組み、投稿コンテンツがより注目されるSNSマーケティングの分析やコミュニティマネジメントのしくみを学び、実践的に展開する力を身につけます。本格的に質の高い動画制作と動画アップを反復して行います。 ※実務経験：電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとして活動、ライバー活動など多彩に活動中</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>質の高い動画制作と動画のアップをコンスタントに行い、コミュニティマネジメントの知識を学び、グループワークにおいて共同で作業するコミュニケーション能力を身につけ、セルフマネジメントを習慣化します。各SNSの特徴について知り、セルフマーケティングを学ぶことでリスクを減少させながら適切にSNSを運営する力を身につけます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	SNSマーケティングプロジェクト制作（作品制作、各SNS特性、セルフマネジメント）①
3回目	SNSマーケティングプロジェクト制作（作品制作、各SNS特性、セルフマネジメント）②
4回目	SNSマーケティングプロジェクト制作（作品制作、各SNS特性、セルフマネジメント）③
5回目	制作課題に対するフィードバック評価
6回目	SNSマーケティングプロジェクト制作（作品制作、グループワーク課題）①
7回目	SNSマーケティングプロジェクト制作（作品制作、グループワーク課題）②
8回目	SNSマーケティングプロジェクト制作（作品制作、グループワーク課題）③
9回目	制作課題に対するフィードバック評価
10回目	SNSマーケティングプロジェクト制作（作品制作、コミュニティマネジメント）①
11回目	SNSマーケティングプロジェクト制作（作品制作、コミュニティマネジメント）②
12回目	SNSマーケティングプロジェクト制作（作品制作、コミュニティマネジメント）③
13回目	制作課題に対するフィードバック評価
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	SNSマーケティングの分析、コミュニティマネジメントのしくみを徹底的に学び、注目される動画コンテンツを制作を目指しましょう。
Mac	

科目名 (英)	動画撮影制作VI Video shooting production	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	渡邊綾香
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 他のYouTuberやインフルエンサーとのコラボレーションワークや外部の協力を活用し、積極的にSNSプロモーションを展開し、セルフマネジメントを駆使し、注目度の高いコンテンツ制作、投稿を反復して行います。※実務経験：電子コミック編集部を経てフリーのイラストレーター・ライター・Live2Dクリエイターとして活動、ライブ活動など多彩に活動中							
【到達目標】 外部（企業やインフルエンサー等）とのコラボレーションワークを積極的に活用できる、動画クリエイターとしてクオリティ、注目度の高いコンテンツを制作できる、SNSをマーケティング、セルフマネジメントを習得し高いレベルで活用できることを目標とします。							

授業計画・内容	
1回目	コンテンツコラボレーション制作(企業、YouTuber、インフルエンサー)①
2回目	コンテンツコラボレーション制作(企業、YouTuber、インフルエンサー)②
3回目	コミュニティマネジメント（視聴者とのコミュニケーション、SNSプロモーション）①
4回目	コンテンツコラボレーション制作(企業、YouTuber、インフルエンサー)③
5回目	コンテンツコラボレーション制作(企業、YouTuber、インフルエンサー)④
6回目	コミュニティマネジメント（視聴者とのコミュニケーション、SNSプロモーション）②
7回目	コンテンツコラボレーション制作(企業、YouTuber、インフルエンサー)⑤
8回目	コンテンツコラボレーション制作(企業、YouTuber、インフルエンサー)⑥
9回目	コミュニティマネジメント（視聴者とのコミュニケーション、SNSプロモーション）③
10回目	コンテンツコラボレーション制作(企業、YouTuber、インフルエンサー)⑦
11回目	コンテンツコラボレーション制作(企業、YouTuber、インフルエンサー)⑧
12回目	コミュニティマネジメント（視聴者とのコミュニケーション、SNSプロモーション）④
13回目	制作課題に対するフィードバック評価
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	継続的な努力と創造力を持ってコンテンツを制作し続けましょう。忍耐力や根気も必要です。高いクオリティを目指していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Mac	

科目名 (英)	演技論基礎 I Fundamentals of Acting Theory	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	ともいちろー
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】							
<p>・お芝居に無くてはならない「心」の流れ、それは日常でも無意識的に使われているが、まず、心を扱う仕事である役者として、一般的に人間の心の流れがどのように生じているのかを理解することが必要である。</p> <p>・演技論（主にスタニスラフスキー・システム）を通じて、心を無意識下ではなく意識的にコントロールする方法を知り、無理やり作り出す形としての心ではなく、役の人物としての空間に存在し生きることによって、自然に生じてくる心を扱うための手法を習得する。</p> <p>※実務経験：アニメ、映画吹き替え、ボイスオーバー、ナレーション、ゲームなど幅広いジャンル、作品に出演実績があり、現在も活躍中。</p>							
【到達目標】							
<p>・役の人物として立つべき大地である架空の世界。創造するための想像力を強化、脳内のイメージを外界に具現化することができる。</p> <p>・役者が役の人物として生きる際にしなければならないことに、相手との会話がある。日常的な会話を見直すことで、会話が成立する条件やその手法を知り、実際にお芝居の世界の中で役の人物同士で会話ができるようになる。</p> <p>・ただ綺麗に喋ることがお芝居ではない。整ったものだけでなく乱れの中にこそ美しさがあることを知り、音や動きを整えるだけの形の芝居ではなく、役の人物として生きた芝居ができるようになる。</p> <p>・一人ではお芝居ができないことを身体で理解し、演者全員で協力して、その作品の世界を創造していくことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	演技論基礎概要（スタニスラフスキー・システム等）①
3回目	演技論基礎概要（スタニスラフスキー・システム等）②
4回目	演技論基礎概要（メソッド演技・感情表現）③
5回目	演技論基礎概要（メソッド演技・感情表現）④
6回目	身体表現基礎（身体表現の役割、姿勢、動作、ジェスチャー）①
7回目	身体表現基礎（身体表現の役割、姿勢、動作、ジェスチャー）②
8回目	身体と感情の表現基礎（脱力、腹式呼吸、自意識のコントロール、会話）①
9回目	身体と感情の表現基礎（脱力、腹式呼吸、自意識のコントロール、会話）②
10回目	身体と感情の表現基礎（自意識のコントロール、集中とリラックス、感情コントロール）①
11回目	身体と感情の表現基礎（自意識のコントロール、集中とリラックス、感情コントロール）②
12回目	感情表現とイメージネーション（コントロールされた自意識と脳内イメージネーションの具現化）①
13回目	感情表現とイメージネーション（コントロールされた自意識と脳内イメージネーションの具現化）②
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外 学習	<p>以下、全て日常的に継続してもらいたいこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉體訓練と基礎訓練全般（ストレッチ、体幹トレーニング、脱力、腹式呼吸等） ・感性を磨くために、良い作品をたくさん観る。（想像力の引き出しを増やすために、ジャンルや形態に偏りなく） ・心の流れを内向きではなく外向きにするため、また、会話力向上のため、身近な自然と触れ合う。（道端に咲いている花、満月等で構わない）
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	<p>お芝居には正解などと言うものはありませんし、また、この世に失敗などというものは存在しません。</p> <p>そして、お芝居に上手さはありません。なぜならお客様が観たいのは「いい」お芝居だからです。</p> <p>皆さんが「いい」お芝居ができる役者になっていくためにも、失敗を恐れず、トライ・アンド・エラーをこの先ずっと続けられるように、前に一歩踏み出す勇気を持って講義に臨んでください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	演技論基礎Ⅱ Fundamentals of Acting Theory	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	ともいちろー
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】							
<p>・お芝居に無くてはならない「心」の流れ、それは日常でも無意識的に使われているが、まず、心を扱う仕事である役者として、一般的に人間の心の流れがどのように生じているのかを理解することが必要である。</p> <p>・演技論（主にスタニスラフスキー・システム）を通じて、心を無意識下ではなく意識的にコントロールする方法を知り、無理やり作り出す形としての心ではなく、役の人物としての空間に存在し生きることによって、自然に生じてくる心を扱うための手法を習得する。</p> <p>※実務経験：アニメ、映画吹き替え、ボイスオーバー、ナレーション、ゲームなど幅広いジャンル、作品に出演実績があり、現在も活躍中。</p>							
【到達目標】							
<p>・役の人物として立つべき大地である架空の世界。創造するための想像力を強化、脳内のイメージを外界に具現化することができる。</p> <p>・役者が役の人物として生きる際にしなければならないことに、相手との会話がある。日常的な会話を見直すことで、会話が成立する条件やその手法を知り、実際にお芝居の世界の中で役の人物同士で会話ができるようになる。</p> <p>・ただ綺麗に喋ることがお芝居ではない。整ったものだけでなく乱れの中にこそ美しさがあることを知り、音や動きを整えるだけの形の芝居ではなく、役の人物として生きた芝居ができるようになる。</p> <p>・一人ではお芝居ができないことを身体で理解し、演者全員で協力して、その作品の世界を創造していくことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	声の使い方と表現基礎（発声の基本とトレーニング、ボイスコントロール）①
2回目	声の使い方と表現基礎（発声の基本とトレーニング、ボイスコントロール）②
3回目	声の使い方と表現基礎（発声の基本とトレーニング、ボイスコントロール）③
4回目	対話演習（意志疎通、体験理解、会話の基本トレーニング）①
5回目	対話演習（意志疎通、体験理解、会話の基本トレーニング）②
6回目	対話演習（発声自己認識、相手に認識されやすい発声）①
7回目	対話演習（発声自己認識、相手に認識されやすい発声）②
8回目	対話演習（相互理解コミュニケーション、自己のクセと正確な会話）①
9回目	対話演習（相互理解コミュニケーション、自己のクセと正確な会話）②
10回目	対話演習（相互理解コミュニケーション、自己のクセと正確な会話）③
11回目	対話演習（心の相互理解コミュニケーション、相手と心をつなぐ実践トレーニング）①
12回目	対話演習（心の相互理解コミュニケーション、相手と心をつなぐ実践トレーニング）②
13回目	対話演習（心の相互理解コミュニケーション、相手と心をつなぐ実践トレーニング）③
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	<p>以下、全て日常的に継続してもらいたいこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉體訓練と基礎訓練全般（ストレッチ、体幹トレーニング、脱力、腹式呼吸等） ・感性を磨くために、良い作品をたくさん観る。（想像力の引き出しを増やすために、ジャンルや形態に偏りなく） ・心の流れを内向きではなく外向きにするため、また、会話力向上のため、身近な自然と触れ合う。（道端に咲いている花、満月等で構わない）
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	<p>お芝居には正解などと言うものはありませんし、また、この世に失敗などというものは存在しません。</p> <p>そして、お芝居に上手さは必要ありません。なぜならお客様が観たいのは「いい」お芝居だからです。</p> <p>皆さんが「いい」お芝居ができる役者になっていくためにも、失敗を恐れず、トライ・アンド・エラーをこの先ずっと続けられるように、前に一歩踏み出す勇気を持って講義に臨んでください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	演技論基礎Ⅲ Fundamentals of Acting Theory	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	ともいちろー
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】							
<p>・お芝居に無くてはならない「心」の流れ、それは日常でも無意識的に使われているが、まず、心を扱う仕事である役者として、一般的に人間の心の流れがどのように生じているのかを理解することが必要である。</p> <p>・演技論（主にスタニスラフスキー・システム）を通じて、心を無意識下ではなく意識的にコントロールする方法を知り、無理やり作り出す形としての心ではなく、役の人物としての空間に存在し生きることによって、自然に生じてくる心を扱うための手法を習得する。</p> <p>※実務経験：アニメ、映画吹き替え、ボイスオーバー、ナレーション、ゲームなど幅広いジャンル、作品に出演実績があり、現在も活躍中。</p>							
【到達目標】							
<p>・役の人物として立つべき大地である架空の世界。創造するための想像力を強化、脳内のイメージを外界に具現化することができる。</p> <p>・役者が役の人物として生きる際にしなければならないことに、相手との会話がある。日常的な会話を見直すことで、会話が成立する条件やその手法を知り、実際にお芝居の世界の中で役の人物同士で会話ができるようになる。</p> <p>・ただ綺麗に喋ることがお芝居ではない。整ったものだけでなく乱れの中にこそ美しさがあることを知り、音や動きを整えるだけの形の芝居ではなく、役の人物として生きた芝居ができるようになる。</p> <p>・一人ではお芝居ができないことを身体で理解し、演者全員で協力して、その作品の世界を創造していくことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明、自己紹介）
2回目	モノローグの演技と構成（役作り、テキスト分析）①
3回目	モノローグの演技と構成（役作り、テキスト分析）②
4回目	対話の演技と構成（役作り、テキスト分析）①
5回目	対話の演技と構成（役作り、テキスト分析）②
6回目	読解カトレーニング実習（台本使用し物語の構造理解、台本読解力）①
7回目	読解カトレーニング実習（台本使用し物語の構造理解、台本読解力）②
8回目	台本実習（空間創造と状況整理、心の動きを理解する）①
9回目	台本実習（空間創造と状況整理、心の動きを理解する）②
10回目	台本実習（台詞、「気づき」と「きっかけ」概念理解、心の動きを理解する）①
11回目	台本実習（台詞、「気づき」と「きっかけ」概念理解、心の動きを理解する）②
12回目	課題評価（課題台本を本番として発表、フィードバック評価）
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習（ホールでの影ナレ対応）
準備学習 時間外 学習	<p>以下、全て日常的に継続してもらいたいこと。</p> <p>・肉体訓練と基礎訓練全般（ストレッチ、体幹トレーニング、脱力、腹式呼吸等）</p> <p>・感性を磨くために、良い作品をたくさん観る。（想像力の引き出しを増やすために、ジャンルや形態に偏りなく）</p> <p>・心の流れを内向きではなく外向きにするため、また、会話力向上のため、身近な自然と触れ合う。（道端に咲いている花、満月等で構わない）</p>
評価方法	<p>■出席率 30%</p> <p>■受講態度 40%</p> <p>■【到達目標に対する達成度】 30%</p>
受講生への メッセージ	<p>お芝居には正解などと言うものはありませんし、また、この世に失敗などというものは存在しません。</p> <p>そして、お芝居に上手さは必要ありません。なぜならお客様が観たいのは「いい」お芝居だからです。</p> <p>皆さんが「いい」お芝居ができる役者になっていくためにも、失敗を恐れず、トライ・アンド・エラーをこの先ずっと続けられるように、前に一歩踏み出す勇氣を持って講義に臨んでください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	演技論基礎Ⅳ Fundamentals of Acting Theory	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	ともいちろー
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】							
<p>・お芝居に無くてはならない「心」の流れ、それは日常でも無意識的に使われているが、まず、心を扱う仕事である役者として、一般的に人間の心の流れがどのように生じているのかを理解することが必要である。</p> <p>・演技論（主にスタニスラフスキー・システム）を通じて、心を無意識下ではなく意識的にコントロールする方法を知り、無理やり作り出す形としての心ではなく、役の人物としての空間に存在し生きることによって、自然に生じてくる心を扱うための手法を習得する。</p> <p>※実務経験：アニメ、映画吹き替え、ボイスオーバー、ナレーション、ゲームなど幅広いジャンル、作品に出演実績があり、現在も活躍中。</p>							
【到達目標】							
<p>・役の人物として立つべき大地である架空の世界。創造するための想像力を強化、脳内のイメージを外界に具現化することができる。</p> <p>・役者が役の人物として生きる際にしなければならないことに、相手との会話がある。日常的な会話を見直すことで、会話が成立する条件やその手法を知り、実際にお芝居の世界の中で役の人物同士で会話ができるようになる。</p> <p>・ただ綺麗に喋ることがお芝居ではない。整ったものだけでなく乱れの中にこそ美しさがあることを知り、音や動きを整えるだけの形の芝居ではなく、役の人物として生きた芝居ができるようになる。</p> <p>・一人ではお芝居ができないことを身体で理解し、演者全員で協力して、その作品の世界を創造していくことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	役作りの基礎（役作りの目的とプロセス、役柄の分析）①
2回目	役作りの基礎（役作りの目的とプロセス、役柄の分析）②
3回目	舞台演出基礎（演出の役割と演技のプロセス）①
4回目	舞台演出基礎（演出の役割と演技のプロセス）②
5回目	ユーモア演技基礎（自己の個性を発揮する方法）①
6回目	ユーモア演技基礎（自己の個性を発揮する方法）②
7回目	作品制作トレーニング（企画、台本選定、演出、演じるキャラクター及び会話の整理）①
8回目	作品制作トレーニング（企画、台本選定、演出、演じるキャラクター及び会話の整理）②
9回目	作品制作トレーニング（企画、台本選定、演出、演じるキャラクター及び会話の整理）③
10回目	作品制作トレーニング振り返り（パフォーマンスに対するフィードバック評価）
11回目	舞台演技基礎演習（企画、台本制作、自己の個性を発揮する）①
12回目	舞台演技基礎演習（企画、台本制作、自己の個性を発揮する）②
13回目	舞台演技基礎演習（企画、台本制作、自己の個性を発揮する）③
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	<p>以下、全て日常的に継続してもらいたいこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉體訓練と基礎訓練全般（ストレッチ、体幹トレーニング、脱力、腹式呼吸等） ・感性を磨くために、良い作品をたくさん観る。（想像力の引き出しを増やすために、ジャンルや形態に偏りなく） ・心の流れを内向きではなく外向きにするため、また、会話力向上のため、身近な自然と触れ合う。（道端に咲いている花、満月等で構わない）
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	<p>お芝居には正解などと言うものではありませんし、また、この世に失敗などというものは存在しません。</p> <p>そして、お芝居に上手さは必要ありません。なぜならお客様が観たいのは「いい」お芝居だからです。</p> <p>皆さんが「いい」お芝居ができる役者になっていくためにも、失敗を恐れず、トライ・アンド・エラーをこの先ずっと続けられるように、前に一歩踏み出す勇氣を持って講義に臨んでください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	演技論基礎V Fundamentals of Acting Theory	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	ともいちろー
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】							
<p>・お芝居に無くてはならない「心」の流れ、それは日常でも無意識的に使われているが、まず、心を扱う仕事である役者として、一般的に人間の心の流れがどのように生じているのかを理解することが必要である。</p> <p>・演技論（主にスタニスラフスキー・システム）を通じて、心を無意識下ではなく意識的にコントロールする方法を知り、無理やり作り出す形としての心ではなく、役の人物としての空間に存在し生きることによって、自然に生じてくる心を扱うための手法を習得する。</p> <p>※実務経験：アニメ、映画吹き替え、ボイスオーバー、ナレーション、ゲームなど幅広いジャンル、作品に出演実績があり、現在も活躍中。</p>							
【到達目標】							
<p>・役の人物として立つべき大地である架空の世界。創造するための想像力を強化、脳内のイメージを外界に具現化することができる。</p> <p>・役者が役の人物として生きる際にしなければならないことに、相手との会話がある。日常的な会話を見直すことで、会話が成立する条件やその手法を知り、実際にお芝居の世界の中で役の人物同士で会話ができるようになる。</p> <p>・ただ綺麗に喋ることがお芝居ではない。整ったものだけでなく乱れの中にこそ美しさがあることを知り、音や動きを整えるだけの形の芝居ではなく、役の人物として生きた芝居ができるようになる。</p> <p>・一人ではお芝居ができないことを身体で理解し、演者全員で協力して、その作品の世界を創造していくことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	舞台作品制作（演出概論、演出家と俳優の関係性）①
3回目	舞台作品制作（舞台美術、デザイン、空間、セット、小道具と演出）②
4回目	舞台作品制作（舞台音響の基本、SE/BGM選曲、音楽と情感表現）③
5回目	舞台作品制作（舞台照明の基本、色彩と照明情感表現）④
6回目	舞台作品制作（衣装の役割とキャラクター表現）⑤
7回目	舞台作品制作（企画～本番までの制作プロセス、スケジュール管理、セクションの役割）⑥
8回目	舞台演技応用演習（舞台演技、企画、台本制作、舞台美術、演出、テクニカル、プロモーション）①
9回目	舞台演技応用演習（舞台演技、企画、台本制作、舞台美術、演出、テクニカル、プロモーション）②
10回目	舞台演技応用演習（舞台演技、企画、台本制作、舞台美術、演出、テクニカル、プロモーション）③
11回目	舞台演技応用演習（舞台演技、企画、台本制作、舞台美術、演出、テクニカル、プロモーション）④
12回目	舞台演技課題フィードバック（制作課題に対するフィードバック評価）
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外 学習	<p>以下、全て日常的に継続してもらいたいこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉體訓練と基礎訓練全般（ストレッチ、体幹トレーニング、脱力、腹式呼吸等） ・感性を磨くために、良い作品をたくさん観る。（想像力の引き出しを増やすために、ジャンルや形態に偏りなく） ・心の流れを内向きではなく外向きにするため、また、会話力向上のため、身近な自然と触れ合う。（道端に咲いている花、満月等で構わない）
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	<p>お芝居には正解などと言うものはありませんし、また、この世に失敗などというものは存在しません。</p> <p>そして、お芝居に上手さは必要ありません。なぜならお客様が観たいのは「いい」お芝居だからです。</p> <p>皆さんが「いい」お芝居ができる役者になっていくためにも、失敗を恐れず、トライ・アンド・エラーをこの先ずっと続けられるように、前に一歩踏み出す勇気を持って講義に臨んでください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	演技論基礎VI Fundamentals of Acting Theory	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	ともいちろー
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】							
<p>・お芝居に無くてはならない「心」の流れ、それは日常でも無意識的に使われているが、まず、心を扱う仕事である役者として、一般的に人間の心の流れがどのように生じているのかを理解することが必要である。</p> <p>・演技論（主にスタニスラフスキー・システム）を通じて、心を無意識下ではなく意識的にコントロールする方法を知り、無理やり作り出す形としての心ではなく、役の人物としての空間に存在し生きることによって、自然に生じてくる心を扱うための手法を習得する。</p> <p>※実務経験：アニメ、映画吹き替え、ボイスオーバー、ナレーション、ゲームなど幅広いジャンル、作品に出演実績があり、現在も活躍中。</p>							
【到達目標】							
<p>・役の人物として立つべき大地である架空の世界。創造するための想像力を強化、脳内のイメージを外界に具現化することができる。</p> <p>・役者が役の人物として生きる際にしなければならないことに、相手との会話がある。日常的な会話を見直すことで、会話が成立する条件やその手法を知り、実際にお芝居の世界の中で役の人物同士で会話ができるようになる。</p> <p>・ただ綺麗に喋ることがお芝居ではない。整ったものだけでなく乱れの中にこそ美しさがあることを知り、音や動きを整えるだけの形の芝居ではなく、役の人物として生きた芝居ができるようになる。</p> <p>・一人ではお芝居ができないことを身体で理解し、演者全員で協力して、その作品の世界を創造していくことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	舞台演技演習（企画、台本制作、舞台美術、演出、テクニカル、プロモーション）①
2回目	舞台演技演習（企画、台本制作、舞台美術、演出、テクニカル、プロモーション）②
3回目	舞台演技演習（企画、台本制作、舞台美術、演出、テクニカル、プロモーション）③
4回目	舞台演技演習（企画、台本制作、舞台美術、演出、テクニカル、プロモーション）④
5回目	舞台演技課題フィードバック（制作課題に対するフィードバック評価）
6回目	映像演技演習（企画、台本制作、舞台美術、演出、テクニカル、プロモーション、完パケ）①
7回目	映像演技演習（企画、台本制作、舞台美術、演出、テクニカル、プロモーション、完パケ）②
8回目	映像演技演習（企画、台本制作、舞台美術、演出、テクニカル、プロモーション、完パケ）③
9回目	映像演技演習（企画、台本制作、舞台美術、演出、テクニカル、プロモーション、完パケ）④
10回目	映像演技課題フィードバック（制作課題に対するフィードバック評価）
11回目	バーチャル演技・オンライン演技演習
12回目	オーディション対策（セルフプロモーション）①
13回目	オーディション対策（セルフプロモーション）②
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル（MC演習）
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番（MC演習）
準備学習 時間外 学習	<p>以下、全て日常的に継続してもらいたいこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉体訓練と基礎訓練全般（ストレッチ、体幹トレーニング、脱力、腹式呼吸等） ・感性を磨くために、良い作品をたくさん観る。（想像力の引き出しを増やすために、ジャンルや形態に偏りなく） ・心の流れを内向きではなく外向きにするため、また、会話力向上のため、身近な自然と触れ合う。（道端に咲いている花、満月等で構わない）
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	<p>お芝居には正解などと言うものではありませんし、また、この世に失敗などというものは存在しません。</p> <p>そして、お芝居に上手さは必要ありません。なぜならお客様が観たいのは「いい」お芝居だからです。</p> <p>皆さんが「いい」お芝居ができる役者になっていくためにも、失敗を恐れず、トライ・アンド・エラーをこの先ずっと続けられるように、前に一歩踏み出す勇気を持って講義に臨んでください。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	発声滑舌 I Vocalization Practice	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	高橋早紀
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜3限
【授業の学習内容】							
呼吸法の基本と正しい呼吸の習得、クリアに発声するための母音から腹式呼吸、口の動きなどを理解し、プロとして通用する基本的な発声と滑舌を習得できるようにする。※実務者経験:テレビ番組キャスター、イベントMC、ナレーションなど豊富な実績を持つフリーアナウンサーとして活動中							
【到達目標】							
腹式呼吸のトレーニング、母音、子音の練習、アクセント、鼻濁音、無声音のしくみを理解し、声優・俳優として通用する発声・滑舌ができるようになるスキル取得を目指す。発声・滑舌が良くなった上で、基本的な声の出し方を各自チェックし、現場で求められる様々なタイプのセリフ、原稿などに対応できる能力を身につけることを目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明、講義のポイント）
2回目	呼吸法の基本と正しい呼吸の基礎を習得する（発声器官のしくみと機能について）
3回目	呼吸法の基本と正しい呼吸の基礎を習得する（腹式呼吸、正しい発声の仕方を学ぶ）
4回目	呼吸法の基本と正しい呼吸の基礎を習得する（口の動きと表情のクリアさの重要性）
5回目	上半身、顔、舌ストレッチ。腹式呼吸、ロングトーン、基本＆変形滑舌練習。鼻濁音を習得する。
6回目	上半身、顔、舌ストレッチ。腹式呼吸、ロングトーン、基本＆変形滑舌練習。無声音のしくみ学ぶ。
7回目	上半身、顔、舌ストレッチ。腹式呼吸、ロングトーン、基本＆変形滑舌練習。胸振発声法で自分のベストヴォイスを見つける。
8回目	上半身、顔、舌ストレッチ。腹式呼吸、ロングトーン、基本＆変形滑舌練習。（個別滑舌チェック）
9回目	クリアな話し方のためのトレーニング①
10回目	クリアな話し方のためのトレーニング②
11回目	アクセントとイントネーション（アクセントの役割と重要性）
12回目	アクセントとイントネーション（文章のリズムとイントネーション）
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習（ホールでの影ナレ対応）
準備学習 時間外 学習	日頃から姿勢、呼吸法に気を配り、上半身、顔、舌のストレッチをするなどトレーニングを日々行うようにしましょう。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	セリフやトークで、基本の発声・滑舌が大切であるか理解できるとと思います。授業以外での反復練習を欠かさずしましょう。日常生活でも発声が褒められることを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
発声滑舌アクセントトレーニング教本 アクセント辞典	

科目名 (英)	発声滑舌Ⅱ Vocalization Practice	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	高橋早紀
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜3限
【授業の学習内容】 呼吸法の基本と正しい呼吸の習得、クリアに発声するための母音から腹式呼吸、口の動きなどを理解し、プロとして通用する基本的な発声と滑舌を習得できるようにする。※実務者経験:テレビ番組キャスター、イベントMC、ナレーションなど豊富な実績を持つフリーアナウンサーとして活動中							
【到達目標】 腹式呼吸のトレーニング、母音、子音の練習、アクセント、鼻濁音、無声音のしくみを理解し、声優・俳優として通用する発声・滑舌ができるようになるスキル取得を目指す。発声・滑舌が良くなった上で、基本的な声の出し方を各自チェックし、現場で求められる様々なタイプのセリフ、原稿などに対応できる能力を身につけることを目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	言葉の速度とリズムの制御について（話し方の速度とリズムの効果）
2回目	リズムカルな話し方の練習とトレーニング①
3回目	リズムカルな話し方の練習とトレーニング②
4回目	ウォーミングアップ、ニュースの読み方（書き言葉と読み言葉の違い）①
5回目	ウォーミングアップ、ニュースの読み方（書き言葉と読み言葉の違い）②
6回目	テンポと音節の制御のトレーニング①
7回目	テンポと音節の制御のトレーニング②
8回目	ウォーミングアップ、ナレーション（CM、F S M学校紹介など）①
9回目	ウォーミングアップ、ナレーション（CM、F S M学校紹介など）②
10回目	リスニングスキルの重要性とトレーニング①
11回目	リスニングスキルの重要性とトレーニング②
12回目	ウォーミングアップ、ナレーション（企業V P、番組など）①
13回目	ウォーミングアップ、ナレーション（企業VP、番組など）②
14回目	We are FSN 卒業進級制作 リハーサル（MC演習）
15回目	We are FSN 卒業進級制作 本番（MC演習）
準備学習 時間外 学習	日頃から姿勢、呼吸法に気を配り、上半身、顔、舌のストレッチをするなどトレーニングを日々行うようにしましょう。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	セリフやトークで、基本の発声・滑舌が大切であるか理解できるとと思います。授業以外での反復練習を欠かさずしましょう。日常生活でも発声が褒められることを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 発声滑舌アクセントトレーニング教本 アクセント辞典	

科目名 (英)	発声滑舌Ⅲ Vocalization Practice	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	高橋早紀
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜3限
【授業の学習内容】							
呼吸法の基本と正しい呼吸の習得、クリアに発声するための母音から腹式呼吸、口の動きなどを理解し、プロとして通用する基本的な発声と滑舌を習得できるようにする。※実務者経験:テレビ番組キャスター、イベントMC、ナレーションなど豊富な実績を持つフリーアナウンサーとして活動中							
【到達目標】							
腹式呼吸のトレーニング、母音、子音の練習、アクセント、鼻濁音、無声音のしくみを理解し、声優・俳優として通用する発声・滑舌ができるようになるスキル取得を目指す。発声・滑舌が良くなった上で、基本的な声の出し方を各自チェックし、現場で求められる様々なタイプのセリフ、原稿などに対応できる能力を身につけることを目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	強勢と弱勢の役割と意味の変化を理解する
2回目	文章やフレーズ内の強勢の位置のトレーニング①
3回目	文章やフレーズ内の強勢の位置のトレーニング②
4回目	言葉の連結のルールとトレーニング①
5回目	言葉の連結のルールとトレーニング②
6回目	ウォーミングアップ、1分間スピーチ（話の構成方法）テーマ、サブテーマ、柱、まとめ
7回目	ウォーミングアップ、1分間スピーチ（話のポイントまとめ）6W3H1N、五感など
8回目	ウォーミングアップ、1分間スピーチ（結論主導型）
9回目	ウォーミングアップ、言葉のエネルギーを強く表現（伝える力：ナンバリング法、ギャップ法、リピート法、クライマックス法）①
10回目	ウォーミングアップ、言葉のエネルギーを強く表現（伝える力：ナンバリング法、ギャップ法、リピート法、クライマックス法）②
11回目	ウォーミングアップ、要約力を鍛える（書き言葉を口頭表現に変え要約する）①
12回目	ウォーミングアップ、要約力を鍛える（書き言葉を口頭表現に変え要約する）②
13回目	ミュージカル演習（影ナレ実習）
14回目	We are FSN 卒業進級制作 リハーサル（MC演習）
15回目	We are FSN 卒業進級制作 本番（MC演習）
準備学習 時間外 学習	日頃から姿勢、呼吸法に気を配り、上半身、顔、舌のストレッチをするなどトレーニングを日々行うようにしましょう。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	セリフやトークで、基本の発声・滑舌が大切であるか理解できるとと思います。授業以外での反復練習を欠かさずしましょう。日常生活でも発声が褒められることを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
発声滑舌アクセントトレーニング教本 アクセント辞典	

科目名 (英)	発声滑舌IV Vocalization Practice	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	高橋早紀
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜3限
【授業の学習内容】 呼吸法の基本と正しい呼吸の習得、クリアに発声するための母音から腹式呼吸、口の動きなどを理解し、プロとして通用する基本的な発声と滑舌を習得できるようにする。※実務者経験:テレビ番組キャスター、イベントMC、ナレーションなど豊富な実績を持つフリーアナウンサーとして活動中							
【到達目標】 腹式呼吸のトレーニング、母音、子音の練習、アクセント、鼻濁音、無声音のしくみを理解し、声優・俳優として通用する発声・滑舌ができるようになるスキル取得を目指す。発声・滑舌が良くなった上で、基本的な声の出し方を各自チェックし、現場で求められる様々なタイプのセリフ、原稿などに対応できる能力を身につけることを目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	リズムカルな話し方の応用演習とトレーニング（話し方の速度とリズムの効果）①
2回目	リズムカルな話し方の応用演習とトレーニング（話し方の速度とリズムの効果）②
3回目	アクセントとイントネーション応用演習（アクセントの役割と重要性）①
4回目	アクセントとイントネーション応用演習（アクセントの役割と重要性）②
5回目	アクセントとイントネーション応用演習（文章のリズムとイントネーション）①
6回目	アクセントとイントネーション応用演習（文章のリズムとイントネーション）②
7回目	ナレーション発声滑舌応用演習（文章やフレーズ内の強勢の位置のトレーニング）①
8回目	ナレーション発声滑舌応用演習（文章やフレーズ内の強勢の位置のトレーニング）②
9回目	発声滑舌応用演習（言葉の連結のルールとトレーニング）①
10回目	発声滑舌応用演習（言葉の連結のルールとトレーニング）②
11回目	発声滑舌応用演習（テンポと音節の制御のトレーニング）①
12回目	発声滑舌応用演習（テンポと音節の制御のトレーニング）②
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習（ホールでの影ナレ対応）
準備学習 時間外 学習	日頃から姿勢、呼吸法に気を配り、上半身、顔、舌のストレッチをするなどトレーニングを日々行うようにしましょう。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	セリフやトークで、基本の発声・滑舌が大切であるか理解できるとと思います。授業以外での反復練習を欠かさずしましょう。日常生活でも発声が褒められることを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 発声滑舌アクセントトレーニング教本 アクセント辞典	

科目名 (英)	発声滑舌V Vocalization Practice	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	高橋早紀
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜3限
【授業の学習内容】 呼吸法の基本と正しい呼吸の習得、クリアに発声するための母音から腹式呼吸、口の動きなどを理解し、プロとして通用する基本的な発声と滑舌を習得できるようにする。※実務者経験:テレビ番組キャスター、イベントMC、ナレーションなど豊富な実績を持つフリーアナウンサーとして活動中							
【到達目標】 腹式呼吸のトレーニング、母音、子音の練習、アクセント、鼻濁音、無声音のしくみを理解し、声優・俳優として通用する発声・滑舌ができるようになるスキル取得を目指す。発声・滑舌が良くなった上で、基本的な声の出し方を各自チェックし、現場で求められる様々なタイプのセリフ、原稿などに対応できる能力を身につけることを目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	言葉の連結のルールと練習方法①
2回目	言葉の連結のルールと練習方法②
3回目	流暢な話し方の習得と実践①
4回目	流暢な話し方の習得と実践②
5回目	句読点や休止の使い方と効果
6回目	ウォーミングアップ、コミュニケーション能力アップ「聴く力」、インタビューの基本①
7回目	ウォーミングアップ、コミュニケーション能力アップ「聴く力」、インタビューの基本②
8回目	ウォーミングアップ、コミュニケーション能力アップ「聴く力」、インタビューの基本③
9回目	ウォーミングアップ、司会の基本①
10回目	ウォーミングアップ、司会の基本②
11回目	ウォーミングアップ、リポーターの基本①
12回目	ウォーミングアップ、リポーターの基本②
13回目	ミュージカル演習 (ホールでの影ナレ対応)
14回目	We are FSN 卒業進級制作 リハーサル (MC演習)
15回目	We are FSN 卒業進級制作 本番 (MC演習)
準備学習 時間外 学習	日頃から姿勢、呼吸法に気を配り、上半身、顔、舌のストレッチをするなどトレーニングを日々行うようにしましょう。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	セリフやトークで、基本の発声・滑舌が大切であるか理解できるとと思います。授業以外での反復練習を欠かさずしましょう。日常生活でも発声が褒められることを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 発声滑舌アクセントトレーニング教本 アクセント辞典	

科目名 (英)	発声滑舌VI Vocalization Practice	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	高橋早紀
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜3限
【授業の学習内容】							
呼吸法の基本と正しい呼吸の習得、クリアに発声するための母音から腹式呼吸、口の動きなどを理解し、プロとして通用する基本的な発声と滑舌を習得できるようにする。※実務者経験:テレビ番組キャスター、イベントMC、ナレーションなど豊富な実績を持つフリーアナウンサーとして活動中							
【到達目標】							
腹式呼吸のトレーニング、母音、子音の練習、アクセント、鼻濁音、無声音のしくみを理解し、声優・俳優として通用する発声・滑舌ができるようになるスキル取得を目指す。発声・滑舌が良くなった上で、基本的な声の出し方を各自チェックし、現場で求められる様々なタイプのセリフ、原稿などに対応できる能力を身につけることを目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	流暢な話し方の習得と実践トレーニング①
2回目	流暢な話し方の習得と実践トレーニング②
3回目	ナレーション課題① (ニュース)
4回目	ナレーション課題② (CM)
5回目	ナレーション課題③ (詩)
6回目	課題評価 (パフォーマンスに対するフィードバック評価)
7回目	ラジオ番組制作課題① (パーソナリティトーク)
8回目	ラジオ番組制作課題② (パーソナリティトーク)
9回目	課題評価 (パフォーマンスに対するフィードバック評価)
10回目	朗読演習課題①
11回目	朗読演習課題②
12回目	課題評価 (パフォーマンスに対するフィードバック評価)
13回目	オーディション対策
14回目	We are FSN 卒業進級制作 リハーサル (MC演習)
15回目	We are FSN 卒業進級制作 本番 (MC演習)
準備学習 時間外 学習	日頃から姿勢、呼吸法に気を配り、上半身、顔、舌のストレッチをするなどトレーニングを日々行うようにしましょう。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	セリフやトークで、基本の発声・滑舌が大切であるか理解できるとと思います。授業以外での反復練習を欠かさずしましょう。日常生活でも発声が褒められることを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
発声滑舌アクセントトレーニング教本 アクセント辞典	

科目名 (英)	就職対策 I Preparatuon For Career	選択 必修	選択 必修	年次	1	担当教員	由木千尋
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜1限
【授業の学習内容】							
就職活動の内容は年々変化が激しい状況にある。その中で、遅すぎたと言われない就職対策を提供して行く。就活において初めの一步を踏み出すことがとても重要。初めの一步を踏み出す方法を具体的に解説。また、他授業ではあまり機会のないグループディスカッション、グループワークの機会を提供し、今般言われるチーム力を身につける内容となる。							
【到達目標】							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事観・人生観・職業観を持つことができる。 2. 自己理解を深め、自分らしい職業選択ができる。 3. 自己の選択した仕事・職について、企業が求める書類を提出し就職試験を受ける準備ができる。 4. 就職活動の流れを把握し、有効なスケジュール管理ができる。インターンシップ等に参加する事ができる。 							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	あなたが知らない就活の世界
3回目	先輩の就活
4回目	ビジョン型か価値観型か
5回目	グループ学習の基本
6回目	就職活動において必要な事
7回目	グループディスカッション
8回目	自己理解 I 「強み」
9回目	自己理解 II 価値観
10回目	検索エンジンの使い方
11回目	履歴書とEs I
12回目	履歴書とEs II
13回目	履歴書とEs III
14回目	企業研究
15回目	インターンシップに参加しよう
準備学習 時間外学習	準備：自身の就活を自主的に進める。進める過程で発生する準備や疑問について、自己の課題として授業内で解決。 時間外学習：合同企業説明会等への積極的参加（WEB含む）。インターンシップ等での自己研鑽。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●取組姿勢：20点（学習に対する取組姿勢とグループへの貢献） ●テスト評価：60点（課題提出状況） ●習熟度：20点（到達目標に対する成長具合や習熟度） ◇出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます。 ◇合否：60点以上で合格
受講生への メッセージ	就職活動はゴールではない。一生涯使うことのできるスキルをともに発見しましょう。そして、社会に出て豊かに生きるために何が必要かを一緒に考えましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師が用意する冊子。プリント等。パワーポイントによる準備。	

科目名 (英)	就職対策Ⅱ Preparatuon For Career	選択 必修	選択 必修	年次	2年次	担当教員	由木千尋
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜1限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>就活の現場での面接の在り方は近年「用意されてきた答え」である志望動機・自己PRから雑談力、対応力を図る面接に移行しつつある事を踏まえ、素の自分を生き活きと語る会話方をグループ学習で学んで行くことを重視。ビジネススキルとして最低限必要な要素を学び、就活が社会人としての一歩となるようマナーを身に着けていく。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>就活における面接対策を念頭に、コミュニケーションスキルの底上げを図るとともに、応対マナー・経営法務、知的財産等の基礎を学び就活に役立てるだけでなく、社会人としての社会的スキルを身に着けることを目標とする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	面接官は何を重視しているのか
3回目	オンライン面接
4回目	面接演習の基礎
5回目	面接演習Ⅰ
6回目	面接演習Ⅱ
7回目	面接演習Ⅲ
8回目	心理的安全性と成果
9回目	ビジネススキルⅠ
10回目	ビジネススキルⅡ
11回目	ビジネススキルⅢ
12回目	ビジネスマナー敬語と応対
13回目	ビジネスマナーⅡ
14回目	ビジネスマナーⅢ
15回目	学期末テスト
準備学習 時間外学習	準備：自身の就活を自主的に進める。進める過程で発生する準備や疑問について、自己の課題として授業内で解決。 時間外学習：合同企業説明会等への積極的参加（WEB含む）。インターンシップ等での自己研鑽。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●取組姿勢：20点（学習に対する取組姿勢とグループへの貢献） ●テスト評価：60点（課題提出状況） ●習熟度：20点（到達目標に対する成長具合や習熟度） ◇出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます。 ◇合格：60点以上で合格
受講生への メッセージ	就職活動は社会人としての初めの一歩。就活を通じて社会人として大人の仲間入りをしよう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>講師が用意する冊子。プリント等。パワーポイントによる準備。</p>	

科目名 (英)	就職対策Ⅲ Preparatuon For Career	選択 必修	選択 必修	年次	2	担当教員	由木千尋
学科・コース	商業音楽科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日・3限
【授業の学習内容】							
<p>キャリア形成の課題に応じたシートやワークを用いて、就職に不可欠なエントリーシート、履歴書の元となるジョブカードを作成し、必要な時にいつでも自分自身で就職に関する書類を用意できるようにする。キャリア・プランを描き、自分の適性や能力を踏まえて、将来目指したいキャリアを実現する為の具体的な行動計画を作成する。自己の強みを見出し、他人と協働できるようグループワーク、グループディスカッションに取り組む。面接試験のマナーや応対を学ぶ。大人としてのマナーを学ぶ。</p>							
【到達目標】							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事観・人生観・職業観を持つことができる。 2. 仕事理解・職業理解を深める。 3. 自己理解を深め、自分らしい職業選択ができる。 4. 自己の選択した仕事・職について、企業が求める書類を提出し、就職試験を受ける準備ができる。 5. 就職試験の選考を進め、面接等を受けるに足る知識・実践力を養うことができる。 							
授業計画・内容							
1回目	これまでの内容を振り返りながら、現時点までの各々の就職活動の進捗具合を振り返る。就活における情報や悩みをシェア。						
2回目	ジョブカードの紹介（意義・目的）。シートを使って自己分析を行う。自己のエントリーシートに起こすために必要な部分を補足する。						
3回目	各人のエントリー企業を確認。これからエントリーできる、またエントリーしたい企業の洗い出しを行い、情報収集について考える。						
4回目	キャリア・プランを描くために大切な「興味・関心」「こだわり・価値観」「強み・能力」を精査しながらジョブカードの作成を進める。						
5回目	ジョブカードを基に面接時に求められる応対内容の確認と、面接時のマナー・立ち居振る舞いを演習する。						
6回目	面接演習 個人面接を中心にグループで面接演習を行なう。						
7回目	面接演習 実際の企業での面接を出来る限り再現して演習を行う。						
8回目	企業の社会的な役割と組織を学ぶ。						
9回目	就業規則やコンプライアンス等、社会と企業のルールを学ぶ。						
10回目	仕事のプライオリティの付け方、報告・連絡・相談等、仲間との連携について学ぶ。						
11回目	名刺の受け渡し、来客応対、電話応対等ビジネスマナーの基本を身につける。						
12回目	就職内定までの状況を再確認。演習予備日。						
13回目	課題チェック						
14回目	学期末特別授業						
15回目	学期末特別授業						
準備学習 時間外学 習	<p>準備：自身の就活を自主的に進める。進める過程で発生する準備や疑問について、自己の課題として授業内で解決。</p> <p>時間外学習：合同企業説明会等への積極的参加（WEB含む）。インターンシップ等での自己研鑽。</p>						
評価方法	<p>課題（課題提出、提出期限の厳守）</p> <p>習熟度（到達目標に対する習熟度）</p>						
受講生への メッセージ	<p>就職活動において最も大切なものはグッド（熱意と継続力）。自分自身が納得できる就活を達成できるまで、諦めず粘り強く、取り組んで下さい。昨日の自分よりも今日の自分、未来の自分へ。自分で自分を超越して成長していきましょう。</p>						
【使用教科書・教材・参考書】							
講師が用意する冊子。プリント等。パワーポイントによる準備。							

科目名 (英)	Pro Tools I . II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	金子 秀樹
	Pro Tools I . II	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】 音源制作のユニバーサルツールであるProToolsを使用したレコーディング・音源編集・ミックスダウン技術を習得します。							
<講師プロフィール> 世界屈指のライブハウス「ブルーノート」にて音響のチーフエンジニアとして活躍。またコンポーザー、ドラマーでもあり、「天晴ニッポン」は全国のよさこいイベントで使用される。							
【到達目標】 自作楽曲の音源制作やインターネットを活用したプロモーションツールの作成を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	実習室のシステム、取り扱い等の説明。DTM、ProToolsについての説明
2回目	ProTools基本操作① 立ち上げ方から周辺機器、基本操作の説明。音素材を使用してバランスのみの調整
3回目	ProTools基本操作② 音素材を使用してバランスのみの調整～パウンズで2mix作成
4回目	ProTools基本操作③ トラック作成（オーディオ、インスタ、クリップトラック等）、In/Outの設定
5回目	プラグイン①-① インサートによるEQの使用法と説明
6回目	プラグイン①-② EQ（ドラム周りの音作りの基本）
7回目	プラグイン①-③ EQ（ベース・ギター周りの音作りの基本）
8回目	プラグイン①-④ EQ（キーボード・声周りの音作りの基本）
9回目	プラグイン② インサートによるコンプレッサー・ゲートの使用法と説明（ドラム、ベース、声の素材で音作り）
10回目	プラグイン③-① Send/Returnによるリバーブ（Returnチャンネルの作成とリバーブの種類と特徴）
11回目	プラグイン③-② Send/Returnによるディレイ（ディレイの種類と特徴）、リバーブとディレイを使用して音作り
12回目	プラグイン④-① Instトラックへの音源ソフトのアサイン。リアルタイム録音と打ち込みの説明
13回目	プラグイン④-② Instトラックで打ち込み曲を作成し、パウンズによる2mixを作成
14回目	期末テスト
15回目	イベント実習
準備学習 時間外 学習	いろいろな音楽を聴き、いろいろな芸術作品を鑑賞することで、オリジナル作品の幅が広がります。
評価方法	実技テスト 課題提出
受講生への メッセージ	現代の作品発表の場は様々です。いろいろな媒体に対応出来る人になりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ProTools.各種プラグイン	

科目名 (英)	ProToolsⅢ.Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	森脇正太郎
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 木曜3限
【授業の学習内容】 音源制作のユニバーサルツールであるProToolsを使用したレコーディング・音源編集・ミックスダウン技術を習得します。							
<講師プロフィール> イナズマ戦隊、ばってん少女隊などのライブレコーディングでエンジニアを務める。福岡のテレビ局で音響効果、MAエンジニアとしても活躍。また、九州最大級のクラブ、Bijouのハウスエンジニアとして音響&ライブレコーディングを行うなどPAエンジニア業も精力的に行う。							
【到達目標】 録音やミックスダウンなどのスタジオワークや、MAがある程度できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	1年次の復習
2回目	Wavesプラグインについて。 <目標>Waves Goldに入っているプラグインの使用方法を理解する。
3回目	Mixdown. その1 <目標>ProToolsの使い方を思い出し、ミックスしよう。(ポップス)
4回目	Mixdown. その2 <目標>ProToolsの使い方を思い出し、ミックスしよう。周りの友達作品と比べてみて発表しよう。(ポップス)
5回目	ケーブル作成。半田ごて。 <目標>ケーブルを作れるようになろう。
6回目	立体音響。 <目標>VRやバイノーラル・サラウンドなど立体音響について理解を深めよう。
7回目	MA、音響効果について。その1、収録 <目標>映像に合うように自分自身でアテレコを行い、作品を作ろう。
8回目	MA、音響効果について。その2、音響効果 <目標>映像に合う効果音やBGMを選曲しよう。
9回目	MA、音響効果について。その3、ラウドネス <目標>テレビでO.A出来る音についてしっかり理解しミックスをしよう。
10回目	様々なインターフェース接続方法について <目標>スタジオ以外での多チャンネル録音やコンピューターシステムを組めるようになろう。
11回目	総復習
12回目	We are FSM 卒業進級制作
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	出席日数。授業態度。作品の完成度。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ProTools V . VI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	金子 秀樹
	ProTools V . VI	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	金曜4限
【授業の学習内容】 音源制作のユニバーサルツールであるProToolsを使用したレコーディング・音源編集・ミックスダウン技術を習得します。							
<講師プロフィール> 世界屈指のライブハウス「ブルーノート」にて音響のチーフエンジニアとして活躍。またコンポーザー、ドラマーでもあり、「天晴ニッポン」は全国のよさこいイベントで使用される。							
【到達目標】 自作楽曲の音源制作やインターネットを活用したプロモーションツールの作成を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	オーディオトラックの録音① マイクを使用して録音（マイクの種類や特徴、リージョンの編集）
2回目	オーディオトラックの録音② プラグインのアンプシミュレーターの使用方法と録音。 ※翌週の為の楽曲選定を宿題として告知
3回目	音源作成① 先週の宿題で選定した楽曲のベースとなる部分を打ち込みで作成
4回目	音源作成② 打ち込み、オーディオトラックの録音、修正等
5回目	音源作成③ 打ち込み、オーディオトラックの録音、修正等
6回目	音源作成④ EQ、エフェクト処理を含むトータルミックス、2mixまで作成
7回目	音源作成⑤ 先週作成した2mixをマスタリングして書き出し作業
8回目	インターネットを使用したプロモーションツールの作成方法
9回目	演習課題制作① ※ 4週で完成出来るようスケジュールも考慮する。作成する曲数は複数でも可
10回目	演習課題制作②
11回目	演習課題制作③
12回目	期末試験 演習課題制作④
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外 学習	いろいろな音楽を聴き、いろいろな芸術作品を鑑賞することで作品の幅が広がります。
評価方法	実技テスト 課題提出
受講生への メッセージ	現代の作品発表の場は様々です。いろいろな媒体に対応出来る人になりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ProTools.各種プラグイン	

科目名(英)	レコーディングセオリー I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	濱本 真澄
	Recording Theory I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	火曜3・4限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>あらゆる録音形態を駆使したレコーディング実習を通して、音楽制作・スタジオエンジニアの実務応用技術を習得します。</p> <p><講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。</p> <p>【到達目標】</p> <p>レコーディングスタジオで使用される機材（SSLコンソール、マイクロフォン、アウトボード類）に慣れ、使用出来るようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	スタジオワークについて
2回目	コンソールの知識①
3回目	コンソールの知識②
4回目	マイク知識①
5回目	マイク知識②
6回目	ステレオマイキング
7回目	エフェクター（EQ）
8回目	エフェクター（Comp）
9回目	エフェクター（Gate）
10回目	エフェクター（リバーブ）
11回目	エフェクター（ディレイ）
12回目	エフェクター（モジュレーション）
13回目	エフェクター（モジュレーション）
14回目	9月特別講義
15回目	9月特別講義
準備学習 時間外学 習	Pro Tools 知識。
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	レコーディングを行うための基礎知識から学びます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名(英)	レコーディングセオリー II Recording Theory II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	濱本 真澄
学科・コース	音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜3限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>あらゆる録音形態を駆使したレコーディング実習を通して、音楽制作・スタジオエンジニアの実務応用技術を習得します。</p> <p><講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミックシー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。</p> <p>【到達目標】</p> <p>レコーディングスタジオで使用される機材（SSLコンソール、マイクロフォン、アウトボード類）に慣れ、使用出来るようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	Protools基本① Protoolsとコンソール等のつながり
2回目	Protools基本② レコーディング1
3回目	Protools基本③ レコーディング2
4回目	Protools基本④ エディット1
5回目	Protools基本⑤ エディット2
6回目	Protools基本⑥ Plug-In Effect1
7回目	Protools基本⑦ Plug-In Effect2
8回目	Protools基本⑧ ミックス1
9回目	Protools基本⑨ ミックス2
10回目	素材を使つてのミックス①
11回目	素材を使つてのミックス②
12回目	年間まとめ 実技テスト
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外 学習	Pro Tools 知識。
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	レコーディングを行うための基礎知識から学びます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	レコーディングセオリーⅢ Recording TheoryⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	森脇 正太郎
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜4限
【授業の学習内容】 レコーディング技術を学ぶとともに、音や楽器に関する様々な知識を知り、より良い音を再現できる技術を学びます。							
<p><講師プロフィール> イナズマ戦隊、ばってん少女隊などのライブレコーディングでエンジニアを務める。福岡のテレビ局で音響効果、MAエンジニアとしても活躍。また、九州最大級のクラブ、Bijouのハウスエンジニアとして音響&ライブレコーディングを行うなどPAエンジニア業も精力的に行う。</p>							
【到達目標】 様々な音響機器の使用方法を理解した上で、ミュージシャン自身で楽曲を録音・編集出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	レコーディングスタジオの使用方法について その1 (電源の入れ方やミキサーの使い方など)
2回目	レコーディングスタジオの使用方法について その2 (実際にマイクを立てて録音)
3回目	レコーディングスタジオの使用方法について その3 (録音した音源の編集)
4回目	楽器のレコーディング その1 (ドラム)
5回目	楽器のレコーディング その2 (キーボード、ベース)
6回目	楽器のレコーディング その3 (ボカール、ギター)
7回目	楽器のレコーディング その4 (その他)
8回目	楽曲のミックスダウン (今まで録音したものの編集)
9回目	半田ごてを使用したケーブル作り
10回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その1
11回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その2
12回目	楽曲のミックスダウン (今まで録音したものの編集)
13回目	実技テスト
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学 習	Pro Tools 知識
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	レコーディング知識を学び、多方面で活躍できるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	レコーディングセオリーⅣ Recording TheoryⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	森脇 正太郎
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜 1 限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>レコーディング技術を学ぶとともに、音や楽器に関する様々な知識を知り、より良い音を再現できる技術を学びます。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>イナズマ戦隊、ばってん少女隊などのライブレコーディングでエンジニアを務める。福岡のテレビ局で音響効果、MAエンジニアとしても活躍。また、九州最大級のクラブ、Bijouのハウスエンジニアとして音響&ライブレコーディングを行うなどPAエンジニア業も精力的に行う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>様々な音響機器の使用方法を理解した上で、ミュージシャン自身で楽曲を録音・編集出来るようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その1
2回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その2
3回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その3
4回目	楽曲のミックスダウン (今まで録音したものの編集)
5回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その1
6回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その2
7回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その3
8回目	楽曲のミックスダウン (今まで録音したものの編集)
9回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その1
10回目	学生のオリジナル楽曲を実際に録音、ディレクション その2
11回目	楽曲のミックスダウン (今まで録音したものの編集)
12回目	実技テスト
13回目	We are FSM 卒業進級制作展 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作展 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作展 本番
準備学習 時間外学 習	Pro Tools 知識
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	レコーディング知識を学び、多方面で活躍できるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名(英)	レコーディングセオリーV	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	濱本 真澄
	Recording Theory V	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	音楽プロデューサー科					曜日・時限	木曜 3 限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>VocalRecordingにおけるマイキング・エフェクト等の基本を学ぶ。それを元に自分のピッチ・リズムのコントロールをより精密にしていく。またその作業の中でエンジニアとのコミュニケーション能力を身につけていく。</p> <p><講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。</p> <p>【到達目標】</p> <p>自分の声質を理解し、楽曲に合わせた機材選択が出来る様にする。またその為のエンジニア等とのコミュニケーション能力を身につける。エンジニアはどの様に機材セッティング・コミュニケーションすることでVocalistの歌いやすい環境を作り出せるかを追求する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業説明
2回目	マイクによる声の音質の違い① ダイナミック・コンデンサーマイク
3回目	マイクによる声の音質の違い② 色々なダイナミックマイク
4回目	マイクによる声の音質の違い③ 色々なコンデンサーマイク
5回目	マイクによる声の音質の違い④ 自分の声質・楽曲にあったマイク選び
6回目	VocalRecordingにおけるエフェクター① イコライザー
7回目	VocalRecordingにおけるエフェクター② コンプレッサー
8回目	VocalRecordingにおけるエフェクター③ 空間系
9回目	VocalRecordingにおけるエフェクター④ Tune系
10回目	Tuneトレーニング① Autotuneで自分の実際のピッチの確認
11回目	Tuneトレーニング② 確認を元に修正
12回目	Rhythmトレーニング① Protoolsの波形を元にタイミングの確認
13回目	Rhythmトレーニング① 確認を元に修正 実技テスト
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	Pro Tools 知識
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	レコーディング機材の応用を学び、様々な音楽ジャンルに対応しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名(英)	レコーディングセオリーVI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	濱本 真澄
	Recording TheoryVI	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	木曜3限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>VocalRecordingにおけるマイキング・エフェクト等の基本を学ぶ。それを元に自分のピッチ・リズムのコントロールをより精密にしていく。またその作業の中でエンジニアとのコミュニケーション能力を身につけていく。</p> <p><講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。</p> <p>【到達目標】</p> <p>自分の声質を理解し、楽曲に合わせた機材選択が出来る様にする。またその為のエンジニア等とのコミュニケーション能力を身につける。エンジニアはどの様に機材セッティング・コミュニケーションすることでVocalistの歌いやすい環境を作り出せるかを追求する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	課題曲レコーディング①
2回目	課題曲ミックス①
3回目	課題曲レコーディング②
4回目	課題曲ミックス②
5回目	課題曲レコーディング③
6回目	課題曲ミックス③
7回目	課題曲レコーディング④
8回目	課題曲ミックス④
9回目	課題曲レコーディング⑤
10回目	課題曲ミックス⑤
11回目	年間まとめ①
12回目	年間まとめ② 実技テスト
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	Pro Tools 知識
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	レコーディング機材の応用を学び、様々な音楽ジャンルに対応しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	音響学 I Sound Science I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	金子秀樹
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】							
舞台の裏方としての知識を学び、舞台機構（音響機構調整作業）3級の合格を目指す。							
<講師プロフィール>							
※ 実務者経験：福岡 中洲にあるMusic Bar S.O.Ra Fukuokaの音響チーフ、また様々なイベントの音響を手がける。							
【到達目標】							
劇場を利用する際のマナー・約束事を理解して、作業が出来るようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	催物の種類・劇場の種類・舞台の種類について
2回目	舞台設備の種類、機能及び用途・舞台照明・舞台用語について
3回目	音響基礎知識・音源の基礎知識について
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	電気工学及び電子工学の基礎理論
6回目	電源設備及び電気計器の種類及び使用方法について
7回目	中間テスト
8回目	興行場法関係法令及び消防法関係法令、電波法関係法令について
9回目	特許法関係法令、舞台機構に関係する部分について
10回目	安全衛生に関する詳細な知識
11回目	検定対策①
12回目	検定対策②
13回目	検定対策②
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	教科書を基に予習復習を忘れずに行う
評価方法	●出席率 (30%) ●授業態度 (30%) ●確認テスト (40%)
受講生への メッセージ	舞台機構（音響機構調整作業）3級 合格を目指して頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション	

科目名 (英)	音響学 II Sound Science II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	富永 堅
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 音についての知識と、PAエンジニアとして必要な知識を身につける。							
<講師プロフィール> ※ 実務者経験：福岡 中洲にあるMusic Bar S.O.Ra Fukuokaの音響チーフ、また様々なイベントの音響を手がける。							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー・約束事を理解して、作業が出来るようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	PAとはどんな仕事か、音はなぜ聞こえるのか
2回目	音波の伝播
3回目	同じ音場、別の音場
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	周波数、可聴限界周波数
6回目	波長と振動
7回目	音色とは
8回目	音質とは
9回目	音波の性質
10回目	音圧・音圧レベル・音量、騒音の定義
11回目	NC値(Noise Criteria Curves)
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	教科書を基に予習復習を忘れずに行う
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●出席率 (30%) ●授業態度 (30%) ●確認テスト (40%)
受講生への メッセージ	舞台機構（音響機構調整作業）3級 合格を目指して頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション	

科目名 (英)	音響学 III Sound Science II	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	富永 堅
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 音についての知識と、PAエンジニアとして必要な知識を身につける。							
<講師プロフィール> ※ 実務者経験：福岡 中洲にあるMusic Bar S.O.Ra Fukuokaの音響チーフ、また様々なイベントの音響を手がける。							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー・約束事を理解して、作業が出来るようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	PAとはどんな仕事か、音はなぜ聞こえるのか
2回目	音波の伝播
3回目	同じ音場、別の音場
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	周波数、可聴限界周波数
6回目	波長と振動
7回目	音色とは
8回目	音質とは
9回目	音波の性質
10回目	音圧・音圧レベル・音量、騒音の定義
11回目	NC値(Noise Criteria Curves)
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	教科書を基に予習復習を忘れずに行う
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●出席率 (30%) ●授業態度 (30%) ●確認テスト (40%)
受講生への メッセージ	舞台機構（音響機構調整作業）3級 合格を目指して頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション	

科目名 (英)	電気知識 I II Electric Knowledge I II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	山田 晴美
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 主たる業務の現場となる、劇場（ホール）の構造と名称および設備について必要な知識を習得する。 特に9月に予定されているミュージカルへ向けて、音響スタッフとして劇場での作業が円滑に行えるように学習する。 ミュージカル対策としてワイヤレスマイクの運用に必要な知識を習得する。 <講師プロフィール> ※ 実務者経験：ステージオフィスヤマダ代表。コンサートや日本舞踊、バレエなどの多くの公演に携わる。クロスエフェム開局に携わり、博多駅スタジオのシステム担当、ユニバーシアード福岡大会コミュニティラジオシステム担当の他、九州各県のコミュニティ放送設立に際してシステム設計から立ち上げに関わっている。							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー・約束事を理解して、作業が出来るようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期講義の概要
2回目	劇場の構造 舞台機構① 舞台の構造と名称
3回目	劇場の構造 舞台機構② 各種舞台設備について
4回目	劇場の構造 舞台機構③ 舞台用語の基礎知識
5回目	舞台備品について 舞台備品・器具の基礎知識
6回目	劇場の構造 照明設備① 舞台照明システムについて
7回目	劇場の構造 照明設備② DMX512Aについて
8回目	劇場の構造 照明設備③ 大電力設備の危険性とその障害
9回目	劇場の構造 音響設備① ホール常設の音響システムと持込PAとの差異
10回目	劇場の構造 音響設備② ホール音響設備の特色
11回目	劇場の構造 音響設備③ ホール音響設備をどう使用するか
12回目	前期講義のまとめ まとめと質疑応答、並びに課題の提示
13回目	前期評価 課題レポートによる評価
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	学内外において開催されている各種催事・イベントを見学することで、あらゆる場面を見ることができるので積極的に触れるように努力する。 各種メディア（4K-TV、インターネット等）での劇場上演映像等を、聴取することで多くの舞台に触れる事ができるので、機会があれば聴取するように努める。
評価方法	取組姿勢 : 20% (学習に対する取組姿勢) 課題 : 50% (課題提出、提出期限の厳守) 習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます
受講生への メッセージ	判らない事は、なんでも質問して可能な限り疑問の解消に努めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 PA照明舞台用語辞典 (i-Pad) 公立文化施設 舞台技術ハンドブック (プリントにて配布) その他、必要に応じて 資料プリントを講師より配布して行う。	

科目名 (英)	電気知識ⅢⅣ Electric Knowledge ⅢⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	山田 晴美
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】 主たる業務の現場となる、劇場（ホール）の構造と名称および設備について必要な知識を習得する。 特に9月に予定されているミュージカルへ向けて、音響スタッフとして劇場での作業が円滑に行えるように学習する。 ミュージカル対策としてワイヤレスマイクの運用に必要な知識を習得する。 <講師プロフィール> ※ 実務者経験：ステーションヤマダ代表。コンサートや日本舞踊、バレエなどの多くの公演に携わる。クロスエフエム開局に携わり、博多駅スタジオのシステム担当、ユニバーシアード福岡大会コミュニティラジオシステム担当の他、九州各県のコミュニティ放送設立に際してシステム設計から立ち上げに関わっている。							
【到達目標】 劇場を利用する際のマナー・約束事を理解して、作業が出来るようになる。 安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。 専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	後期講義の概要
2回目	電気について① その歴史、周波数
3回目	電気について② 交流と直流、電圧と電流、消費電力
4回目	電気について③ 直流抵抗、インピーダンス
5回目	直流抵抗について① 直列、並列
6回目	直流抵抗について② 合成抵抗
7回目	直流回路における分圧と分流
8回目	直流回路における、電圧・電流・抵抗に関する 複合計算とその関わり
9回目	電源の方式 単相2線、単相3線、3相4線式
10回目	仮設電源について
11回目	後期 期末テスト
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	学内外において開催されている各種催事・イベントを見学することで、あらゆる場面を見ることができるので積極的に触れるように努力する。 各種メディア（4K-TV、インターネット等）での劇場上演映像等を、聴取することで多くの舞台に触れる事ができるので、機会があれば聴取するように努める。
評価方法	取組姿勢 : 20% (学習に対する取組姿勢) 課題 : 50% (課題提出、提出期限の厳守) 習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます
受講生への メッセージ	判らない事は、なんでも質問して可能な限り疑問の解消に努めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 PA照明舞台用語辞典 (i-Pad) 公立文化施設 舞台技術ハンドブック (プリントにて配布) その他、必要に応じて 資料プリントを講師より配布して行う。	

科目名 (英)	照明概論 I Lighting Concept	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	田坂 章文
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜5・6限
【授業の学習内容】							
<p>照明舞台機構を知り、用法を学び基礎的知識を習得する。照明・舞台の基礎的用語を学び、使い方を理解し、図面を読み込むこと何よりケガなく安全に作業ができることを第一に安全マナー・機材の取り扱い方、安全作業の基礎知識から舞台機構・舞台照明設備の用語及び知識の習得を目的とする。講師作成の仕込み図どおりに脚立を使用しながら照明仕込みが行うことができるようになる。</p>							
【到達目標】							
<p>照明家に必要な基礎知識を学び、照明機器と照明操作のシステム、照明・舞台機構の基礎的知識・用語を習得する。ミュージカル公演の現場に向けて必要とされる知識・技術を学ぶ。 <具体的な目標> ①舞台機構用語・舞台照明用語（機材用語等）を習得する ②舞台機構と舞台照明設備について理解する ③照明機器と照明操作のシステムについて理解する</p>							

授業計画・内容	
1回目	舞台機構用語・舞台照明用語（機材用語等）①
2回目	舞台機構用語・舞台照明用語（機材用語等）②
3回目	舞台機構用語・舞台照明用語（機材用語等）③
4回目	舞台照明設備について①
5回目	舞台照明設備について②
6回目	照明機器と照明操作のシステム①
7回目	照明機器と照明操作のシステム②
8回目	照明機器と照明操作のシステム③
9回目	照明家としての基礎知識
10回目	ミュージカル公演会場の舞台機構・仕込み図について
11回目	ミュージカル公演照明プランプレゼンテーション①
12回目	ミュージカル公演照明プランプレゼンテーション②
13回目	ミュージカル公演照明プラン修正およびホール入り前の心構えについて
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<p>○実技テスト : 60%</p> <p>○筆記テスト : 40%</p> <p>○出席 : 別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます</p>
受講生への メッセージ	<p>様々なジャンルが氾濫する中、照明家として一貫した考え方を持っていれば何にでも対応できるという自分のスタンスを軸に、ちょっとしたアイデアが大きな進歩につながります。まず自分が楽しくなくてはならないがそこに行き着くには数多くの現場に関わることが大切です。基本照明の美しさへの拘りを育て、「優しさや思いやり」から発展する経験が照明に対しての取り組む姿勢に影響を与えます。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	照明概論Ⅱ Lighting Concept	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	田坂 章文
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜 5・6限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>舞台機構用語・舞台照明用語（機材用語等）を習得し、舞台機構・舞台照明設備について理解し、進級制作展に向けて使用するホールのシステムを理解し、照明プランをプランニングする。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>照明実務キャリア40年、九州を中心に芝居・ミュージカル舞台、日本舞踊、バレエなどを中心に照明家として様々なジャンルに携わり、九州の照明業界をリードする。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>基礎をもとに後期は応用を学ぶ。照明家に必要な基礎知識を学ぶとともに進級制作展のプラン作成にいかす。</p> <p><具体的な目標></p> <p>①舞台機構用語・舞台照明用語（機材用語等）を習得する ②舞台機構と舞台照明設備について理解する ③進級制作展の照明プランを作成する</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（前期の振り返りと後期の取り組み方について）
2回目	舞台照明設備について（中級）
3回目	舞台照明設備について（中級）
4回目	照明機器と照明操作のシステム①
5回目	照明機器と照明操作のシステム②
6回目	照明機器と照明操作のシステム③
7回目	照明機器と照明操作のシステム④
8回目	照明家としての応用知識①
9回目	照明家としての応用知識②
10回目	進級展ホールのシステム・機構について
11回目	進級制作展プランニングプレゼンテーション①
12回目	進級制作展プランニングプレゼンテーション②
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	○実技テスト：60% ○筆記テスト：40% ○出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	様々なジャンルが氾濫する中、照明家として一貫した考え方を持っていれば何にでも対応できるという自分のスタンスを軸に、ちょっとしたアイデアが大きな進歩につながります。まず自分が楽しくなくてはならないがそこに行き着くには数多くの現場に関わる事が大切です。基本照明の美しさへの拘りを育て、「優しさや思いやり」から発展する経験が照明に対するの取り組む姿勢に影響を与えます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ライティングベーシック I Lighting Basic	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	麻生 圭輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時限	通年 月曜 1・4限
【授業の学習内容】 照明舞台機構を知り、用法を学びイベント・催事をいかにして成功に導くかを学ぶ。基礎的な光が持つ四つの役割、照明の三原則から学び、何よりケガなく安全に作業ができることを第一に安全マナー・機材の取り扱い方、安全作業の基礎知識から舞台機構・舞台照明設備の用語及び知識の習得を目的とする。講師作成の仕込み図どおりに脚立を使用しながら照明仕込みが行うことができるようになる。 <講師プロフィール> 照明実務キャリア40年、九州を中心に芝居・ミュージカル舞台、日本舞踊、バレエなどを中心に照明家として様々なジャンルに携わり、九州の照明業界をリードする。							
【到達目標】 照明機材を自由に使いこなし、舞台を盛り上げるための照明技術を体得する。 <具体的な目標> ①舞台機構用語・舞台照明用語（機材用語等）を習得する ②照明の三つの原則、光が持つ特性、光源とレンズの関係など説明ができる ③仕込み図どおりに灯体を吊り込むことができる							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション①安全マナー・安全作業について
2回目	オリエンテーション②舞台機構・機材・灯体の名称を知る
3回目	オリエンテーション③機材・灯体の名称を知り特性をいかす
4回目	照明に関する実作業①舞台用語と吊り込み
5回目	照明に関する実作業②吊り込みと回路取り
6回目	照明に関する実作業③照明卓打ち込み
7回目	照明に関する実作業④照明卓打ち込み
8回目	照明に関する実作業⑤工具の名称・コードメンテナンス
9回目	照明に関する実作業⑥仕込み図の書き方
10回目	身に付けた技術をどう実践するか、催物に合わせたプランの作り方①音楽（バンド）
11回目	身に付けた技術をどう実践するか、催物に合わせたプランの作り方②音楽（ヴォーカル）
12回目	身に付けた技術をどう実践するか、催物に合わせたプランの作り方③ダンス
13回目	身に付けた技術をどう実践するか、催物に合わせたプランの作り方④芝居
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学 習	○事前の照明プラン作成、仕込み図作成
評価方法	○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます
受講生への メッセージ	様々なジャンルが氾濫する中、照明家として一貫した考え方を持っていれば何にでも対応できるという自分のスタンスを軸に、ちょっとしたアイデアが大きな進歩につながります。まず自分が楽しくなくてはならないがそこに行き着くには数多くの現場に関わる事が大切です。基本照明の美しさへの拘りを育て、「優しさや思いやり」から発展する経験が照明に対しての取り組み姿勢に影響を与えます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ライティングベーシックⅡ Lighting Basic	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	麻生 圭輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	月曜 1・4限
【授業の学習内容】 照明舞台機構を知り、用法を学び催事をいかにして成功に導くかを学ぶ。様々なジャンルの催事に合わせた照明プランを作成、仕込み図を毎週作成し、実習教室にあった正確な仕込み図をもとに安全な吊り込み作業を行うことができる。照明プラン作り→仕込み→打ち込み・実施のサイクルを繰り返すことで作業のスピードアップをはかり、各学生の照明に対するアイデア作り、経験値を増やし意識を高める。 <講師プロフィール> 照明実務キャリア40年、九州を中心に芝居・ミュージカル舞台、日本舞踊、バレエなどを中心に照明家として様々なジャンルに携わり、九州の照明業界をリードする。							
【到達目標】 照明機材の特性を理解し、なおかつ自由に使いこなし、舞台を盛り上げるための照明技術とプランを体得する <具体的な目標> ①照明機材の特性を正確に理解し、使いこなせること ②正確に仕込み図を作成することができる ③イベントのジャンルにあわせた照明プランを作成することができる							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション①前期の振り返りと後期の取り組みについて
2回目	照明機材の特性と使い方の理解①
3回目	照明機材の特性と使い方の理解②
4回目	照明機材の特性と使い方の理解③
5回目	仕込み図の書き方（復習）
6回目	催物に合わせたプランの作り方①音楽（バンド）
7回目	催物に合わせたプランの作り方②音楽（洋楽）
8回目	催物に合わせたプランの作り方③音楽（J-POP）
9回目	催物に合わせたプランの作り方④ダンス
10回目	催物に合わせたプランの作り方⑤ダンス
11回目	催物に合わせたプランの作り方⑥芝居
12回目	催物に合わせたプランの作り方⑦芝居
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	○事前の照明プラン作成、仕込み図作成
評価方法	○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度 : 30%（到達目標に対する習熟度） 出席 : 別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	様々なジャンルが氾濫する中、照明家として一貫した考え方を持っていれば何にでも対応できるという自分のスタンスを軸に、ちょっとしたアイデアが大きな進歩につながります。まず自分が楽しくなくてはならないがそこに行き着くには数多くの現場に関わる事が大切です。基本照明の美しさへの拘りを育て、「優しさや思いやり」から発展する経験が照明に対しての取り組み姿勢に影響を与えます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ムービングベーシック I Moving Lighting Basic	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生圭輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日1・2限
【授業の学習内容】 ムービングライト、LED機器を含む照明機材の基本的な操作方法、接続方法、機材の基本的な構造を知る。 ※ムービングライトを駆使したオペレートは圧巻の技術レベルを持つ。プロレスの照明演出の他、照明・舞台機器の施工も手掛ける							
【到達目標】 <具体的な目標> ①応用プログラミングとビジュライザの連携について理解できている ②機材の一括操作の設定作業ができている ③機材のメンテナンスおよびネットワークの知識が習得できている							

授業計画・内容		
1回目	機材の基本構造 1	使用する機材の基本構造を知る
2回目	機材の基本構造 2	機材の内部構造について
3回目	機材の基本構造 3	各種モードの切り替え
4回目	操作卓の基本的な使用方法 1	基本的なキューの作成
5回目	操作卓の基本的な使用方法 2	操作卓の初期設定
6回目	操作卓の基本的な使用方法 3	H T P と L T P
7回目	操作卓の基本的な使用方法 4	ディマーの制御
8回目	機材の接続方法 1	操作ケーブルと電源ケーブル
9回目	機材の接続方法 2	D M X 規格とイーサネットについて
10回目	電源容量 1	電源容量の計算
11回目	電源容量 2	ケーブルとコネクタの構造
12回目	仕込みの基本 1	仕込み手順と安全確認
13回目	仕込みの基本 2	ケーブル処理
14回目	ミュージカル演習	
15回目	ミュージカル演習	
準備学習 時間外学 習		
評価方法	○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます"□	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ムービングベーシックⅡ Moving Lighting Basic	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生圭輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜1・2限
【授業の学習内容】 ムービングライト、LED機器を含めた照明機材の基本的な操作方法、接続方法、機材の基本的な構造を知る。 ※ムービングライトを駆使したオペレートは圧巻の技術レベルを持つ。プロレスの照明演出の他、照明・舞台機器の施工も手掛ける							
【到達目標】 <具体的な目標> ①応用プログラミングとビジュライザの連携について理解できている ②機材の一括操作の設定作業ができている ③機材のメンテナンスおよびネットワークの知識が習得できている							

授業計画・内容	
1回目	操作卓の基本的な使用方法 1 DMXアドレスとパッチ
2回目	操作卓の基本的な使用方法 2 キューの実行とタイムの調整
3回目	操作卓の基本的な使用方法 3 バレットの作成
4回目	操作卓の基本的な使用方法 4 エフェクトエンジン
5回目	機材の接続方法 1 DMXアドレスと2進数
6回目	機材の接続方法 2 スプリッタボックスと信号のアイソレーション
7回目	機材の接続方法 3 調光ユニット
8回目	電源知識 1 電圧、電流、電力の基本
9回目	電源知識 2 テスターによる測定方法
10回目	光源知識 1 発光原理と波長成分、色温度
11回目	光源知識 2 カラーミックスの原理、CMYとRGB
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます"□
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イベント照明ベーシック I Event Lighting Basic	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	岡田 一志
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜3、4限
【授業の学習内容】 照明の基本を教科書を使い学んでいき、照明の楽しさを伝える。また、イベントに向けて仕込みの練習をする。1年次の学内イベントを安全に行えるよう仕込み時の安全対策、学内イベントに対して基本的な作業と照明機器（ムービングも含めて）を学ぶ。 <講師プロフィール> ※演劇、パレエ、ダンス等を中心に様々なジャンルの照明プランを担当し、福岡の様々なホールの管理から照明エンジニアとしても活躍中。第29回日本照明家協会賞にノミネートされ奨励賞受賞。							
【到達目標】 教科書で学んだことを使い8Fの仕込みがスムーズにできるようにしていく。一人一人がイベントを通して、安全に仕込むことができる、基礎的なオペレーションができるようにする。 <具体的な目標> ①仕込み時の安全対策ができる ②照明機器全般を理解することができる ③カラーフィルター番号の習得および色の表現について理解できる							

授業計画・内容	
1回目	照明機材について
2回目	照明のケーブルとコネクタについて
3回目	カラーフィルターを覚えよう
4回目	照明の仕込みをしてみよう 基礎編
5回目	照明の知識アップ 教科書を使います
6回目	照明の仕込みをしてみよう 基礎編
7回目	照明の知識アップ 教科書を使います
8回目	照明の仕込みをしてみよう 応用編
9回目	照明の知識アップ 教科書を使います
10回目	仕込み図を書けるように
11回目	仕込みのスピードアップと仕込み図の読み取り方の勉強
12回目	仕込み図を書けるように
13回目	仕込みのスピードアップと仕込み図の読み取り方の勉強
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます
受講生への メッセージ	焦らず、ゆっくりと頑張ってください
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イベント照明ベーシックII Event Lighting Basic	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	岡田 一志
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜3、4限
【授業の学習内容】 イベントを通して教科書で学んだことを使い体に覚えさせ、簡単なオペレーションの練習を行なっていく。。1年次の学内イベントを安全に行えるよう仕込み時の安全対策、学内イベントに対して基本的な作業と照明機器（ムービング他含めて）を学ぶ。 <講師プロフィール> 演劇、バレエ、ダンス等を中心に様々なジャンルの照明プランを担当し、福岡の様々なホールの管理から照明エンジニアとしても活躍中。第29回日本照明家協会賞にノミネートされ奨励賞受賞。えるよう仕込み時の安全対策、学内イベントに対して基本的な作業と照明機器（ムービング他含めて）を学ぶ。							
【到達目標】 一人一人がイベントを通して、仕込みや簡単なオペレーションができるようにしていく。一人一人がイベントを通して、安全に仕込むことができる、基礎的なオペレーションができるようにする。 <具体的な目標> ①仕込み時の安全対策ができる ②照明機器全般を理解することができる ③カラーフィルター番号の習得および色の表現について理解できる							

授業計画・内容	
1回目	イベントを通した振り返りでのレベルアップ
2回目	仕込み図を書けるように
3回目	仕込みのスピードアップと仕込み図の読み取り方の勉強
4回目	イベントを通して実践練習 ①ステージライティング応用技法
5回目	イベントを通して実践練習 ②ステージライティング応用技法
6回目	イベントを通して実践練習 ③ステージライティング応用技法
7回目	イベントを通して実践練習 ④ステージライティング応用技法
8回目	イベントを通して実践練習 ⑤ステージライティング応用技法
9回目	イベントを通して実践練習 ⑥ステージライティング応用技法
10回目	イベントを通して実践練習 ⑦ステージライティング応用技法
11回目	イベントを通して実践練習 ⑧ステージライティング応用技法
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます
受講生への メッセージ	焦らず、ゆっくりと頑張ってください
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ライティングワークショップ I	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	高橋 剛
	Lighting Workshop	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	前期
学科・コース	音楽プロデュース科			曜日・時限	木曜1～4限		
【授業の学習内容】							
<p>すでに学習した基礎を活かし、前期は舞台照明を中心としたミュージカルや芝居のプラン→下準備→設営施工→プログラム→本番オペレート→撤去に至るまでの一連の流れを実習の中で学んでゆく。また、即戦力が必要とされるスキルとマナー及び現場力の向上と、時代に合った照明知識とテクニックを身につける。また、制作活動におけるグループ活動や指揮能力・説明能力の向上を図る。</p> <p>※実務経験 コンサート・イベント照明に照明プランナーとして数多くの現場経験を持つ。有名アーティストとの現場経験も豊富。日本照明家協会 1 級を持ち、日本照明家協会優秀賞を受賞する。</p>							
【到達目標】							
<p>前期の集大成であるFSMミュージカル「ホスピタル・オブ・ミラクル」福岡市民会館大ホールでの現場実習の成功を到達目標とし、必要なスキル・テクニックが備わっている。具体的な内容としては、①施工撤去時の安全対策と正しい道具の使用できる。②様々なフォーカスが出せる。③照明仕込図を理解し機材準備・回路取りができる④機材の仕様を理解しDMX信号の引き回し・回線図の作成・卓へのパッチが出来る⑤照明用3Dソフトウェアをセットアップ出来る⑥VECTORWORKSを使って仕込図を作成できる。⑦ピンスポットの正しい使い方と本番オペレートができる⑧台本を理解しキューの作成が出来る⑨照明卓のプログラミングを理解した上で作業が出来る⑩自主性を持ってミュージカル公演の準備ができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	目標① 安全対策ヘルメット・安全帯を着用出来る。工具やロープ正しく使用できる。電源の種類が正しく説明できる。電圧を測ることができる。
2回目	目標② タバ調整や地明かり・ブッチ・トップ・バック・幕前のフォーカスを取ることができる。
3回目	目標③ HOMの仕込図を分解し機材出し・ケーブル出しができる。回路数・必要な直電源数・容量を割り出せる。機材表を作成できる。UNIT表を作成できる。
4回目	目標④ 機材の仕様を説明できる。仕込図上でDMX信号の引き回しを考える事ができる。DMX回線表が作成できる。各照明卓のパッチができる。
5回目	目標④ DMX回線表が作成できる。HOGのパッチができる。MA3のパッチができる。PERALのパッチができる。
6回目	目標⑤ ライトコンパースのセットアップができる。器具の配置・パッチができる。卓を繋げてチェックができる。
7回目	目標⑤ MA3Dのセットアップができる。器具の配置・パッチができる。卓を繋げてチェックができる。
8回目	目標⑥ VectorWorksの縮尺・用紙設定ができる。シンボルを作成できる。仕込図を作成できる。
9回目	目標⑦ ピンスポットの構造を理解する。正確な操作ができる。ピンキューを作る事ができる。
10回目	目標⑧ 台本を照明用にタブ付けできる。シーンから演出を読み解くことができる。台本に照明キューを入れることができる。
11回目	目標⑨ 照明卓のプログラミングを理解できる。
12回目	目標⑩ ミュージカルの準備 担当セクションを決め、各自に必要な情報・作業を考える。
13回目	目標⑩ ミュージカルの準備各自で担当セクションの仕上げと確認をする。
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	目標①安全作業の基本P18～25、P63～67脚立作業・仕込みからシュート作業、P74～83予習に有効。目標②舞台・テレビジョン照明P29～61。 目標③HOM2019仕込図及び舞台・テレビジョン照明P74-3ユニット表。目標④舞台・テレビジョン照明P50～57パッチング。目標⑤ウィンドウズPCの基本操作を予習しておく。目標⑥MACの基本操作を予習しておく。手書きの仕込図を考えておく。目標⑦舞台・テレビジョン照明P49～50フロースポット目標⑧舞台・テレビジョン照明P29～34。目標⑨舞台・テレビジョン照明P129～146照明操作のシステム
評価方法	各目標ごとに確認テストを実施。定期テストにて知識（レポート形式）、実習の中で技能について到達評価を行う。 ●小テスト（30%） ●定期テスト（30%） ●実習技能（40%）の割合で評価を行う。
受講生への メッセージ	コースの魅力：ミュージカル舞台に目標を定めていますが、将来コンサート・イベント等の照明家を目指す学生にとって、最も必要な内容を抜粋して学習していきます。基礎から高度な照明知識・技術を習得し実践することで、照明の魅力を感じてもらえる内容となっています。 授業計画：大劇場で行われる学校ミュージカルの本番実習に向けて、プロレベルに近い講義が計画されていますので、欠席をしないように体調管理も含め気をつけてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>教科書：公益社団法人 日本照明家協会 発行 ●舞台・テレビジョン照明（妹尾河童） ●電源の基礎知識 参考書：公益社団法人 日本照明家協会 発行 ●舞台スタジオ・屋外における【安全作業の基本】</p>	

科目名 (英)	ライティングワークショップⅡ Lighting Workshop	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	高橋 剛
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜1～4限
【授業の学習内容】 後期も基本的な流れは一緒になるが、バンドライブ・ダンス・コンサートなどを中心とした内容になります。卒業制作展で使用予定の大型ライブハウスZepp福岡をベースに、プラン→下準備→設営施工→プログラム→本番オペレート→撤去に至るまでの一連の流れを実習の中で学んでゆく。前期の実習活動の成果を元に卒業制作及び実社会への最終的なスキルとテクニックを更に磨いてゆく。平行して、新型照明卓MA3新ソフトウェアをセッティング～プログラミングまで学習する。※実務経験 コンサート・イベント照明に照明プランナーとして数多くの現場経験を持つ。有名アーティストとの現場経験も豊富。日本照明家協会 1 級を持ち、日本照明家協会優秀賞を受賞する。							
【到達目標】 卒業制作展『WE ARE FSM』現場実習の成功を到達目標とし、必要なスキル・テクニックが備わっている。具体的な内容としては、①大型ライブ・イベントホールの施工撤去時の安全対策と正しい作業手順が理解できる。②仮設ステージでのフォーカスが出来る。③照明仕込図を理解し機材準備・回路取りが出来る④機材の仕様を理解しDMX信号の引き回し・回線図の作成・卓へのパッチが出来る⑤照明用3Dソフトウェアをセットアップ出来る⑥ピンスポットの正しい使い方と本番オペレートができる⑦演出に対する照明の準備ができる。⑧台本を理解しキューの作成が出来る⑨照明卓のプログラミングを理解した上で作業が出来る⑩自主性を持ってミュージカル公演の準備ができる。							

授業計画・内容	
1回目	目標① トラスの昇降に伴う安全管理ができる。イントレ・レイヤーなどの高所作業が安全にできる。
2回目	目標② トラスのタップ調整ができる。オブジェなどのセットに対しての照明の当て方を考えることができる。
3回目	目標③ 大型イベントの照明プランを理解した上で、機材の準備・回路の引き回しができる。
4回目	目標③ 照明施工の説明を大勢の前でできる。
5回目	目標④ 複雑なDMXシステムの構築と光ファイバーなどを使った送信システムの理解ができる。
6回目	目標⑤ WAF@Zeppのライトコンパースのセットアップができる。器具の配置・パッチができる。卓を繋げてチェックし、適正なバレットを作成できる。
7回目	目標⑤ WAF@ZeppのMA3Dのセットアップができる。器具の配置・パッチができる。卓を繋げてチェックし、適正なバレットを作成できる。
8回目	目標⑥ Zeppのピンスポット「ロバート・ジュリエット」の操作ができる。大型フォロースポットのセッティングができる。
9回目	目標⑦ Zeppの機材・持ち込み機材等を把握し、各演出内容に合わせた照明プランの準備と構成ができる。
10回目	目標⑧ 照明プログラミング① 各担当の演目のプログラム・ピンフォローの段取りができる。
11回目	目標⑨ 照明プログラミング② 各担当の演目のプログラム・ピンフォローの段取りができ、制作展への準備を完成させる。
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	前期に提示した内容を基礎とし、さらなる技術の向上を目指す為、各自で内容に適した教科書の準備学習を望みます。
評価方法	各目標ごとに確認テストを実施。定期テストにて知識（レポート形式）、実習の中で技能について到達評価を行う。 ●小テスト（30%） ●定期テスト（30%） ●実習技能（40%）の割合で評価を行う。
受講生への メッセージ	コースの魅力：将来コンサート・イベント等の照明家・およびスタッフを目指す学生にとって、最も必要な内容を抜粋し、より高度な照明知識・技術を習得し実践することで、プロの世界でも通用する内容となっています。 授業計画：大規模イベント会場の本番実習に向けて、プロレベルに近い講義が計画されていますので、欠席をしないように体調管理含め気をつけてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：●舞台・テレビジョン照明（妹尾河童） ●電源の基礎知識 参考書：●舞台スタジオ・屋外における【安全作業の基本】●コンサートライティング入門舞台技術入門シリーズ/加藤憲治	

科目名 (英)	ミュージックセオリー II	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	坂本 かおり
	Music Theory II	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科						
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 コード理論を学ぶにあたって、楽曲分析や作曲など創作に必要な知識を得る。							

授業計画・内容	
1回目	<マイナースケール> マイナースケールの仕組み、5度圏を用いてナチュラルマイナーの説明
2回目	<マイナースケール> ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの説明
3回目	<近親調> 各調の関係を楽譜を用いて知る
4回目	<移調> 5線を用いて移調をできるようになる
5回目	<奏法> 省略記号、奏法記号、装飾記号を知る
6回目	確認テスト
7回目	復習・解説
8回目	<トライアド> コードの概念とトライアドの構造について知る
9回目	<7thコード> トライアドの知識を踏まえ7thコードに発展させる
10回目	<dim7と7thコードの復習> トライアドと7thコードの響きの違いを曲を用いて知る。dimコードの構造と響き
11回目	<その他のコード> add9,sus4,6thコードについて知る
12回目	テスト対策
13回目	期末予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	コードについてのプリントで宿題がです。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	コードについて学ぶことは全ての演奏者にとって大切なことです。頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	ミュージックセオリーⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	森山 陽介
	Music TheoryⅢ	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科						
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 メジャーダイアニックコードからマイナーダイアニックコードまでと、マイナーキーにおけるケーデンスまで。							

授業計画・内容	
1回目	<メジャーダイアニックコード> ダイアニックコードについて、コードネームとディグリーネームを書けるようにする
2回目	<メジャーダイアニックコードの機能> 各機能の意味を知る、主要和音。代理和音について
3回目	<ケーデンス> 終止形、ドミナントモーション、II V、セカンダリドミナント、偽終始について
4回目	<転回形> 転回形の表記方法 ト音記号を用いた簡単なヴォイシング
5回目	<ヴォイシング、複合拍子> ケーデンスを実際に5線紙に書いてみる、8分の6拍子について詳しく学ぶ
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	<マイナーダイアニックコード> マイナーダイアニックコードの仕組み
9回目	<マイナーダイアニックコード> ハーモニックマイナー、メロディックマイナーのダイアニック
10回目	<マイナーダイアニックコードの機能> マイナーコードが持つ機能について知る
11回目	<ヴォイシング> マイナーキーにおけるケーデンスについて知る
12回目	<スコアリーディング> 楽譜と音源を用いて後半の総復習
13回目	予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	どんどん難しくなりますが、一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	ミュージックセオリーⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	森山 陽介
	Music TheoryⅣ	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科						
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 テンションの入るコード・ノンダイアトニックコードの入るコード進行の分析などが行えるようになる コード進行とスケールの関係を理解する							

授業計画・内容	
1回目	<ノンコードトーン> ノンコードトーン(経過音、刺繍音、掛留音、先取音、逸音)
2回目	<テンション> テンションの種類、コード使用可能テンション
3回目	<テンションリゾルブ> テンションの解決法、Omitの意味
4回目	<アベイラブルノートスケール> コードトーン、テンション、阿保井戸ノートについて、スケールの使い方について
5回目	<その他のスケール> マイナーのアベイラブルの紹介、ドミナントスケール、その他のスケール
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	<代理コード> メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードを中心にダイアトニック外の代理コードも知る
9回目	<代理コード> メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードを中心にダイアトニック外の代理コードも知る
10回目	<クリシェ、パッシング、定番コードパターン> クリシェ、パッシングコードの手法を学び、コードパターンを発展させる
11回目	<転調> 転調のパターンを知り、実践する
12回目	<アナライズ> 楽譜を用い、総復習を行う
13回目	テスト対策
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	2年間の集大成です、頑張りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅡ Ear Training Ⅱ	選択 必修	選択必修	年次	1	担当教員	坂本 かおり
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 コードを聞きとる力、メロディを書きとる力を養い、実践に生かすこと。							

授業計画・内容	
1回目	<マイナースケール> リス`ム総復習、マイナーメロディの視唱、音程ドリル、メジャー、マイナーの聞きわけ
2回目	<マイナースケール> リス`ム、3連譜の導入、メロディ復習C~Gまで、Cマイナースケールのメロディ視唱、コードC,F,Gの聞きわけ
3回目	<近親調> リス`ムC,F,Gコード付け導入、後付け、メロディC~Aまでの臨時記号後付け、マイナースケールのメロディ視唱、音程ドリル
4回目	<移調>リス`ム 1 6分8分1 6分の導入、メロディC~Aまで臨時記号後付け、音程ドリル復習
5回目	<奏法> リス`ム符点8分1 6分の導入、タイの導入、後付け、メロディC~Bまで臨時記号後付け、音程ドリル復習
6回目	<中間テスト>
7回目	<復習・解説>
8回目	<コード> リス`ム復習、メロディ低音部の書きとり、音程ドリル復習メジャーマイナーの聞きわけ
9回目	<コード4和音> リス`ム8分の6拍子、8分1 6分1 6分の導入、低音部の書きとり、音程ドリル復習
10回目	<Dim7と7thコード復習> リス`ム1 6分休符の導入、8分の6拍子、1 6、1 6、8分の導入、2声メロディ聞きとり
11回目	<その他のコード> 復習リス`ム打ち8分の6拍子、3連譜の導入、2声メロディ、音程ドリル復習
12回目	テスト対策
13回目	期末予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	特にはなし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	慣れるとどンドンできます、お楽しみに！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	未永 龍一
	Ear TrainingⅢ	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科						
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 Et I、IIをふまえて2声メロディ、ハーモニー、1、3、4、5、6、7、8、度音程、コード進行、タイ、臨時記号付きなどより難易度が高い聴きとり、書きとりをできるようにすること。							

授業計画・内容	
1回目	リズム4分の4、4分の3の3拍子の聴きとり、8分の6拍子のリズム打ち。メロディ1オクターブと2声メロディ書きとり。
2回目	リズム打ち8分の6拍子、メロディは1オクターブ+低音B、Cmの聴きとり、2声ハーモニーの導入、3度音程のハーモニー練習、I IV Vの進行
3回目	リズム4分の4、4分の3のタイ付き、8分の6書きとり、2声ハーモニーと3度の音程、I IV Vの進行その②
4回目	リズム4分の4、4分の3に16分音符の導入、メロディは1オクターブ+低音A、Amでのメロディ聴きとり、トライトーンハーモニーの練習
5回目	リズム4分の4、4分の3に16分音符、タイの導入、メロディは2オクターブ+低音A、Amでのメロディ聴きとり、2声ハーモニーの練習
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	リズム4分の4、4分の3、8分の6、メロディはKeyF、2声。ハーモニーの復習、コードII V Iの聴きとり
9回目	8分の6、タイ付きリズム導入、メロディはKeyF、2声メロディ、ハーモニー復習
10回目	リズムはそれぞれにタイと符点付き、メロディは16分音符を導入、2声ハーモニーはオクターブとユニゾンでの練習
11回目	タイ付きリズム書きとり、2声ハーモニーの復習
12回目	総合復習
13回目	予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	より専門的な勉強です。基礎をしっかり学びましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅣ Ear TrainingⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2	担当教員	未永 龍一
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】</p> <p>譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。</p> <p>※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>スコアをみた段階で歌えたり、コード進行を考えたり、自分の音楽に対して有効な基礎を生生集大成。</p>							

授業計画・内容	
1回目	リズム 4分の4、4分の3、8分の6 拍子復習、メロディはKEY=G。8分の6メロディ視唱、2声メロディは1 6分3 連譜導入
2回目	リズム4分の4、4分の3、8分4分8分の導入、この週から8分の6はメロディ問題と統合、2声メロディ、ハーモニー復習、コード聞き分け
3回目	リズム4分の4、4分の3、メロディ聞き分け、視唱、コードⅡⅤⅠの聞き分け
4回目	リズム4分の4、4分の3、1 6分、符点8分の導入、8分の6メロディ聞きとり、2声ハーモニー復習、コードⅥを含む聞き分け
5回目	リズム4分の4、復習、4分の3、1 6分8分の6メロディ聞き分け、視唱、KEY=Gの聞き取り、コードⅡⅤⅠ聞き分け
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	タイ付きリズム導入、2拍程度の短いフレーズで8分の6拍子、KEY=Fメロディ、2声メロディ復習、2声ハーモニー復習
9回目	リズム4分の4、4分の3、符点4分8分の導入、1 6分8分の6復習、視唱、KEY=F復習、オクターブとユニゾンハーモニー練習
10回目	スコアリーディング①
11回目	スコアリーディング②
12回目	総合復習
13回目	予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	2年間の集大成です。プロへの道としてしっかり学びましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	
プリント	

科目名 (英)	楽曲制作技法 I Songwriting Techniques	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日3,4限
【授業の学習内容】 作曲未経験者から作曲初学者を対象に、次年時の作編曲法Basicを履修する前提となる「メロディ作成の基本的作法」「メロディと和声の調和の基礎」を学び、抑揚のあるメロディとメロディを生かす効果的な和音を作れるようになる。 <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペルズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 「メロディを作る発想の仕方のコツを身につける」 「抑揚のある魅力的なメロディの作り方を会得する」 「メロディとそのメロディに合う簡単で効果的な和音を組み合わせる事が出来る」							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認 授業概要説明 授業準備説明 作編曲のスキル向上の仕方
2回目	音高による抑揚 全音符課題
3回目	全音符と2分音符のみでのメロディ作成・休符も含めたリズム緩急
4回目	4分音符迄のメロディ作成・密と疎・順次進行と跳躍進行
5回目	8分音符迄のメロディ作成・リズムの反復
6回目	16分音符迄を使った自由なメロディ作成・モチーフと反復を使ったメロディの効果的な構成の仕方を出来るようになる
7回目	起承転結と二部形式・唱歌課題
8回目	内音と外音・どうコードがメロと合うのか・協和音と不協和音
9回目	外音の使い方①・経過音と刺繍音を使いこなし、変化のあるメロディを作れるようになる
10回目	外音の使い方②・先取音と係留音を使いこなし、意外性のあるメロディを作れるようになる
11回目	外音の使い方③・倚音と逸音を使いこなし、インパクトのあるメロディを作れるようになる
12回目	協和音と不協和音・メロディと和音の関係・既存のメロディにコードを複数パターンつけられる様にする
13回目	前期まとめ・自由課題
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	時間外作成作品を譜面で持参する
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ抑揚のあるメロディと、それを効果的に生かす和音が付けられているか、総合評価。
受講生への メッセージ	初心者脱するための基本的な作曲作法を身につけます
音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具・ヘッドフォン又はイヤフォン	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅱ Songwriting Techniques	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日3,4限
【授業の学習内容】 作曲未経験者から作曲初学者を対象に、次年時の作編曲法Basicを履修する前提となる「メロディ作成の基本的作法」「メロディと和声の調和の基礎」を学び、抑揚のあるメロディとメロディを生かす効果的な和音を作る様になる。 <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 「メロディを作る発想の仕方のコツを身につける」 「抑揚のある魅力的なメロディの作り方を会得する」 「メロディとそのメロディに合う簡単で効果的な和音を組み合わせる事が出来る」							

授業計画・内容	
1回目	装飾としての外音の使い方・単純なメロディを外音を使って豊かなメロディにアレンジする
2回目	和音の種類・調の意味とTSDの役割・TSDT決め打ちの緩急のあるメロディ作成をする
3回目	ドミナントモーションと7thコード
4回目	四和音上での作曲と注意点
5回目	短音階上での作曲・ナチュラルマイナー
6回目	短音階上での作曲・ハーモニックマイナー
7回目	短音階上での作曲・メロディックマイナー
8回目	キーとは何か？キーの判別
9回目	sus4・sus2コードと解決
10回目	add9の使い方
11回目	6thコードの使い方
12回目	後期まとめ・自由課題
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	時間外作成作品を譜面で持参する
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ抑揚のあるメロディと、それを効果的に生かす和音が付けられているか、総合評価。
受講生への メッセージ	初心者を超するための基本的な作曲作法を身につけます
音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具・ヘッドフォン又はイヤフォン	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅲ Songwriting Techniques	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1,2限
【授業の学習内容】							
<p>作曲初学者から作曲中級者を対象に、メロディを生かすより効果的で複雑な和音を、複数の選択肢から選び実践出来る様にする。時代に沿った効果的な転調と和音進行、それらの有機的な連結を出来る様になり、単純なメロディ作成だけでなく、転調やより複雑な和音進行前提のメロディ・対旋律を作る様にする。既存曲の分析をする事で、実践的なセオリーの使用法を学ぶ。</p> <p><実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。</p>							
【到達目標】							
<p>部分転調・代理和音を効果的に使える様になる 本格転調をする引き出しを増やし、より多彩な作曲が行える様になる 一つのメロディにつける和音の引き出しを増やし、メロディの表情を和音でコントロール出来る様になる ベースラインも含めた、メロディに対する効果的な対旋律を作れる様になる</p>							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認 授業概要説明 アベイラブルノートスケールの意味・ミクソリディアンの意味とドミナントモーションとの関係
2回目	セカンダリードミナント①・近親調とは何か？・属和音へのセカンダリードミナントIメジャーキーII7
3回目	セカンダリードミナント②・メジャー・マイナーでの下属和音へのセカンダリードミナントI7・ミクソリディアンb6th
4回目	セカンダリードミナント③・平行調との行き来・IメジャーキーIII7・Hmp5
5回目	セカンダリードミナント④・メジャーキーVI7・マイナーキーI7
6回目	セカンダリードミナント⑤・メジャーキーVII7・マイナーキーII7
7回目	IIm7-V7・IIm7-5・ツーファイブモーション
8回目	テンション1_ドミナントV9&Vb9&V#9
9回目	テンション2_ドミナントV9sus4&V#11
10回目	テンション3_ドミナントV13sus4&Vb13
11回目	トニック・サブドミナントでのテンション
12回目	トライトーン・サブステイトーション
13回目	前期まとめ・自由課題
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	今週の課題が時間内に終わらなかった場合、次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップしておく
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ良いメロディと、それを効果的に生かす和声・展開を含めた編曲が出来ているかを総合評価。
受講生への メッセージ	ある程度和声や旋律を作れる人が、更に完成度の高い作品制作が出来るように学習します
DAW・音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具	

科目名 (英)	楽曲制作技法IV Songwriting Techniques	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	半期
						曜日・時限	火曜日1,2限
【授業の学習内容】 作曲初学者から作曲中級者を対象に、メロディを生かすより効果的で複雑な和音を、複数の選択肢から選び実践出来る様にする。時代に沿った効果的な転調と和音進行、それらの有機的な連結を出来る様になり、単純なメロディ作成だけでなく、転調やより複雑な和音進行前提のメロディ・対旋律を作れる様にする。既存曲の分析をする事で、実践的なセオリーの使用方法を学ぶ。 <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 部分転調・代理和音を効果的に使える様になる 本格転調をする引き出しを増やし、より多彩な作曲が行える様になる 一つのメロディにつける和音の引き出しを増やし、メロディの表情を和音でコントロール出来る様になる ベースラインも含めた、メロディに対する効果的な対旋律を作れる様になる							

授業計画・内容	
1回目	パッシング・ディミニッシュ
2回目	b II9#11_ホールドトーンスケール
3回目	ベース・ペダルポイント
4回目	モーダル・インターチェンジ-1
5回目	モーダル・インターチェンジ-2
6回目	モーダル・インターチェンジ-3
7回目	ソプラノ・ペダルポイント
8回目	ライン・クリシェ
9回目	Riffによる作曲実践
10回目	ドミナント転調・ピボットコード転調
11回目	dim7・augの読み替えによる転調
12回目	コモンノート転調・後期まとめ
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	今週の課題が時間内に終わらなかった場合、次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップしてくる
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ良いメロディと、それを効果的に生かす和声・展開を含めた編曲が出来ているかを総合評価。
受講生への メッセージ	ある程度和声や旋律を作れる人が、更に完成度の高い作品制作が出来るように学習します
DAW・音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具	

科目名 (英)	楽曲制作技法V Songwriting Techniques	必修 選択	必修 選択	年次	3年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日5限
【授業の学習内容】 楽曲の中核、リズム隊と言われる「Drum/Bass」についてこれまでよりさらに深く学びます。 <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 DAW上でLoop素材に頼ることのない「生感」のあるリズムを表現できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	リズムのバリエーション 1 フレーズ
2回目	リズムのバリエーション 2 タイミング・ハネ
3回目	リズムのバリエーション 3 アクセント
4回目	リズムのバリエーション 4 ゴーストノート
5回目	Bass Line 1 root音と音域 Bassの役割
6回目	Bass Line 2 Groove1 デイレーション
7回目	Bass Line 3 Groove 2 ゴーストノート
8回目	Bass Line 4 オクターブとアプローチノート
9回目	Bass Line 5 5thの使い方
10回目	Bass Line 6 7thと3rd
11回目	Bass Line 7 RiffとしてのBass
12回目	Bass Line 8 ジャンル毎の典型的なBass Line
13回目	リズム隊としてのBass 1 Drums と Bass のコンビネーション
14回目	リズム隊としてのBass 2 アクセントユニゾンと絡み合い
15回目	テスト・添削
準備学習 時間外学 習	授業時間内では出来ない制作全般の実施
評価方法	締め切り毎の到達度合いと作品の総合的なクオリティを評価
受講生への メッセージ	音楽家の到達点の一つである「総合作品制作」を実施します。
PC・DAW・その他音楽制作に必要なもの全般	

科目名 (英)	楽曲制作技法VI Songwriting Techniques	必修 選択	必修 選択	年次	3年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	半期
						曜日・時限	火曜日5限
【授業の学習内容】 実際の楽曲制作やアレンジを通じてブラスセクション/ストリングスセクションについて学ぶ <small>＜実務者経験＞ 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。</small>							
【到達目標】 DAW上でLoop素材に囚われることのないブラスセクション/ストリングスセクションの構築ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	Brass Section 1 ブラスアレンジ面での楽器編成・奏法
2回目	Brass Section 2 音域とユニゾン
3回目	Brass Section 3 アーティキレーション
4回目	Brass Section 4 クローズドボイスイングとTopLine
5回目	Brass Section 5 Drop2
6回目	Brass Section 6 Drop2&4
7回目	Brass Section 7 Drop3
8回目	Brass Section 8 パッキングのバリエーション
9回目	Strings Arrange 1 Stringsの役割・編成・奏法
10回目	Strings Arrange 2 ユニゾンのバリエーション
11回目	Strings Arrange 3 奏法とエクスプレッション
12回目	Strings Arrange 4 四声体とオープンボイスイング
13回目	Strings Arrange 5 対位法的アプローチ 1
14回目	Strings Arrange 5 対位法的アプローチ 2
15回目	テスト・添削
準備学習 時間外学 習	授業時間内では出来ない制作全般の実施
評価方法	締め切り毎の到達度合いと作品の総合的なクオリティを評価
受講生への メッセージ	音楽家の到達点の一つである「総合作品制作」を実施します。
PC・DAW・その他音楽制作に必要なもの全般	

科目名 (英)	トラックメイク I Track Make I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	Yuzen
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日2限
【授業の学習内容】 音楽の三大要素「リズム、メロディー、ハーモニー」の中の「リズム」を学習し、適切なリズムを自身の楽曲制作に取り入れる。 <実務者経験> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。							
【到達目標】 ・基礎的なリズムをDAW上で再現できるようになる ・各ジャンルごとのリズムパターンを学習し求められるジャンルを適切に制作できるようにする。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認、トラックメイク実演
2回目	各種ドラムのキットを理解する 8ビート、16ビートの打ち込み
3回目	4つ打ちの打ち込み
4回目	シャッフルビートの打ち込み
5回目	スイングビートの打ち込み
6回目	打ち込みのリアルタイムレコーディング
7回目	音楽ジャンルについて
8回目	各ジャンル毎のビートの打ち込み方①
9回目	各ジャンル毎のビートの打ち込み方②
10回目	Spliceの使い方
11回目	無料プラグイン紹介
12回目	トラックメイクの便利な手法紹介
13回目	新しい音楽の探し方
14回目	自分の好きな曲プレゼン大会
15回目	前期テスト
準備学習 時間外学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・Logicのインストール ・各種データダウンロード
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 40% ■ 受講態度 30% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	現代の音楽はビートのパターンはメロディと同じくらい大事な要素です。リズムを徹底的に追い込みドラム打ち込みを極めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Macbook.Logic Pro X	

科目名 (英)	トラックメイクⅡ Track MakeⅡ	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	緒方 嶺(yuzen)
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日2限
【授業の学習内容】 前記に学習したリズムを更に発展させて、音色の加工について学習する <small><講師プロフィール> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD『Key Best Song Remix -to the Future-』公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。</small>							
【到達目標】 ・各ジャンルに合った適切な音色を選択できるようになる ・商品にできるドラム音色の加工方法を習得する							

授業計画・内容	
1回目	生ドラムの音色について (3/10)
2回目	生ドラムの音色について (6/10)
3回目	生ドラムの音色について (10/10)
4回目	生ドラムの音色加工。エフェクターの使い方 (3/10)
5回目	生ドラムの音色加工。エフェクターの使い方 (6/10)
6回目	生ドラムの音色加工。エフェクターの使い方 (10/10)
7回目	ドラムマシンの音色について (3/10)
8回目	ドラムマシンの音色について(6/10)
9回目	ドラムマシンの音色について(10/10)
10回目	ドラムマシンの音色加工。エフェクターの使い方 (3/10)
11回目	ドラムマシンの音色加工。エフェクターの使い方 (6/10)
12回目	ドラムマシンの音色加工。エフェクターの使い方 (10/10)
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・Logicのインストール ・学習用素材のダウンロード
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生への メッセージ	ドラムの音色について学習して自身の楽曲に更に磨きをかけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Battery4	

科目名 (英)	トラックメイクⅢ Track MakeⅢ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	向野 友規
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	対面	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前記
						曜日・時限	金2限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用したスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。 <実務者経験> 「もちろ浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 シンセサイザーを用いて各ジャンルごとに適切な音色が作成できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(2/10)・オシレーターについて
3回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(4/10)・フィルターについて
4回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(8/10)・エンベロープについて
5回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(10/10)・LFOについて
6回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)2OSCシンセサイザーを用いてベース音色を作成
7回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)2OSCシンセサイザーを用いてリード音色を作成
8回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)2OSCシンセサイザーを用いてパッド音色を作成
9回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
10回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
11回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード、ブラック音色を作成
12回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(5/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
13回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード音色を作成
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	・NoiseMakerのインストール ・Vitalのインストール ・各種データダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	シンセサイザーは現代の音楽で必ずと言っていいほど使われる楽器になります。正解がない音色をどのように作り出すのか学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Noise Maker、Vital、Serum	

科目名 (英)	トラックメイクIV Track MakeIV	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	向野 友規
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業形態	対面	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金2限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用しダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。 <実務者経験> 「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 自身の設定したジャンルのオリジナルトラックが制作できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	各々ジャンルを選択して課題制作
3回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
4回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
5回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
6回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
7回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
8回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
9回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
10回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
11回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
12回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・Logicのインストール ・学習用素材のダウンロード
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	ドラムの音色について学習して自身の楽曲に更に磨きをかけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Battery4	

科目名 (英)	トラックメイクV Track Make V	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	向野 友規
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	対面	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前記
						曜日・時限	金3限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用したスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用法、およびシンセサイザーの使用法。 <実務者経験> 「もちろ浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 シンセサイザーを用いて各ジャンルごとに適切な音色が作成できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(2/10)・オシレーターについて
3回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(4/10)・フィルターについて
4回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(8/10)・エンベロープについて
5回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(10/10)・LFOについて
6回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)2OSCシンセサイザーを用いてベース音色を作成
7回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)2OSCシンセサイザーを用いてリード音色を作成
8回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)2OSCシンセサイザーを用いてパッド音色を作成
9回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
10回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
11回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード、ブラス音色を作成
12回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(5/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
13回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード音色を作成
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	・NoiseMakerのインストール ・Vitalのインストール ・各種データダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生への メッセージ	シンセサイザーは現代の音楽で必ずと言っていいほど使われる楽器になります。正解がない音色をどのように作り出すのか学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Noise Maker、Vital、Serum	

科目名 (英)	トラックメイクVI Track MakeVI	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	向野 友規
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	対面	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金3限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用しダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。 <実務者経験> 「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 自身の設定したジャンルのオリジナルトラックが制作できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	各々ジャンルを選択して課題制作
3回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
4回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
5回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
6回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
7回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
8回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
9回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
10回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
11回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
12回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・Logicのインストール ・学習用素材のダウンロード
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 40% ■ 受講態度 30% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	ドラムの音色について学習して自身の楽曲に更に磨きをかけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Battery4	

科目名 (英)	DAWオペレーション I DAW Operation I	必修 選択	選択必修	年次	2.3	担当教員	yuzen
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜3,4限
【授業の学習内容】 最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。 <講師プロフィール> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供、KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。							
【到達目標】 年代・ジャンル別のヒット曲を分析する力を養い、時代に即したトラックの作成や音色加工方法を学びます。							

授業計画・内容	
1回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析①「課題曲はその時のチャートによります」
2回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析②「課題曲はその時のチャートによります」
3回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析③「課題曲はその時のチャートによります」
4回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析④「課題曲はその時のチャートによります」
5回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析⑤「課題曲はその時のチャートによります」
6回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる①
7回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる②
8回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる③
9回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる④
10回目	シンセ系のサウンドを研究する①
11回目	シンセ系のサウンドを研究する②
12回目	シンセ系のサウンドを研究する③
13回目	課題制作
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
評価方法	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
受講生への メッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面	

科目名 (英)	DAWオペレーションⅡ DAW Operation II	必修 選択	選択必修	年次	2.3	担当教員	yuzen
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3,4限
【授業の学習内容】 最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。 <講師プロフィール> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供、KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』ハ公式リミックス提供。							
【到達目標】 年代・ジャンル別のヒット曲を分析する力を養い、時代に即したトラックの作成や音色加工方法を学びます。							

授業計画・内容	
1回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する①
2回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する②
3回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する③
4回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する④
5回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する⑤
6回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する⑥
7回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる①
8回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる②
9回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる③
10回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる④
11回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる⑤
12回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる⑥
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題曲の音源、譜面等の事前確認をしておく事
評価方法	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
受講生への メッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面	

科目名 (英)	編集・ディレクション I・II Editing & Direction	必修 選択	必修 選択	年次	2.3年後期	担当教員	Yuzen
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜2.3限
【授業の学習内容】 主にボーカルミックスについて学びます。その他にもボーカルのディレクションや特殊なエフェクトの使い方も同時に学びます。 <small><実務者経験> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供、KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』公式リミックス提供。</small>							
【到達目標】 ・ボーカルがしっかりと聞こえるようなミックスができるようになること ・製品レベルのミックスが行えるようになること							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	ボーカルディレクションの心構え、ボーカルミックスの考え方について
3回目	ボーカルテイク選出、テイクフォルダの使用法
4回目	①ピッチ修正（メロダイナ使用法）
5回目	②ピッチ修正（ピッチ修正）
6回目	③ピッチ修正（リズム修正）
7回目	ボーカルに対するコンプレッサーの使用法①
8回目	ボーカルに対するコンプレッサーの使用法②
9回目	ボーカルに対するEQの使用法①
10回目	ボーカルに対するEQの使用法②
11回目	ボーカルに対するサチュレーションの使用法①
12回目	ボーカルに対するサチュレーションの使用法②
13回目	ボーカルに対しての空間系エフェクトの使用法①
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	エフェクトの種類に対する理解
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 40% ■ 受講態度 30% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	ボーカルというパートは今も昔も変わらず主役になるパートです。その主役になる部分の音をしっかりと作れるようになり、自身の楽曲のレベルをあげていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Macbook.Logic Pro X メロダイナ	

科目名 (英)	編集・ディレクションⅢ・Ⅳ Editing & Direction	必修 選択	必修 選択	年次	2.3年後期	担当教員	Yuzen
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜2,3限
【授業の学習内容】 前期で学んだ基本エフェクトを基礎にして、ジャンルごとに沿ったエフェクトを掛けられるようになる。 <small><実務者経験> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD『Key Best Song Remix -to the Future-』公式リミックス提供、KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』ハ公式リミックス提供。</small>							
【到達目標】 ジャンルに沿ったボーカルの音作りができるようになる。 特殊なエフェクト（ボコーダー等）が問題なく使用できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	前期のおさらい ボーカルに対しての空間系エフェクトの使用②
3回目	ロック系楽曲に対してのボーカル処理について①
4回目	ロック系楽曲に対してのボーカル処理について②
5回目	ロック系楽曲に対してのボーカル処理について③
6回目	ダンス系楽曲に対してのボーカル処理について①
7回目	ダンス系楽曲に対してのボーカル処理について②
8回目	ダンス系楽曲に対してのボーカル処理について③
9回目	バラード系楽曲に対してのボーカル処理について①
10回目	バラード系楽曲に対してのボーカル処理について②
11回目	バラード系楽曲に対してのボーカル処理について③
12回目	テスト実施
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	歌モノの自作楽曲準備
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 40% ■ 受講態度 30% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	ジャンルに沿ったボーカルの音作りについて学びます。自作楽曲で実際に"使える"ようなエフェクトを教えたいと考えていますので、今のうちに楽曲は作り貯めておいてください。
【使用教科書・教材・参考書】 Macbook.Logic Pro X	

科目名 (英)	作品制作ワークショップ Creation Seminar	必修 選択	必修 選択	年次	1.2.3	担当教員	永吉啓嗣
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜4.5限
【授業の学習内容】 本授業は学生自ら立案したプロジェクトを題材に作家／アーティストとしてのセルフプロデュース能力を高める為の授業である。プロジェクトの立案／企画／運営→作品制作→発表→検証 が一連の流れとなる。単に「楽曲を作る」のではなく、「その楽曲にどう価値を生むのか」までを現役で活躍する講師と一緒に考え、制作に取り組むことで、自身の業界における作家／アーティストとしての自立像を作っていく。 講師プロフィール：株式会社アミューズ所属アーティスト「ASTERISM」のプロデューサー・アレンジャーとして活動しながら、株式会社リアソンのプロデューサーとして福岡でメジャーに向けた新人発掘から音楽制作まで幅広く活躍中。							
【到達目標】 アーティスト、クリエイターとしての「音楽を職業にする」ために必要なスキル ・実践的なクリエイティブ能力 ・戦略的なセルフプロデュース能力 を向上させる。授業の中で自身の楽曲を収益化させることを最大の目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	オリジナル楽曲制作／オリエンテーション
2回目	オリジナル楽曲制作／講義：音楽のマネタイズについて
3回目	オリジナル楽曲制作／講義：音楽業界について
4回目	オリジナル楽曲制作／講義：作詞について
5回目	オリジナル楽曲制作／講義：ミックスダウンについて
6回目	オリジナル楽曲制作／講義：ルーツミュージックについて
7回目	オリジナル楽曲制作／講義：ヒット曲の分析法
8回目	オリジナル楽曲制作／講義：プラグインの考え方
9回目	オリジナル楽曲制作／講義：コンペの考え方
10回目	オリジナル楽曲制作／講義：SNS戦略について
11回目	オリジナル楽曲制作／講義：メタバースについて
12回目	オリジナル楽曲制作／講義：サブスクリプションサービスについて
13回目	オリジナル楽曲制作／講義：著作権について
14回目	配信リリースイベント
15回目	配信リリースイベント
準備学習 時間外学 習	
評価方法	半期に最低1曲をアウトプットすることが最低限の評価基準とする
受講生への メッセージ	音楽業界はレーベル一強の時代から完全に個の時代に入っています。アーティストも作家も、狭い偏った知識・技術だけでは仕事になりません。多角的な視点で自らの音楽を分析し、制作し、行動し、しっかりと結果を出すことがとても重要です。皆さんが各々に自分の新たな可能性を見出し、その音楽の世界を広げることが、本授業担当講師は目標にします。一緒に充実した楽しい授業にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	作品制作ワークショップ Creation Seminar	必修 選択	必修 選択	年次	1.2.3	担当教員	永吉啓嗣
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜4.5限
【授業の学習内容】							
<p>本授業は学生自ら立案したプロジェクトを題材に作家／アーティストとしてのセルフプロデュース能力を高める為の授業である。プロジェクトの立案／企画／運営→作品制作→発表→検証 が一連の流れとなる。単に「楽曲を作る」のではなく、「その楽曲にどう価値を生むのか」までを現役で活躍する講師と一緒に考え、制作に取り組むことで、自身の業界における作家／アーティストとしての自立像を作っていく。</p> <p>講師プロフィール：株式会社アミューズ所属アーティスト「ASTERISM」のプロデューサー・アレンジャーとして活動しながら、株式会社リアソンのプロデューサーとして福岡でメジャーに向けた新人発掘から音楽制作まで幅広く活躍中。</p>							
【到達目標】							
<p>アーティスト、クリエイターとしての「音楽を職業にする」ために必要なスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践的なクリエイティブ能力 ・戦略的なセルフプロデュース能力 <p>を向上させる。授業の中で自身の楽曲を収益化させることを最大の目標とする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリジナル楽曲制作／講義：JASRAC/Nextoneについて
2回目	オリジナル楽曲制作／講義：音楽出版社について
3回目	オリジナル楽曲制作／講義：NFTについて
4回目	オリジナル楽曲制作／講義：音響機材について
5回目	オリジナル楽曲制作／講義：セルフレコーディングについて
6回目	オリジナル楽曲制作／講義：コライティングについて
7回目	オリジナル楽曲制作／講義：音響機材について
8回目	オリジナル楽曲制作／講義：EQについて
9回目	オリジナル楽曲制作／講義：コンプレッサーについて
10回目	オリジナル楽曲制作／講義：マスタリングについて
11回目	オリジナル楽曲制作／講義：AIプラグインについて
12回目	オリジナル楽曲制作／講義：確定申告について
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外 学習	
評価方法	半期に最低1曲をアウトプットすることが最低限の評価基準とする
受講生への メッセージ	音楽業界はレーベル一強の時代から完全に個の時代に入っています。アーティストも作家も、狭い偏った知識・技術だけでは仕事になりません。多角的な視点で自らの音楽を分析し、制作し、行動し、しっかりと結果を出すことがとても重要です。皆さんが各々に自分の新たな可能性を見出し、その音楽の世界を広げられることを、本授業担当講師は目標にします。一緒に充実した楽しい授業にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	バンドアンサンブル I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
	Band Ensemble I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科						
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマネー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート (LIVE/レコーディング)、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲① 授業概要説明。ステージマネーを身につけていこう！ 機材や楽器の基本的な使い方を覚えよう！
2回目	課題曲① カウントの出し方、曲の締め方のやり方を身につけよう！ アンサンブルにおける音量バランスを覚えよう！
3回目	課題曲② 基本的な譜面の読み方を理解して、演奏しよう！
4回目	課題曲② 共通譜面におけるリハーサルマーク、リピート記号や括弧、D・S等の記号の意味を理解し演奏しよう！
5回目	課題曲③ 演奏中にアイコンタクト等、演奏中にコミュニケーションを取ろう！
6回目	課題曲③ 鏡を使い、パフォーマンスを意識した演奏してみよう！
7回目	学園祭に向けて 課題曲より楽曲を仕上げていこう！
8回目	課題曲④ 楽曲のリズムを演奏者全員で共有しFeelの合った演奏をしてみよう①
9回目	課題曲④ 楽曲のリズムを演奏者全員で共有しFeelの合った演奏をしてみよう②
10回目	課題曲⑤ 楽曲における抑揚の付け方、演奏の表現方法を学ぼう①
11回目	課題曲⑤ 楽曲における抑揚の付け方、演奏の表現方法を学ぼう②
12回目	テスト週 本番を想定してリハーサルをしよう！
13回目	テスト週 前期で学んだことを活かし、オリジナルバンドを組んで演奏しよう！
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業へ取り組み姿勢 (40%) ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度 (30%) ■ 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (30%)
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにたくさんトライして、共に学ぶ仲間と音楽を楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面 (歌詞)、各自のMac、iPad (録音や動画撮影用)、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
	Band Ensemble Ⅱ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科					曜日・時限	火曜日 3限目
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマネー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート (LIVE/レコーディング)、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作1
2回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作2
3回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作3
4回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作4
5回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作5
6回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作6
7回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作7
8回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作8
9回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作9
10回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作10
11回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作11
12回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作12
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業へ取り組み姿勢 (40%) ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度 (30%) ■ 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (30%)
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにたくさんトライして、共に学ぶ仲間と音楽を楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面 (歌詞)、各自のMac、iPad (録音や動画撮影用)、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
	Band Ensemble Ⅲ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科						
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート (LIVE/レコーディング)、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 様々なジャンルの楽曲より、バンドアレンジやデジタル機材を用いたアレンジ、ステージパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲① 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：ストレートなRock①
2回目	課題曲① 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：ストレートなRock②
3回目	課題曲② 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Funk、R & B、POPSなどの16ビート①
4回目	課題曲② 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Funk、R & B、POPSなどの16ビート②
5回目	課題曲③ 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Shuffle、Swing16thなどのハネたグルーヴ感①
6回目	課題曲③ 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Shuffle、Swing16thなどのハネたグルーヴ感②
7回目	学園祭に向けて 課題曲より楽曲を仕上げよう！
8回目	実演ライブに向けて 選曲、構成、アレンジなどアイデアを出して考えてみよう①
9回目	実演ライブに向けて 選曲、構成、アレンジなどアイデアを出して考えてみよう②
10回目	実演ライブに向けて 鏡を使ってお互いにステージパフォーマンスを確認しよう①
11回目	実演ライブに向けて 鏡を使ってお互いにステージパフォーマンスを確認しよう②
12回目	実演ライブに向けて 本番を想定してリハーサルをしよう！
13回目	実演ライブ 本番 前期で学んだことを活かし最高のパフォーマンスをしよう！
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業へ取り組み姿勢 (40%) ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度 (30%) ■ 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (30%)
受講生への メッセージ	ひとりひとりの最高のパフォーマンスを磨いていく為に、一緒に表現の幅をどんどん広げていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面 (歌詞)、各自のMac、iPad (録音や動画撮影用)、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
	Band Ensemble Ⅳ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科					曜日・時限	火曜日 4限目
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート (LIVE/レコーディング)、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作1
2回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作2
3回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作3
4回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作4
5回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作5
6回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作6
7回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作7
8回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作8
9回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作9
10回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作10
11回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作11
12回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作12
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業へ取り組む姿勢 (40%) ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度 (30%) ■ 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (30%)
受講生への メッセージ	ひとりひとりの最高のパフォーマンスを磨いていく為に、一緒に表現の幅をどんどん広げていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面 (歌詞)、各自のMac、iPad (録音や動画撮影用)、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルV	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/渥見ひかる/伊藤公了/野口真吾
	Band Ensemble V	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	火曜3・4限

【授業の学習内容】

・バンドメンバーと円滑なコミュニケーションをとる能力を身に付ける。
・観ている人を感動させられるパフォーマンス・演奏技術を身に付ける。
・楽曲のアレンジ(サイズチェンジ・キーチェンジ)の能力・理論を身に付ける。
【講師プロフィール】
福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート (LIVE/レコーディング)、など活動は多岐にわたる

【到達目標】

- ・ボーカルの力を最大限活かすことのできる演奏が出来る。
- ・ボーカルの要望に即座に対応し、円滑にリハーサルを進めることが出来る。
- ・他パートの演奏にも耳を配り、臨機応変に演奏内容を変えられるようになる。

授業計画・内容

1回目	授業概要説明、課題曲①I Wish : ボーカルが歌いやすい音量感で演奏しよう
2回目	課題曲①I Wish : 楽曲のサイズを変更して(XTime)、セクションの合図を出してみよう。ボーカルが安心できる演奏をしよう。
3回目	課題曲①I Wish : ボーカルが自然にノれる演奏をしよう
4回目	課題曲②ボーカルが自然にノれる演奏をしよう
5回目	課題曲②ボーカルが安心できるフィル、オカズを入れよう
6回目	課題曲②ボーカルが歌いやすい音量感で演奏しよう
7回目	課題曲③ボーカルが自然にノれる演奏をしよう
8回目	課題曲③ボーカルが安心できるフィル、オカズを入れよう
9回目	課題曲③ボーカルが歌いやすい音量感で演奏しよう
10回目	課題曲④ボーカルが自然にノれる演奏をしよう
11回目	課題曲④ボーカルが安心できるフィル、オカズを入れよう
12回目	課題曲④ボーカルが歌いやすい音量感で演奏しよう
13回目	課題曲⑤ボーカルが自然にノれる演奏をしよう
14回目	課題曲⑤ボーカルが安心できるフィル、オカズを入れよう
15回目	課題曲⑤ボーカルが歌いやすい音量感で演奏しよう

準備学習
時間外学習

- ・授業前にもらった資料をもとに、予習をする
- ・授業までに、譜面の作成をする
- ・授業で習った内容をもとに、継続的に復習する

評価方法

- ・出席率(40%)
- ・授業に取り組む姿勢(30%)
- ・各授業での達成度・実践度(30%)

受講生への
メッセージ

ミュージシャンにとって、ライブはたくさんの人に評価を得られる最大のチャンスです。
お客さんや関係者に感動を与え、たくさんの人から必要とされる人材になれるよう成長していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

- ・筆記用具
- ・iPad,Mac
- ・課題テキスト(授業で配布します)
- ・五線譜

科目名 (英)	バンドアンサンブルVI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	山崎結/森岡大地/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/湊見ひかる/伊藤公了/野口真吾
	Band Ensemble VI	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	火曜3・4限
【授業の学習内容】 ・バンドメンバーと円滑なコミュニケーションをとる能力を身に付ける。 ・観ている人を感動させられるパフォーマンス・演奏技術を身に付ける。 ・楽曲のアレンジ(サイズチェンジ・キーチェンジ)の能力・理論を身に付ける。 【講師プロフィール】 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート (LIVE/レコーディング)、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 ・ボカルの力を最大限活かすことの出来る演奏が出来る。 ・ボカルの要望に即座に対応し、円滑にリハーサルを進めることが出来る。 ・他パートの演奏にも耳を配り、臨機応変に演奏内容を変えられるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて 楽曲担当振り割り
2回目	We Are FSMに向けて コーラス担当振り割り
3回目	We Are FSMに向けて 担当楽曲練習
4回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整①
5回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整②
6回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整③
7回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック①
8回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック②
9回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック③
10回目	全曲通しリハーサル①
11回目	全曲通しリハーサル②
12回目	全曲通しリハーサル③
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前にもらった資料をもとに、予習をする ・授業までに、譜面の作成をする ・授業で習った内容をもとに、継続的に復習する
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生への メッセージ	<p>ミュージシャンにとって、ライブはたくさんの人に評価を得られる最大のチャンスです。 お客さんや関係者に感動を与え、たくさんの人から必要とされる人材になれるよう成長していきましょう。</p>
【使用教科書・教材・参考書】 <ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・iPad,Mac ・課題テキスト(授業で配布します) ・五線譜 	

科目名 (英)	アンサンブル I Ensemble I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	田原佑一朗
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日 2限目
【授業の学習内容】							
<p>楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。また、知識を教員が教授するだけでなく、構成主義に基づく教育の上で成果物を公に示していくことを定期的に行い、小さな本番を繰り返して改善するサイクルの中で新たな発見を促す。</p> <p>(講師プロフィール)</p> <p>200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ、年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積み重ねることができる。そしてその経験の中で、仮説、試作、実践、振り返り、再構築、実践、、、という学びのサイクルの本質を学ぶことを目標とする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明。男性・女性 カントリーロードを学ぶ
2回目	カントリーロードの復習。歌唱技術・知識を学ぶ
3回目	カントリーロードの仕上げ。歌詞を見ずに歌唱
4回目	男性・Take on me 女性 I feel the earte move を学ぶ
5回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに歌う
7回目	中間発表、配信を通して成果物を発表、振り返り
8回目	男性・The dock of the bay 女性・I say little prayer を学ぶ
9回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに歌う
11回目	前期最後の発表曲を歌唱指導
12回目	前期発表 (試験)
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	音楽は、課題曲を通してその曲だけを歌えるようになっても成果は十分ではありません。大切なのは練習の仕方、ステージに立つ経験の中で得る学び、改善してまた次に臨むこと、このサイクルを学ぶことが重要です。練習の仕方を学び、どのような曲でもその習慣が生かされるような基礎力を見につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
譜面・図表・リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	アンサンブル II Ensemble II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	田原佑一朗
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日 2限目
【授業の学習内容】 楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。また、知識を教員が教授するだけでなく、構成主義に基づく教育の上で成果物を公に示していくことを定期的に行い、小さな本番を繰り返して改善するサイクルの中で新たな発見を促す。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ、年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積み重ねることができる。そしてその経験の中で、仮説、試作、実践、振り返り、再構築、実践、、、という学びのサイクルの本質を学ぶことを目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	後期授業プロセスの説明。男性 Honesty 女性 Time after time を学ぶ
2回目	1週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
3回目	1週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに歌う
4回目	男性 Every breath you take 女性 We are never ever getting betterを学ぶ
5回目	2週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに歌う
7回目	中間発表会、配信にて成果物を発表、振り返り
8回目	男性・Perfect 女性 Some one like youを学ぶ
9回目	3週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに歌う
11回目	最終発表 (後期試験)
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	成長に重要なのは、経験を活かすことです。前期に学んだことは後期に活かすこと、同じミスを繰り返さない、もし繰り返す場合はその原因をしっかりとみつけて改善していくことが大切です。成長をサイクルをつかみとっていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 譜面・図表・リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	アンサンブル Ⅲ Ensemble Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	池田祥子
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日 3限目
【授業の学習内容】 世界に通用するヴォーカリストを目指す上で必要最低限の洋楽曲のレパートリーを、様々なジャンル、有名な曲から抜粋しレクチャーされた内容を各自演奏し披露する。観客の前でフロントマンとして説得力のある歌唱力、パフォーマンス力、コーラスワーク、演奏をする上での自身のトータルセルフプロデュース力を身につける。世界的な名曲に真摯に向き合い演奏することにより、好みに左右されることがなく良いものから学びを得ていき今後展開していくそれぞれのヴォーカリストの基礎を築く。 <small>(講師プロフィール)</small> 200曲以上をレパートリーを持つコスベルグループ、年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池田信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やポカリスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 英語での歌唱を楽しめるようになる。好みに左右されないレパートリーを常に練習、準備することで歌唱力、表現力を身につけ様々なシーンで応用、対応出来るようになる。人前で自分のベストパフォーマンスが出来るようになる。かっこよく歌う自分を具体的にプランし体現出来るようになる。コーラスワークの歌唱対応力、コーラス時の動き、立居振る舞いが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①Don't stop believin' 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
2回目	課題曲①1コーラス発表、フィードバック実践
3回目	課題曲②Careless whisper,Rehub 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
4回目	課題曲②1コーラス発表、フィードバック実践
5回目	課題曲③Livin' la vida loca,Just missed the train 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
6回目	課題曲③1コーラス発表、フィードバック実践
7回目	課題曲④What's goin' on,I wanna dance with somebody 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
8回目	課題曲④1コーラス発表、フィードバック実践
9回目	課題曲⑤Always,Stronger 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
10回目	課題曲⑤1コーラス発表、フィードバック実践
11回目	課題曲⑥This love,I will survive 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
12回目	課題曲⑥1コーラス発表、フィードバック実践
13回目	前期発表会
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	オリジナルアーティストの動画鑑賞等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	一年生時に学んできたことをいかに土台として応用を効かせられるか、また、これから得る学びに対していかに恐れずチャレンジしていけるか、様々な楽曲を通して体験してもらえたいと思います。今見えていることに縛られず、まだ知らない自分をたくさんのジャンルやアーティストによって手に入れていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 譜面・図表・リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	アンサンブル IV Ensemble IV	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	池田祥子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日 3限目
【授業の学習内容】 世界に通用するヴォーカリストを目指す上で必要最低限の洋楽曲のレパートリーを、様々なジャンル、有名な曲から抜粋しレクチャーされた内容を各自演奏し披露する。観客の前でフロントマンとして説得力のある歌唱力、パフォーマンス力、コーラスワーク、演奏をする上での自身のトータルセルフプロデュース力を身につける。世界的な名曲に真摯に向き合い演奏することにより、好みに左右されることがなく良いものから学びを得ていき今後展開していくそれぞれのヴォーカリストの基礎を築く。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ、年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池田信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やポカリスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 英語での歌唱を楽しめるようになる。好みに左右されないレパートリーを常に練習、準備することで歌唱力、表現力を身につけ様々なシーンで応用、対応出来るようになる。人前で自分のベストパフォーマンスが出来るようになる。かっこよく歌う自分を具体的にプランし体現出来るようになる。コーラスワークの歌唱対応力、コーラス時の動き、立居振る舞いが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲①Just the way you are,Theme from Mahogany 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
2回目	課題曲① 1コーラス発表、フィードバック実践
3回目	課題曲②All of me,Underdog 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
4回目	課題曲② 1コーラス発表、フィードバック実践
5回目	課題曲③Thousand miles 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
6回目	課題曲③ 1コーラス発表、フィードバック実践
7回目	課題曲④Perfect,Roar 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
8回目	課題曲④ 1コーラス発表、フィードバック実践
9回目	課題曲⑤Endless love 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
10回目	課題曲⑤ 1コーラス発表、フィードバック実践
11回目	発表会リハーサル
12回目	後期発表会
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	オリジナルアーティストの動画鑑賞等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	一年生時に学んできたことをいかに土台として応用を効かせられるか、また、これから得る学びに対していかに恐れずチャレンジしていけるか、様々な楽曲を通して体験してもらえたいと思います。今見えていることに縛られず、まだ知らない自分をたくさんのジャンルやアーティストによって手に入れていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 譜面・図表・リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	アンサンブルV Ensemble V	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	山口 涼也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜5限

【授業の学習内容】

ジャムセッションの現場で演奏される頻度が高いインストルメンタルの楽曲を演奏する。ジャムセッションの進行やルール、演奏する編成に適したアプローチを学ぶ。

【講師プロフィール】山口 涼也。ギタリスト、インストラクター。FOS GUITAR SCHOOL代表。ギターマガジン最強プレイヤーズコンテスト2011準グランプリ、JTC Guitar Jam of the month 2020 April 優勝、JTC Guitar Jam of the month 2020 Final 準優勝。

【到達目標】

課題曲のメロディ、バックিংのリズムに合った適切なアプローチで弾くことが出来る。セクションの変わり目やソロの受け渡し等でアイコンタクトが出来る。コード進行のアナライズを行い適切なソロを弾くことが出来る。バンドリーダーとしてメンバーに進行や決め事を伝えることが出来る。

授業計画・内容

1回目	「Key=E 3コードのブルース(8th)」ステージマナーを養い、楽器・機材の基本的な使い方を覚える。
2回目	「Key=A 3コードのブルース(シャッフル)」カウントの出し方、曲の締め方を理解する。アンサンブルにおける音量バランスを覚える。□
3回目	「3コードのブルース(メロディあり)」基本的な楽譜の読み方を理解し、演奏する。□
4回目	「3コードのブルース(メロディ・ソロあり)」共通譜面におけるリピート記号や括弧、コーダ等の記号の意味を理解し演奏する。□
5回目	「Cissy Strut」演奏中のアイコンタクト等、コミュニケーション能力を養う。リハーサルマークの意味を理解し演奏する。□
6回目	「Cissy Strut」演奏中のアイコンタクト等、コミュニケーション能力を養う。楽曲を完成させる。□
7回目	「The Chicken」楽曲のリズムを演奏者全員が体の動きを通して共有し、Feelの合った演奏を学ぶ。□
8回目	「The Chicken」ストレートとスウィングの16beatの違いを理解し演奏する。楽曲を完成させる。□
9回目	「Sunny」楽曲における抑揚のつけかた、演奏の表現方法を学ぶ。□
10回目	「Sunny」イントロ、アウトロの作成方法を学ぶ。楽曲を完成させる。□
11回目	「Chameleon」楽曲のキメを理解し演奏する。キメ後の拍数をカウントする。□
12回目	「Chameleon」ソロを弾く。楽曲を完成させる。
13回目	ソロの作り方、アドリブのアイデア、バックিংやコードコンピングのアイデア講座
14回目	テスト週 これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(リハーサル) □
15回目	テスト週 これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(本番) □

準備学習
時間外
学習

受講の前には音源、譜面を基に自身が演奏するパートの練習を行う。

評価方法

授業へ取り組む姿勢 (40%)
各課題曲での目標の達成度、実戦度 (30%)
自己実現力と演奏力の向上度 (30%)

受講生への
メッセージ

失敗を恐れずにチャレンジする気持ちを大切にして、一緒に音楽を楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

音源、譜面、各自のMac、iPad（録音用、動画撮影用）、オリジナルテキスト、滋慶学園テキスト

科目名 (英)	アンサンブルVI Ensemble VI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	山口 涼也
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜5限

【授業の学習内容】

ジャムセッションの現場で演奏される頻度が高いインストルメンタルの楽曲を演奏する。ジャムセッションの進行やルール、演奏する編成に適したアプローチを学ぶ。

【講師プロフィール】山口 涼也。ギタリスト、インストラクター。FOS GUITAR SCHOOL代表。ギターマガジン最強プレイヤーズコンテスト2011準グランプリ、JTC Guitar Jam of the month 2020 April 優勝、JTC Guitar Jam of the month 2020 Final 準優勝。

【到達目標】

課題曲のメロディ、バックিংのリズムに合った適切なアプローチで弾くことが出来る。セクションの変わり目やソロの受け渡し等でアイコンタクトが出来る。コード進行のアナライズを行い適切なソロを弾くことが出来る。バンドリーダーとしてメンバーに進行や決め事を伝えることが出来る。

授業計画・内容

1回目	「Led Boots」リズムパターンのキメや変拍子を理解し演奏する。
2回目	「Led Boots」楽曲を完成させる。
3回目	「Footprints」4分の3拍子のリズムを理解し演奏する。
4回目	「Footprints」楽曲を完成させる。
5回目	「C Jam Blues」Swingのリズムを理解し演奏する。□
6回目	「C Jam Blues」4barsや8barsの受け渡しができるようになる。□
7回目	「Fly me to the moon」Ebsa Novaのリズムを理解し演奏する。□
8回目	「Fly me to the moon」定番のイントロやエンディング、セクションの変わり目のリズムパターンを理解し演奏する。□
9回目	「Isn't she lovely」リズムパターンのキメや拍子を理解し演奏する。
10回目	「Isn't she lovely」楽曲を完成させる。
11回目	テスト週 これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(リハーサル) □
12回目	テスト週 これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(本番) □
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番

準備学習
時間外
学習

受講の前には音源、譜面を基に自身が演奏するパートの練習を行う。

評価方法

授業へ取り組む姿勢 (40%)
各課題曲での目標の達成度、実戦度 (30%)
自己実現力と演奏力の向上度 (30%)

受講生への
メッセージ

失敗を恐れずにチャレンジする気持ちを大切にして、一緒に音楽を楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

音源、譜面、各自のMac、iPad（録音用、動画撮影用）、オリジナルテキスト、滋慶学園テキスト

科目名 (英)	ヴォーカルテクニック Vocal Technique I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1限目

【授業の学習内容】

譜面や図を用いてのリズム、リズムパターンの解説とリズムトラックを用いてグループワークトレーニング
譜面を用いてのさまざまなスケールの解説と歌唱実践、トラックを用いてのグループワークトレーニング
リズムとメロディーを合わせたインプロビゼーションの解説と実践、課題曲や小節フレーズでのダイナミクスのトレーニング
(講師プロフィール)
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やホーカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

リズム、リズムパターンのバリエーションを理解して歌えるようになろう♪
スケールを歌いこなせるようになろう♪
リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンとシンプルなコード進行の中で歌えるようになろう♪
ダイナミクスをコントロールして歌えるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	さまざまなテクニックを知り、可能性を見つけよう
2回目	リズムとリズムパターンを聴き取れるようになろう
3回目	リズムとリズムパターンを体感して再現できるようになろう
4回目	3種類のスケールを聴き取れるようになろう
5回目	3種類のスケールを歌えるようになろう
6回目	リズムパターンの中でリズムを駆使してスケールを歌えるようになろう
7回目	小テスト
8回目	3和音の聴き取りと機能が理解できるようになろう
9回目	シンプルなコード進行の中でリズムとメロディーを用いて歌ってみよう
10回目	2種類のダイナミクスを聴き取れるようになろう
11回目	2種類のダイナミクスを再現できるようになろう
12回目	リズムとメロディーとダイナミクスを用いてシンプルなコード進行の中で歌ってみよう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派と一緒に目指しましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】	
譜面 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニク Vocal Technique II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日1限目
【授業の学習内容】 課題曲や小節フレーズでの音色のトレーニング、音色とダイナミクスを合わせたインプロビゼーションの解説と実践 和音の機能解説と聴感トレーニング、課題曲を用いての歌詞のアナライズ (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ、年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やポカリスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 音色をコントロールして歌えるようになろう♪ 音色とダイナミクスを合わせて音楽的に歌えるようになろう♪ リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンと複雑なコード進行の中で歌えるようになろう♪ 歌唱の理解と自由解釈を通して、感情と歌唱表現を一致させて歌えるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	3種類の音色を聴き取れるようになろう
2回目	3種類の音色を再現できるようになろう
3回目	ダイナミクスと音色を聴き取れるようになろう
4回目	ダイナミクスと音色を同時に再現できるようになろう
5回目	自由に歌ってみよう
6回目	小テスト
7回目	複雑な3和音を聴き取れるようになろう
8回目	複雑な3和音の中でリズムとメロディーをコントロールして歌えるようになろう
9回目	歌詞の世界観を味わい深く理解できるようになろう
10回目	歌詞を解釈して自身の感情や歌唱表現と繋ぎ合わせられるようになろう
11回目	自由に表現して歌ってみよう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派と一緒に目指しましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニック Vocal Technique III	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日2限目
【授業の学習内容】 譜面や図を用いてのリズム、リズムパターンの解説とリズムトラックを用いてグルーパートレーニング、譜面を用いてのさまざまなスケールの解説と歌唱実践、 トラックを用いてグルーパートレーニング、リズムとメロディーを合わせたインプロビゼーションの解説と実践 課題曲や小節フレーズでのダイナミックスのトレーニング (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 リズム、リズムパターンのバリエーションを理解して歌えるようになろう♪ スケールを歌いこなせるようになろう♪ リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンとシンプルなコード進行の中で歌えるようになろう♪ ダイナミックスをコントロールして歌えるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	さまざまなテクニックを知り、可能性を広げよう
2回目	リズムとリズムパターン聴き取り、その主なジャンルが理解できるようになろう
3回目	リズムとリズムパターンを体感して再現できるようになろう
4回目	6種類のスケールを聴き取れるようになろう
5回目	6種類のスケールを歌えるようになろう
6回目	リズムパターンの中でリズムを駆使してスケールを歌いこなそう
7回目	小テスト
8回目	4和音の聴き取りと機能が理解できるようになろう
9回目	シンプルなコード進行の中でリズムとメロディーを用いて歌いこなせるようになろう
10回目	4種類のダイナミックスを聴き取れるようになろう
11回目	4種類のダイナミックスを再現できるようになろう
12回目	リズムとメロディーとダイナミックスを用いてシンプルなコード進行の中で歌いこなそう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派と一緒に目指しましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 譜面 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニック Vocal Technique IV	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日2限目
【授業の学習内容】 課題曲や小節フレーズでの音色のトレーニング、音色とダイナミクスを合わせたインプロビゼーションの解説と実践 和音の機能解説と聴感トレーニング、課題曲を用いた歌詞のアナライズ (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やホーカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 音色をコントロールして歌えるようになろう♪ 音色とダイナミクスを合わせて音楽的に歌えるようになろう♪ リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンと複雑なコード進行の中で歌えるようになろう♪ 歌唱の理解と自由解釈を通して、感情と歌唱表現を一致させて歌えるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	5種類の音色を聴き取れるようになろう
2回目	5種類の音色を再現できるようになろう
3回目	ダイナミクスと音色を聴き取れるようになろう
4回目	ダイナミクスと音色を同時に再現できるようになろう
5回目	ダイナミクスと音色を自由に歌いこなそう
6回目	小テスト
7回目	複雑な4和音を聴き取れるようになろう
8回目	複雑な4和音の中でリズムとメロディーをコントロールして歌いこなそう
9回目	歌詞の世界観を味わい深く理解できるようになろう
10回目	歌詞を解釈して自身の感情や歌唱表現と繋ぎ合わせられるようになろう
11回目	自由に表現して歌えるようになろう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派と一緒に目指しましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】 譜面 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	
---	--

科目名 (英)	ヴォーカルテクニックV	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	権藤 勝
	Vocal Technique V	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】							
<p>ボーカリゼーションによる発声的歌唱の強化 スケルトレーニングによる音程の精度向上 インプロビゼーションによる音楽的表現度の自由化 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマクナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATEICSファミリーのために年間50曲以上コースアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。</p>							
【到達目標】							
<p>ボーカリゼーションを用いて柔軟な発声的歌唱ができるようになる♪ スケルトレーニングで音程の精度を上げよう♪ インプロビゼーションのアプローチを理解実践し自由なフレーズを歌唱できるようになる♪</p>							

授業計画・内容	
1回目	リズム、メロディー、和音感、インプロビゼーション、歌詞解釈の基礎を土台にした技術についての解説と実践
2回目	ボーカリゼーション:得意な母音、苦手な母音の発見
3回目	ボーカリゼーション:声門アタックと氣息音アタック回避のためのワーク
4回目	ボーカリゼーション:アーティキュレーショントレーニング
5回目	評価
6回目	音程の精度:上昇アプローチによるピッチコントロール
7回目	音程の精度:下降アプローチによるピッチコントロール
8回目	評価
9回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのタイムストレッチ、リズムックディスプレイメント
10回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのダブルタイム、ハーフタイム
11回目	評価
12回目	ジャンル別ボーカリゼーション:ロックステップス、ロックシンコペーション
13回目	ジャンル別ボーカリゼーション:マイナーオクターブ、ラテンオクターブ
14回目	ジャンル別ボーカリゼーション: R & Bベンタトニックとパターン、ゴスペルスイング
15回目	評価
準備学習 時間外 学習	<p>情報と体感の紐付け 各種項目を意識した楽曲視聴と歌唱トレーニング 反復練習による無意識化</p>
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、評価における理解度
受講生への メッセージ	<p>テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より本格的に歌えるよう、一緒に歩みましょう♪</p>
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>譜面 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート</p>	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニックVI Vocal Technique VI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeインターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】							
<p>ジャンル別のコースワークでの知識と音楽力強化 高度なインプロビゼーションの理解と実践でのフレーズの自由化 総合的な歌唱のアプローチ 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロドマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATEICSファミリーのために年間50曲以上コースアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。</p>							
【到達目標】							
<p>ジャンル別のコースワークの特徴を理解し再現できるようになろう♪ 高度なインプロビゼーションのアプローチを理解し歌唱できるようになろう♪ 基礎を土台とした魅力的な歌唱ができるようになる♪</p>							

授業計画・内容	
1回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:2声ポップロック
2回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ: 2声カントリー
3回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:2声ブルース
4回目	評価
5回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ: 2声R & Bポップ
6回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:2声ファンク
7回目	評価
8回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、クロマティックスケール
9回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、トライトニックスケール
10回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、テトラトニックスケール
11回目	自己評価と他者評価による音楽性の構築
12回目	総合評価
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	情報と体感の紐付け 各種項目を意識した楽曲視聴と歌唱トレーニング 反復練習による無意識化
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、評価における理解度
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より本格的に歌えるよう、一緒に歩みましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】	
音源 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ディクシオン I Diction I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	井戸川誠
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜日 2限目
【授業の学習内容】 洋楽の名曲を使用し、言葉を明確に伝え、音を正確に歌う技術を学びます。 【基礎的な練習】 母音、子音の発音練習 早口言葉 【課題曲】 リエゾン、音節の区切り方、アクセントなど、英語の楽曲を使用し、言葉とリズムを正確に歌うテクニックを実践していきます。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つコスベルグループ、年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やポータルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 英語を恐れず歌えるようになる。 英語の子音、母音を理解し、歌で実践できるようになる。 子音でリズムを明確に再現し、母音のポジションをコントロールしてピッチを明確に歌えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	まずは楽しく歌ってみよう！ 課題曲①Beatles「Hard days night」□
2回目	まずは楽しく歌ってみよう！ 課題曲①Beatles「Hard days night」□
3回目	簡単な子音にチャレンジ (th, f, v) 課題曲②Elvis Presley「Can't help falling in love with you」 □
4回目	簡単な母音にチャレンジ (a, e, i, ou, u) 課題曲②Elvis Presley「Can't help falling in love with you」 □
5回目	日本語にない子音にチャレンジ (l, r) 課題曲③Cyndi Lauper「Time after time」
6回目	日本語にない母音にチャレンジ (æ, ʌ, ə, ɔ) 課題曲③Cyndi Lauper「Time after time」
7回目	発音ミニテスト
8回目	テストの全体的なフィードバック、苦手発音の洗い出し 課題曲④Boys town gang「Can't take my eyes off you」□
9回目	苦手発音を強化しましょう 課題曲④Boys town gang「Can't take my eyes off you」□
10回目	ロックをカッコよく 課題曲⑤Bon Jovi 「You give love a bad name」
11回目	ロックをカッコよく 課題曲⑤Bon Jovi 「You give love a bad name」
12回目	テスト課題曲 Gloria Estefan「Conga」 練習
13回目	テスト Gloria Estefan「Conga」
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学 習	発音の宿題。課題曲の練習□
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	英語の発音を名曲を通してマスターしていきます。 今まで英語が苦手だった人も、「知らなかったことを知る事」「練習する事」で楽しんで克服していきましょう！ 世界を目指すヴォーカリストになりましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ディクシオン II Diction II	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	井戸川誠
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜日 2限目
【授業の学習内容】 前期よりもさらに発音の難易度が上がります。TH、LR、リエゾンなど苦手な部分にフォーカスして練習していきます。 【基礎的な練習】母音、子音の発音練習 早口言葉 【課題曲】有名な英語の楽曲（スタンダード）を使用します。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やポカリスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 英語の発音を恥ずかしながら歌えるようになる。 英語の子音、母音を理解し、歌で実践できるようになる。 子音でリズムを明確に再現し、母音のポジションをコントロールしてピッチを明確に歌えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の発音の復習、苦手な発音の確認 課題曲①Little Eva「Locomotion」□
2回目	苦手に発音に気を付けて課題曲に挑戦してみよう 課題曲①Little Eva「Locomotion」□□
3回目	リエゾン強化週 課題曲②Earth wind& Fire「September」□
4回目	リエゾン強化週2 課題曲②Earth wind& Fire「September」□
5回目	TH強化週 課題曲③Aerosmith 「I don't wanna miss a thing」□
6回目	TH強化週2 課題曲③Aerosmith 「I don't wanna miss a thing」□
7回目	発音ミニテスト □
8回目	LR強化週 課題曲④Last Christmas□
9回目	LR強化週 課題曲④Last Christmas□
10回目	現在地を確認しましょう。これまで練習した曲の中から歌唱
11回目	テスト課題曲 Aerosmith「Walk this way」練習
12回目	テスト Aerosmith「Walk this way」
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	発音の宿題。課題曲の練習□
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	英語の発音を名曲を通してマスターしていきます。 今まで英語が苦手だった人も、「知らなかったことを知る事」「練習する事」で楽しんで克服していきましょう！ 世界を目指すヴォーカリストになりましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ディクシオンⅢ DictionⅢ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	井戸川誠
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 木曜日 2 限目

【授業の学習内容】

1年生の時に学んだ発音を歌のテクニクとしてさらに強化し、それぞれの学生の苦手な発音に着目して強化していきます。リエゾン、音節の区切り方、アクセントなど、英語をカッコよく歌うためのテクニクを、課題曲を通して実践していきます。色々な年代のスタンダードな曲を課題曲/アンサンブルの授業の楽曲を課題曲にします。

(講師プロフィール)

200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

英語の歌に対する苦手意識を克服する。子音、母音の発音記号を理解し、課題曲の歌のスタイルに合わせて使い分けられるようになる。

授業計画・内容

1回目	バラードをゆっくりはっきりしっかりと歌おう！課題曲①Roberta Flack 「Killing me softly」□
2回目	バラードをゆっくりはっきりしっかりと歌おう！パート2 課題曲①Roberta Flack 「Killing me softly」□
3回目	できてそうで出来ない子音を強化 課題曲②No doubt 「Don't speak」□
4回目	できてそうで出来ない子音を強化 パート2 課題曲②No doubt 「Don't speak」
5回目	リズムを歌おう 課題曲③Carole King 「You've got a friend」
6回目	リズムを歌おう パート2 課題曲③Carole King 「You've got a friend」□
7回目	発音小テスト
8回目	NY風、バラードをゆっくりはっきりはっきりと！課題曲④Eric Carmen「All by myself」□
9回目	NY風、バラードをゆっくりはっきりはっきりと！ パート2課題曲④Eric Carmen「All by myself」□
10回目	カッコよく発音しましょう 課題曲⑤Michael Jackson「Man in the mirror」□
11回目	カッコよく発音しましょう パート2 課題曲⑤Michael Jackson「Man in the mirror」□
12回目	テスト（自由曲）の歌唱
13回目	学期末特別授業
14回目	学期末特別授業
15回目	イベント実習

準備学習
時間外学習

発音の宿題
課題曲の練習□

評価方法

実技テスト（提示された課題曲に対して、正しい発音で歌唱できているか評価する）
出席率

受講生への
メッセージ

英語の発音を名曲を通してマスターしていきます。
今まで英語が苦手だった人も、「知らなかったことを知る事」「練習する事」で楽しんで克服していきましょう！
世界を目指すヴォーカリストになりましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

発音練習用プリント、歌詞

科目名 (英)	ディクシオンⅣ DictionⅣ	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	井戸川誠
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜日 2 限目

【授業の学習内容】

前期同様、英語の課題曲を用いてさらに明確で確実な発音を目指していきます。引き続きリエゾン、音節の区切り方、アクセントなど、英語をカッコよく歌うためのテクニックを実践し、呼吸や発声も学生のレベルに合わせてアドバイスしていきます。¥ 色々な年代のスタンダードな曲を課題曲/アンサンブルの授業の楽曲を課題曲にします。

(講師プロフィール)

200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

発音の原則を理解し、様々な楽曲で効果的に使えるようになる。前期より自由に、大きくダイナミックに発音できるようになる。

授業計画・内容

1回目	難曲を完璧に発音しましょう！ 課題曲①Michael Bolton「How am I sponse to live without you」□
2回目	難曲を完璧に発音しましょう！ パート2 課題曲①Michael Bolton「How am I sponse to live without you」□
3回目	リズム！リエゾン！リズム！リエゾン！ 課題曲②Taylor Swift「You belong with me」□
4回目	リズム！リエゾン！リズム！リエゾン！ パート2 課題曲②Taylor Swift「You belong with me」□
5回目	ロックに！カッコよく 課題曲③Avril Lavine「Complicated」□
6回目	ロックに！カッコよく パート2課題曲③Avril Lavine「Complicated」□
7回目	名曲をカッコよく歌いましょう！ 課題曲④Robbie Williams「Angels」□
8回目	名曲をカッコよく歌いましょう！ パート2 課題曲④Robbie Williams「Angels」□
9回目	Rを仕上げましょう！ 課題曲⑤P!nk 「Raise your glass」□
10回目	Rを仕上げましょう！ パート2 課題曲⑤P!nk 「Raise your glass」□
11回目	テスト 今年度、この授業で歌った楽曲の中から1曲発表□
12回目	Sowcase、We areにおいて必要な楽曲の発音をチェック
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番

準備学習
時間外
学習

発音の宿題
課題曲の練習□

評価方法

実技テスト（提示された課題曲に対して、正しい発音で歌唱できているか評価する）
出席率

受講生への
メッセージ

英語の発音を名曲を通してマスターしていきます。
今まで英語が苦手だった人も、「知らなかったことを知る事」「練習する事」で楽しんで克服していきましょう！
世界を目指すヴォーカリストになりましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

発音練習用プリント、歌詞

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンス I Vocal Performance I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	池田祥子
学科・コース	スーパーエリメンタリー科・音楽プロデューサー科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日 3限目
【授業の学習内容】 ピアノ一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基礎、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 <small>(講師プロフィール)</small> 200曲以上をレパートリーを持つゴスベルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池田信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ピアノデュオというスタイルを、ピアニストと共に創り上げられるようになる。ピアノ以外に頼る部分がないことから、より一層歌唱を仕上げていけるようになる。ピアニストに明確に自分のイメージを演奏の形に指示できるようになる。フレーズやキー設定など、個々のスキルに沿った歌唱デザインが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①The Roseレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
2回目	①復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ、コーラスワークレクチャー
3回目	①復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
4回目	②The long and winding road レクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
5回目	②復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
6回目	②復習、発表、フルコーラス仕上げ
7回目	③You light up my life, Now and foreverレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
8回目	③復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
9回目	③復習、発表、フルコーラス仕上げ
10回目	④I won't last a day without you, Honestyレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
11回目	④復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
12回目	④復習、発表、フルコーラス仕上げ
13回目	学期末発表会
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ピアノデュオというスタイルはヴォーカリストそのものが際立つ、非常にシンプルでダイレクトなスタイルです。このスタイルを習得することにより、ヴォーカリストとしての自信もつけていながら、より繊細に、よりダイナミックに、自分の持つ力を更に磨いていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅡ Vocal Performance Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	池田祥子
学科・コース	スーパーエリメンタリー科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日 3限目
【授業の学習内容】							
<p>ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基礎、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 (講師プロフィール)</p> <p>200曲以上をレパートリーを持つゴスベルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池田信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>ピアノデュオというスタイルを、ピアニストと共に創り上げられるようになる。ピアノ以外に頼る部分がないことから、より一層歌唱を仕上げていけるようになる。ピアニストに明確に自分のイメージを演奏の形に指示できるようになる。フレーズやキー設定など、個々のスキルに沿った歌唱デザインが出来るようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	⑤Colorblind,Sheレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
2回目	⑤復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ、レクチャー
3回目	⑤復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
4回目	⑥Let it rain,Hard to say I'm sorryレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
5回目	⑥復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ、レクチャー
6回目	⑥復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
7回目	⑦Bridge over troubled waterレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
8回目	⑦復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ、レクチャー
9回目	⑦復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
10回目	⑧Let it beレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
11回目	⑧復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ、レクチャー
12回目	総合発表会 本番
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ピアノデュオというスタイルはヴォーカリストそのものが際立つ、非常にシンプルでダイレクトなスタイルです。このスタイルを習得することにより、ヴォーカリストとしての自信もつけていながら、より繊細に、よりダイナミックに、自分の持つ力を更に磨いていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅢ Vocal Performance Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日 3限目
【授業の学習内容】 ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基礎、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 <small>(講師プロフィール)</small> 200曲以上をレパートリーを持つゴスベルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター 池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 リズムやグルーブを意識して歌えるようになろう♪ タイミングをコントロールして歌えるようになろう♪ ダイナミクスを用いて音楽的に歌えるようになろう♪ リズム、タイミング、ダイナミクスを用いたアンサンブルができるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	デュオアンサンブルの要素を知り、可能性を見つけよう
2回目	基本となるテンポ、ビートを意識して歌えるようになろう
3回目	グルーブを体感して躍動感のある歌を歌えるようになろう
4回目	タイミングを意識して歌えるようになろう
5回目	タイミングをコントロールして歌えるようになろう
6回目	リズムとタイミングを用いて歌ってみよう
7回目	小テスト
8回目	楽曲のダイナミクスを意識して歌えるようになろう
9回目	楽曲のダイナミクスをコントロールして歌えるようになろう
10回目	リズムとダイナミクスを意識して歌えるようになろう
11回目	タイミングとダイナミクスを意識して歌えるようになろう
12回目	リズムとタイミングとダイナミクスを意識して歌ってみよう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 歌唱 音源 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅣ Vocal Performance Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデューサー科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日 3限目
【授業の学習内容】 ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノ志向の楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基礎、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 <small>(講師プロフィール)</small> 200曲以上をレパートリーを持つゴスベルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター 池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 リズムパターンやテンポ感や曲のムードを指示して、その変化の中で歌えるようになる♪ 伴奏者の意図を読み取り呼吸を合わせて歌えるようになる♪ 合図やアイコンタクトを使い演奏をコントロールしながら歌えるようになる♪ 自身の歌唱力や発声力が活かせるキーで、アンサンブル要素を用いた総合的な歌唱ができるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	リズムパターンやテンポの変化を意識して歌えるようになる
2回目	リズムパターンやテンポをコントロールして歌えるようになる
3回目	伴奏者のプランに合わせて歌えるようになる
4回目	伴奏者と共に演奏をプランして歌えるようになる
5回目	リズム、タイミング、ダイナミクス、リズムパターン、テンポを用いて歌ってみよう
6回目	小テスト
7回目	合図やアイコンタクトを意識して歌えるようになる
8回目	合図やアイコンタクトで伴奏をコントロールして歌えるようになる
9回目	ニュートラルなポイントを見つけ、周りを観て聴いて歌えるようになる
10回目	周りを観て聴いて、アンサンブル要素を用いて歌えるようになる
11回目	歌唱要素とアンサンブル要素を合わせて歌ってみよう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 歌唱 音源 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスV	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	権藤 勝
	Vocal Performance V	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	火曜2限
【授業の学習内容】							
<p>テンポ、リズムパターン、タイミング、ダイナミクスを音楽的に聴感的に生成し演奏する 音楽的コミュニケーションの実践 歌唱とフィードバック 【講師プロフィール】 YUI、鞠香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマクナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSF7ファミリーのために年間50曲以上コースアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。</p>							
【到達目標】							
リズムやグルーブをコントロールして歌えるようになろう♪ タイミングをコントロールして歌えるようになろう♪ ダイナミクスをコントロールして歌えるようになろう♪ 音楽的コミュニケーションができるようになろう♪♪							

授業計画・内容	
1回目	テンポとリズムパターンをコントロールして歌えるようになろう
2回目	自由にテンポやパターン設定し適応する術を学び、演奏できるようになろう♪
3回目	評価
4回目	タイミングとダイナミクスをコントロールして歌ってみよう
5回目	自由にタイミングとダイナミクスを設定し適応する術を学び、演奏できるようになろう♪
6回目	評価
7回目	タイミングとダイナミクス、テンポとリズムパターンをコントロールして歌ってみよう
8回目	上記のを設定適応させ演奏しよう
9回目	評価
10回目	コールアンドレスポンスのチャレンジ
11回目	音楽的なコールアンドレスポンスの技法を学び、実践できるようになろう
12回目	評価
13回目	シチュエーショントレーニング、無関心への対応
14回目	困難な場面での対応法を検証し、効果的な雰囲気づくりができるようになろう
15回目	総合評価
準備学習 時間外学 習	課題曲の熟聴、分析 リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	出席率 受講態度 発表頻度と達成度
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル、アーティスト性の要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】	
音源 スコア 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスVI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	権藤 勝
	Vocal Performance VI	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	火曜2限
【授業の学習内容】 テンポ、リズムパターン、タイミング、ダイナミクスを音楽的に聴感的に生成し演奏する 音楽的コミュニケーションの実践 歌唱とフィードバック 【講師プロフィール】 YUI、鞠香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマクナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSF7ファミリーのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 印象的なフレーズを組み込み、魅力的な演奏ができるようになる♪ コーラスワークを曲中で実践し、聴衆との一体感を演出できるようになる♪ アーティストとしての魅力的な世界観を形成できるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	モーメントを意識して歌ってみよう
2回目	モーメントのバリエーションを知り実践できるようになる♪
3回目	評価
4回目	曲中のコーラスワークにチャレンジ
5回目	決められたコーラスワークを理解し、提示歌唱できるようになる♪
6回目	評価
7回目	オーディエンスの情動やリアクションと音楽的な再現を意識して歌ってみよう
8回目	情動やリアクションに対しての音楽的アプローチを検証し、実践できるようになる♪
9回目	評価
10回目	アトモスフィアトレーニング、曲中での応対を意識して歌ってみよう
11回目	キャラクター設定、語調、身構えなどを検証し、効果的なインプレッションを与えられるようになる♪
12回目	総合評価
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題曲の熟聴、分析 リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	出席率 受講態度 発表頻度と達成度
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル、アーティスト性の要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 音源 スコア 振り返りシート	

科目名 (英)	スタイルアナライズ I Style Analysis I	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	権藤勝
学科・コース	スーパーエディター・音楽プロデューサー・パフォーマンス	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日4限目
【授業の学習内容】							
<p>・楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。 (講師プロフィール)</p> <p>200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
<p>歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積み重ねることができる。また、田原先生と連動しているので、継続してプロセスをふんでいくことができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明。男性・女性 カントリーロードを学ぶ
2回目	カントリーロードの復習。歌唱技術・知識を学ぶ
3回目	カントリーロードの仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
4回目	男性・Take on me 女性 I feel the earte move を学ぼう
5回目	課題曲復習。歌唱技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
7回目	田原先生の間接発表会への予習（歌唱指導・ステージでの心がけ）
8回目	男性・The dock of the bay 女性・I say little prayer を学ぼう
9回目	課題曲復習。歌唱技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
11回目	授業発表会に向けての指導・アドバイス
12回目	田原先生授業内発表会リハーサル
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	課題曲を通して、授業外でのプロセスの積み方を、学生の中に沢山経験してください。努力した分、必ず結果が出る事を信じて、頑張りましょう
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	権藤勝
	Style Analysis Ⅱ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科						
【授業の学習内容】							
<p>・楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリーの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。 <small>(講師プロフィール)</small> 200曲以上をレパートリーを持つゴスベルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボカススクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることで経験値を積み重ねることができる。また、田原先生と連動しているので、継続してプロセスをふんでいくことができる。							

授業計画・内容	
1回目	後期授業プロセスの説明。男性 Honesty 女性 Time after time を学ぼう
2回目	1週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
3回目	1週目課題曲の仕上げ。対面での歌唱・アドバイス
4回目	男性 Every breath you take 女性 We are never ever getting betterを学ぼう
5回目	2週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに、対面での歌唱・アドバイス
7回目	中間発表会へのリハーサル
8回目	男性・Perfect 女性 Some one like youを学ぼう
9回目	3週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに、対面での歌唱・アドバイス
11回目	田原先生の授業内発表会リハーサル
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	1年後期を質の高さを意識したプロセスをふむことによって、2年次に向けて、モチベーションを高くもって迎える事ができます。音楽は積み重ねることで、表現が広がっていきます。後期も頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	権藤勝
	Style Analyze Ⅲ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス科						
【授業の学習内容】							
文字表や短い会話文でのハングルの基礎解説と実践、課題曲を用いた言葉の基礎と音楽的表現の解説と実践、歴史や文化の解説とエンターテインメントについての考察と歌唱への応用実践							
(講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ、年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池田信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やポカリスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】							
ハングルの発音の基礎を理解して歌えるようになろう♪ オギャンの基礎を理解して歌えるようになろう♪ 音楽的表現を理解し歌えるようになろう♪ 時代背景や文化を知りそれら理解して歌えるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	ことば、歌唱の発音、楽曲や歌唱分析、時代背景や文化を学ぶことで広がる可能性を見つけよう、デュオの課題曲①
2回目	発音①(母音、ワ行、ヤ行)
3回目	発音②(ロ、ㄥ、オ、ㄷ、平音、パッチム①)
4回目	発音③(ㄴ、ㄹ、ㄱ、濃音、激音、パッチム②)、デュオの課題曲②
5回目	オギャン①(低中の基本)、発音を意識して歌えるようになろう
6回目	オギャン②(高中の基本)、リズムとグルーブと発音を意識して歌えるようになろう
7回目	小テスト、デュオの課題曲③
8回目	発音①バリエーション、ダイナミクスを意識して歌えるようになろう
9回目	発音②バリエーション、音色を意識して歌えるようになろう
10回目	発音③バリエーション、デュオの課題曲④
11回目	オギャン①バリエーション、韓国文化と歴史から学ぼう
12回目	オギャン②バリエーション、K-POPの歴史から学ぼう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	発音練習 楽曲の熟聴 歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	古き良きから最新の楽曲や王道曲の分析や歌唱と、時代背景や文化を知り学ぶことで、長く歌い続けられる自分自身の確かなスタイルを一緒に見つけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】	
課題曲音源、歌詞 ハングル表、オギャン解説表	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	権藤勝
	Style Analysis Ⅳ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	火曜日4限目
【授業の学習内容】 課題曲や短いフレーズを用いて、歌唱のためのことばのアプローチ実践、ジャンルや年代ごとの歌唱解説と実践 コーラスワークの解説と実践、自身の歌唱スタイルを構築するための考察と実践 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ、年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やポータルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ハングルの発音全般とオギャンを歌唱の中で活かせるようになる♪ ジャンルや年代に対応した歌唱ができるようになる♪ 少人数でのボーカルアンサンブルができるようになる♪ 自分自身のスタイルを見つけ進化成長し続けられるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	発音①ラップMix、デュオ課題曲⑤
2回目	発音②ラップMix、ジャンル年代歌唱比較①
3回目	発音③ラップMix、ジャンル年代歌唱比較②
4回目	オギャン①ラップMix、デュオ課題曲⑥
5回目	オギャン②ラップMix、課題曲⑥でアンサンブルチャレンジ①
6回目	小テスト、課題曲⑥でアンサンブルチャレンジ②
7回目	課題曲⑦、課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ①
8回目	課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ②
9回目	課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ③
10回目	自分自身のアーティストスタイルについて考えてみよう
11回目	成果成長のために、学びを振り返ろう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	発音練習 楽曲の熟聴 歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	古き良きから最新の楽曲や王道曲の分析や歌唱と、時代背景や文化を知り学ぶことで、長く歌い続けられる自分自身の確かなスタイルを一緒に見つけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 課題曲音源、歌詞 ハングル表、オギャン解説表	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅤ Style Analysis Ⅴ	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜4限
【授業の学習内容】 各種ジャンルのビートとコード進行を用いての分析と作曲メソッド 特殊和音の理解と活用 基本的な代理和音の理解とメロディーの生成 【講師プロフィール】 YUI、鞠香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATEICSファミリーのために年間50曲以上コースアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 様々なジャンルでのモチーフとセクションでのリズムとメロディーとコードの差別化ができる 特殊な和音でのメロディーメイクができる シンプルなコード進行の中で作曲メソッドを活かすことができる							

授業計画・内容	
1回目	リズム、メロディー、コードを用いたセクションの差別化
2回目	リズム、メロディー、コードを用いたモチーフの差別化
3回目	評価
4回目	4ビート、2ビート、コード進行とメロディーメイク
5回目	主要ジャンル、コード進行とメロディーメイク
6回目	副ジャンル、コード進行とメロディーメイク
7回目	評価
8回目	特殊三和音を含むコード進行、楽曲の分析、メロディーメイク
9回目	特殊四和音を含むコード進行、楽曲の分析、メロディーメイク
10回目	評価
11回目	ダイアトニックコードの代理和音を用いたコード進行、メロディーメイク
12回目	カデンツと終止でのメロディーメイク
13回目	We Are FSM RH
14回目	ツーコードでのメロディーメイク
15回目	総合評価
準備学習 時間外学習	事前配布資料での予習 各種メソッドを用いての分析 各種メソッドを用いての試作
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、発表頻度と質
受講生への メッセージ	プロが実践する知識と技術を、本格的に個性的に楽曲制作していくための分析力を一緒に身につけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 コード表 スケール表 参考楽曲 参考楽曲関連資料	

科目名 (英)	スタイルアナライズVI Style Analysis VI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員	権藤 勝
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜4限
【授業の学習内容】 ドミナント系コードでのスケール より高度なドミナントコードプロGRESSION 基本的なモジュレーション 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマクナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コースアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 ドミナント系のコードスケールを楽曲制作に活用できる より高度なドミナント系のアプローチが理解し活用できる 基本的な転調の理解と活用ができる							

授業計画・内容	
1回目	ドミナントコードバリエーションのコードスケール
2回目	セカンダリドミナントのコードスケール
3回目	評価
4回目	サブスティテュートドミナント、クエスチョンアンドアンサーの応用
5回目	エクステンデッドドミナント、コールアンドレスポンスの応用
6回目	モーダルインターチェンジ、繰り返しのアプローチの応用
7回目	メロディックマイナー派生モード、リズムアプローチの応用
8回目	評価
9回目	モジュレーション、近親調、プレゼン思案
10回目	ダイレクトモジュレーション、プレゼン準備
11回目	ピボットモジュレーション、プレゼンリハ
12回目	総合評価
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	事前配布資料での予習 各種メソッドを用いての分析 各種メソッドを用いての試作
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、発表頻度と質
受講生への メッセージ	プロが実践する知識と技術を、本格的に個性的に楽曲制作していくための分析力を一緒に身につけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 コード表 スケール表 参考楽曲 参考楽曲関連資料	

科目名 (英)	テクニク I	選択 必修	選択 必修	年次	1	担当教員	野口 真吾
	Drum Technique I			総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業形態	演習			曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ドラム譜の読み方、基本的なセティングと操作方法、8ビート、8分音符の記譜を理解する
2回目	8ビート、4小節感覚を身につける、クリックを使った練習方法、カウンティング、8分音符の記譜を理解する
3回目	8ビート、8小節感覚を身につける、オープンリムショットとクローズリムショット、16分音符の記譜を理解する
4回目	アクセント無しのシングルストローク、両手16ビート、オープンリムショット、16分音符の記譜を理解する
5回目	16ビートのバリエーション、16分裏拍のストロークとバスドラムのタイミングを合わせるエクササイズ①
6回目	16ビートのバリエーション、16分裏拍のストロークとバスドラムのタイミングを合わせるエクササイズ②
7回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ
8回目	16分音符のアクセント移動（1アクセント）とドラムセットへの応用①
9回目	16分音符のアクセント移動（1アクセント）とドラムセットへの応用②
10回目	16分音符のアクセント移動（2アクセント）とリズムパターン、ドラムセットへの応用①
11回目	16分音符のアクセント移動（2アクセント）とリズムパターン、ドラムセットへの応用②
12回目	ダブルストロークを用いた32分音符と16分音符のコンビネーション、リズムパターン、ドラムセットへの応用①
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間 外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60%） 出席率（40%）
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニクⅡ	選択 必修	選択 必修	年次	1	担当教員	野口 真吾
	Drum Technique II			総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーエインターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業形態	演習			曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ダブルストロークを用いた32分音符と16分音符のコンビネーション、リズムパターン、ドラムセットへの応用②
2回目	8ビートシャッフルのリズムパターン、ハイハットのエクササイズ、3連符の手順と記譜を理解する
3回目	8ビートシャッフルの8分裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ、3連符の手順と記譜を理解する
4回目	2拍3連符のエクササイズ、手順の振り分けとドラムセットへの応用
5回目	8ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオーブクローズ
6回目	16ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオーブクローズ①
7回目	16ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオーブクローズ②
8回目	ハイハットを4分音符で演奏する、速いテンポの8ビートとバスドラムの奏法
9回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート①
10回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート② ハイハットを16分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート
11回目	ハイハットを4分音符で演奏する、速いテンポの8ビートシャッフルとバスドラムの奏法
12回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビートシャッフル
13回目	ミュージカル演習
14回目	We Are FSM 卒業進級制作リハーサル
15回目	We Are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間 外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニクⅢ	選択 必修	選択 必修	年次	2	担当教員	野口 真吾
	Drum TechniqueⅢ			総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業形態	演習			曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	速いテンポの8ビート、ゴーストノート①
2回目	速いテンポの8ビート、ゴーストノート② 速いテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート①
3回目	速いテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート① ツインペダルの基礎練習 (8ビート応用)
4回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ①
5回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ②
6回目	ツインペダルの基礎練習 (オルタネイト)
7回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニク、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ、バスドラムのシングル3連打、4連打
8回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム1打) ドラムセットへの応用①
9回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム1打) ドラムセットへの応用②
10回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→シングル、ツインペダル) ドラムセットへの応用①
11回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→シングル、ツインペダル) ドラムセットへの応用②
12回目	8分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション (シングル、ツインペダル) ①
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間 外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニクⅣ	選択 必修	選択 必修	年次	2	担当教員	野口 真吾
	Drum TechniqueⅣ			総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業形態	演習			曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	32分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション (シングル、ツインペダル) ②
2回目	8ビートシャッフルのシンコペーション01、Fill in手順の応用①
3回目	8ビートシャッフルのシンコペーション01、Fill in手順の応用② 8ビートシャッフルのシンコペーション02
4回目	ツインペダル基礎練習 (シャッフル、3連符)
5回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用①
6回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用② 速いテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ①
7回目	速いテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ②
8回目	シングル、ツインペダルの2ビート (HH表、裏)
9回目	シングル、ツインペダルの2ビート (HH表、裏) と手2足2のコンビネーション ツインペダルの16ビート (32分3打) ①
10回目	ツインペダルの16ビート (32分3打) ② ツインペダルの16ビート (32分4打) と手2足4、手4足4のコンビネーション
11回目	8シャッフル、HHバリエーションとゴーストノート (手順の応用) シングル、ツインペダルを使ったコンビネーションFill in
12回目	16シャッフル、HHバリエーションとゴーストノート (手順の応用) シングル、ツインペダルを使ったコンビネーションFill in
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間 外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	アーティストディレクション I・II	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	戸田 清章
	Artist Direction I・II	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科 (レコーディング専攻者)						
【授業の学習内容】							
<p>広く音楽をプロデュースする事を視点に置き、レコーディングについて学ぶ。主に企業からの課題制作を中心に、レコーディング、MIXを学びながら、業界実際の制作方法を知る。発注者の意図をくみ取り、自主的に作業を進めてゆき、リーダーシップを学ぶ</p> <p><講師プロフィール> サウンドプロデューサー レコーディング&ミキシングエンジニア S.O.L.D. Sound Lab 代表 AI、安室奈美恵、ももいろクローバーZなど数々の有名アーティストのレコーディングを行っている。ゲーム音楽、映画音楽制作にも携わる。</p>							
【到達目標】							
音楽プロデューサーとして、音楽を制作する視点を養いながら、実際の作業方法も身を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	業界知識①
3回目	業界知識②
4回目	業界知識③
5回目	ヴォーカルレコーディング・アドバンス①
6回目	ヴォーカルレコーディング・アドバンス②
7回目	ヴォーカルレコーディング・アドバンス③
8回目	ヴォーカルレコーディング MIX・アドバンス
9回目	バンドレコーディング・アドバンス①
10回目	バンドレコーディング・アドバンス②
11回目	バンドレコーディング・アドバンス③
12回目	バンドレコーディング MIX・アドバンス
13回目	バンドレコーディング MIX・アドバンス
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学 習	ライブプロダクション、課題制作
評価方法	レコーディング技能
受講生への メッセージ	企業課題制作を通して、プロの制作現場を学びます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	アーティストディレクションⅢ・Ⅳ Artist DirectionⅢ・Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	戸田 清章
学科・コース	スーパーエエタータイムト科・音楽プロデュース科 (レコーディング専攻者)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜日2,3限
【授業の学習内容】							
<p>広く音楽をプロデュースする事を視点に置き、レコーディングについて学ぶ。主に企業からの課題制作を中心に、レコーディング、MIXを学びながら、業界の実際の制作方法を知る。発注者の意図をくみ取り、自主的に作業を進めてゆき、リーダーシップを学ぶ</p> <p><講師プロフィール> サウンドプロデューサー レコーディング&ミキシングエンジニア S.O.L.D. Sound Lab 代表 AI、安室奈美恵、ももいろクローバーZなど数々の有名アーティストのレコーディングを行っている。ゲーム音楽、映画音楽制作にも携わる。</p>							
【到達目標】							
音楽プロデューサーとして、自らチームを牽引し課題制作が出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	企業課題制作 MIX①
3回目	企業課題制作 MIX②
4回目	企業課題制作 MIX③
5回目	企業課題制作 MIX④
6回目	企業課題制作 MIX⑤
7回目	作品制作 レコーディング①
8回目	作品制作 レコーディング②
9回目	作品制作 レコーディング③
10回目	作品制作 レコーディング④
11回目	作品制作 MIX①
12回目	実技テスト
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	ライブプロダクション、課題制作
評価方法	実技テスト
受講生への メッセージ	企業課題制作を通して、プロの制作現場を学びます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名(英)	レコーディングゼミ I	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	濱本 真澄
	Recording Seminar I	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	90 (6)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエリタータイムト科・音楽プロデューサー科(レコーディング専攻者)					曜日・時限	水曜日 2,3,4限
【授業の学習内容】 作曲・編曲コースの楽曲のレコーディングおよびミックス。制作を通してアレンジヤーとエンジニアのコミュニケーションを学ぶ。 <small><講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野日洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。</small>							
【到達目標】 主にプリプロダクション制作課題・卒業制作等の作品を完成させることが出来る。 楽曲制作を通して、ミュージシャンなど他学科の学生とも交流をはかり、コミュニケーション能力を高める事が出来る。 スケジュール管理、役割分担などチームワークとリーダーシップ能力を高める事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	オリジナル楽曲①ベーシックレコーディング
2回目	オリジナル楽曲①ダビング
3回目	オリジナル楽曲①ミックス
4回目	オリジナル楽曲②ベーシックレコーディング
5回目	オリジナル楽曲②ダビング
6回目	オリジナル楽曲②ミックス
7回目	オリジナル楽曲③ベーシックレコーディング
8回目	オリジナル楽曲③ダビング
9回目	オリジナル楽曲③ミックス
10回目	オリジナル楽曲④ベーシックレコーディング
11回目	オリジナル楽曲④ダビング
12回目	オリジナル楽曲④ミックス
13回目	前期まとめ
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	作曲学生とのプリプロダクション制作
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	グループワークを通して、コミュニケーション、特にスケジューリングが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名(英)	レコーディングゼミⅡ	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	濱本 真澄
	Recording Seminar Ⅱ						
学科・コース	スーパーエリタータイム特科・音楽プロデュース科 (レコーディング専攻者)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日 2.3.4限
【授業の学習内容】 作曲・編曲コースの楽曲のレコーディングおよびミックス。制作を通してアレンジヤーとエンジニアのコミュニケーションを学ぶ。 <講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野日洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。							
【到達目標】 主にプリプロダクション制作課題・卒業制作等の作品を完成させることが出来る。 楽曲制作を通して、ミュージシャンなど他学科の学生とも交流をはかり、コミュニケーション能力を高める事が出来る。 スケジュール管理、役割分担などチームワークとリーダーシップ能力を高める事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	卒業制作楽曲①ベーシックレコーディング
2回目	卒業制作楽曲①ダビング
3回目	卒業制作楽曲①ミックス
4回目	卒業制作楽曲②ベーシックレコーディング
5回目	卒業制作楽曲②ダビング
6回目	卒業制作楽曲②ミックス
7回目	卒業制作楽曲③ベーシックレコーディング
8回目	卒業制作楽曲③ダビング
9回目	卒業制作楽曲③ミックス
10回目	卒業制作楽曲④ベーシックレコーディング
11回目	卒業制作楽曲④ダビング
12回目	卒業制作楽曲④ミックス
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	作曲学生とのプリプロダクション制作
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	グループワークを通して、コミュニケーション、特にスケジューリングが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名(英)	レコーディングゼミⅢ Recording Seminar Ⅲ	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	濱本 真澄
学科・コース	スーパーエエンターテイメント科・音楽プロデュース科 (レコーディング専攻者)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日 3.4.5限
【授業の学習内容】 プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。 <講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、狭野日洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。							
【到達目標】 アーティストのアルバムを完成させることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	「Made in Japan2」 ミックス
2回目	「Made in Japan2」 ミックス
3回目	「Made in Japan2」 ミックス
4回目	「Made in Japan2」 ミックス
5回目	「Made in Japan2」 ミックス
6回目	「Made in Japan2」 ミックス
7回目	「Made in Japan2」 ミックス
8回目	「Made in Japan2」 ミックス
9回目	「Made in Japan2」 ミックス
10回目	「Made in Japan2」 ミックス
11回目	「Made in Japan2」 マスタリング
12回目	Sora & Reiya Project プリプロ
13回目	Sora & Reiya Project プリプロ
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事を学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名(英)	レコーディングゼミⅣ Recording Seminar IV	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	濱本 真澄
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科 (レコーディング専攻者)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日 3.4.5限
【授業の学習内容】 プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。 <講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、狭野日洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。							
【到達目標】 アーティストのアルバムを完成させることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	Sora & Reiya Project レコーディング
2回目	Sora & Reiya Project レコーディング
3回目	Sora & Reiya Project レコーディング
4回目	Sora & Reiya Project レコーディング
5回目	Sora & Reiya Project レコーディング
6回目	Sora & Reiya Project レコーディング
7回目	Sora & Reiya Project レコーディング
8回目	Sora & Reiya Project レコーディング
9回目	Sora & Reiya Project ミックス
10回目	Sora & Reiya Project ミックス
11回目	Sora & Reiya Project ミックス
12回目	Sora & Reiya Project マスタリング
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事を学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	PAテクニック I PA Technic I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	西岡幹浩
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜1、3時限
<p>【授業の学習内容】 P Aエンジニアとして一般的に使用するケーブルの種類マイクの名前種類、機材の名前扱い方を覚え、基本的な機材の組み方繋ぎ方など初歩的な知識を身につける。</p> <p><講師プロフィール> ※ 実務者経験：熊本を中心にNumberShotやAso Rock Festivalなど九州各地のイベント・フェス等にフリーのエンジニアとして参加。</p>							
<p>【到達目標】 一般的に扱われるマイク、機材の名前を覚え初歩的なアナログ卓を単独で繋ぎこみできるようにする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介 ケーブル巻き練習
2回目	マイク種類 ダイナミック コンデンサー ファンタム電源の話
3回目	ケーブル種類 マイクケーブル SPケーブルの違い
4回目	マイクスタンド扱い方
5回目	DI説明
6回目	マルチケーブルの種類 名称 マルチケーブルの巻き方
7回目	電源の説明
8回目	GEQ パラメトリックの違い
9回目	ミキサーつまみ種類
10回目	プリ ポストの説明
11回目	アナログ卓のリバートの繋げ方
12回目	チューニングのやり方
13回目	インサート コンプ ゲートの説明
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	基本的な知識になるので普段からの積み重ねになって行くので普段からの復習が大切です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 50% ■ 【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	普段からの積み重ねなのでわからないときはどんどん聞いて欲しいです
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	PAテクニックⅡ PA TechnicⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	西岡幹浩
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜1、3時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>PAエンジニアとして一般的に使用するケーブルの種類マイクの名前種類、機材の名前扱い方を覚え、基本的な機材の組み方繋ぎ方など初歩的な知識を身につける。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>※ 実務者経験：熊本を中心にNumberShotやAso Rock Festivalなど九州各地のイベント・フェス等にフリーのエンジニアとして参加。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>劇場を利用する際のマナー約束事を理解して、作業が出来るようになる。</p> <p>安全面に最大限の注意を払い、自分のみならず、他スタッフ・出演者にも安全な舞台を提供できるようになる。</p> <p>専門用語での会話をスムーズに行えるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	メンテナンス ケーブル作り ハンダ作業
2回目	PS15システムの説明
3回目	VRXシステムの説明
4回目	位相の聴き比べ
5回目	RIOデジチーチェーン リダンダントの説明
6回目	回線表 見方
7回目	WLの設定の説明
8回目	マトリックス バスアウトの説明
9回目	バンド資料を見て回線表作成
10回目	チューニング ハウスとモニター
11回目	モニ卓の説明
12回目	チャンデバの説明ネットワークの説明
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	基本的な知識になるので普段からの積み重ねになって行くので普段からの復習が大切です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 50% ■ 【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	普段からの積み重ねなのでわからないときはどんどん聞いて欲しいです
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	PAテクニックⅢ PA TechnicⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	旦花 斉
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1限目～4限目
【授業の学習内容】 基本、実習を駆使して、実務の中で経験してきた事案に対して、受講生自身が体験し、考察や問題解決に取り組んでもらう。 実習をやりながら、技術はもとより、相手への気遣い、読解力、状況の判断力、物の大切さ、仕事がいただける有り難さ、返事、挨拶の大切さを教えていき、笑顔を忘れず、良好な人間関係を築く事での成功を自ら色々な実習を通して体験し、理解してもらう。 <講師プロフィール> 旦花 斉 ※ 実務者経験：2016年よりこれまでの株式会社STAFFから独立し、さらなる人と人の繋がりと言の創造の為に、株式会社TANGAを立ち上げる。							
【到達目標】 本校学生が、自分自身のやりたいことを見つけ、それに向かって活動していく中で授業等で身につけたスキルを生かして、進みたい道を選べるようになることと共に、社会人となった時に基本をしっかりと身につけて人生を謳歌していただく事。							

授業計画・内容	
1回目	PAの歴史と変遷、これからの音響 / 電気知識全般 電源の話、テスターの使い方
2回目	ケーブル作成、コネクタの種類、配線を理解する-①
3回目	ケーブル作成、コネクタの種類、配線を理解する-②
4回目	機材の運び方、積み込み方、スタッキングの仕方、仕込み方、バラシ方
5回目	機材のメンテナンス-① 興味のある機材をバラバラにしてみる。
6回目	機材のメンテナンス-② いろんな機材の役目と使用方法を掘り下げてみる。
7回目	現場の一日の流れを理解して、やるべき手順が考察できるようになる。
8回目	PCソフトの紹介。音源の編集（音の延長や切り取り）、図面作成ソフト、音場測定ソフトなどなど。
9回目	音を出す-① ジャンルに合わせて、各楽器の色々な音を作ってみる
10回目	音を出す-② 色々なディレイやリバーブ等エフェクト音を作ってみる
11回目	音を出す-③ コンプを使ってバランスの良い音を作ってみる
12回目	アーティスト系コースを含めたライブ形式での1日の流れを確認すると共に限られた時間での音作りに挑戦する-①（事前準備）
13回目	アーティスト系コースを含めたライブ形式での1日の流れを確認すると共に限られた時間での音作りに挑戦する-②（本番）
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	<ul style="list-style-type: none"> ●できる限り、いろんなジャンルの音楽を聴く事 ●本校が協力する各研修に参加すること。 ●時間があれば自習等で復習を行い、わからない部分を明確にして授業時等で質問してもらう
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ●「情けは人の為ならず」
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：PA入門（小瀬高夫+須藤浩） / 図でわかるPAの基本（半澤公一） 参考書：スグに使えるEQレシビ（角智行） / スグに使えるディレイ&リバーブレシビ（安齋直宗） / スグに使えるコンプレシビ（早乙女正雄）	

科目名 (英)	PAテクニックⅣ PA TechnicⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	旦花 斉
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日1限目～4限目
【授業の学習内容】 基本、実習を駆使して、実務の中で経験してきた事案に対して、受講生自身が体験し、考察や問題解決に取り組んでもらう。 実習をやりながら、技術はもとより、相手への気遣い、読解力、状況の判断力、物の大切さ、仕事がいただける有り難さ、返事、挨拶の大切さを教えていき、笑顔を忘れず、良好な人間関係を築く事での成功を自ら色々な実習を通して体験し、理解してもらおう。 <講師プロフィール> 旦花 斉 ※ 実務者経験：2016年よりこれまでの株式会社STAFFから独立し、さらなる人と人の繋がりと言の創造の為に、株式会社TANGAを立ち上げる。							
【到達目標】 本校学生が、自分自身のやりたいことを見つけ、それに向かって活動していく中で授業等で身につけたスキルを生かして、進みたい道を選べるようになることと共に、社会人となった時に基本をしっかりと身につけて人生を謳歌していただく事。							

授業計画・内容	
1回目	ライブハウスにて実習（主に生ピアノについて学習する）
2回目	ワイヤレスの知識 周波数プランの作成 アンテナの調整、運用の実際、必要であれば汗対策
3回目	信号の流れ ① MicやDIの役目と種類。ミキサーまでの信号の流れ
4回目	信号の流れ ② ミキサー内の様々なBusLineを考える、また、BusLineの役目
5回目	信号の流れ ③-1 ミキサー内の信号の流れ（レベルのとり方）
6回目	信号の流れ ③-2 ミキサー内の信号の流れ（CUE、VCA、etc）
7回目	信号の流れ ④-1 ミキサーよりスピーカーへの信号の流れ（チャンネルディバイディングやスピーカープロセッサを使う）
8回目	信号の流れ ④-2 ミキサーよりスピーカーへの信号の流れ（スピーカーのインピーダンスを理解する）
9回目	信号の流れ ⑤ シリーズ配線、パラ配線、インサート配線の確認（次回授業の準備も含む）
10回目	アーティスト系コースを含めたライブ形式での1日の流れを確認すると共に限られた時間での音作りに挑戦する
11回目	信号の流れ ⑥ ノイズをなくす、若しくは、軽減する。トラブル回避
12回目	信号の流れ ⑦ 音の位相を理解する（マイク、スピーカー、ケーブルetc）（音は空気の振動）
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	<ul style="list-style-type: none"> ●できる限り、いろんなジャンルの音楽を聴く事 ●本校が協力する各研修に参加すること。 ●時間があれば自習等で復習を行い、わからない部分を明確にして授業時等で質問してもらおう
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	「情けは人の為ならず」
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：PA入門（小瀬高夫+須藤浩） / 図でわかるPAの基本（半澤公一） 参考書：スグに使えるEQレシビ（角智行） / スグに使えるディレイ&リバーブレシビ（安齋直宗） / スグに使えるコンプレシビ（早乙女正雄）	

科目名 (英)	配信技術 I Broadcast technology I	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	森脇正太郎
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜 2・3限
【授業の学習内容】 配信におけるサウンドと映像の基礎知識を身につけ、生ライブの運営のみならず配信ライブの運営にも携われる技術を身につける。							
【到達目標】 ライブイベント等の収録配信・ライブ配信を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	配信の基礎知識(オンデマンドとライブ)、OBSの導入と使用方法
2回目	簡単な配信ライブのセッティング(Roland VR-50HD mk II の使用方法①)
3回目	クロップとクロマキー合成(Roland VR-51HD mk II の使用方法②)
4回目	簡単な配信ライブの本番運営
5回目	中規模な配信ライブのシステム構築(ATEM Studio使用法、オーディオインターフェースの使用法)
6回目	配信ライブにおけるサウンドミックス① (ライブサウンドの考え方と知識、エフェクター処理)
7回目	配信ライブにおけるサウンドミックス② (マスタリングとラウドネス値)
8回目	中規模な配信ライブのシステム構築と本番運営①
9回目	中規模な配信ライブのシステム構築と本番運営②
10回目	ライブにおけるカメラワーク① (ライブ配信におけるカメラワークの考え方と知識、カメラの基本操作)
11回目	ライブにおけるカメラワーク② (フォーカス、色合い、明るさの調整、ズームとパン)
12回目	中規模な配信ライブの収録と配信①
13回目	中規模な配信ライブの収録と配信②
14回目	期末特別授業
15回目	期末特別授業
準備学習 時間外学 習	予習・復習 PC操作
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	新しいライブイベントの形である、配信ライブを皆さんでも行えるように、しっかりと知識と技術を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】 パソコン	

科目名 (英)	配信技術Ⅱ Broadcast technology Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	森脇正太郎
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜 2・3限
【授業の学習内容】 配信におけるサウンドと映像の基礎知識を身につけ、生ライブの運営のみならず配信ライブの運営にも携われる技術を身につける。							
【到達目標】 ライブイベント等の収録配信・ライブ配信を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	収録配信の基礎知識
2回目	収録配信を含むライブ配信のシステム構築
3回目	レイテンシーとリップシンク
4回目	ワイプを使った映像配信① システムの構築と設定
5回目	ワイプを使った映像配信② ゲーム実況におけるシステムの構築
6回目	ワイプを使った映像配信③ eSports大会におけるシステムの構築
7回目	収録配信における映像と音の編集①
8回目	収録配信における映像と音の編集②
9回目	さまざまなイベントを想定したライブ配信システムの構築①
10回目	さまざまなイベントを想定したライブ配信システムの構築②
11回目	さまざまなイベントを想定したライブ配信システムの構築と運営①
12回目	さまざまなイベントを想定したライブ配信システムの構築と運営②
13回目	イベント実習
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	予習・復習 PC操作
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	新しいライブイベントの形である、配信ライブを皆さんでも行えるように、しっかりと知識と技術を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】 パソコン	

科目名 (英)	SR技術 I Sound Reinforcement Technology I	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	宮下 明
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜 1～4時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>P Aエンジニアとして初歩的な機材の組み方繋ぎ方など技術知識を身につける。特に卒業してから即戦力として活躍できるようステージマンとしての知識を身につける。</p> <p><講師プロフィール></p> <p>※ 実務者経験：熊本を中心にNumberShotやAso Rock Festivalなど九州各地のイベント・フェス等にフリーのエンジニアとして参加。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>卒業してから即戦力となる知識技術を身につける。ステージ周りの仕込み等海鮮票を見て理解できるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	1年次の復習
2回目	ワイヤレスシステムの説明チャンネルプランの調べ方扱い方
3回目	アナログ卓仕込み NL 4 の説明 アナログインサートのつなぎ方
4回目	アナログ卓仕込み 電源 マルチケーブルの取り扱い
5回目	デジタル伝送の説明
6回目	RIOの設定のやり方
7回目	アナログデジタル2機仕込み
8回目	デジタル卓仕込み ヤマハ AVIDの設定の違い
9回目	ケーブル作り 修理 ハンダ作業
10回目	スピーカー分解スピーカーネットワークの説明
11回目	ネットワーク I P アドレスの説明 WIFIを使って卓の操作
12回目	デジタルミキサーを使ってPS 1 5 システムの仕込み設定 ①
13回目	デジタルミキサーを使ってPS 1 5 システムの仕込み設定 ②
14回目	チャンネルの設定 デイレイスピーカーの設定
15回目	期末試験
準備学習 時間外学習	基本的な知識になるので普段からの積み重ねになって行くので普段からの復習が大切です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 50% ■ 【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	普段からの積み重ねなのでわからないときはどんどん聞いて欲しいです
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	SR技術Ⅱ Sound Reinforcement TechnologyⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	宮下 明
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜 1～4時限
<p>【授業の学習内容】 P Aエンジニアとして初歩的な機材の組み方繋ぎ方など技術知識を身につける。特に卒業してから即戦力として活躍できるようステージマンとしての知識を身につける。</p> <p><講師プロフィール> ※ 実務者経験：熊本を中心にNumberShotやAso Rock Festivalなど九州各地のイベント・フェス等にフリーのエンジニアとして参加。</p>							
<p>【到達目標】 一般的に扱われるマイク、機材の名前を覚え初歩的なアナログ卓を単独で繋ぎこみできるようにする。学校のある機材の知識は十分理解できるようにする</p>							

授業計画・内容	
1回目	メンテナンス ケーブル作り ハンダ作業
2回目	Drマルチを使って仕込みの練習。2つのバンドの転換練習
3回目	PCを使って回線表作成
4回目	PCを使って卓のデータ作成
5回目	WLの設定 イヤモニの設定
6回目	smaartを使ってプロセッサの役割を見る
7回目	smaartを使ってチューニング 自分の声がどの帯域化を知る
8回目	ディレイスピーカー仕込み設定
9回目	チューニング ハウスとモニター
10回目	イベント回線表を自分で考え卓データを作る
11回目	protoolsを使ってモニ卓の練習
12回目	ミュージカルシステムチェック仕込みの練習
13回目	ミュージカル制作演習①
14回目	ミュージカル制作演習②
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外 学習	基本的な知識になるので普段からの積み重ねになって行くので普段からの復讐が大切です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 50% ■ 【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	普段からの積み重ねなのでわからないときはどんどん聞いて欲しいです。なかなか機材に触る時間が少ないのでなるべくみんなに触って欲しい
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ライティングアドバンス I Lighting Advance	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	麻生 圭輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜3～5限
【授業の学習内容】 1年次に学習した内容を復習し、1年次の基礎学習から応用した内容の授業を行う。また、イベントを通して実践的な練習を行ない個人のレベルアップを図ることを目的とする。 ※講師プロフィール 演劇、バレエ、ダンス等を中心に様々なジャンルの照明プランを担当し、福岡の様々なホールの管理から照明エンジニアとしても活躍中。第29回日本照明家協会賞にノミネートされ奨励賞受賞。							
【到達目標】 一人一人がイベントを通して、オペレーションできるようにする。 <具体的な目標> ①学内イベントのオペレーションを円滑に行うことができる ②カラーフィルター知識をすべて習得する ③仕込み図を正確に読みこなし、かつ仕込みのスピードを早く行える							

授業計画・内容	
1回目	仕込み図を見てケーブルの長さとお数を出してみよう
2回目	仕込み図を見てフェーダー表とパレット表を作ってみよう
3回目	仕込み図を実際考えてみよう。
4回目	チャレキヤンの共通仕込みを考えてみよう
5回目	仕込みのスピードアップ
6回目	仕込みのスピードアップ
7回目	仕込みのスピードアップ
8回目	カラーフィルターの番号を覚える
9回目	照明の人物への当たり方やフェーダー操作の練習
10回目	照明の人物への当たり方やフェーダー操作の練習
11回目	仕込みのスピードアップと仕込み図の読み取り方の勉強
12回目	仕込みのスピードアップと仕込み図の読み取り方の勉強
13回目	仕込みのスピードアップと仕込み図の読み取り方の勉強
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	
評価方法	○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます
受講生への メッセージ	もう一度振り返り、就職する前にわからないことを解決しておきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ライティングアドバンスII Lighting Advance	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	麻生 圭輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3～5限
【授業の学習内容】 イベントを通して実践的な練習を行なう。 ※講師プロフィール 演劇、バレエ、ダンス等を中心に様々なジャンルの照明プランを担当し、福岡の様々なホールの管理から照明エンジニアとしても活躍中。第29回日本照明家協会賞にノミネートされ奨励賞受賞。							
【到達目標】 一人一人がイベントを通して、より高度なオペレーションできるようにする。ステージライティングの基礎から応用についての技法を学ぶ <具体的な目標> ①卒業進級制作展の照明システムとデザインプランニングができる ②作業のスピードアップ ③卒業進級制作展の照明部門を円滑に進めることができる							

授業計画・内容	
1回目	イベントを通した振り返りでのレベルアップ
2回目	仕込みのスピードアップと仕込み図の読み取り方の勉強
3回目	仕込みのスピードアップと仕込み図の読み取り方の勉強
4回目	イベントを通して実践練習 ①ステージライティング応用技法
5回目	イベントを通して実践練習 ②ステージライティング応用技法
6回目	イベントを通して実践練習 ③ステージライティング応用技法
7回目	イベントを通して実践練習 ④ステージライティング応用技法
8回目	イベントを通して実践練習 ⑤ステージライティング応用技法
9回目	イベントを通して実践練習 ⑥ステージライティング応用技法
10回目	イベントを通して実践練習 ⑦ステージライティング応用技法
11回目	イベントを通して実践練習 ⑧ステージライティング応用技法
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	出席率と授業態度で判断します。
受講生への メッセージ	もう一度振り返り、就職する前にわからないことを解決しておきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ムービングアドバンス I Moving Lighting Advance	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	麻生圭輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜1～3限
【授業の学習内容】 ムービングライトを含めた照明機材の操作及びメンテナンス全般 ※講師プロフィール ムービングライトを駆使したオペレーターは圧巻の技術レベルを持つ。プロレスの照明演出の他、照明・舞台機器の施工も手掛ける							
【到達目標】 <具体的な目標> ①応用プログラミングとビジュライザの連携について理解できている ②機材の一括操作の設定作業ができている ③機材のメンテナンスおよびネットワークの知識が習得できている							

授業計画・内容		
1回目	応用プログラミング 1	キューの作成、実行、修正等の応用操作
2回目	応用プログラミング 2	パレットの編集
3回目	応用プログラミング 3	スナップショット機能
4回目	ビジュライザーの連携 1	ビジュライザーを用いたキューの確認、プログラミング
5回目	ビジュライザーの連携 2	ビジュライザー上の機材レイアウト
6回目	機材の一括操作の設定 1	ムービングライト、LED, 一般照明の一括操作
7回目	機材の一括操作の設定 2	アドレス、ユニバースの設定
8回目	機材の一括操作の設定 3	グループパレットの編集
9回目	機材のメンテナンス 1	ケーブル修理等のメンテナンス、テスターの使用法
10回目	機材のメンテナンス 2	基本的な工具の使い方、圧着ペンチ等
11回目	機材のメンテナンス 3	ハンダ付け作業の基本
12回目	ネットワークの構築 1	IPアドレスの管理等
13回目	ネットワークの構築 2	ワイヤレスリモート
14回目	ミュージカル演習	
15回目	ミュージカル演習	
準備学習 時間外学 習		
評価方法	○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ムービングアドバンスⅡ Moving Lighting Advance	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	麻生圭輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜1～3限
【授業の学習内容】 ムービングライトを含めた照明機材の操作及びメンテナンス全般 ※講師プロフィール ムービングライトを駆使したオペレートは圧巻の技術レベルを持つ。プロレスの照明演出の他、照明・舞台機器の施工も手掛ける							
【到達目標】 <具体的な目標> ①応用プログラミングとビジュライザの連携について理解できている ②機材の一括操作の設定作業ができている ③機材のメンテナンスおよびネットワークの知識が習得できている							

授業計画・内容	
1回目	機材のメンテナンス 1 機材の分解整備、クリーニング
2回目	機材のメンテナンス 2 ムービングライトのゴボ交換
3回目	ネットワーク構築 1 I P アドレスを用いたプロトコルの使用方法
4回目	ネットワーク構築 2 P C のアドレス管理
5回目	P C 関連の操作の基本 1 ソフトウェアのインストール等
6回目	P C 関連の操作の基本 2 フィクスチャーデータの管理
7回目	P C 関連の操作の基本 3 ショーファイルの管理
8回目	ゴボネタの自作 1 デザイン
9回目	ゴボネタの自作 2 作成
10回目	応用プログラミング 1 ページの切り替え、編集
11回目	応用プログラミング 2 フィクスチャーファイルの新規作成
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンステクニック I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	行徳 紗智子
	Dance technic I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	火1限
【授業の学習内容】							
踊りの技術上達のためには、機能的な体の使い方を理解しないといけません。まず、解剖学的知識を深めながら体の知識を学び、その機能的な体の使い方を理解してもらいます。実践では、柔軟性と筋力強化を集中して行ないながら並行してバランスやターン、ジャンプなどのテクニックを学ぶことで、技術向上を目指していきます。また機能的と言われるバレエでの身体の使い方は、他ジャンルのダンス技術も高めてくれます。例えば、バランス力・ターン・ジャンプ力・動きのキレなど。そういったものを結びつけていこうクラスを進めていきます。							
【講師プロフィール】宝塚歌劇団月組卒業							
【到達目標】							
まず第一に、基礎柔軟性・基礎筋力の大幅な向上。第二に適切な姿勢と動作の習得。最後にダンスの基礎動作にそれを応用していきテクニックの向上。具体的には、アダジオ（スロウに行う動作）でのバランス力などの習得、様々なピルエット（ターン）を行える軸などの習得。様々なジャンプを行えるための体幹などの習得。							

授業計画・内容	
1回目	『バレエ解剖学』 機能的な身体の使い方を学ぶ
2回目	『バレエスタンス』 立ち方と姿勢。どうして最初に学ばないといけないのか
3回目	ターンアウト（大腿骨の外旋）を学ぶ。ジャンプやピルエットの力の根源となる動作①
4回目	ターンアウト（大腿骨の外旋）を学ぶ。ジャンプやピルエットの力の根源となる動作②
5回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロップ、バットマン①
6回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロップ、バットマン②
7回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロップ、バットマン③
8回目	ジャンプの仕方からその強化まで学ぶ① どこ筋肉が働いている？ 上半身と下半身の連動性とは？
9回目	ジャンプの仕方からその強化まで学ぶ② どこ筋肉が働いている？ 上半身と下半身の連動性とは？
10回目	ピルエット（ターン）の仕方からその強化まで学ぶ①
11回目	ピルエット（ターン）の仕方からその強化まで学ぶ②
12回目	様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他②
13回目	様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他③
14回目	前期まとめ・試験
15回目	9月特別講義
準備学習 時間外学習	ダンスの技術向上には、体が機能的に働くよう、姿勢や動作改善がとても重要になります。まず、自分がどのように生活をしているのか意識を向けることが課題です。次に姿勢や動作改善のためには、柔軟や筋力強化をする必要があります。それぞれの欠点に合わせてストレッチと筋力強化を行い、姿勢動作改善を行うことが日々の課題です。
評価方法	テストを最終コマに行います。項目は、バランス力、柔軟性、しなやかさ、またステップ、ピルエット、ジャンプといった物を評価させていただきます。
受講生への メッセージ	バレエ基礎クラスでの最終目標は、ボディコンディショニングと合わせて『身体能力の向上』を目指します。ダンスでは、表現力の前にやはりテクニック（技術）が一番の難問になってきます。踊りにキレを出す、ルルベでのバランス力、ピルエットの安定感、しなやかな動き、ジャンプ力、怪我をしない体、これらの技術向上を目的とクラスを行います。まずは、技術が上がることの喜びを一緒に感じていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンステクニックⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	行徳 紗智子
	Dance technicⅡ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・eインターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	火1限
【授業の学習内容】							
<p>前期では、機能的な身体の使い方について、バレエを通して勉強してもらいました。バレエでの体の使い方（機能的な体の使い方）というのは、日々の練習や体づくりの繰り返しになります。なので、後期ではテクニックの練習はできる限り継続して行なってもらいます。しかし同時に表現力も身につける必要があるため、ポールドブラ（アームスの動き）と顔の動きの合わせ方なども身につけてもらいます。ステージ上では、振り付けや曲によって、力強さ・しなやかさなどの表現方法を変えないといけないため、「顔」の印象、踊り方など応用をクラスで身につけてもらいます。</p> <p>【講師プロフィール】宝塚歌劇団月組卒業</p>							
【到達目標】							
<p>ピルエット・ワルツ・アダジオ・ブティアレグロ・グランアレグロ・一連のバレエの「バ」を行ってもらいます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	プリエヤルルベによる足裏強化、そしてアンディオール（凱旋筋群）の強化①
2回目	プリエヤルルベによる足裏強化、そしてアンディオール（凱旋筋群）の強化②
3回目	ターンとジャンプ、テクニック強化① グランジャンプのコツとトレーニング方法
4回目	ターンとジャンプ、テクニック強化② シェネやピケ、様々なターンのコツとトレーニング方法
5回目	ターンとジャンプ、テクニック強化③ ジャンプとターンを組み合わせた動作
6回目	ターンとジャンプ、テクニック強化④ ジャンプとターンを組み合わせた動作
7回目	ポールドブラ（背中と腕）、顔の使い方を学ぶ 応用編）ステージ上で印象を与えるダンサーになるためには①
8回目	ポールドブラ（背中と腕）、顔の使い方を学ぶ 応用編）ステージ上で印象を与えるダンサーになるためには②
9回目	実践① 様々な「バ」ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
10回目	実践② 様々な「バ」ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
11回目	実践③ 様々な「バ」ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
12回目	後期まとめ
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	後期ではトレーニングにより筋疲労がよく起こることが考えられます、そうならないように、毎日ストレッチやメンテナンスでコンディションを整えることを行ってもらいます。
評価方法	最終コマあたりでバレエ「バ」の動作についてテストを行い、評価します。
受講生への メッセージ	前期では、ストレッチ・メンテナンス・筋カトレーニングを併合して技術向上を目指しています。これはダンスを行う以上、後期でも同じになります。ですが、ステージパフォーマンスがこれからの課題になってくるので、「踊り方」「表情」など様々な表現方法も身につけていただきたいと思います。プロになるためには技術という壁が一番高くなってくると思います。どのように超えていけるか一緒に取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンステクニックⅢ	必修	選択必修	年次	2	担当教員	行徳 紗智子
	Dance technicⅢ	選択		総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	曜日・時限		月1限	
【授業の学習内容】							
踊りの技術上達のためには、機能的な体の使い方を理解しないといけません。まず、解剖学的知識を深めながら体の知識を学び、その機能的な体の使い方を理解してもらいます。実践では、柔軟性と筋力強化を集中して行ないながら並行してバランスやターン、ジャンプなどのテクニックを学ぶことで、技術向上を目指していきます。また機能的と言われるバレエでの身体の使い方は、他ジャンルのダンス技術も高めてくれます。例えば、バランス力・ターン・ジャンプ力・動きのキレなど。そういったものを結びつけていようクラスを進めていきます。							
【講師プロフィール】宝塚歌劇団月組卒業							
【到達目標】							
まず第一に、基礎柔軟性・基礎筋力の大幅な向上。第二に適切な姿勢と動作の習得。最後にダンスの基礎動作にそれを応用していきテクニックの向上。具体的には、アダジオ（スロウに行う動作）でのバランス力などの習得、様々なピルエット（ターン）を行える軸などの習得。様々なジャンプを行えるための体幹などの習得。							

授業計画・内容	
1回目	『バレ解剖学』 機能的な身体の使い方を学ぶ
2回目	『バレエスタンス』 立ち方と姿勢。どうして最初に学ばないといけないのか
3回目	ターンアウト（大腿骨の外旋）を学ぶ。ジャンプやピルエットの力の根源となる動作①
4回目	ターンアウト（大腿骨の外旋）を学ぶ。ジャンプやピルエットの力の根源となる動作②
5回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッパ、バットマン①
6回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッパ、バットマン②
7回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッパ、バットマン③
8回目	ジャンプの仕方からその強化まで学ぶ① どの筋肉が働いている？ 上半身と下半身の連動性とは？
9回目	ジャンプの仕方からその強化まで学ぶ② どの筋肉が働いている？ 上半身と下半身の連動性とは？
10回目	ピルエット（ターン）の仕方からその強化まで学ぶ①
11回目	ピルエット（ターン）の仕方からその強化まで学ぶ②
12回目	様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他②
13回目	様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他③
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	ダンスの技術向上には、体が機能的に働くよう、姿勢や動作改善がとても重要になります。まず、自分がどのように生活をしているのか意識を向けることが課題です。次に姿勢や動作改善のためには、柔軟や筋力強化をする必要があります。それぞれの欠点に合わせてストレッチと筋力強化を行い、姿勢動作改善を行うことが日々の課題です。
評価方法	テストを最終コマに行います。項目は、バランス力、柔軟性、しなやかさ、またステップ、ピルエット、ジャンプといった物を評価させていただきます。
受講生への メッセージ	バレエ基礎クラスでの最終目標は、ボディコンディショニングと合わせて『身体能力の向上』を目指します。ダンスでは、表現力の前にやはりテクニック（技術）が一番の難問になってきます。踊りにキレを出す、ルルベでのバランス力、ピルエットの安定感、しなやかな動き、ジャンプ力、怪我をしない体、これらの技術向上を目的とシクラスを行います。まずは、技術が上がることの喜びを一緒に感じていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンステクニックⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	行徳 紗智子
	Ballet Basic	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月1限
【授業の学習内容】							
<p>前期では、機能的な身体の使い方について、バレエを通して勉強してもらいました。バレエでの体の使い方（機能的な体の使い方）というのは、日々の練習や体づくりの繰り返しになります。なので、後期ではテクニックの練習はできる限り継続して行なってもらいます。しかし同時に表現力も身につける必要があるため、ポールドブラ（アームスの動き）と顔の動きの合わせ方なども身につけてもらいます。ステージ上では、振り付けや曲によって、力強さ・しなやかさなどの表現方法を変えないといけないため、「顔」の印象、踊り方など応用をクラスで身につけてもらいます。</p> <p>【講師プロフィール】宝塚歌劇団月組卒業</p>							
【到達目標】							
<p>ピルエット・ワルツ・アダジオ・ブティアレグロ・グランアレグロ・一連のバレエの「バ」を行ってもらいます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	プリエヤルルベによる足裏強化、そしてアンディオール（凱旋筋群）の強化①
2回目	プリエヤルルベによる足裏強化、そしてアンディオール（凱旋筋群）の強化②
3回目	ターンとジャンプ、テクニック強化① グランジャンプのコツとトレーニング方法
4回目	ターンとジャンプ、テクニック強化② シェネやピケ、様々なターンのコツとトレーニング方法
5回目	ターンとジャンプ、テクニック強化③ ジャンプとターンを組み合わせた動作
6回目	ターンとジャンプ、テクニック強化④ ジャンプとターンを組み合わせた動作
7回目	ポールドブラと顔の使い方を学ぶ 応用編）ステージ上での表現や印象を与えるダンサー①
8回目	ダンサーとしての表現・表情の重要性を知ろう。ステージ上で観客は何を見ている？
9回目	実践① 様々な「バ」ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
10回目	実践② 様々な「バ」ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
11回目	実践③ 様々な「バ」ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
12回目	後期まとめ・試験
13回目	ミュージカル実習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	後期ではトレーニングにより筋疲労がよく起こることが考えられます、そうならないように、毎日ストレッチやメンテナンスでコンディションを整えることを行ってもらいます。
評価方法	最終コマあたりでバレエ「バ」の動作についてテストを行い、評価します。
受講生への メッセージ	前期では、ストレッチ・メンテナンス・筋カトレーニングを併合して技術向上を目指しています。これはダンスを行う以上、後期でも同じになります。ですが、ステージパフォーマンスがこれからの課題になってくるので、「踊り方」「表情」など様々な表現方法も身につけていただきたいと思います。プロになるためには技術という壁が一番高くなってくると思います。どのように超えていけるか一緒に取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンステクニックアドバンス I Dance Technic Advance I	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	TOSHI
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜 4 限
【授業の学習内容】 ストレッチ、体感トレーニング。アイソレーション、リズムトレーニング。 ボディーコントロール。 ストリートダンス（フリースタイル）振り付け (講師) USJ振付担当							
【到達目標】 ストリートダンスを通してダンスに必要なアイソレーションやリズムの習得。 ボディーコントロールの幅を広げ、振り覚え能力UPを目指す。							

授業計画・内容	
1回目	アイソレーションでボディーコントロールの幅を広げる リズムトレーニングでリズムキープ 振り付け
2回目	アイソレーションでボディーコントロールの幅を広げる リズムトレーニングでリズムキープ 振り付け
3回目	アイソレーションでボディーコントロールの幅を広げる リズムトレーニングでリズムキープ 振り付け
4回目	ストップ、シルエット、アクセント 振り付け
5回目	ストップ、シルエット、アクセント 振り付け
6回目	ストップ、シルエット、アクセント 振り付け
7回目	ボディーコントロールとアクセント 振り付け
8回目	ボディーコントロールとアクセント 振り付け
9回目	ボディーコントロールとアクセント 振り付け
10回目	ボディーコントロールとアクセント 振り付け
11回目	振り付けメインで動きのニュアンスを知る
12回目	振り付けメインで動きのニュアンスを知る
13回目	振り付けメインで動きのニュアンスを知る
14回目	まとめ
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ダンスを通して自分の得意分野、苦手分野、を知って、さらにレベルアップ出来るように一緒に楽しみながら頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい服装。動きやすいスニーカー。	

科目名 (英)	ダンステクニックアドバンスⅡ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	TOSHI
	Dance Technic Advance Ⅱ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科					曜日・時限	金曜日、4限
【授業の学習内容】 ストレッチ、体感トレーニング。アイソレーション、リズムトレーニング。 ボディーコントロール。 ストリートダンス（フリースタイル）振り付け (講師) USJ振付担当							
【到達目標】 ストリートダンスを通してダンスに必要なアイソレーションやリズムの習得。 ボディーコントロールの幅を広げ、振り覚え能力UPを目指す。							

授業計画・内容	
1回目	ボディーコントロールとアクセント 振り付け
2回目	ボディーコントロールとアクセント 振り付け
3回目	ボディーコントロールとアクセント 振り付け
4回目	音の取り方 ニュアンスの出し方
5回目	音の取り方 ニュアンスの出し方
6回目	音の取り方 ニュアンスの出し方
7回目	テーマに沿った踊り方、個性を生かした踊り方
8回目	テーマに沿った踊り方、個性を生かした踊り方
9回目	テーマに沿った踊り方、個性を生かした踊り方
10回目	踊り方、表現の出し方、使い分け
11回目	踊り方、表現の出し方、使い分け
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	エンターテイナーとしてのスキルアップを一緒に目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい服装、動きやすいスニーカー	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンス I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	海老沼 俊輔
	Dance Performance I	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科						
【授業の学習内容】							
ダンス&ヴォーカルではソロ+ダンサー～全員がマイクを持つなどの様々な演奏形態であったり、ポップス、EDM、ロック、ファンクなど色々なジャンルに対応出来る技術が必要です。1年生では与えられた振りと歌割りを短い時間の中で体現でき、デレクションを入れる事で「自身の表現の幅を広げる」を授業の中で実施していきます。							
【講師プロフィール】							
レコーディングデレクション、ライブデレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永 (Kis-My-Ft2) / 藤原さくら (アミューズ) / May'n (ホリプロ) など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】							
自分の表現できるテクニックの幅を広げる為の実習を行う。							

授業計画・内容	
1回目	【目標①】 [セクション1] 1st TAからCTへのブリッジリットメント① 課題曲1振り落とし 1コーラス目+基礎作り (毎回) (+yuki)
2回目	【目標①】1st TAからCTへのブリッジリットメント② 課題曲1振り落とし 2コーラス目以降+パート分け歌唱 (+yuki)
3回目	【目標①】1st TA強化トレーニング 課題曲1振り落とし 構成+パート別け (+yuki)
4回目	【目標①】2nd 母音を入れ声帯閉鎖補助でのブリッジリットメント① 課題曲1パフォーマンス (+yuki)
5回目	【目標①】2nd 母音を入れ声帯閉鎖補助でのブリッジリットメント② 課題曲1パフォーマンス固め
6回目	【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジリットメント① 課題曲1パフォーマンス確認
7回目	【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジリットメント② 課題曲1パフォーマンス最終チェック
8回目	【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジリットメント③ 課題曲2振り落とし 1コーラス目+メロ確 (+yuki)
9回目	【目標①】 [セクション2] 1st 軟口蓋のストレッチングによる共鳴空間拡大① 課題曲2振り落とし 2コーラス目以降+パート分け歌唱 (+yuki)
10回目	【目標②】1st 軟口蓋のストレッチングによる共鳴空間拡大② 課題曲2振り落とし 構成+パート別け (+yuki)
11回目	【目標②】2nd 胸骨甲状筋ストレッチング① 課題曲2パフォーマンス
12回目	【目標②】2nd 胸骨甲状筋ストレッチング② 課題曲1と2パフォーマンス
13回目	前期まとめ
14回目	試験
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	(目標①) 1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。 (目標②) 全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
●iPad、メモ用紙、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅡ Dance Performance Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	海老沼 俊輔
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月2限
【授業の学習内容】 自分で考え、体現していくための授業を実施しています。オリジナル曲を用いて振りや構成、歌割など自分たちで作りに上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしていきます。 【講師プロフィール】 レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永 (Kis-My-Ft2) / 藤原さくら (アミューズ) / May'n (ホリプロ) など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】 歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。							

授業計画・内容	
1回目	【セクション2】3rd チェスト 課題曲③渡し、アレンジや歌詞による曲の解釈 メロ確認
2回目	3rd チェスト 課題曲③パート分け歌唱、自分達で1コーラス分振り作り
3回目	4th プリジトリートメント 課題曲③パート分け、構成作り 2コーラス分振り作り
4回目	4th プリジトリートメント 課題曲③構成作り 2コーラス分振り作り
5回目	【セクション3】1st TAのバンブアップ 課題曲③パフォーマンス固め
6回目	1st TAのバンブアップ 課題曲③パフォーマンス確認
7回目	2st TA→CTのバンブアップ 課題曲④渡し、アレンジや歌詞による曲の解釈 メロ確認
8回目	2st TA→CTのバンブアップ 課題曲④パート分け歌唱、自分達で1コーラス分振り作り (2グループ)
9回目	3rd mixのバンブアップ 課題曲④パート分け、自分達で②2コーラス分振り作り
10回目	3rd mixのバンブアップ 課題曲④構成作り 2コーラス分振り作り
11回目	4th ヘッドのバンブアップ 課題曲④パフォーマンス固め
12回目	4th ヘッドのバンブアップ 課題曲④パフォーマンス確認
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	(目標①) 全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。 (目標②) 見解を広げるために普段から自分の好きな音楽以外も聴いたり歌ったりする必要があります。 (目標③) 1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ●iPad、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅢ Dance PerformanceⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	海老沼 俊輔
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木2限

【授業の学習内容】

2年生では与えられた振りや歌割りを表現するのではなく、歌詞や楽器のサウンド、アレンジなどから意図を汲み取り「どんな表現を求められているのかを自分で考え、体現していく」ための授業を実施していきます。オリジナル曲を用いて振りや構成、歌割など自分たちで作りにていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしていきます。

【講師プロフィール】

レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、千賀健永 (Kis-MY-Ft2) / 藤原さくら (アミューズ) / May'n (ホリプロ) など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。

【到達目標】

歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。

〈具体的な目的〉

目標①歌詞やアレンジなどからどう表現するべきか曲の意図を汲み取る力をつける

目標②適正な音域などによるパート割りをすることにより表現効果を増すテクニックを身につける

目標③課題曲に自分で振りを作り、構成をつける力を身につける事ができるようになる

授業計画・内容

1回目	(目標①②) オリジナル曲渡し、アレンジや歌詞による曲の解釈 パート割りの為の歌唱、1コーラス分振り作り
2回目	(目標②③) 1コーラス分振り作り
3回目	(目標②③) 2コーラス分振り作り、構成作り
4回目	(目標①②③) 2コーラス分振り作り、構成作り
5回目	(目標①②③) パフォーマンス確認
6回目	(目標①②③) パフォーマンス最終確認
7回目	(目標①②) 課題曲②渡し、自分たちでのパート割、1コーラス分振り作り (男女グループ)
8回目	(目標②③) 1コーラス分振り作り
9回目	(目標②③) 2コーラス分振り作り、構成作り
10回目	(目標①②③) 2コーラス以降振り作り、構成作り
11回目	(目標①②③) パフォーマンス確認
12回目	(目標①②③) パフォーマンス最終確認
13回目	前期まとめ
14回目	試験
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	(目標①) 1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。 (目標②) 全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
●iPad、メモ用紙、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	海老沼 俊輔
	Dance PerformanceⅣ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科						
【授業の学習内容】 2年生では与えられた振りや歌割りを表現するのではなく、歌詞や楽器のサウンド、アレンジなどから意図を汲み取り「どんな表現を求められているのかを自分で考え、体現していく」ための授業を実施していきます。オリジナル曲を用いて振りや構成、歌割など自分たちで作りに上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしていきます。 【講師プロフィール】 レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永 (Kis-My-Ft2) / 藤原さくら (アミューズ) / May'n (ホリプロ) など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】 歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。							

授業計画・内容	
1回目	(目標①②) 課題曲②渡し、自分たちでのパート割、1コーラス分振り作り (ソロ)
2回目	(目標②③) 1コーラス分振り作り
3回目	(目標②③) 2コーラス分振り作り、構成作り
4回目	(目標①②③) 2コーラス以降振り作り、構成作り
5回目	(目標①②③) パフォーマンス確認
6回目	(目標①②③) パフォーマンス最終確認
7回目	(目標①②) 課題曲②渡し、自分たちでのパート割、1コーラス分振り作り (ソロ)
8回目	(目標②③) 1コーラス分振り作り
9回目	(目標②③) 2コーラス分振り作り、構成作り
10回目	(目標①②③) 2コーラス以降振り作り、構成作り
11回目	(目標①②③) パフォーマンス確認
12回目	(目標①②③) パフォーマンス最終確認
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	(目標①) パートを割る事による表現効果の理解が不可欠ですのでヴォーカルが2人以上いるグループを聴く予習が必要です。 (目標②) 曲のジャンルやコンセプトによるキャッチーなキメ表現が必要になるので手振りなどの予習が必要です。 (目標③) 3度、5度などの理解が必要ですのでメロディーに対してどうハモっているのか予習が必要です。
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ●iPad、メモ用紙、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスV Dance Performance V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	Katsuki (甲木貴之)
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜3限
【授業の学習内容】 ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング、ルーティーンワーク、自主制作、ソロパフォーマンス (講師) 福岡を拠点に、県内外でのshow、judge、lesson、バックアップダンサー、PV出演、振り付けなどを行い活動中。							
【到達目標】 ダンスの知識や技術を使い自主制作やソロパフォーマンスが出来るようになる。また、自己プロデュースをする事が大事なので自分のダンスでの長所を見つける事が出来る様になる。							

授業計画・内容	
1回目	アイソレーション、リズムトレーニングベーシック
2回目	アップ、ダウンのリズムを軸にアイソレの確認
3回目	前後のリズム、リズムバリエーション
4回目	ブレイクダウンを使った軸の意識を確認
5回目	重心移動を意識したステップやムーブ
6回目	ハウス基礎
7回目	ハウスのリズムバリエーション
8回目	ヒップホップから派生したステップ
9回目	様々なステップのリズムバリエーション
10回目	フロアムーブのベーシック
11回目	フロアムーブの応用
12回目	ルーティーン自主作成
13回目	ルーティーン+ソロ
14回目	前期まとめ
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	ヒップホップやハウスダンスのニュースクール中心のレッスンですが、オールドスクールの要素は必須な事が多くあるので柔軟に考えて取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスVI Dance PerformanceVI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	Katsuki (甲木貴之)
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜3限
【授業の学習内容】 ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング、ルーティーンワーク、自主制作 (講師) 福岡を拠点に、県内外でのshow、judge、lesson、バックアップダンサー、PV出演、振り付けなどを行い活動中。							
【到達目標】 授業で得た知識や技術を使って、自身でルーティーン制作やソロパフォーマンスが出来るようになる							

授業計画・内容	
1回目	ヒップホップ、オールドスクール要素を多めに
2回目	サイドワーク、バックスライド
3回目	ボディウエーブ、ハンドウエーブ
4回目	ルーティーン+自主作成
5回目	ハウスダンスベーシック
6回目	ハウスダンスのステップ応用
7回目	ハウスダンス ターンを中心に様々なステップ
8回目	ルーティーン+自主作成
9回目	ヒップホップルーティーン
10回目	ハウスルーティーン
11回目	ルーティーン+ソロパフォーマンス
12回目	一年間のまとめ
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	<p>普通の授業で得た知識や技術をしっかりと身につけて、将来自分自信がプレイヤー、教える立場になった時に役に立てるようにしよう。流行りに敏感な業界ですが、基礎の部分は大事なので自分の土台作りをしっかりとしよう。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイション I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	te2
	Dance Creation I	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】 案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションよりの動き方を指導（プロデュース、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。 （講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	舞台基礎知識
2回目	照明基礎知識
3回目	照明応用知識
4回目	音響知識と編集力
5回目	テーマをランダムに決めた振付
6回目	セクション分けをしたもの作り
7回目	プレゼン、直し
8回目	直しが入った後のプレゼン
9回目	上級テーマで制作
10回目	制作期間とスケジュール管理
11回目	発表
12回目	セッション
13回目	コンテスト
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	もの作りはきついしんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅡ Dance Creation II	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	te2
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科・パフォーマンスアート科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】							
卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたものの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術 を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、 様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州 を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】							
スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅢ Dance CreationⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	te2
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】							
<p>案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションよりの動き方を指導（プロデュース、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。</p> <p>（講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べて300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。</p>							
【到達目標】							
様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	1年次振り返り、年間目標設定
2回目	制作テーマ決め
3回目	テーマ議論
4回目	作成開始
5回目	作成、スケジュール管理
6回目	作成、リハーサル場所の確保
7回目	作成
8回目	作成
9回目	内覧会、直し
10回目	直し、衣装
11回目	小道具やではけの確認
12回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
13回目	ブラッシュアップ
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	もの作りはきついしんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅣ Dance CreationⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	te2
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデューサー科・パフォーマンスアート科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】							
卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたものの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術 を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、 様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州 を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】							
スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションV Dance Creation V	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	te2
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】 案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションよっての動き方を指導（プロデューサー、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。 （講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べて300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	2年次振り返り、年間目標設定
2回目	制作テーマ決め
3回目	テーマ議論
4回目	作成開始
5回目	作成、スケジュール管理
6回目	作成、リハーサル場所の確保
7回目	作成
8回目	作成
9回目	内覧会、直し
10回目	直し、衣装
11回目	小道具やではけの確認
12回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
13回目	ブラッシュアップ
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	もの作りはきついしんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションVI Dance CreationVI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	te2
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】							
卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたものの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】							
スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ユニットパフォーマンス I Unit Performance)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	海老沼俊輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜 5 限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>今、声優は表舞台に立ち、歌って踊れるスキルも求められています。ワンマンライブが行える体力とスキルをつけ、自分なりの表現がパフォーマンスできるようになることを目指し、現場で対応できる心構えを身につけていく為の実践を行います。</p> <p>※実務者経験：大手レコード会社やプロダクションで長年、ヴォーカル指導者として新人育成担当として携わる。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>現場で対応できるスキルと心構えを身につけ、自分の表現できる幅を広げる為の実習を行います。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	発声・声帯について（ヴォーカリストと体の筋肉）
3回目	正しい呼吸について（ヴォーカリストと体の筋肉）
4回目	フィジカルトレーニング（ライブができる体づくり）①
5回目	フィジカルトレーニング（ライブができる体づくり）②
6回目	フィジカルトレーニング（ライブができる体づくり）③
7回目	メンテナンスについて（栄養とトレーニング）①
8回目	メンテナンスについて（筋肉とマッサージ）②
9回目	メンテナンスについて（ストレッチ）③
10回目	ヴォーカル&ダンス基礎（発声練習と声の使い方）①
11回目	ヴォーカル&ダンス基礎（ダンスのステップとリズム感）②
12回目	ヴォーカル&ダンス基礎（歌唱技術）③
13回目	ヴォーカル&ダンス基礎（音楽理論）④
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	演者側としてメディアを見て多くのアーティストを研究。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	この授業では、メディアに輩出できるアーティスト育成を目指してレッスンをを行います。 上手いだけでなく「心、技、体の成長」を目的として、みんなから愛され、応援される人になってほしいと思っています。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>筆記用具、iPad、授業は運動できる服装。</p>	

科目名 (英)	ユニットパフォーマンスⅡ Unit Performance	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	海老沼俊輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜 5 限
【授業の学習内容】 今、声優は表舞台に立ち、歌って踊れるスキルも求められています。ワンマンライブが行える体力とスキルをつけ、自分なりの表現がパフォーマンスできるようになることを目指し、現場で対応できる心構えを身につけていく為の実践を行います。 ※実務者経験：大手レコード会社やプロダクションで長年、ヴォーカル指導者として新人育成担当として携わる。							
【到達目標】 現場で対応できるスキルと心構えを身につけ、自分の表現できる幅を広げる為の実習を行います。							

授業計画・内容	
1回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス、メロディ確認）①
2回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス、メロディ確認）②
3回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス、歌唱チェック、パート割）①
4回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス、歌唱チェック、パート割）②
5回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス、構成、ステージマナー）①
6回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス、構成、ステージマナー）②
7回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス）
8回目	課題フィードバック（課題に対するフィードバック評価）
9回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅱパフォーマンス、メロディ確認）①
10回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅱパフォーマンス、歌唱チェック、パート割）①
11回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅱパフォーマンス、歌唱チェック、パート割）②
12回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅱパフォーマンス、構成）①
13回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅱパフォーマンス、構成）②
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	演者側としてメディアを見て多くのアーティストを研究。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	この授業では、メディアに輩出できるアーティスト育成を目指してレッスンをを行います。 しかし上手いだけではなく「心、技、体の成長」を目的として、みんなから愛され、応援される人になってほしいと思っています。
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具、iPad、授業は運動できる服装。	

科目名 (英)	ユニットパフォーマンスⅢ Unit Performance)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	海老沼俊輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜 5 限
【授業の学習内容】 今、声優は表舞台に立ち、歌って踊れるスキルも求められています。ワンマンライブが行える体力とスキルをつけ、自分なりの表現がパフォーマンスできるようになることを目指し、現場で対応できる心構えを身につけていく為の実践を行います。 ※実務者経験：大手レコード会社やプロダクションで長年、ヴォーカル指導者として新人育成担当として携わる。							
【到達目標】 現場で対応できるスキルと心構えを身につけ、自分の表現できる幅を広げる為の実習を行います。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅲパフォーマンス、メロディ確認）①
3回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅲパフォーマンス、メロディ確認）②
4回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅲパフォーマンス、歌唱チェック、パート割）①
5回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅲパフォーマンス、歌唱チェック、パート割）②
6回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅲパフォーマンス、構成、ステージマナー）①
7回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅲパフォーマンス、構成、ステージマナー）②
8回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅲパフォーマンス）
9回目	課題フィードバック（課題に対するフィードバック評価）
10回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅳパフォーマンス、メロディ確認）①
11回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅳパフォーマンス、歌唱チェック、パート割）①
12回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅳパフォーマンス、歌唱チェック、パート割）②
13回目	ヴォーカル&ダンス基礎（課題曲Ⅳパフォーマンス、構成）①
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	演者側としてメディアを見て多くのアーティストを研究。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	この授業では、メディアに輩出できるアーティスト育成を目指してレッスンをを行います。 しかし上手いだけではなく「心、技、体の成長」を目的として、みんなから愛され、応援される人になってほしいと思っています。
【使用教科書・教材・参考書】	
筆記用具、iPad、授業は運動できる服装。	

科目名 (英)	ユニットパフォーマンスⅣ Unit Performance)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	海老沼俊輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜 5 限
【授業の学習内容】 今、声優は表舞台上に立ち、歌って踊れるスキルも求められています。ワンマンライブが行える体力とスキルをつけ、自分なりの表現がパフォーマンスできるようになることを目指し、現場で対応できる心構えを身につけていく為の実践を行います。 ※実務者経験：大手レコード会社やプロダクションで長年、ヴォーカル指導者として新人育成担当として携わる。							
【到達目標】 現場で対応できるスキルと心構えを身につけ、自分の表現できる幅を広げる為の実習を行います。							

授業計画・内容	
1回目	ユニットパフォーマンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス、メロディ確認）①
2回目	ユニットパフォーマンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス、メロディ確認）②
3回目	ユニットパフォーマンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス、歌唱チェック、パート割）①
4回目	ユニットパフォーマンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス、歌唱チェック、パート割）②
5回目	ユニットパフォーマンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス、構成）①
6回目	ユニットパフォーマンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス、構成）②
7回目	ユニットパフォーマンス基礎（課題曲Ⅰパフォーマンス）
8回目	課題フィードバック（課題に対するフィードバック評価）
9回目	ユニットパフォーマンス基礎（課題曲Ⅱパフォーマンス、メロディ確認）①
10回目	ユニットパフォーマンス基礎（課題曲Ⅱパフォーマンス、歌唱チェック、パート割）①
11回目	ユニットパフォーマンス基礎（課題曲Ⅱパフォーマンス、歌唱チェック、パート割）②
12回目	ユニットパフォーマンス基礎（課題曲Ⅱパフォーマンス、構成）①
13回目	ユニットパフォーマンス基礎（課題曲Ⅱパフォーマンス、構成）②
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	演者側としてメディアを見て多くのアーティストを研究。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	この授業では、メディアに輩出できるアーティスト育成を目指してレッスンをを行います。 しかし上手いだけではなく「心、技、体の成長」を目的として、みんなから愛され、応援される人になってほしいと思っています。
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具、iPad、授業は運動できる服装。	

科目名 (英)	ユニットパフォーマンスV Unit Performance)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	海老沼俊輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜 5 限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>今、声優は表舞台に立ち、歌って踊れるスキルも求められています。ワンマンライブが行える体力とスキルをつけ、自分なりの表現がパフォーマンスできるようになることを目指し、現場で対応できる心構えを身につけていく為の実践を行います。</p> <p>※実務者経験：大手レコード会社やプロダクションで長年、ヴォーカル指導者として新人育成担当として携わる。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>現場で対応できるスキルと心構えを身につけ、自分の表現できる幅を広げる為の実習を行います。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	ユニットパフォーマンス制作（コンセプトの考え方、オリジナル曲制作）①
3回目	ユニットパフォーマンス制作（コンセプトの考え方、オリジナル曲制作）②
4回目	ユニットパフォーマンス制作（ダンスパフォーマンス、構成の作り方、アクション）①
5回目	ユニットパフォーマンス制作（ダンスパフォーマンス、構成の作り方、アクション）②
6回目	ユニットパフォーマンス制作（歌唱チェック）①
7回目	ユニットパフォーマンス制作（歌唱チェック）②
8回目	ユニットパフォーマンス制作（映像収録テクニカルリハーサル）①
9回目	ユニットパフォーマンス制作（映像収録）②
10回目	ユニットパフォーマンス制作（映像収録、編集、SNSプロモーション）③
11回目	課題フィードバック（課題に対するフィードバック評価）
12回目	オーディション対策①
13回目	オーディション対策②
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	演者側としてメディアを見て多くのアーティストを研究。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	この授業では、メディアに輩出できるアーティスト育成を目指してレッスンをを行います。 しかし上手いだけではなく「心、技、体の成長」を目的として、みんなから愛され、応援される人になってほしいと思っています。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>筆記用具、iPad、授業は運動できる服装。</p>	

科目名 (英)	ユニットパフォーマンスVI Unit Performance)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	海老沼俊輔
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜 5 限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>今、声優は表舞台に立ち、歌って踊れるスキルも求められています。ワンマンライブが行える体力とスキルをつけ、自分なりの表現がパフォーマンスできるようになることを目指し、現場で対応できる心構えを身につけていく為の実践を行います。</p> <p>※実務者経験：大手レコード会社やプロダクションで長年、ヴォーカル指導者として新人育成担当として携わる。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>現場で対応できるスキルと心構えを身につけ、自分の表現できる幅を広げる為の実習を行います。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ユニットパフォーマンス制作（企画、オリジナル曲制作、振付、構成）①
2回目	ユニットパフォーマンス制作（企画、オリジナル曲制作、振付、構成）②
3回目	ユニットパフォーマンス制作（歌唱チェック、パート分け）①
4回目	ユニットパフォーマンス制作（歌唱チェック、パート分け）②
5回目	ユニットパフォーマンス制作（ステージング基礎、テクニカルリハーサル）
6回目	ユニットパフォーマンス制作（パフォーマンス発表）
7回目	課題フィードバック（課題に対するフィードバック評価）
8回目	ユニットパフォーマンス制作（企画、オリジナル曲制作、振付、構成）①
9回目	ユニットパフォーマンス制作（企画、オリジナル曲制作、振付、構成）②
10回目	ユニットパフォーマンス制作（歌唱チェック、パート分け）①
11回目	ユニットパフォーマンス制作（歌唱チェック、パート分け）②
12回目	ユニットパフォーマンス制作（ステージング、テクニカルリハーサル）
13回目	ユニットパフォーマンス制作（テクニカルリハーサル、ゲネプロ、SNSプロモーション）
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	演者側としてメディアを見て多くのアーティストを研究してください。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	この授業では、メディアに輩出できるアーティスト育成を目指してレッスンをを行います。 しかし上手いだけではなく「心、技、体の成長」を目的として、みんなから愛され、応援される人になってほしいと思っています。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>筆記用具、iPad、授業は運動できる服装。</p>	

科目名 (英)	ナレーション I Narration	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高橋早紀
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜 2 限
【授業の学習内容】							
<p>声を使う仕事として腹式呼吸、母音、子音、鼻濁音、無声音のしくみを正しく理解し、ナレーターとして必要なアクセント、イントネーション、ナレーションにおける文章のリズムやトーンを習得し、表現力もトレーニングしながら磨いていきます。※実務者経験：NHKキャスター、民放局アナを経て、現在フリーアナウンサーとしてテレビ・ラジオに出演中、アナウンサー歴はもうすぐ 20 年。声優・アクターのオーディションに必須となる「ナレーション・発声滑舌」の基礎をきちんと磨きながら、オーディションに向けた、実践を多くこなすことで、本番に強くなるメンタルも鍛えます。</p>							
【到達目標】							
<p>声優として通用する発声・滑舌ができるようになる。その上で、話す力、伝える力を身に付け、発信できるようになる。声を使う仕事、ナレーション、CM、司会、リポーターなど、幅広く対応し、メディア・コンテンツ制作ができる能力を身につける。</p> <p><具体的な目標></p> <p>目標① 腹式呼吸、正しい発声の仕方、アクセント記号、鼻濁音、無声音を習得する。</p> <p>目標② 正しいアクセント、イントネーションを理解する。</p> <p>目標③ ナレーションにおける文章のリズム、トーンの使い方を習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	腹式呼吸、正しい発声の仕方、アクセント記号、鼻濁音、無声音を学ぶ
3回目	クリアな話し方のためのトレーニング①
4回目	クリアな話し方のためのトレーニング②
5回目	アクセントとイントネーション（アクセントの役割と重要性）①
6回目	アクセントとイントネーション（アクセントの役割と重要性）②
7回目	アクセントとイントネーション（文章のリズムとイントネーション）①
8回目	アクセントとイントネーション（文章のリズムとイントネーション）②
9回目	ナレーションの概要と種類（ナレーションにおける声の特徴と表現力のトレーニング）①
10回目	ナレーションの概要と種類（ナレーションにおける声の特徴と表現力のトレーニング）②
11回目	ナレーションにおける文章のリズム、トーンの使い方と音色変化のトレーニング①
12回目	ナレーションにおける文章のリズム、トーンの使い方と音色変化のトレーニング②
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習（ホールでの影ナレ対応）
準備学習 時間外 学習	発声や滑舌、呼吸法などは1日休むと、取り返すのに3日かかるとプロの世界では言われています。日頃から、自分で練習する習慣をつけましょう。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	いつオーディションが来ても焦らないで済むよう、準備の大切さをしっかりと伝えていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
(株) 滋慶出版 発声滑舌アクセントトレーニング教本 アクセント辞典	

科目名 (英)	ナレーションⅡ Narration	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高橋早紀
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜 2限
【授業の学習内容】							
<p>声を使う仕事として腹式呼吸、母音、子音、鼻濁音、無声音のしくみを正しく理解し、ナレーターとして必要なアクセント、イントネーション、ナレーションにおける文章のリズムやトーンを習得し、表現力もトレーニングしながら磨いていきます。ドキュメンタリー、広告などのナレーション課題を学びます。※実務者経験:NHKキャスター、民放局アナを経て、現在フリーアナウンサーとしてテレビ・ラジオに出演中、アナウンサー歴はもうすぐ20年。声優・アクターのオーディションに必須となる「ナレーション・発声滑舌」の基礎をきちんと磨きながら、オーディションに向けた、実践を多くこなすことで、本番に強くなるメンタルも鍛えます。</p>							
【到達目標】							
<p>声優として通用する発声・滑舌ができるようになる。その上で、話す力、伝える力を身に付け、発信できるようになる。声を使う仕事、ナレーション、CM、司会、リポーターなど、幅広く対応し、メディア・コンテンツ制作ができる能力を身につける。</p> <p><具体的な目標></p> <p>目標① 腹式呼吸、正しい発声の仕方、アクセント記号、鼻濁音、無声音を習得する。</p> <p>目標② 正しいアクセント、イントネーションを理解する。</p> <p>目標③ ナレーションにおける文章のリズム、トーンの使い方を習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ナレーションテキストの解釈と表現（テキストの意味と感情の理解）①
2回目	ナレーションテキストの解釈と表現（テキストの意味と感情の理解）②
3回目	ナレーションテキストの解釈と表現（テキストの音読と解釈の練習）①
4回目	ナレーションテキストの解釈と表現（テキストの音読と解釈の練習）②
5回目	ナレーションリズム（ペース、テンポ、スピードコントロール）①
6回目	ナレーションリズム（ペース、テンポ、スピードコントロール）②
7回目	ナレーションスタイル（語り口の個性とジャンルの特徴をつかむ）①
8回目	ナレーションスタイル（語り口の個性とジャンルの特徴をつかむ）②
9回目	ナレーション課題（ニュース、ドキュメンタリー、広告）①
10回目	ナレーション課題（ニュース、ドキュメンタリー、広告）②
11回目	ナレーション課題（ニュース、ドキュメンタリー、広告）③
12回目	ナレーション課題（ニュース、ドキュメンタリー、広告）④
13回目	課題評価（パフォーマンスに対するフィードバック評価）
14回目	We are FSN 卒業進級制作 リハーサル（MC演習）
15回目	We are FSN 卒業進級制作 本番（MC演習）
準備学習 時間外 学習	発声や滑舌、呼吸法などは1日休むと、取り返すのに3日かかるとプロの世界では言われています。日頃から、自分で練習する習慣をつけましょう。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	いつオーディションが来ても焦らないで済むよう、準備の大切さをしっかりと伝えていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
(株) 滋慶出版 発声滑舌アクセントトレーニング教本 アクセント辞典	

科目名 (英)	ナレーションⅢ Narration	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高橋早紀
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜 2限
【授業の学習内容】							
<p>声を使う仕事として腹式呼吸、母音、子音、鼻濁音、無声音のしくみを正しく理解し、ナレーターとして必要なアクセント、イントネーション、ナレーションにおける文章のリズムやトーンを習得し、表現力もトレーニングしながら磨いていきます。イベント関連、館内放送、インフォマーシャルなどのナレーション課題を学びます。※実務者経験：NHKキャスター、民放局アナを経て、現在フリーアナウンサーとしてテレビ・ラジオに出演中、アナウンサー歴はもうすぐ20年。声優・アクターのオーディションに必須となる「ナレーション・発声滑舌」の基礎をきちんと磨きながら、オーディションに向けた、実践を多くこなすことで、本番に強くなるメンタルも鍛えます。</p>							
【到達目標】							
<p>声優として通用する発声・滑舌ができるようになる。その上で、話す力、伝える力を身に付け、発信できるようになる。声を使う仕事、ナレーション、CM、司会、リポーターなど、幅広く対応し、メディア・コンテンツ制作ができる能力を身につける。</p> <p><具体的な目標></p> <p>目標① 腹式呼吸、正しい発声の仕方、アクセント記号、鼻濁音、無声音を習得する。</p> <p>目標② 正しいアクセント、イントネーションを理解する。</p> <p>目標③ ナレーションにおける文章のリズム、トーンの使い方を習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	ナレーション基礎課題（短編小説、詩、舞台）①
3回目	ナレーション基礎課題（短編小説、詩、舞台）②
4回目	ナレーション基礎課題（短編小説、詩、舞台）③
5回目	課題評価（パフォーマンスに対するフィードバック評価）
6回目	ナレーション演習課題（言葉の明瞭さと聴取しやすさの向上練習）①
7回目	ナレーション演習課題（言葉の明瞭さと聴取しやすさの向上練習）②
8回目	ナレーション演習課題（言葉の明瞭さと聴取しやすさの向上練習）②
9回目	ナレーション基礎課題（公共施設、イベント関連、館内放送、インフォマーシャル）①
10回目	ナレーション基礎課題（公共施設、イベント関連、館内放送、インフォマーシャル）②
11回目	ナレーション基礎課題（公共施設、イベント関連、館内放送、インフォマーシャル）③
12回目	課題評価（パフォーマンスに対するフィードバック評価）
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習（ホールでの影ナレ対応）
準備学習 時間外 学習	発声や滑舌、呼吸法などは1日休むと、取り返すのに3日かかるとプロの世界では言われています。日頃から、自分で練習する習慣をつけましょう。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	いつオーディションが来ても焦らないで済むよう、準備の大切さをしっかりと伝えていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
(株) 滋慶出版 発声滑舌アクセントトレーニング教本 アクセント辞典	

科目名 (英)	ナレーションⅣ Narration	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高橋早紀
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜 2限
【授業の学習内容】							
<p>声を使う仕事として腹式呼吸、母音、子音、鼻濁音、無声音のしくみを正しく理解し、ナレーターとして必要なアクセント、イントネーション、ナレーションにおける文章のリズムやトーンを習得し、表現力もトレーニングしながら磨いていきます。ナレーション応用課題を用いてレベルアップした内容を学びます。※実務者経験:NHKキャスター、民放局アナを経て、現在フリーアナウンサーとしてテレビ・ラジオに出演中、アナウンサー歴はもうすぐ20年。声優・アクターのオーディションに必須となる「ナレーション・発声滑舌」の基礎をきちんと磨きながら、オーディションに向けた、実践を多くこなすことで、本番に強くなるメンタルも鍛えます。</p>							
【到達目標】							
<p>声優として通用する発声・滑舌ができるようになる。その上で、話す力、伝える力を身に付け、発信できるようになる。声を使う仕事、ナレーション、CM、司会、リポーターなど、幅広く対応し、メディア・コンテンツ制作ができる能力を身につける。</p> <p><具体的な目標></p> <p>目標① 腹式呼吸、正しい発声の仕方、アクセント記号、鼻濁音、無声音を習得する。</p> <p>目標② 正しいアクセント、イントネーションを理解する。</p> <p>目標③ ナレーションにおける文章のリズム、トーンの使い方を習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ナレーション技術向上のための応用実践トレーニング①
2回目	ナレーションテキストの即興朗読①
3回目	ナレーションテキストの即興朗読②
4回目	課題評価 (パフォーマンスに対するフィードバック評価)
5回目	ナレーション技術向上のための応用実践トレーニング②
6回目	ナレーション応用課題 (メディア、短編小説、詩、舞台) ①
7回目	ナレーション応用課題 (メディア、短編小説、詩、舞台) ②
8回目	ナレーション応用課題 (メディア、短編小説、詩、舞台) ③
9回目	課題評価 (パフォーマンスに対するフィードバック評価)
10回目	ナレーション応用課題 (メディア、公共施設、イベント関連、館内放送、インフォーマーシャル) ①
11回目	ナレーション応用課題 (メディア、公共施設、イベント関連、館内放送、インフォーマーシャル) ②
12回目	ナレーション応用課題 (メディア、公共施設、イベント関連、館内放送、インフォーマーシャル) ③
13回目	課題評価 (パフォーマンスに対するフィードバック評価)
14回目	We are FSN 卒業進級制作 リハーサル (MC演習)
15回目	We are FSN 卒業進級制作 本番 (MC演習)
準備学習 時間外 学習	発声や滑舌、呼吸法などは1日休むと、取り返すのに3日かかるとプロの世界では言われています。日頃から、自分で練習する習慣をつけましょう。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	いつオーディションが来ても焦らないで済むよう、準備の大切さをしっかりと伝えていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
(株) 滋慶出版 発声滑舌アクセントトレーニング教本 アクセント辞典	

科目名 (英)	ナレーションV Narration	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高橋早紀
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜 2限
【授業の学習内容】							
<p>声を使う仕事として腹式呼吸、母音、子音、鼻濁音、無声音のしくみを正しく理解し、ナレーターとして必要なアクセント、イントネーション、ナレーションにおける文章のリズムやトーンを習得し、表現力もトレーニングしながら磨いていきます。インタビューの基本、ナレーション原稿の作成、映像制作について学びます。※実務者経験:NHKキャスター、民放局アナを経て、現在フリーアナウンサーとしてテレビ・ラジオに出演中、アナウンサー歴はもうすぐ20年。声優・アクターのオーディションに必須となる「ナレーション・発声滑舌」の基礎をきちんと磨きながら、オーディションに向けた、実践を多くこなすことで、本番に強くなるメンタルも鍛えます。</p>							
【到達目標】							
<p>声優として通用する発声・滑舌ができるようになる。その上で、話す力、伝える力を身に付け、発信できるようになる。声を使う仕事、ナレーション、CM、司会、リポーターなど、幅広く対応し、メディア・コンテンツ制作ができる能力を身につける。</p> <p><具体的な目標></p> <p>目標① 腹式呼吸、正しい発声の仕方、アクセント記号、鼻濁音、無声音を習得する。</p> <p>目標② 正しいアクセント、イントネーションを理解する。</p> <p>目標③ ナレーションにおける文章のリズム、トーンの使い方を習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	ナレーションとメディアコミュニケーション（インタビュー取材の基本）①
3回目	ナレーションとメディアコミュニケーション（インタビュー取材の基本）②
4回目	ナレーションと映像の相互作用と演出方法①
5回目	ナレーションと映像の相互作用と演出方法②
6回目	ナレーション原稿作成演習（ニュース、CM、インフォメーション、曲紹介他）①
7回目	ナレーション原稿作成演習（ニュース、CM、インフォメーション、曲紹介他）②
8回目	メディア制作におけるBGMの選定と編集の基礎知識
9回目	ナレーションとBGMの調和とバランスの基礎知識①
10回目	ナレーションとBGMの調和とバランスの基礎知識②
11回目	ナレーション付き映像作品の制作と編集の基礎①
12回目	ナレーション付き映像作品の制作と編集の基礎②
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習（ホールでの影ナレ対応）
準備学習 時間外 学習	発声や滑舌、呼吸法などは1日休むと、取り返すのに3日かかるとプロの世界では言われています。日頃から、自分で練習する習慣をつけましょう。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	いつオーディションが来ても焦らないで済むよう、準備の大切さをしっかりと伝えていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
(株) 滋慶出版 発声滑舌アクセントトレーニング教本 アクセント辞典	

科目名 (英)	ナレーションVI Narration	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高橋早紀
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜 2限
【授業の学習内容】							
<p>声を使う仕事として腹式呼吸、母音、子音、鼻濁音、無声音のしくみを正しく理解し、ナレーターとして必要なアクセント、イントネーション、ナレーションにおける文章のリズムやトーンを習得し、表現力もトレーニングしながら磨いていきます。ナレーションを用いたテレビ番組、ラジオ番組制作の基本について学びます。※実務者経験:NHKキャスター、民放局アナを経て、現在フリーアナウンサーとしてテレビ・ラジオに出演中、アナウンサー歴はもうすぐ20年。声優・アクターのオーディションに必須となる「ナレーション・発声滑舌」の基礎をきちんと磨きながら、オーディションに向けた、実践を多くこなすことで、本番に強くなるメンタルも鍛えます。</p>							
【到達目標】							
<p>声優として通用する発声・滑舌ができるようになる。その上で、話す力、伝える力を身に付け、発信できるようになる。声を使う仕事、ナレーション、CM、司会、リポーターなど、幅広く対応し、メディア・コンテンツ制作ができる能力を身につける。</p> <p><具体的な目標></p> <p>目標① 腹式呼吸、正しい発声の仕方、アクセント記号、鼻濁音、無声音を習得する。</p> <p>目標② 正しいアクセント、イントネーションを理解する。</p> <p>目標③ ナレーションにおける文章のリズム、トーンの使い方を習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ラジオ番組制作ナレーション（取材、番組制作、ナレーション原稿作成、BGM選曲、完パケ）①
2回目	ラジオ番組制作ナレーション（取材、番組制作、ナレーション原稿作成、BGM選曲、完パケ）②
3回目	ラジオ番組制作ナレーション（取材、番組制作、ナレーション原稿作成、BGM選曲、完パケ）③
4回目	ラジオ番組制作課題フィードバック（制作課題に対するフィードバック評価）
5回目	WEBメディア制作ナレーション（取材、番組制作、ナレーション原稿作成、BGM選曲、完パケ）①
6回目	WEBメディア制作ナレーション（取材、番組制作、ナレーション原稿作成、BGM選曲、完パケ）②
7回目	WEBメディア制作課題フィードバック（制作課題に対するフィードバック評価）
8回目	テレビ番組制作ナレーション（取材、番組制作、ナレーション原稿作成、BGM選曲、完パケ）①
9回目	テレビ番組制作ナレーション（取材、番組制作、ナレーション原稿作成、BGM選曲、完パケ）②
10回目	テレビ番組制作ナレーション（取材、番組制作、ナレーション原稿作成、BGM選曲、完パケ）③
11回目	テレビ番組制作課題フィードバック（制作課題に対するフィードバック評価）
12回目	オーディション対策①
13回目	オーディション対策②
14回目	We are FSN 卒業進級制作 リハーサル（MC演習）
15回目	We are FSN 卒業進級制作 本番（MC演習）
準備学習 時間外 学習	発声や滑舌、呼吸法などは1日休むと、取り返すのに3日かかるとプロの世界では言われています。日頃から、自分で練習する習慣をつけましょう。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 30% ■ 受講態度 40% ■ 【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	いつオーディションが来ても焦らないで済むよう、準備の大切さをしっかりと伝えていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
(株) 滋慶出版 発声滑舌アクセントトレーニング教本 アクセント辞典	

科目名 (英)	アフレコ I Voice Over Technique)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	加勢田進
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜 1 限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>アフレコ（スタジオでの演習）は実際にスタジオでマイクの前でアニメ&外画などのアフレコを行います。口パクに合わせて喋ることはもちろん、声優の心構えを習得します。 ※実務経験：ダンサー・パフォーマーとして活躍後、吹き替えではアニメ・外画を中心に、テレビ・ラジオCMナレーション、企業VP、舞台や映像分野の仕事にも幅広く出演している。現在は講師の仕事を中心に活動中。 ◎姉妹校を含む外部企業からの音声収録の依頼があった場合は依頼された案件の収録・編集を行う場合があります。外部発注の依頼は完成度とスピードが求められ声優として仕事をする上でも同じことを求められます。在学中にプロとしての意識を高めておくことは重要です。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>アフレコ基礎知識（文章理解力&構成）、音声テクニック（高低&強弱&リズムの変化&メリハリ）を習得します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	アフレコの基礎知識（マイクワーク、収録におけるマイク前のマナー他）①
3回目	アフレコの基礎知識（マイクセッティング他）② 音声制作編集（DAW）
4回目	アフレコ収録基礎（正しい発声、言葉の発音とアクセント）①
5回目	アフレコ収録基礎（言葉のクリアさと聞き取りやすさの向上）②
6回目	アフレコ収録基礎（鼻濁音、無声音、基本&変形滑舌練習）③
7回目	アフレコ収録基礎（台本解析、キャラクター演技）④
8回目	アニメアフレコ実習（キャラクターに合った声の演技、アフレコにおける感情表現）
9回目	外画アフレコ実習（キャラクターに合った声の演技、アフレコにおける感情表現）
10回目	アニメアフレコ実習（収録の振り返り）
11回目	外画アフレコ実習（収録の振り返り）
12回目	アニメアフレコ実習（アフレコ声の特徴と表現力のトレーニング）
13回目	外画アフレコ実習（アフレコ声の特徴と表現力のトレーニング）
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題作品の研究（構成・音声テクニック）、発声滑舌、ストレッチと呼吸、舌の運動は必須です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。
【使用教科書・教材・参考書】	
アニメ&外画台本	

科目名 (英)	アフレコⅡ Voice Over Technique	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	加勢田進
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜 1 限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>アフレコ（スタジオでの演習）は実際にスタジオでマイクの前でアニメ&外画などのアフレコを行います。口パクに合わせて喋ることはもちろん、声優の心構えを習得します。 ※実務経験：ダンサー・パフォーマーとして活躍後、吹き替えではアニメ・外画を中心に、テレビ・ラジオCMナレーション、企業VP、舞台や映像分野の仕事にも幅広く出演している。現在は講師の仕事を中心に活動中。 ◎姉妹校を含む外部企業からの音声収録の依頼があった場合は依頼された案件の収録・編集を行う場合があります。外部発注の依頼は完成度とスピードが求められ声優として仕事をする上でも同じことを求められます。在学中にプロとしての意識を高めておくことは重要です。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>アフレコ基礎知識（文章理解力&構成）、音声テクニック（高低&強弱&リズムの変化&メリハリ）を習得します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	アニメアフレコ実習（キャラクターボイスの演技、キャラクターやシーンに応じた演技の実践）①
2回目	アニメアフレコ実習（キャラクターボイスの演技、キャラクターやシーンに応じた演技の実践）②
3回目	アニメアフレコ実習（キャラクターボイスの演技、キャラクターやシーンに応じた演技の実践）③
4回目	外画アフレコ実習（キャラクターボイスの演技、キャラクターやシーンに応じた演技の実践）①
5回目	外画アフレコ実習（キャラクターボイスの演技、キャラクターやシーンに応じた演技の実践）②
6回目	外画アフレコ実習（キャラクターボイスの演技、キャラクターやシーンに応じた演技の実践）③
7回目	アニメアフレコ実習（音響監督実習）
8回目	アニメアフレコ実習（収録の振り返り）
9回目	外画アフレコ実習（音響監督実習）
10回目	外画アフレコ実習（収録の振り返り）
11回目	ボイスサンプル制作（キャラクターボイス）
12回目	ボイスサンプル制作（キャラクターボイス）
13回目	ボイスサンプル制作（キャラクターボイス）
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題作品の研究（構成・音声テクニック）、発声滑舌、ストレッチと呼吸、舌の運動は必須です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。
【使用教科書・教材・参考書】	
アニメ&外画台本	

科目名 (英)	アフレコⅢ Voice Over Technique)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加勢田進
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜 1 限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>アフレコ（スタジオでの演習）は実際にスタジオでマイクの前でアニメ&外画などのアフレコを行います。口パクに合わせて喋ることはもちろん、声優の心構えを習得します。 ※実務経験：ダンサー・パフォーマーとして活躍後、吹き替えではアニメ・外画を中心に、テレビ・ラジオCMナレーション、企業VP、舞台や映像分野の仕事にも幅広く出演している。現在は講師の仕事を中心に活動中。 ◎姉妹校を含む外部企業からの音声収録の依頼があった場合は依頼された案件の収録・編集を行う場合があります。外部発注の依頼は完成度とスピードが求められ声優として仕事をする上でも同じことを求められます。在学中にプロとしての意識を高めておくことは重要です。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>アフレコ基礎知識（文章理解力&構成）、音声テクニック（高低&強弱&リズムの変化&メリハリ）を習得します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	アフレコテクニカル（収録技術、音声編集ソフトDAW習得）①
3回目	アフレコテクニカル（収録技術、音声編集ソフトDAW習得）②
4回目	アフレコテクニカル（収録技術、音声編集ソフトDAW習得）③
5回目	アニメ・アフレコ収録（各ジャンルのキャラクターデザインとイメージ構築）①
6回目	アニメ・アフレコ収録（各ジャンルのキャラクターデザインとイメージ構築）②
7回目	アニメ・アフレコ収録（各ジャンルのキャラクターデザインとイメージ構築）③
8回目	アニメ・アフレコ収録（各ジャンルのキャラクターデザインとイメージ構築）④
9回目	収録課題フィードバック（収録課題に対するフィードバック評価）
10回目	外画・アフレコ収録（各ジャンルのキャラクターデザインとイメージ構築）①
11回目	外画・アフレコ収録（各ジャンルのキャラクターデザインとイメージ構築）②
12回目	外画・アフレコ収録（各ジャンルのキャラクターデザインとイメージ構築）③
13回目	収録課題フィードバック（収録課題に対するフィードバック評価）
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題作品の研究（構成・音声テクニック）、発声滑舌、ストレッチと呼吸、舌の運動は必須です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。
【使用教科書・教材・参考書】	
アニメ&外画台本	

科目名 (英)	アフレコIV Voice Over Technique	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加勢田進
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜 1 限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>アフレコ（スタジオでの演習）は実際にスタジオでマイクの前でアニメ&外画などのアフレコを行います。口パクに合わせて喋ることはもちろん、声優の心構えを習得します。 ※実務経験：ダンサー・パフォーマーとして活躍後、吹き替えではアニメ・外画を中心に、テレビ・ラジオCMナレーション、企業VP、舞台や映像分野の仕事にも幅広く出演している。現在は講師の仕事を中心に活動中。 ◎姉妹校を含む外部企業からの音声収録の依頼があった場合は依頼された案件の収録・編集を行う場合があります。外部発注の依頼は完成度とスピードが求められ声優として仕事をする上でも同じことを求められます。在学中にプロとしての意識を高めておくことは重要です。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>アフレコ基礎知識（文章理解力&構成）、音声テクニック（高低&強弱&リズムの変化&メリハリ）を習得します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	アニメ・外画アフレコ（音響監督実習）①
2回目	アニメ・外画アフレコ（音響監督実習）②
3回目	アニメ・外画アフレコ（音響監督実習）③
4回目	アニメ・外画アフレコ（音響監督実習）④
5回目	アニメアフレコ課題（各ジャンルアニメ作品、企業課題他）①
6回目	アニメアフレコ課題（各ジャンルアニメ作品、企業課題他）②
7回目	課題フィードバック（課題に対するフィードバック評価）
8回目	アニメ・外画アフレコ（音響監督実習）⑤
9回目	アニメ・外画アフレコ（音響監督実習）⑥
10回目	アニメ・外画アフレコ（オーディションボイスサンプル制作）①
11回目	アニメ・外画アフレコ（オーディションボイスサンプル制作）②
12回目	オーディション対策（プロダクション研究、模擬オーディション）①
13回目	オーディション対策（プロダクション研究、模擬オーディション）②
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題作品の研究（構成・音声テクニック）、発声滑舌、ストレッチと呼吸、舌の運動は必須です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。
【使用教科書・教材・参考書】	
アニメ&外画台本	

科目名 (英)	アフレコV Voice Over Technique)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	加勢田進
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜 1 限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>アフレコ（スタジオでの演習）は実際にスタジオでマイクの前でアニメ&外画などのアフレコを行います。口パクに合わせて喋ることはもちろん、声優の心構えを習得します。 ※実務経験：ダンサー・パフォーマーとして活躍後、吹き替えではアニメ・外画を中心に、テレビ・ラジオCMナレーション、企業VP、舞台や映像分野の仕事にも幅広く出演している。現在は講師の仕事を中心に活動中。 ◎姉妹校を含む外部企業からの音声収録の依頼があった場合は依頼された案件の収録・編集を行う場合があります。外部発注の依頼は完成度とスピードが求められ声優として仕事をする上でも同じことを求められます。在学中にプロとしての意識を高めておくことは重要です。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>アフレコ基礎知識（文章理解力&構成）、音声テクニック（高低&強弱&リズムの変化&メリハリ）を習得します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（今後の授業内容説明）
2回目	アニメアフレコ（アニメジャンルとキャラクター研究）①
3回目	アニメアフレコ（アニメジャンルとキャラクター研究）②
4回目	アニメアフレコ（アニメジャンルとキャラクター研究）③
5回目	アニメアフレコ（アニメジャンルとキャラクター研究）④
6回目	課題フィードバック（課題に対するフィードバック評価）
7回目	外画アフレコ（各ジャンルとアニメーションとの違いを考える）①
8回目	外画アフレコ（各ジャンルとアニメーションとの違いを考える）②
9回目	外画アフレコ（各ジャンルとアニメーションとの違いを考える）③
10回目	外画アフレコ（各ジャンルとアニメーションとの違いを考える）④
11回目	課題フィードバック（課題に対するフィードバック評価）
12回目	オーディション対策（プロダクション研究、模擬オーディション）
13回目	オーディション対策（プロダクション研究、模擬オーディション）
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	課題作品の研究（構成・音声テクニック）、発声滑舌、ストレッチと呼吸、舌の運動は必須です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>アニメ&外画台本</p>	

科目名 (英)	アフレコVI Voice Over Technique)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	加勢田進
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜 1 限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>アフレコ（スタジオでの演習）は実際にスタジオでマイクの前でアニメ&外画などのアフレコを行います。口パクに合わせて喋ることはもちろん、声優の心構えを習得します。 ※実務経験：ダンサー・パフォーマーとして活躍後、吹き替えではアニメ・外画を中心に、テレビ・ラジオCMナレーション、企業VP、舞台や映像分野の仕事にも幅広く出演している。現在は講師の仕事を中心に活動中。 ◎姉妹校を含む外部企業からの音声収録の依頼があった場合は依頼された案件の収録・編集を行う場合があります。外部発注の依頼は完成度とスピードが求められ声優として仕事をする上でも同じことを求められます。在学中にプロとしての意識を高めておくことは重要です。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>アフレコ基礎知識（文章理解力&構成）、音声テクニック（高低&強弱&リズムの変化&メリハリ）を習得します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オーディション対策（プロダクション研究、模擬オーディション）①
2回目	オーディション対策（プロダクション研究、模擬オーディション）②
3回目	オーディション対策（プロダクション研究、模擬オーディション）③
4回目	アニメアフレコ応用（各ジャンルアニメ作品、企業課題他）①
5回目	アニメアフレコ応用（各ジャンルアニメ作品、企業課題他）②
6回目	アニメアフレコ応用（各ジャンルアニメ作品、企業課題他）③
7回目	アニメアフレコ応用（各ジャンルアニメ作品、企業課題他）④
8回目	課題フィードバック（課題に対するフィードバック評価）
9回目	外画アフレコ応用（各ジャンル外画作品）①
10回目	外画アフレコ応用（各ジャンル外画作品）②
11回目	外画アフレコ応用（各ジャンル外画作品）③
12回目	外画アフレコ応用（各ジャンル外画作品）④
13回目	課題フィードバック（課題に対するフィードバック評価）
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題作品の研究（構成・音声テクニック）、発声滑舌、ストレッチと呼吸、舌の運動は必須です。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 30% ■受講態度 40% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	声を出す授業なので発声・滑舌は授業の前に済ませておくこと。
【使用教科書・教材・参考書】	
アニメ&外画台本	

科目名 (英)	コンポジションソングライティングプロジェクト (Composition Songwriting Project)	必修 選択	必修 選択	年次	1.2.3	担当教員	永吉啓嗣
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜3.4.5限
【授業の学習内容】 音楽プロダクション、レコードメーカー、一般企業より楽曲制作依頼を受け、滋慶学園COMグループ音楽系8校でそれぞれチームを編成し楽曲制作を行う。学生それぞれが、チームの中で役割を持ち、共同制作を行いながら実際の制作現場のシミュレーションを行う。 (講師プロフィール) 株式会社アミューズ所属アーティスト「ASTERISM」のプロデューサー・アレンジャーとして活動しながら、株式会社リブソンのプロデューサーとして福岡でメジャーに向けた新人発掘から音楽制作まで幅広く活躍中。							
【到達目標】 各案件での楽曲採用を最大の目標とし、総合的なクリエイティブ能力を向上させる。 1年生は主に楽曲制作スピードの向上 2年生は主に楽曲クオリティの向上 3年生はスピードとクオリティを踏まえ価値を生み出す実践力を身につける							

授業計画・内容	
1回目	企業課題制作／オリエンテーション
2回目	企業課題制作／コンペティション分析①
3回目	企業課題制作／プレゼンテーション基礎
4回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション①
5回目	企業課題制作／コンペティション分析②
6回目	企業課題制作／セルフレコーディング基礎
7回目	企業課題制作／コライティング基礎
8回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション②
9回目	企業課題制作／コンペティション分析③
10回目	企業課題制作／コードワーク基礎
11回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション③
12回目	企業課題制作／コンペティション分析④
13回目	企業課題制作／ミックスダウン基礎
14回目	Jikei Composer GP
15回目	Jikei Composer GP
準備学習 時間外学習	課題を家に持ち帰るのではなく可能な限り授業中に集中して制作し完成させていくことを目標とします
評価方法	各案件での楽曲採用が最大の評価であり また、チーム編成である故の出席率、及び毎回の楽曲提出が最低限の評価基準となる
受講生への メッセージ	とにかく制作に向き合う時間であり、第一線で活躍する講師陣と制作を共有できる貴重な時間になります。音楽制作におけるインプットとアウトプットを兼ねた効率的な成長の場です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コンポジションソングライティングプロジェクト (Composition Songwriting Project)	必修 選択	必修 選択	年次	1.2.3	担当教員	永吉啓嗣
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜3.4.5限
【授業の学習内容】 音楽プロダクション、レコードメーカー、一般企業より楽曲制作依頼を受け、滋慶学園COMグループ音楽系8校でそれぞれチームを編成し楽曲制作を行う。学生それぞれが、チームの中で役割を持ち、共同制作を行いながら実際の制作現場のシミュレーションを行う。 (講師プロフィール) 株式会社アミューズ所属アーティスト「ASTERISM」のプロデューサー・アレンジャーとして活動しながら、株式会社リブソンのプロデューサーとして福岡でメジャーに向けた新人発掘から音楽制作まで幅広く活躍中。							
【到達目標】 各案件での楽曲採用を最大の目標とし、総合的なクリエイティブ能力を向上させる。 1年生は主に楽曲制作スピードの向上 2年生は主に楽曲クオリティの向上 3年生はスピードとクオリティを踏まえ価値を生み出す実践力を身につける							

授業計画・内容	
1回目	企業課題制作／コンペティション分析⑤
2回目	企業課題制作／マスタリング基礎
3回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション⑤
4回目	企業課題制作／コンペティション分析⑥
5回目	企業課題制作／楽曲アレンジ基礎
6回目	企業課題制作／サウンドエフェクト基礎
7回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション⑦
8回目	企業課題制作／コンペティション分析⑧
9回目	企業課題制作／ボーカルディレクション基礎
10回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション⑧
11回目	企業課題制作／コンペティション分析⑨
12回目	企業課題制作／プロデュースワーク基礎
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外 学習	課題を家に持ち帰るのではなく可能な限り授業中に集中して制作し完成させていくことを目標とします
評価方法	各案件での楽曲採用が最大の評価であり また、チーム編成である故の出席率、及び毎回の楽曲提出が最低限の評価基準となる
受講生への メッセージ	とにかく制作に向き合う時間であり、第一線で活躍する講師陣と制作を共有できる貴重な時間になります。音楽制作におけるインプットとアウトプットを兼ねた効率的な成長の場です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル	選択 必修	選択必修	年次	1.2	担当教員	池末 信
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態		総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日5限目・6限目
<p>【授業の学習内容】</p> <p>世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。</p> <p>〈講師プロフィール〉 マサチューセッツ州にあるパークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じられること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー
2回目	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲
3回目	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス
4回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー
5回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー
6回目	3曲新曲、ワーク
7回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス
8回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス
9回目	プレイフルワーク、楽曲復習
10回目	楽曲復習、新曲レクチャー
11回目	楽曲復習、新曲レクチャー
12回目	楽曲復習、キティワーク
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード、ボイスレコーダー	

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル	選択 必修	選択必修	年次	1.2	担当教員	池末 信
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態		総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日5限目・6限目
【授業の学習内容】							
<p>世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。</p> <p>〈講師プロフィール〉 マサチューセッツ州にあるバークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。</p>							
【到達目標】							
<p>心技体において確実な成長を体感し、講師からの客観的視点より成長を認めれること。 それらをゴスペルアンサンブルメンバー全員で達成できていること。</p>							
授業計画・内容							
1回目	ワーク、新曲3曲レクチャー						
2回目	楽曲復習						
3回目	海外研修						
4回目	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー						
5回目	楽曲復習、動き復習						
6回目	ケイティワーク、2曲新曲						
7回目	楽曲復習、動き復習						
8回目	楽曲復習						
9回目	新曲2曲レクチャー、楽曲復習						
10回目	イベント演習						
11回目	イベント演習						
12回目	イベント演習						
13回目	ミュージカル演習						
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル						
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番						
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認						
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）						
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。						
【使用教科書・教材・参考書】							
歌詞カード、ボイスレコーダー							

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル	選択 必修	選択必修	年次	3.4	担当教員	池末 信
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態		総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日5限目・6限目
<p>【授業の学習内容】</p> <p>世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。</p> <p>〈講師プロフィール〉 マサチューセッツ州にあるパークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じられること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー
2回目	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲
3回目	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス
4回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー
5回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー
6回目	3曲新曲、ワーク
7回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス
8回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス
9回目	プレイフルワーク、楽曲復習
10回目	楽曲復習、新曲レクチャー
11回目	楽曲復習、新曲レクチャー
12回目	楽曲復習、キティワーク
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード、ボイスレコーダー	

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル	選択 必修	選択必修	年次	3.4	担当教員	池末 信
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態		総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日5限目・6限目
<p>【授業の学習内容】</p> <p>世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。</p> <p>〈講師プロフィール〉 マサチューセッツ州にあるパークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>心技体において確実な成長を体感し、講師からの客観的視点より成長を認めれること。 それらをゴスペルアンサンブルメンバー全員で達成できていること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ワーク、新曲3曲レクチャー
2回目	楽曲復習
3回目	海外研修
4回目	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー
5回目	楽曲復習、動き復習
6回目	ケイティワーク、2曲新曲
7回目	楽曲復習、動き復習
8回目	楽曲復習
9回目	新曲2曲レクチャー、楽曲復習
10回目	イベント演習
11回目	イベント演習
12回目	イベント演習
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞カード、ボイスレコーダー	

科目名 (英)	ショーケースプロジェクト Showcase Project	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	井戸川誠
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	水曜日4限目
<p>【授業の学習内容】</p> <p>Showcaseに向けて選曲から楽曲を完成させるまでの一連のプロセスのレクチャーとアドバイス (選曲⇒和訳⇒楽曲分析⇒ポエム (和訳読み) ⇒英語読み⇒パフォーマンス⇒振り返り)</p> <p>〈講師プロフィール〉 年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>レポートリーとして英語の曲でパフォーマンスできるようになる♪ ヴォーカリストとしてのマインド、ノウハウ、スキルを身に付けよう♪</p>							

授業計画・内容	
1回目	プロセスが大事♪ Showcase説明、課題曲
2回目	成長するための選択をしよう♪ 選曲について、アーティスト&楽曲紹介、課題曲
3回目	コレがステージングの基本♪ 目線、マイキング 課題曲
4回目	アナライズで歌をもっと身近に♪ 歌とキャラクター分析、可能な人は歌 自由曲①
5回目	歌唱力向上の最大の秘訣とは？ 聴く力について、歌唱指導 自由曲①
6回目	さあ！歌ってみよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲①
7回目	より自分のものにするために♪ 訳、ポエム、英語読み、可能な人は歌 自由曲②
8回目	起承転結のあるパフォーマンスと存在感にも繋がる♪ 立ち位置分析、歌唱指導 自由曲②
9回目	学びを活かして歌ってみよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲②
10回目	更に深さを出せるようになろう♪ 歌、キャラクター分析、訳、ポエム、英語読み、可能な人は歌 自由曲③
11回目	歩みを阻むものとそれに打ち勝つ力♪ 恐れ、緊張について、歌唱指導 自由曲③
12回目	学びと気づきを武器に歌ってみよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲③
13回目	学期末特別授業
14回目	学期末特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	課題曲、自由曲の歌詞の意味調べ、発音の練習、パフォーマンスの練習
評価方法	実技テスト (各自課題曲の実演発表にて総合評価)
受講生への メッセージ	毎授業が皆さんのステージです♪ 沢山のチャレンジが皆さんの可能性を最大限に引き出してくれます♪ 憧れに向かって着実に前進していきましょう♪
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>iPad、ボイスレコーダー、自由曲歌詞</p>	

科目名 (英)	ショーケースプロジェクト Showcase Project	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	井戸川誠
学科・コース	スーパー・e.エンターテイメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	水曜日4限目
【授業の学習内容】 Showcaseに向けて選曲から楽曲を完成させるまでの一連のプロセスのレクチャーとアドバイス(選曲⇒和訳⇒楽曲分析⇒ボエム(和訳読み)⇒英語読み⇒パフォーマンス⇒振り返り)①選曲：無理のない曲でコントロールできる曲を勧める、選んできてもらう②和訳、楽曲分析、ボエム：楽曲の意味、言葉を深く曲を自分の中に落とし込む③英語読み：発音④パフォーマンス：歌唱、目線、表現、ポジショニング⑤振り返り：録音、録画による自己評価 (講師プロフィール) 年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。							
【到達目標】 レポートリーとして英語の曲でパフォーマンスできるようになる♪ ④ヴォーカリストとしてのマインド、ノウハウ、スキルを身に付けよう♪							

授業計画・内容	
1回目	前期と夏休みの集大成♪ 発表会
2回目	客観的な選曲ができるようになる♪ 受容型、克服型、強化型の選曲について 自由曲①
3回目	アンサンブルのためにどんな音楽が演奏形態が探ってみよう♪ ヴォーカル以外の楽曲分析 自由曲①
4回目	楽曲や歌唱に客観性をもって歌ってみよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲①
5回目	意味を理解して歌おう♪ 楽曲分析、和訳 自由曲②
6回目	更に深く意味を理解して歌おう♪ ボエム 自由曲②
7回目	世界観と感情表現で歌ってみよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲②
8回目	目線、表現、ポジショニングでステージングを強化しよう♪ 自由曲③
9回目	表情、メイク、衣装でステージングを更に強化しよう♪ 自由曲③
10回目	歌とステージングでイキイキとパフォーマンスしよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲③
11回目	テスト/振り返り
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	課題曲、自由曲の歌詞の意味調べ、発音の練習、歌唱の練習、パフォーマンスの練習
評価方法	実技テスト(各自課題曲の実演発表にて総合評価)
受講生への メッセージ	ステージは皆さんの個性が輝く場所です。コピーを徹底し、技術を身に付ける事で、皆さんの個性を輝かせ方を学んでいきましょう。人前に立つ事で緊張する人も、不安要素を一つ一つ克服する事と、楽曲と自分を繋げることで克服できます。気持ちよくステージに立てよう、沢山勉強していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、ボイスレコーダー、自由曲歌詞	

科目名 (英)	ショーケースプロジェクト Showcase Project	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	池田祥子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜日 3限目
【授業の学習内容】 ショーケース（業界向けライブオーディション）に向けて、自身のシンガーとしてのセールスポイントを客観的に分析し選曲、準備を行い、本番を想定したトータルパフォーマンスを仕上げる。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 自由曲選曲により自身の音楽の幅を広げていける、新たなチャレンジが出来る。自分の長所・短所を客観的に見ることによりよりニーズに応えられる選択が出来る様になる。ソロシンガーとしての自立心、責任感を持てるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、特別課題曲レクチャー、発表
2回目	自由曲①1コーラス発表、フィードバック
3回目	自由曲①フルコーラス発表、フィードバック
4回目	自由曲①トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
5回目	自由曲②1コーラス発表、フィードバック
6回目	自由曲②フルコーラス発表、フィードバック
7回目	自由曲②トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
8回目	自由曲③1コーラス発表、フィードバック
9回目	自由曲③フルコーラス発表、フィードバック
10回目	自由曲③トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
11回目	自由曲発表会 リハーサル①
12回目	自由曲発表会 リハーサル②
13回目	総合発表会
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	自分の持つ力を最大限に発揮するためには、徹底的に準備をすることです。自分というアーティストにどのような可能性が隠されているかは好みとは別にある様々な良い楽曲と向かい合い、初めて知る事が出来ます。知らなかった音楽、シンガー、楽曲にたくさんトライし、丁寧に準備・練習し隠れた力に気づきそれを育てていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ショーケースプロジェクト Showcase Project	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	池田祥子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	木曜日 3限目
【授業の学習内容】 ショーケース（業界向けライブオーディション）に向けて、自身のシンガーとしてのセールスポイントを客観的に分析し選曲、準備を行い、本番を想定したトータルパフォーマンスを仕上げる。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 自由曲選曲により自身の音楽の幅を広げていける、新たなチャレンジが出来る。自分の長所・短所を客観的に見ることによりよりニーズに応えられる選択が出来るようになる。ソロシンガーとしての自立心、責任感を持てるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	自由曲④1コーラス発表、フィードバック
2回目	自由曲④フルコーラス発表、フィードバック
3回目	自由曲④トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
4回目	自由曲⑤1コーラス発表、フィードバック
5回目	自由曲⑤フルコーラス発表、フィードバック
6回目	自由曲⑤トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
7回目	自由曲⑥1コーラス発表、フィードバック
8回目	自由曲⑥フルコーラス発表、フィードバック
9回目	自由曲⑥トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
10回目	自由曲⑦フルコーラス発表、フィードバック
11回目	自由曲⑦トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
12回目	総合発表会 本番
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	自分の持つ力を最大限に発揮するためには、徹底的に準備をすることです。自分というアーティストにどのような可能性が隠されているかは好みとは別にある様々な良い楽曲と向かい合い、初めて知る事が出来ます。知らなかった音楽、シンガー、楽曲にたくさんトライし、丁寧に準備・練習し隠れた力に気づきそれを育てていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	パフォーミングプロジェクト Performing Project	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	池田祥子
学科・コース	音楽プロデュース科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日 1 限目・2 限目
【授業の学習内容】							
<p>往年の名曲から現代音楽、または世界でもトップクラスのエンターテインメント演目が集結するブロードウェイミュージカル楽曲を主に課題とし、世界に認められているより深い感情表現や体の使い方を学ぶ。また、作品制作などの特定の課題に対し、研究・演習からプレゼンテーションまでを行い、実践力を養う。</p> <p>〈講師プロフィール〉</p> <p>200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリスト、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
ヴォーカリストとしてステージ上で機能するために必要な歌唱、表現、演出知識、コミュニケーションを含めた自身の総合プロデューサーが身に付く。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①Good morning Baltimore ②I know where I've been レクチャー（発音、音程、リズム、コーラスワーク）
2回目	課題曲①②復習・チェック
3回目	課題曲①②復習・チェック、③Dancing Queen レクチャー（発音、音程、リズム、コーラスワーク）
4回目	課題曲③復習・チェック、リードチェック
5回目	課題曲③復習・チェック、リードチェック、④Little shop of horrors レクチャー（発音、音程、リズム、コーラスワーク）
6回目	課題曲④復習・チェック、リードチェック
7回目	課題曲④復習・チェック、リードチェック、⑤Zero to hero レクチャー（発音、音程、リズム、コーラスワーク）
8回目	発表会曲リードオーディション
9回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング（イベントを遂行するための各所担当決め）
10回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング
11回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング
12回目	発表会通しリハーサル
13回目	前期発表会本番
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	課題曲に関連するミュージカル、映画、動画の鑑賞や歌詞の和訳の準備など
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	世界のトップクラスのエンターテインメントをしっかりと学ぶことでより一つでも多くを吸収出来る授業内容です。出来るか出来ないかで判断する前に、まずは一緒に挑戦してみよう！一つずつ挑戦を繰り返す、その先に待つ自分自身を想像しながら一緒に進んでいきましょう！コーラスの音振りなど、欠席分の授業は自己責任で他の履修生から録音を必ずもらって準備、対応をください。
【使用教科書・教材・参考書】	
音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器	

科目名 (英)	パフォーミングプロジェクト Performing Project	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	池田祥子
学科・コース	音楽プロデュース科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日 1 限目・2 限目
【授業の学習内容】							
<p>往年の名曲から現代音楽、または世界でもトップクラスのエンターテインメント演目が集結するブロードウェイミュージカル楽曲を主に課題とし、世界に認められているより深い感情表現や体の使い方を学ぶ。また、作品制作などの特定の課題に対し、研究・演習からプレゼンテーションまでを行い、実践力を養う。</p> <p>〈講師プロフィール〉</p> <p>200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリスト、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。</p>							
【到達目標】							
ヴォーカリストとしてステージ上で機能するために必要な歌唱、表現、演出知識、コミュニケーションを含めた自身の総合プロデューサーが身に付く。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲① ②レクチャー
2回目	課題曲①②復習・チェック
3回目	課題曲①②復習・チェック、③レクチャー
4回目	課題曲③復習・チェック、リードチェック
5回目	課題曲③復習・チェック、リードチェック、④レクチャー
6回目	課題曲④復習・チェック、リードチェック
7回目	発表会曲リードオーディション
8回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング
9回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング
10回目	コーラス総合チェック、演出仕上げ
11回目	通しリハ
12回目	発表会本番
13回目	イベント実習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲に関連するミュージカル、映画、動画の鑑賞や歌詞の和訳の準備など
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業へ取り組み姿勢 (40%) ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度 (30%) ■ 自己実現力と演奏力 (歌唱力) の向上度 (30%)
受講生への メッセージ	世界のトップクラスのエンターテインメントをしっかりと学ぶことでより一つでも多くを吸収出来る授業内容です。出来るか出来ないかで判断する前に、まずは一緒に挑戦してみよう！一つずつ挑戦を繰り返し、その先に待つ自分自身を想像しながら一緒に進んでいきましょう！コーラスの音振りなど、欠席分の授業は自己責任で他の履修生から録音を必ずもらって準備、対応をください。
【使用教科書・教材・参考書】	
音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器	

科目名 (英)	ミュージカルプロジェクト Musical Project	必修 選択	選択必修	年次	1.2.3	担当教員	竹田 昌広
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	360 (24)	開講区分 曜日・時限	通年 4.5限
【授業の学習内容】 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。 ※実務経験：関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、日本一ティーンに観られている、と言えるほどの舞台演出家です。							
【到達目標】 「生きることの素晴らしさ」をそれぞれの学習分野を通して伝える。 ミュージカル・イベント制作に必要なスキルを学ぶ。 エンターテイナー・パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションにてミュージカルのコンセプトと内容、社会貢献について理解することができる
2回目	メンバー顔合わせと今後のスケジュール確認や製作期間中の注意事項、役割分担を決めレッスンを行う
3回目	台本の読み合わせを行い、オーディションに向けて自分がチャレンジしたい役を決定する
4回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
5回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
6回目	仮キャストの発表～台本の読み合わせ～発声方法・演技指導を行う
7回目	ダンスシーンの振付・歌唱稽古開始し、歌唱・振付を覚えることができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	立ち稽古～広いアクティングエリアを使用し立ち位置の確認と導線、動きの確認をすることができる
11回目	リハーサル～実施に公演するホールを使用し、衣装を着用、小道具を使用したリハーサルを行う
12回目	ホールリハーサルでの反省点を振り返り、修正と強化練習によってクオリティーを上げることができる
13回目	ホールを使用したリハーサル～本番に向けての最終確認とサウンドチェック・リハーサルを行う
14回目	進級発表本番1回目を行う
15回目	進級発表本番2回目を行う
準備学習 時間外学習	稽古の振り返り
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ■出席率 40% ■授業へ取り組み姿勢 30% ■各課題曲の目標の達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	